



Hewlett Packard
Enterprise

HPE ProLiant DL380 Gen11サーバーユーザーガイド

部品番号: 30-ABE7B3E0-010-ja-JP
発行: 2024年6月
版数: 10

HPE ProLiant DL380 Gen11サーバーユーザーガイド

摘要

このガイドは、サーバーおよびストレージシステムのインストール、管理、トラブルシューティングの担当者を対象としています。コンピューター機器の保守の資格があり、高電圧製品の危険性について理解していることを前提としています。

部品番号: 30-ABE7B3E0-010-ja-JP

発行: 2024年6月

版数: 10

© Copyright -2024 Hewlett Packard Enterprise Development LP

ご注意

本書の内容は、将来予告なしに変更されることがあります。Hewlett Packard Enterprise製品およびサービスに対する保証については、当該製品およびサービスの保証規定書に記載されています。本書のいかなる内容も、新たな保証を追加するものではありません。本書の内容につきましては万全を期しておりますが、本書中の技術的あるいは校正上の誤り、脱落に対して、責任を負いかねますのでご了承ください。

本書で取り扱っているコンピューターソフトウェアは秘密情報であり、その保有、使用、または複製には、Hewlett Packard Enterprise から使用許諾を得る必要があります。FAR 12.211 および 12.212 に従って、商業用コンピューターソフトウェア、コンピューターソフトウェアドキュメンテーション、および商業用製品の技術データ (Commercial Computer Software, Computer Software Documentation, and Technical Data for Commercial Items) は、ベンダー標準の商業用使用許諾のもとで、米国政府に使用許諾が付与されます。

他社の Web サイトへのリンクは、Hewlett Packard Enterprise の Web サイトの外に移動します。Hewlett Packard Enterprise は、Hewlett Packard Enterprise の Web サイト以外の情報を管理する権限を持たず、また責任を負いません。

商標

Intel®、Itanium®、Optane™、Pentium®、Xeon®、Intel Inside®、およびIntel Insideロゴは、Intel Corporationまたはその子会社の商標です。

Microsoft®およびWindows®は、米国および/またはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。

Linux®は、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標です。

VMware ESXi™とVMware vSphere®は、VMware, Inc. の米国および各国での登録商標または商標です。

Red Hat® Enterprise Linuxは、米国およびその他の国におけるRed Hat, Inc. の商標または登録商標です。

microSD®はSD-3Dの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Kensington®はACCO Brandsの登録商標です。

すべてのサードパーティのマークは、それぞれの所有者に帰属します。

目次

- コンポーネントの識別
 - フロントパネルのコンポーネント
 - フロントパネルのLEDとボタン
 - UIDボタンの機能
 - フロントパネルのLED電源障害コード
 - Systems Insight Display LED
 - Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明
 - リアパネルのコンポーネント
 - リアパネルのLED
 - システムボードのコンポーネント
 - システムメンテナンススイッチの説明
 - DIMMラベルの識別
 - DIMMスロット位置
 - ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント
 - HPEのベーシックドライブのLEDの定義
 - EDSFF SSDのLEDの定義
 - ドライブボックスと番号
 - HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント
 - HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義
- セットアップ
 - オプションサービス
 - サーバーをセットアップする
 - 動作要件
 - 空間および通気要件
 - 温度要件
 - 電源要件
 - アース要件
 - ラックに関する警告と注意事項
 - サーバーに関する警告と注意事項
 - 静電気対策
- 操作
 - サーバーの電源を入れる
 - サーバーの電源を切る
 - ラックからサーバーを引き出す
 - サーバーをラックから取り外す
 - ベゼルを取り外す
 - アクセスパネルを取り外す
 - アクセスパネルを取り付ける
 - ファンケージを取り外す
 - ファンケージを取り付ける
 - エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す
 - エアバッフルを取り付ける
 - ライザーケージを取り外す
 - ケーブルマネジメントアームを解放する

- Systems Insight Displayにアクセスする
- ハードウェアオプションの取り付け
 - はじめに
 - Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs
 - サーバーデータバックアップ
 - コントローラー
 - タイポoストレージコントローラーを取り付ける
 - タイプpストレージコントローラーの取り付け
 - 冷却
 - ファンモードの動作
 - 高性能ファンの取り付け
 - ドライブケージオプション
 - フロント8 SFF（2.5型）ドライブケージの取り付け
 - フロント2 SFF（2.5型）サイドバイサイドドライブケージの取り付け
 - スタックしたフロント2 SFF（2.5型）ドライブケージの取り付け
 - ミッドプレーンドライブケージの取り付け
 - スタックしたリア2 SFF（2.5型）ドライブケージの取り付け
 - ドライブ
 - ドライブのガイドライン
 - ホットプラグ対応LFF（3.5型）/SFF（2.5型）SAS、SATA、またはNVMeドライブを取り付ける
 - E3.Sドライブを取り付ける
 - Energy Packオプション
 - 最小ファームウェアバージョン
 - HPE Smartストレージバッテリー
 - HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
 - Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける
 - 管理
 - Systems Insight Displayの取り付け
 - リアシリアルポートインターフェイスを取り付ける
 - メモリ
 - メモリ取り付け情報
 - DIMMプロセッサの互換性
 - DIMMの取り付け
 - ネットワーク
 - OCPネットワークアダプターを取り付ける
 - PCIeネットワークアダプターの取り付け
 - オプティカルドライブとメディアベイ
 - SFF（2.5型）シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける
 - LFF（3.5型）シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける
 - SFF（2.5型）ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける
 - LFF（3.5型）ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける
 - OSブートデバイス
 - ブートデバイスドライブを取り付ける
 - HPE NS204iブートデバイスの取り付け
 - 電源装置オプション
 - 電源装置に関する警告と注意事項

- ホットプラグ対応電源装置に関する計算
- AC電源装置の取り付け
- DC電源装置に関する警告と注意事項
- DC電源ケーブルとDC電源を接続する
- DC電源装置のワイヤーの色
- DC電源装置の取り付け
- プロセッサとヒートシンクのオプション
 - プロセッサに関する注意事項
 - プロセッサを取り付ける
 - 直接液冷キットの接続
- ラックマウントオプション
 - レール識別マーカー
 - ラックマウントインターフェイス
 - ラックレールのオプション
 - サーバーをラックに取り付ける
 - ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け
 - ケーブルマネジメントアームを取り付ける
- ライザーおよびライザーケージオプション
 - PCIe5スロットの説明
 - サポートされるPCIeフォームファクター
 - 拡張ボードの取り付け
 - セカンダリライザーケージの取り付け
 - ターシャリライザーケージの取り付け
 - アクセラレータまたはGPUの取り付け
 - リア2 SFF（2.5型）ライザーケージの取り付け
 - リア2 LFF（3.5型）ライザーケージの取り付け
 - プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け
 - ターシャリライザーの取り付け
- セキュリティ
 - ベゼルを取り付ける
 - シャーシ侵入検知スイッチの取り付け
 - Trusted Platform Module 2.0のガイドライン
 - BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン
- ケーブル接続
 - ケーブル接続のガイドライン
 - ケーブル配線図
 - EDSFFのケーブル接続
 - 8 SFF（2.5型）ボックス1のケーブル接続
 - 8 SFF（2.5型）ボックス2のケーブル接続
 - 8 SFF（2.5型）ボックス3のケーブル接続
 - ミッドプレーン8 SFF（2.5型）のケーブル接続
 - フロント2 SFF（2.5型）のケーブル接続
 - リア2 SFF（2.5型）のケーブル接続
 - LFF（3.5型）のケーブル接続
 - ライザー有効化のケーブル接続
 - 電源ケーブルの接続

- GPUのケーブル接続
- NS204i-uブートデバイスのケーブル接続
- OCP帯域幅の有効化
- Systems Insight Displayのケーブル接続
- I/Oのケーブル接続
- フロント電源スイッチのケーブル接続
- シリアルポートのケーブル接続
- 構成関連情報
 - ファームウェアまたはシステムROMのアップデート
 - サーバーの構成
 - ストレージコントローラーの構成
 - HPE NS204i ブートデバイスの管理
 - オペレーティングシステムの展開
 - セキュリティの構成
 - サーバーの最適化
 - サーバー管理
 - Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理
- トラブルシューティング
 - NMI機能
 - トラブルシューティングの資料
- 仕様
 - 環境仕様
 - 機械仕様
 - 電源装置の仕様
 - HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
 - HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
 - ホットプラグ対応電源装置に関する計算
- Webサイト
- サポートと他のリソース
 - Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス
 - アップデートへのアクセス
 - リモートサポート
 - 保証情報
 - 規定に関する情報
 - ドキュメントに関するご意見、ご指摘

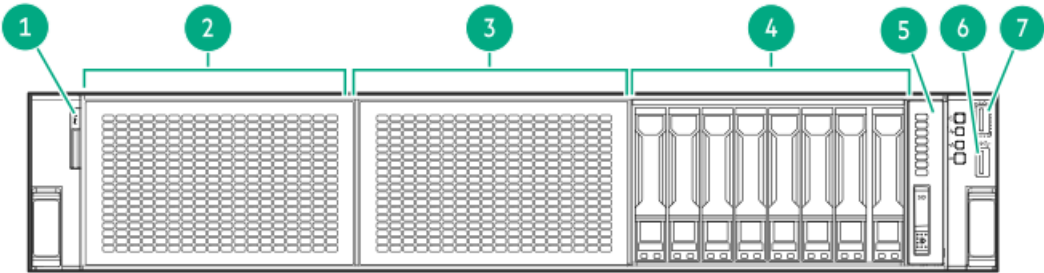
コンポーネントの識別

サブトピック

- [フロントパネルのコンポーネント](#)
- [フロントパネルのLEDとボタン](#)
- [リアパネルのコンポーネント](#)
- [リアパネルのLED](#)
- [システムボードのコンポーネント](#)
- [HPEのベーシックドライブのLEDの定義](#)
- [EDSFF SSDのLEDの定義](#)
- [ドライブボックスと番号](#)
- [HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント](#)
- [HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義](#)

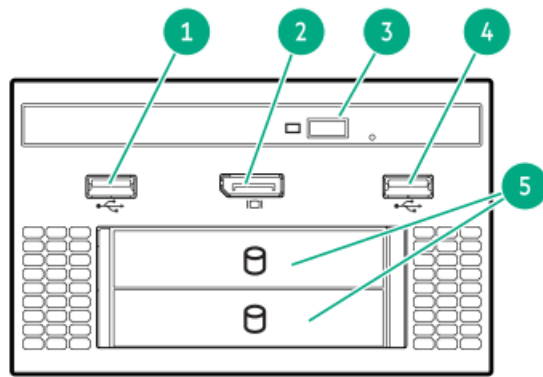
フロントパネルのコンポーネント

SFF（2.5型）フロントパネルのコンポーネント



番号	説明
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ
2	8 SFF（2.5型）ドライブまたはユニバーサルメディアベイ（オプション）
3	8 SFF（2.5型）ドライブ（オプション）
4	8 SFF（2.5型）ドライブ
5	Systems Insight Display （オプション）
6	USB 3.2 Gen 1ポート
7	iLOサービスポート

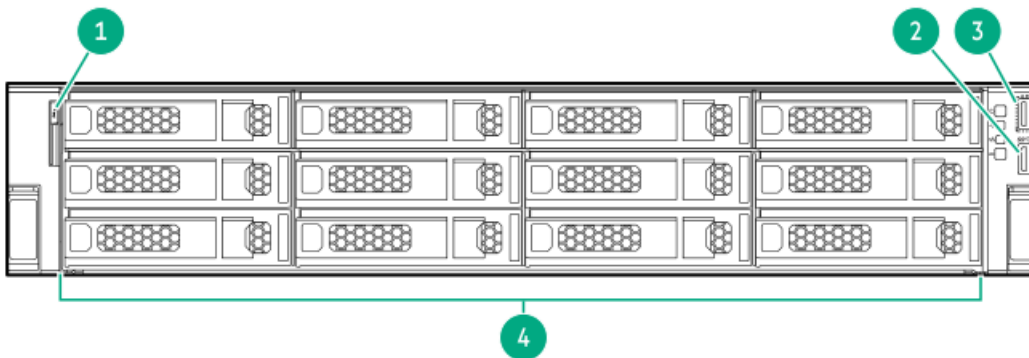
SFF（2.5型）メディアベイのコンポーネント



番号 説明

1	USB 2.0ポート
2	DisplayPort 1.1a
3	オプティカルディスクドライブ (オプション)
4	USB 2.0ポート
5	スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブ (オプション)

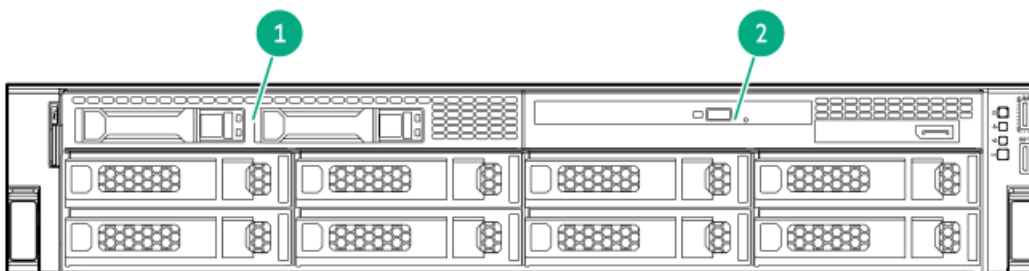
12 LFF (3.5型) フロントパネルのコンポーネント



番号 説明

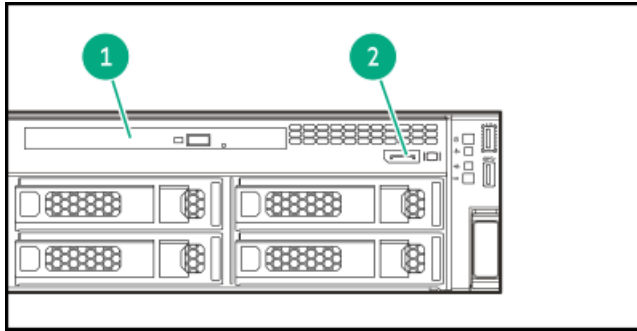
1	シリアル番号/iLO情報プルタブ
2	USB 3.2 Gen 1ポート
3	iLOサービスポート
4	LFF (3.5型) ドライブ

8 LFF (3.5型) フロントパネルのコンポーネント



番号	説明
1	2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブ (オプション)
2	LFF (3.5型) メディアベイ

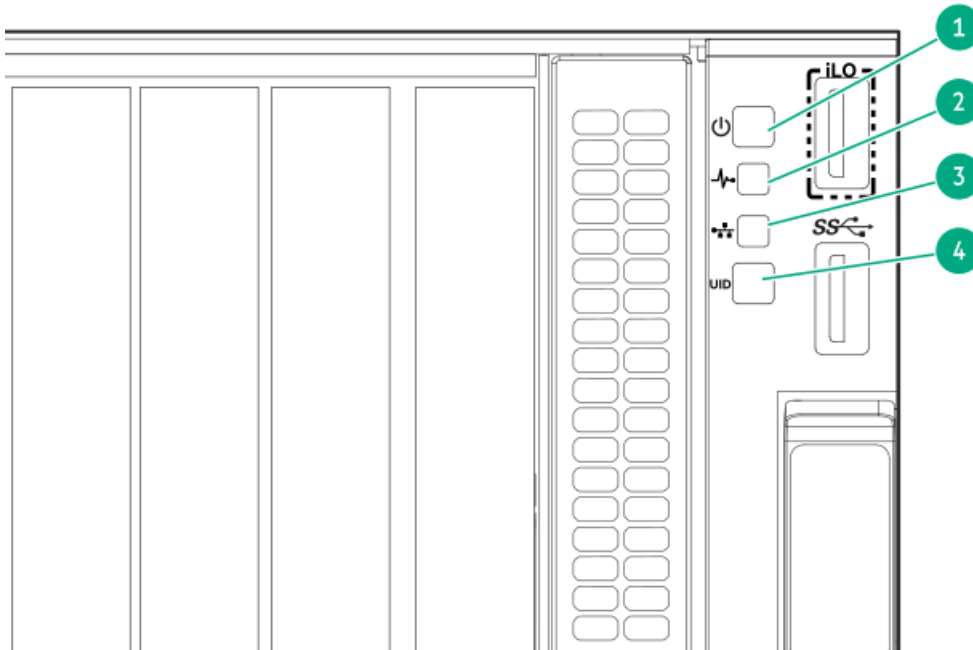
LFF (3.5型) メディアベイのコンポーネント



番号	説明
1	オプティカルディスクドライブ
2	DisplayPort 1.1a

フロントパネルのLEDとボタン

SFF (2.5型)



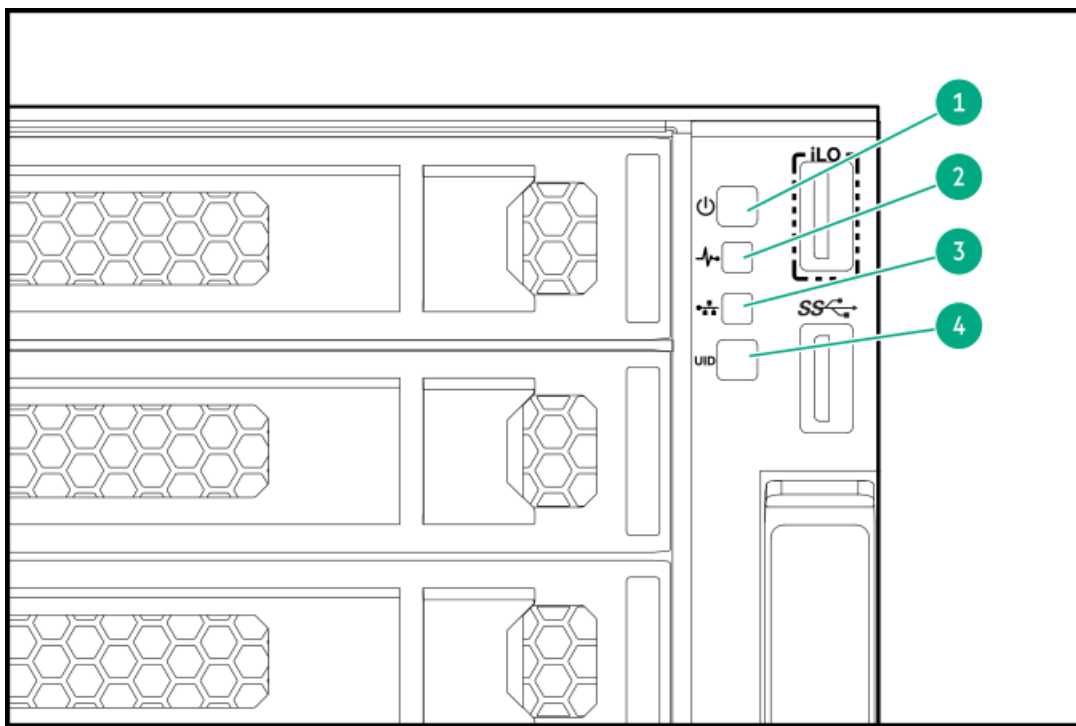
番号	説明	ステータス
1	電源オン/スタンバイボタンおよびシステム電源LED ¹	- 緑色で点灯 = システムに電源が入っています - 緑色で点滅（毎秒1回） = 電源投入シーケンスを実行中です - オレンジ色で点灯 = システムはスタンバイ状態です - 消灯 = 電源が供給されていません²
2	ヘルスLED ¹	- 緑色で点灯 = 正常 - 緑色で点滅（毎秒1回） = iLOが再起動しています - オレンジ色で点滅 = システムの機能が劣化しています - 赤色で点滅（毎秒1回） = システムに重大な障害が発生しています³
3	NICのステータスLED ¹	- 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています - 緑色で点滅（毎秒1回） = ネットワークが動作しています - 消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ¹	- 青色で点灯 = 動作しています - 青色の点滅： - 毎秒1回 = リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です - 毎秒4回 = iLOの手動再起動シーケンスが開始されました - 毎秒8回 = iLOの手動再起動シーケンスが進行中です - 消灯 = 動作していません

¹ このテーブルで説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。

² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。

³ ヘルスLEDが性能低下またはクリティカル状態を示している場合は、システムのIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

LFF (3.5型)



番号	説明	ステータス
1	電源オン/スタンバイボタンおよびシステム電源LED ¹	- 緑色で点灯 = システムに電源が入っています - 緑色で点滅（毎秒1回） = 電源投入シーケンスを実行中です - オレンジ色で点灯 = システムはスタンバイ状態です - 消灯 = 電源が供給されていません²
2	ヘルスLED ¹	- 緑色で点灯 = 正常 - 緑色で点滅（毎秒1回） = iLOが再起動しています - オレンジ色で点滅 = システムの機能が劣化しています - 赤色で点滅（毎秒1回） = システムに重大な障害が発生しています³
3	NICのステータスLED ¹	- 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています - 緑色で点滅（毎秒1回） = ネットワークが動作しています - 消灯 = ネットワークが動作していません
4	UIDボタン/LED ¹	- 青色で点灯 = 動作しています - 青色の点滅： - 毎秒1回 = リモート管理またはファームウェアアップグレードを実行中です - 毎秒4回 = iLOの手動再起動シーケンスが開始されました - 毎秒8回 = iLOの手動再起動シーケンスが進行中です - 消灯 = 動作していません

- ¹ このテーブルで説明されている4つのLEDがすべて同時に点滅する場合は、電源障害が発生しています。
- ² 電源が供給されていない、電源コードが接続されていない、電源装置が搭載されていない、電源装置が故障している、または電源ボタンケーブルが接続されていません。
- ³ ヘルスLEDが性能低下またはクリティカル状態を示している場合は、システムのIMLを確認するか、またはiLOを使用してシステムヘルスステータスを確認してください。

サブトピック

UIDボタンの機能

フロントパネルのLED電源障害コード

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

UIDボタンの機能

サーバーの電源が入らないときにUIDボタンを使用すると、ラック内の特定のサーバーを識別したり、サーバーヘルスサマリーを表示したりすることができます。詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)にある最新のHPE iLOユーザーガイド参照してください。

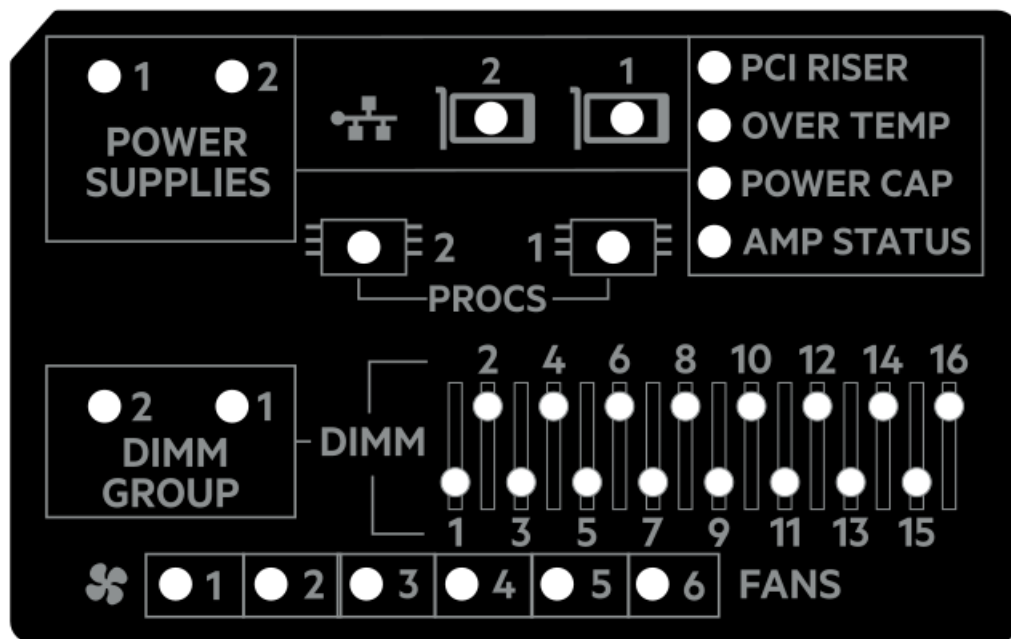
フロントパネルのLED電源障害コード

次の表は、電源障害コードと影響を受けているサブシステムのリストを提供します。すべての電源障害がすべてのサーバーに適用されるわけではありません。

サブシステム	LEDの動作
システムボード	1回の点滅
プロセッサ	2回の点滅
メモリ	3回の点滅
ライザーボードのPCIeスロット	4回の点滅
OCPアダプター	5回の点滅
ストレージコントローラー	6回の点滅
システムボードPCIeのスロット	7回の点滅
電源バックプレーン	8回の点滅
ストレージバックプレーン	9回の点滅
電源装置	10回の点滅
ライザーボードに取り付けられたPCIe拡張カード	11回の点滅
シャーシ	12回の点滅
GPUカード	13回の点滅

Systems Insight Display LED

Systems Insight Display LEDは、システムボードのレイアウトを表しています。この表示によって、取り付けられたアクセサパネルの診断が可能になります。



説明	ステータス
プロセッサ LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = プロセッサに障害が発生しています
DIMM LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMに障害が発生しているか、または構成に問題があります
DIMMグループ LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = DIMMグループに障害が発生しているか、または構成に問題があります
ファンLED	消灯 = 正常 オレンジ色 = ファンに障害が発生しているか、またはファンが認識されていません
NIC LED ¹	消灯 = ネットワークにリンクされていません 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています 緑色で点滅 = ネットワークにリンクされ動作しています 電源が切れている場合は、フロントパネルのLEDが機能しません。ステータスについては、 リアパネルのLED を参照してください。
電源装置のLED	消灯 = 正常 オレンジ色で点灯 = 電源サブシステムが劣化しているか、電源装置に障害が発生しているか、または入力電源が切断されています。
PCIライザー LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = PCIライザーケースが正しく取り付けられていません
温度超過LED	消灯 = 正常 オレンジ色 = 高温を検出
消費電力上限 LED	消灯 = システムはスタンバイの状態か、消費電力上限が設定されていません。 緑色で点灯 = 消費電力上限が適用されます
AMP ² ステータ スLED	消灯 = AMPモードが無効 緑色で点灯 = AMPモードが有効 オレンジ色で点灯 = フェイルオーバー オレンジ色で点滅 = 無効な構成

- ¹ 内蔵NICポートはサーバーに装備されていません。Systems Insight DisplayのNIC LEDは、ネットワークアダプターポートのアクティビティに応じて点滅します。デュアルポートアダプターの場合、それぞれのネットワークポートの動作に対応して、NIC LED 1と2だけが点灯します。
- ² アドバンスドメモリプロテクションを構成するには、最新の[UEFIシステムユーティリティユーザーガイド](#)を参照してください。

フロントパネルのヘルスLEDがオレンジ色または赤色に点灯した場合は、サーバーの動作で問題が発生していることを示します。これらのLEDの組み合わせについて詳しくは、[Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明](#)を参照してください。

Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明

次のLED点灯の組み合わせは、システム状態を示します。

- Systems Insight Display LED

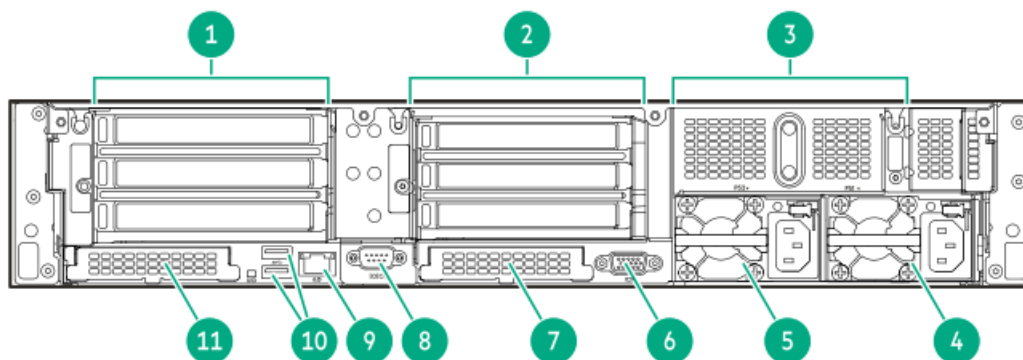
- システム電源LED
- ヘルスLED

Systems Insight Display LEDと色	ヘルスLED	システム電源LED	ステータス
プロセッサ（オレンジ色）	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 • ソケットXのプロセッサに障害が発生しました。 • プロセッサXがソケットに取り付けられていない。 • プロセッサXはサポートされていない。 • POST実行中に、故障したプロセッサをROMが検出しました。
プロセッサ（オレンジ色）	オレンジ色	緑色	ソケットXのプロセッサが障害予測状態です。
DIMM（オレンジ色）	赤色	緑色	1つ以上のDIMMに障害が発生しました。
DIMM（オレンジ色）	オレンジ色	緑色	スロットXのDIMMが障害予測状態です。
温度超過（オレンジ色）	オレンジ色	緑色	ヘルスドライバーが注意温度レベルを検出しました。
温度超過（オレンジ色）	赤色	オレンジ色	サーバーは、ハードウェアの温度がクリティカルなレベルに達したことを検出しました。
PCIライザー（オレンジ色）	赤色	緑色	PCIライザーケージが適切に固定されていません。
ファン（オレンジ色）	オレンジ色	緑色	1つのファンが故障したか取り外されています。
ファン（オレンジ色）	赤色	緑色	2つ以上のファンが故障したか取り外されています。
電源装置（オレンジ色）	赤色	オレンジ色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 • 装着されている電源装置は1台だけで、その電源装置はスタンバイの状態です。 • 電源装置の障害です。 • システムボードの障害です。

Systems Insight Display LEDと色	ヘルス LED	システム電源LED	ステータス
電源装置（オレンジ色）	オレンジ色	緑色	以下に示す1つまたは複数の状態が発生している可能性があります。 - 冗長電源装置が取り付けられており、1つの電源装置だけが機能している。 - 冗長電源装置にAC電源コードが接続されていません。 - 冗長電源装置の障害です。 - 電源装置がPOST時に適合しない、またはホットプラグによる追加作業時に不適合が発生している。
パワーキャップ（消灯）	－	オレンジ色	スタンバイ。
パワーキャップ（緑色）	－	緑色で点滅	電源投入を待っています。
パワーキャップ（緑色）	－	緑色	電力が使用可能です。
消費電力上限（オレンジ色で点滅）	－	オレンジ色	電力が使用できません。

ⓘ 重要：複数のDIMMスロットのLEDが点灯している場合は、さらにトラブルシューティングが必要です。他のすべてのDIMMを取り外して、DIMMの各バンクをテストしてください。バンクにある各DIMMを正常に動作しているDIMMと交換して、障害のあるDIMMを特定してください。

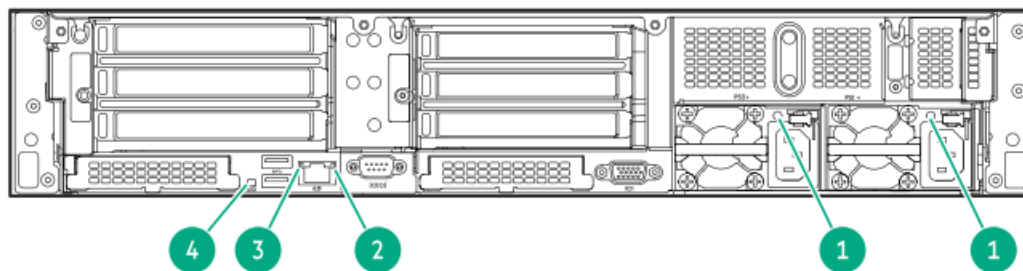
リアパネルのコンポーネント



番号 説明

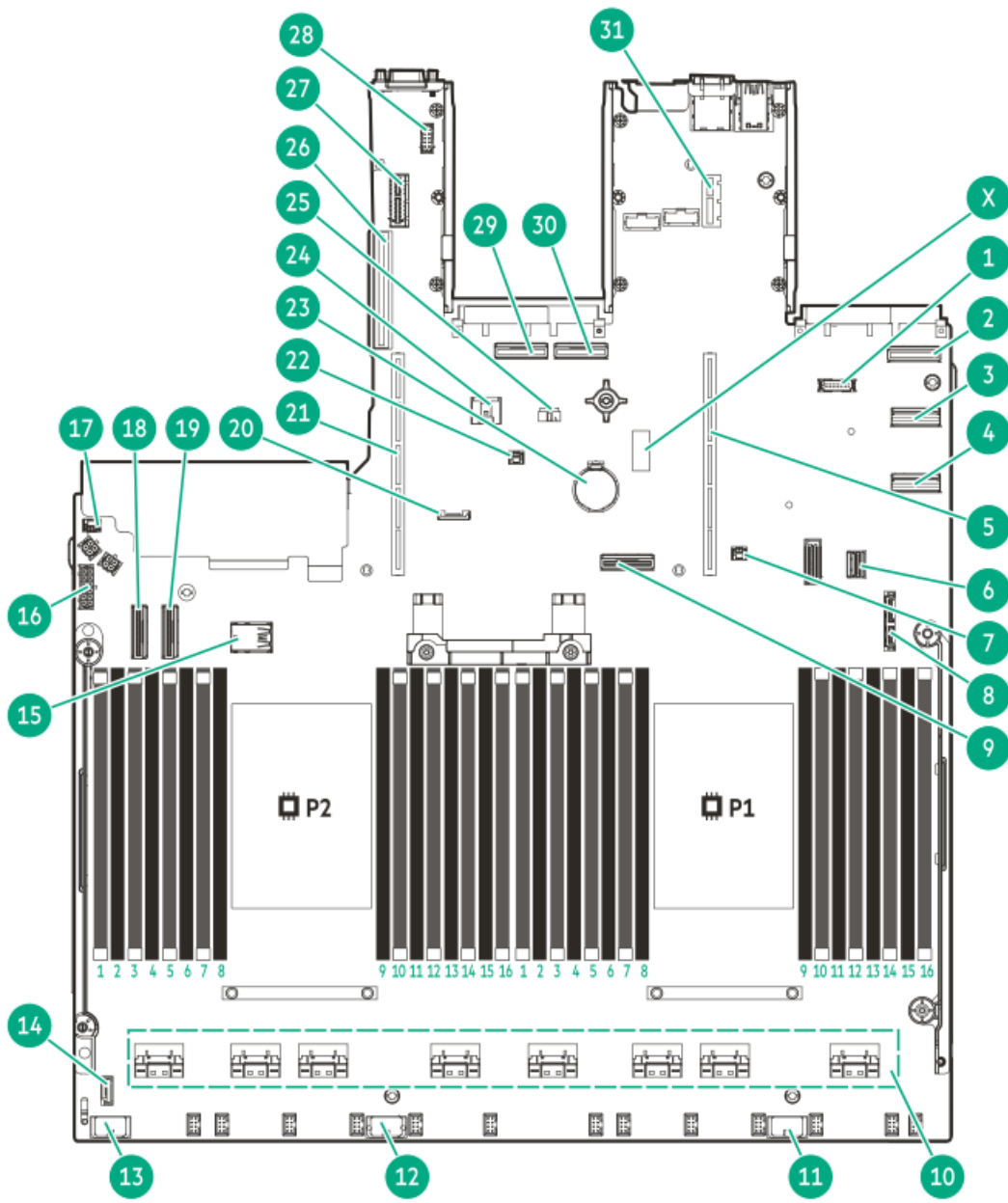
1	プライマリライザーズロット1~3 (オプションのドライブケージ)
2	セカンダリライザーズロット4~6 (オプションのドライブケージ)
3	ターシャリライザーズロット7~8 (オプションのドライブケージ)
4	電源装置1 (PS1)
5	電源装置2 (PS2)
6	ビデオポート (VGA)
7	OCPスロット15
8	シリアルポート (オプション)
9	iLOマネジメントポート
10	USB 3.2 Gen 1ポート
11	OCPスロット14

リアパネルのLED



番号	説明	ステータス
1	電源装置LED	- 消灯 = システムが停止中、または電源装置が故障している - 緑色で点灯 = 正常
2	ステータスLED	- 消灯 = ネットワークが動作していません - 緑色で点灯 = ネットワークにリンクされています - 緑色で点滅 = ネットワークが動作しています。
3	リンクLED	- 消灯 = ネットワークにリンクされていません - 緑色 = ネットワークにリンクされています
4	UID LED	- 消灯 = 動作していません - 青色で点灯 = 動作しています - 青色で点滅 = システムはリモートで管理されています

システムボードのコンポーネント



番号	説明
X	システムメンテナンススイッチ
1	フロントDisplayPort/USB 2.0コネクタ
2	OCPスロット14、ポート2
3	LP SlimSASポート2
4	LP SlimSASポート1
5	プライマリライザーコネクタ
6	フロントI/OおよびUSB 3.2 Gen 1ポートコネクタ
7	OCPスロット14バックアップ電源コネクタ
8	SATAオプティカルポート
9	ソケット1 MCIOポート1
10	x8 SlimSASポート ¹
11	ドライブボックス3の電源コネクタ
12	ドライブボックス2の電源コネクタ
13	ドライブボックス1の電源コネクタ
14	信号コネクタ
15	内部USBポート ²
16	バックプレーン電源コネクタ
17	シャーシ侵入検知スイッチコネクタ
18	ソケット2 MCIOポート2
19	ソケット2 MCIOポート1
20	SIDコネクタ
21	セカンダリライザーコネクタ
22	OCPスロット15バックアップ電源コネクタ
23	システムバッテリー
24	Energy Packコネクタ
25	NS204i-u電源コネクタ
26	ターシャリライザーコネクタ
27	セカンダリライザー用補助電源コネクタ
28	シリアルポートコネクタ（オプション）
29	OCPスロット15、ポート1
30	OCPスロット15、ポート2
31	プライマリライザー用補助電源コネクタ

¹ SlimSASポートには、左から右へ1B～4B、1A～4Aの番号が付けられています。Bはプロセッサ2用で、Aはプロセッサ1用です。

² 上 = USB 3.2 Gen 1ポート、下 = USB 2.0ポート

サブトピック

システムメンテナンススイッチの説明

DIMMラベルの識別

DIMMスロット位置

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

システムメンテナンススイッチの説明

位置	デフォルト機能	
S1 ¹	オフ	- オフ - iLOセキュリティは有効です。 - オン - iLOセキュリティは無効です。
S2	オフ	予約済み
S3	オフ	予約済み
S4	オフ	予約済み
S5 ¹	オフ	- オフ - 電源投入時パスワードは有効です。 - オン - 電源投入時パスワードは無効です。
S6 ^{1, 2, 3}	オフ	- オフ - 動作していません。 - オン - 製造時のデフォルト設定を復元します。
S7	オフ	予約済み
S8	オフ	予約済み
S9	オフ	予約済み
S10	オフ	予約済み
S11	オフ	予約済み
S12	オフ	予約済み

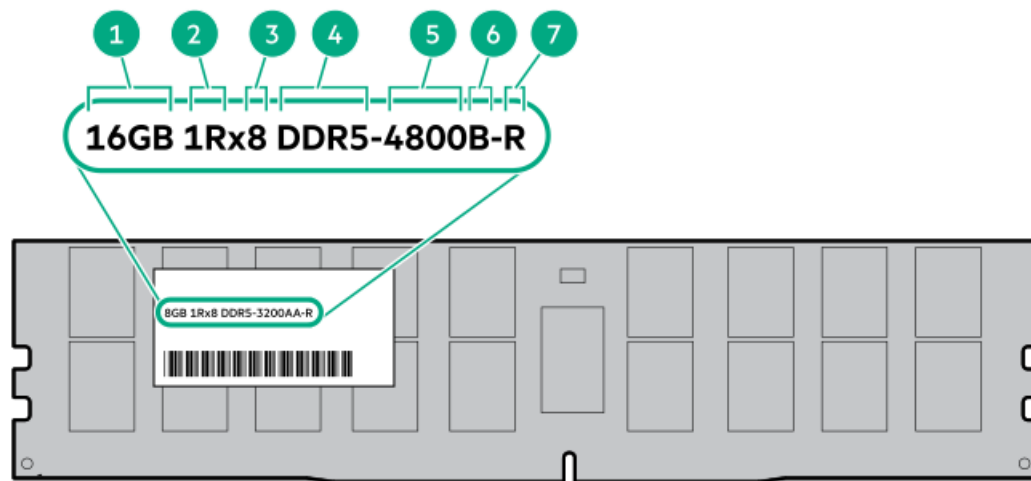
- ¹ 冗長ROMにアクセスするには、S1、S5、およびS6をオンに設定します。
- ² システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定すると、すべての構成設定を製造時のデフォルト設定に復元できるようになります。
- ³ システムメンテナンススイッチのS6をオンの位置に設定してセキュアブートを有効にすると、一部の構成は復元できません。詳しくは、サーバーの構成を参照してください。

DIMMラベルの識別

DIMMの特長を確認するには、DIMMに貼り付けられているラベルを参照してください。このセクションの情報は、ラベルを使用してDIMMの仕様情報を見つけるのに役立ちます。

製品の特長、仕様、オプション、構成、および互換性について詳しくは、HPE DDR5 SmartMemoryのQuickSpecsを参照してください。

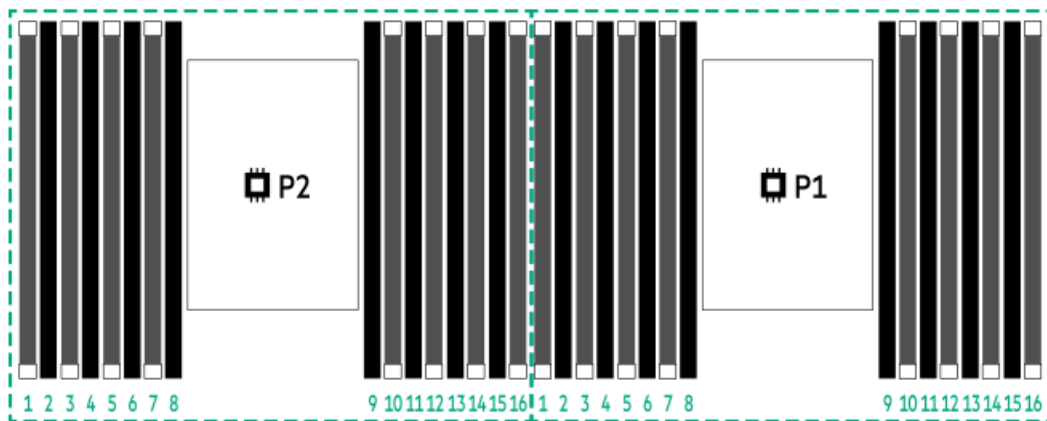
<https://www.hpe.com/docs/server-memory>



番号	説明	例
1	処理能力	16 GB 32 GB 64 GB 128 GB 256 GB
2	ランク	1R - シングルランク 2R - デュアルランク 4R - クアッドランク 8R - オクタルランク
3	DRAM上のデータ幅	x4 - 4ビット x8 - 8ビット
4	メモリ世代	PC5 - DDR5
5	メモリの最大速度	4800 MT/s
6	CASレイテンシ	B - 42-42-42 B - 50-42-42 (128 GBおよび256 GB容量の場合)
7	DIMMタイプ	R - RDIMM (レジスター付き)

DIMMスロット位置

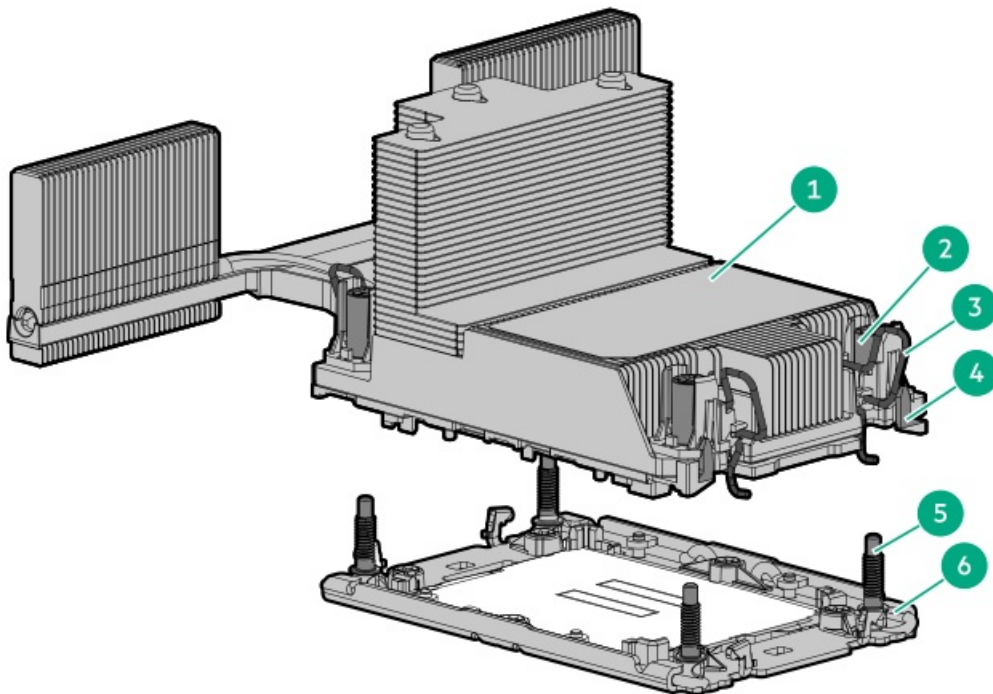
DIMMスロットは、各プロセッサごとに順番に番号（1～16）が付けられています。



Front of server

ヒートシンクおよびプロセッサソケットのコンポーネント

高性能ヒートシンクが示されています。ご使用のヒートシンクは違って見える場合があります。



番号	説明
1	プロセッサーヒートシンクモジュール ¹
2	ヒートシンクナット
3	ヒートシンクラッチ
4	プロセッサークャリアラッチ
5	調整ネジ
6	ボルスタープレート

¹ このモジュールは、キャリアに固定済みのプロセッサーに接続されたヒートシンクで構成されています。

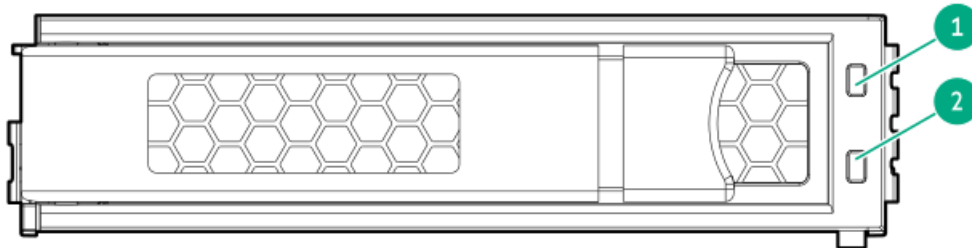
HPEのベーシックドライブのLEDの定義

HPEのベーシックドライブキャリアには、次のLEDがあります。

- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

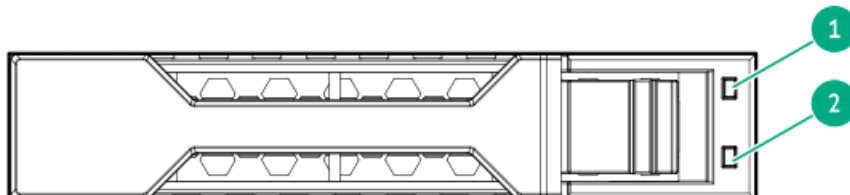
LFF（3.5型）ロープロファイルドライブキャリア

LFF（3.5型）ロープロファイルドライブキャリアはホットプラグSASまたはSATAをサポートしています。



SFF（2.5型）ベーシックドライブキャリア

SFF（2.5型）ベーシックドライブキャリアはホットプラグSAS、SATA、またはU.3 NVMeをサポートしています。



番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの動作として以下のいずれかを示します。 - RAIDの再構築または実行 - ストリップサイズの移行の実行 - 容量拡張の実行 - 論理ドライブの拡張の実行 - 消去 - スペア部品のアクティブ化操作
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブで、RAIDコントローラーによる構成が行われていないか、またはスペアドライブです。

EDSFF SSDのLEDの定義

このサーバーでは、ホットプラグ対応のEnterprise and Data Center Standard Form Factor (EDSFF) ドライブをサポートします。具体的には、E3.Sフォームファクター PCIe5 NVMe SSDです。EDSFFドライブキャリアには、次の2つのLEDがあります。

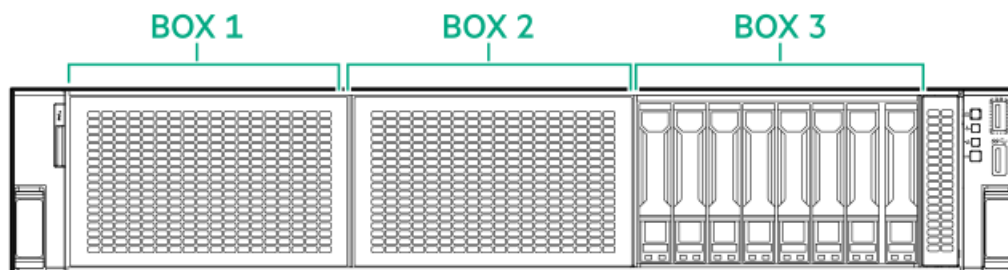
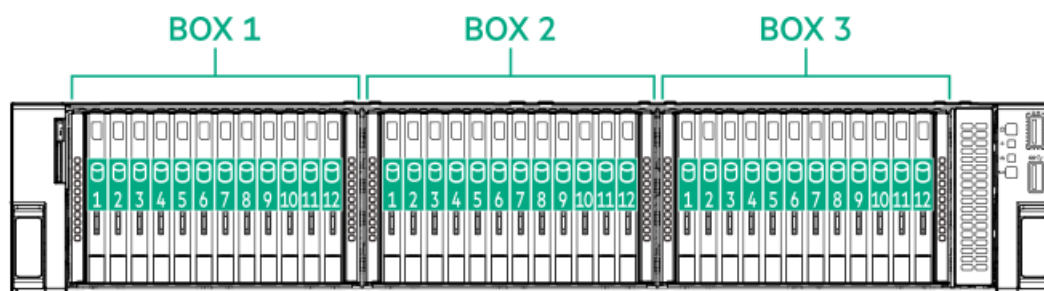
- オレンジ色/青色のLED - ストレージコントローラーと連動するドライブバックプレーンによって管理され、ドライブのステータスを示すために使用されます。
- 緑色のLED - ドライブ自体によって管理され、ドライブ動作中を示します。

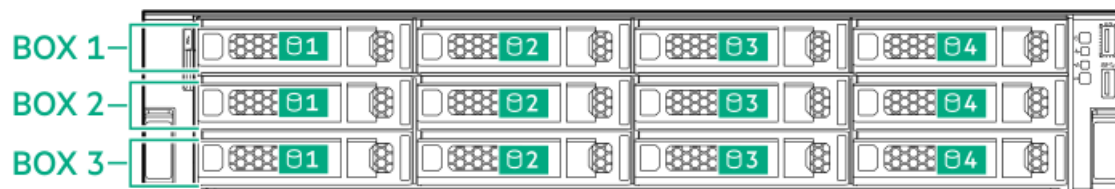
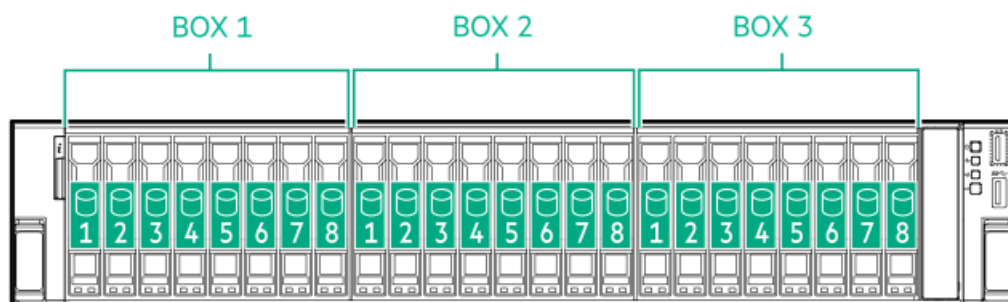
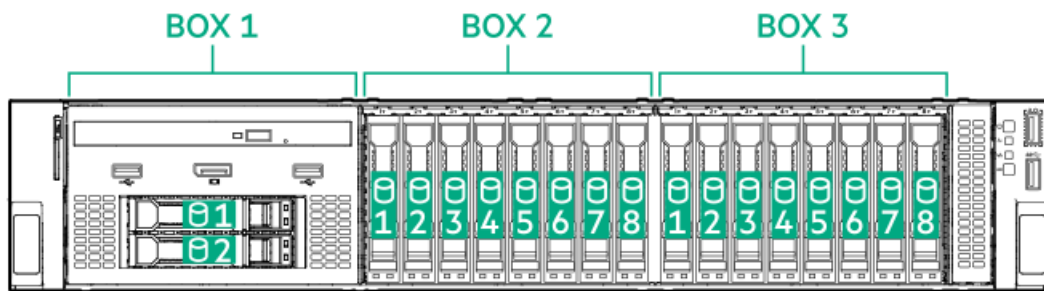


番号	LED	状態	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	このドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、このドライブの障害予測アラートが受信されました。また、ドライブは管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	このドライブの障害予測アラートを受信しています。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティブです。
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	電源が供給されていません

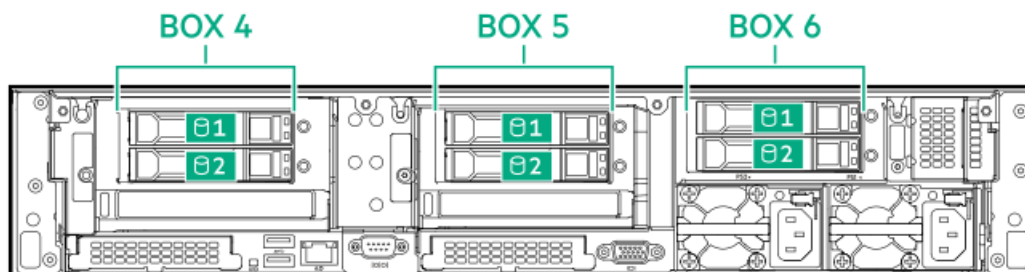
ドライブボックスと番号

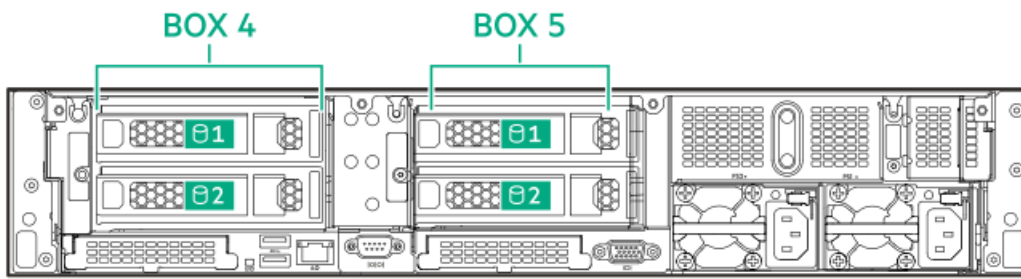
フロントボックス



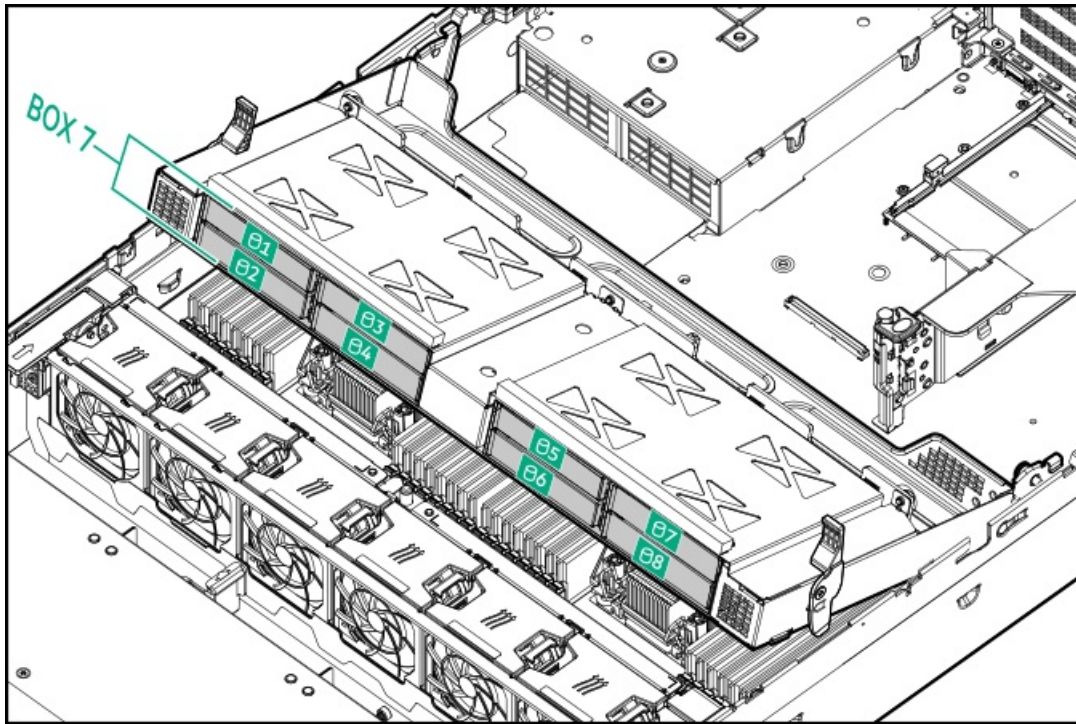


リアボックス

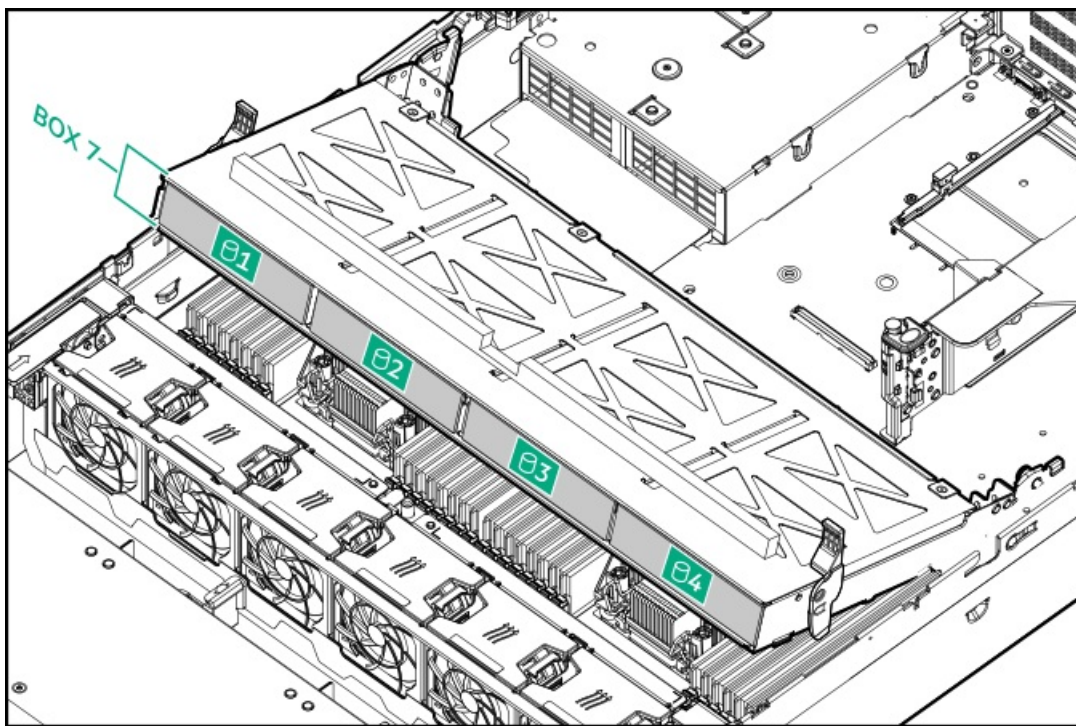




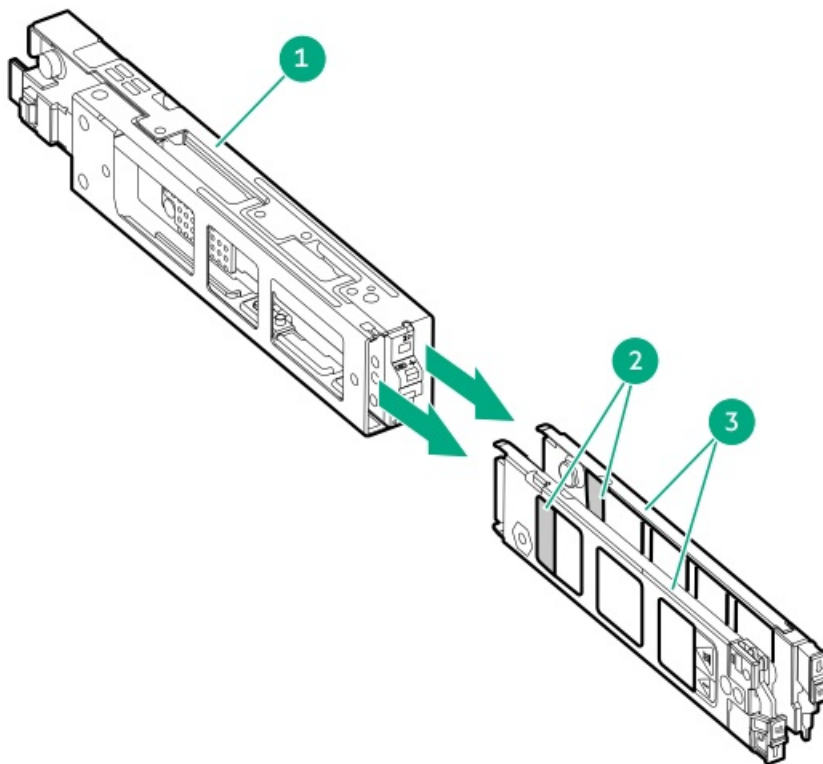
ミッドプレーンボックス（SFF（2.5型））



ミッドプレーンボックス（LFF（3.5型））



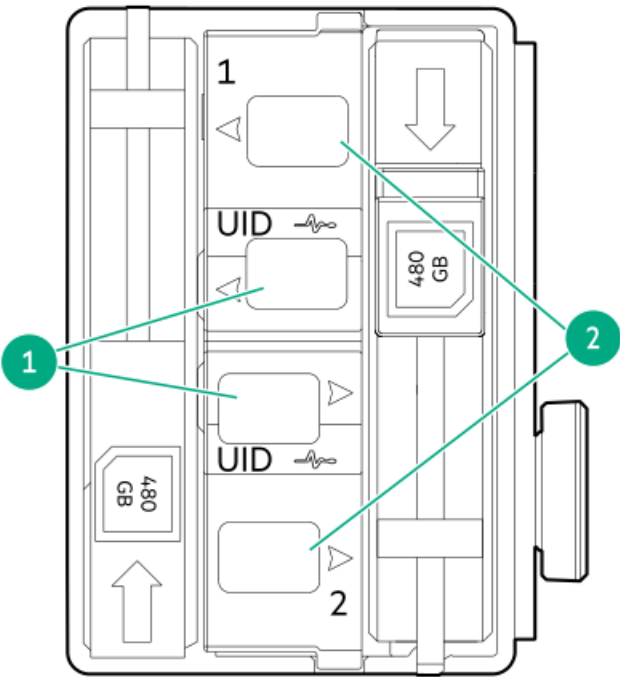
HPE NS204i-uブートデバイスのコンポーネント



番号 説明

1	ブートデバイスケージ
2	M.2スロット
3	ブートデバイスキャリア

HPE NS204i-uブートデバイスのLEDの定義



番号	LED	ステータス	定義
1	障害/位置確認	オレンジ色で点灯	ドライブが故障したか、サポートされていないか、無効です。
		青色で点灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されています。
		オレンジ色/青色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブに障害が発生したか、ドライブの障害予測アラートが受信されました。また、このドライブが管理アプリケーションによって識別されました。
		オレンジ色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブの障害予測アラートが受信されました。できるだけ早くドライブを交換してください。
		消灯	ドライブは正常に動作しており、管理アプリケーションによって識別されていません。
2	オンライン/動作	緑色で点灯	ドライブはオンラインで、アクティビティはありません。
		緑色で点滅（毎秒1回点滅）	ドライブは以下のいずれかを実行中です。 - RAIDの再構築または実行 - 消去
		緑色で点滅（毎秒4回点滅）	ドライブは正常に動作しており、アクティブです。
		消灯	ドライブは、RAIDコントローラーによって構成されていないか、またはスペアドライブです。

セットアップ

サブトピック

オプションサービス

経験豊富な認定を受けたエンジニアによって提供されるHPEサポートサービスでは、HPE ProLiantシステム専用で作成されたサポートパッケージを通じて、サーバーの安定稼働に貢献します。HPEサポートサービスをご利用いただくと、ハードウェアサポートとソフトウェアサポートの両方を単一のパッケージに統合できます。お客様のビジネスおよびITニーズに合わせて、いくつかのサービスレベルオプションが用意されています。

HPEサポートサービスの購入しやすく使い勝手のよいサポートパッケージは、標準の製品保証を拡張するアップグレードされたサービスレベルを提供し、サーバーへの投資を最大限に活用するお手伝いをします。ハードウェア、ソフトウェア、またはその両方のHPEサポートサービスの一部は次のとおりです。

- HPE Pointnext Tech Care - システムの稼働を維持します。

このサービスの時間の約束は、お客様の地域によって異なることがあります。お客様の地域で利用可能なサービスについて詳しくは、最寄りのHPEサポートセンターにお問い合わせください。

- ハードウェアとソフトウェア両方の展開サービス。
- HPE教育サービス - ITスタッフのトレーニングを支援します。

HPEサポートサービスについて詳しくは、HPE PointnextのWebサイトを参照してください。

<https://www.hpe.com/services>

サーバーをセットアップする

前提条件

サーバーをセットアップする前に、次の操作を行います。

- サーバーの動作要件を確認します。
動作要件
- HPE Webサイト上の安全性とコンプライアンス情報を確認します。
<http://www.hpe.com/support/safety-compliance-enterpriseproducts>

手順

1. サーバーボックスの内容を確認します。
 - サーバー
 - 電源コード
 - ラックマウント用ハードウェア部品
 - ドキュメント
2. (オプション) ハードウェアオプションを取り付けます。
3. サーバーをラックに取り付けます。

ラックの手順書は、ラックレールに付属しています。

 - a. サーバーに、デバイス、ケーブル、およびコードを接続します。
 - b. ケーブルマネジメントアームを使用して、ケーブルを固定します。
4. サーバーの管理方法を決定します。

- ローカル管理の場合：KVMスイッチを使用するか、キーボード、モニター、およびマウスを接続します。
- リモート管理の場合：リモートコンソールを使用してiLO Webインターフェイスに接続します。
 - iLOマネジメントポートが安全なネットワークに接続されていることを確認します。
 - ブラウザを使用して、iLOのWebインターフェイスに移動し、ログインします。

`https://<iLOホスト名またはIPアドレス>`

以下の点に注意してください。

- ホスト名はシリアルプルタブにあります。
 - DHCPサーバーにIPアドレスを割り当てると、ブート画面にIPアドレスが表示されます。
 - 静的IPアドレスが割り当てられている場合は、そのIPアドレスを使用します。
 - デフォルトのログイン認証情報は、シリアルラベルプルタブにあります。
 - サイドナビゲーションで、リモートコンソールおよびメディアリンクをクリックしてから、リモートコンソールを起動します。
5. 電源オン/スタンバイボタンを押します。
- リモートで管理する場合は、iLOの仮想電源ボタンを使用します。

サブトピック

動作要件

ラックに関する警告と注意事項

サーバーに関する警告と注意事項

静電気対策

動作要件

サブトピック

空間および通気要件

温度要件

電源要件

アース要件

空間および通気要件

修理をしやすくし、また通気をよくするために、ラックの設置場所を決定する際には、次の空間要件に従ってください。

- ラックの正面に63.5 cm（25インチ）以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面に76.2 cm（30インチ）以上の隙間をあけてください。
- ラックの背面から別のラックまたはラック列の背面まで121.9 cm（48インチ）以上の隙間をあけてください。

Hewlett Packard Enterprise製サーバーは、冷気をフロントドアから吸収して、内部の熱気をリアドアから排出します。したがって、ラックの正面ドアと背面ドアで適切な通気を行い、室内の空気が十分にキャビネットに入るようにする必要があります。また、背面ドアで適切な通気を行い、暖気がキャビネットから出ていくようにする必要があります。



注意： 不十分な冷却や装置の損傷を防止するため、通気用開口部は塞がないようにしてください。

ラック内の縦方向のスペースにサーバーやラックコンポーネントが設置されていない場合、コンポーネント間の隙間が原因でラック全体およびサーバー間の空気の流れが変動することがあります。ブランクパネルですべての隙間を埋め、適切な通気を確保してください。



注意：ラック内の空の縦スペースを満たすには必ずブランクパネルを使用してください。これにより、適切な通気が確保されます。ブランクパネルなしでラックを使用すると、冷却が不適切になり、高温による損傷が発生する可能性があります。

9000および10000シリーズのラックは、通気のための64%の開口部を備えた正面および背面ドアの通気孔から適切なサーバー冷却を提供します。



注意：Compaqブランドの7000シリーズラックを使用する場合は、前面から背面への適切な通気と冷却機能を提供するため、ハイエアフローラックドアインサート（42Uラックの場合はPN 327281-B21、22Uラックの場合はPN 157847-B21）を取り付けます。



注意：

他社製ラックを使用する場合、適切な通気を確保し装置の損傷を防ぐため、以下の追加要件に従ってください。

- 正面および背面ドア-42Uラックに正面および背面ドアがある場合、ラックの上部から下部にかけて5,350平方cm（830平方インチ）の通気孔（通気に必要な64パーセントの開口部と同等）を均等に確保し、十分な通気が行われるようにします。
- 側面-取り付けられたラックコンポーネントとラックのサイドパネルの間は7 cm（2.75インチ）以上の隙間をあける必要があります。

温度要件

装置が安全で正常に動作するように、通気がよく温度管理の行き届いた場所にシステムを取り付けまたは配置してください。

ほとんどのサーバー製品で推奨している最大周囲動作温度（TMRA）は、35° C（95° F）です。ラックを設置する室内の温度は、35° C（95° F）を超えてはなりません。



注意：他社製オプションをインストールする場合に装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- オプションの装置によって、サーバー周囲の通気が妨げられたり、内部のラック温度が許容される上限を超えて上昇したりすることがないようにしてください。
- 製造元のTMRAを超えないでください。

電源要件

この装置は、資格のある電気技師が情報技術機器の取り付けについて規定したご使用の地域の電気規格に従って取り付けしなければなりません。この装置は、NFPA 70, 1999 Edition（全国的な電気規約）およびNFPA-75, 1992（電気コンピューター/データ処理装置の保護に関する規約）の適用対象となる取り付けで動作するように設計されています。オプションの電源の定格については、製品の定格ラベルまたはそのオプションに付属のユーザードキュメントを参照してください。



警告：けが、火災、または装置の損傷を防止するために、ラックに電源を供給するAC電源分岐回路の定格負荷を超えないようにしてください。施設の配線および取り付け要件については管轄する電力会社にお問い合わせください。



注意：サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPS（無停電電源装置）を使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもシステムが動作を継続できるようにします。

アース要件

適切な動作および安全のために、このサーバーは正しくアースされている必要があります。米国では、必ず地域の建築基準だけでなく、NFPA 70、National Electric Code第250項に従って装置を設置してください。カナダでは、Canadian Standards Association, CSA C22.1, Canadian Electrical Codeに従って装置を取り付ける必要があります。その他のすべての国では、International Electrotechnical Commission (IEC) Code 364の第1部から第7部など、地域または全国的な電気配線規約に従って装置を取り付ける必要があります。さらに、取り付けに使用される分岐線、コンセントなどの配電装置はすべて、指定または認可されたアース付き装置でなければなりません。

同じ電源に接続された複数のサーバーから発生する高圧漏れ電流を防止するために、Hewlett Packard Enterpriseでは、建物の分岐回路に固定的に接続されているか、工業用プラグに接続される着脱不能コードを装備した、PDUを使用することをお勧めします。NEMAロック式プラグまたはIEC 60309に準拠するプラグは、この目的に適しています。サーバーに一般的な電源延長コードを使用することは推奨されません。

ラックに関する警告と注意事項



警告：

すべてのコンポーネントが取り外されると、サーバーの重量は16.00 kg（35.27ポンド）になります。すべてのコンポーネントを取り付けると、サーバーの重量は最大で37.00 kg（81.57ポンド）になります。

ラックソリューションを構成する前に、必ず、ラックメーカーの重量制限と仕様を確認してください。これに従わないと、けがをしたり、装置や施設の損傷が発生する可能性があります。



警告：

サーバーはかなりの重量があります。けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- 手動での装置の取り扱いに関する、地域の労働衛生および安全に関する要件およびガイドラインに従ってください。
- サーバーの取り付けおよび取り外し作業中には、特に本体がレールに取り付けられていない場合、必ず適切な人数で製品を持ち上げたり固定したりする作業を行ってください。サーバーの重量は16.00 kg（35.27ポンド）を超えているため、サーバーを持ち上げてサーバーに取り付ける際は、必ず2人以上で作業を行ってください。サーバーを胸より高く持ち上げるときは、サーバーの位置を合わせるためにさらに人数が必要になる場合があります。
- サーバーをラックへ取り付ける、またはサーバーをサーバーから取り外す際には、サーバーがレールに固定されていないと、不安定になるので注意してください。
- コンポーネントをサーバーの外部に引き出す前に、サーバーを安定させてください。また、コンポーネントは1つずつ引き出してください。一度に複数のコンポーネントを引き出すと、サーバーが不安定になる場合があります。
- レールマウントされたコンポーネントの上に物を積み重ねたり、ラックから引き出したときに作業台として使用したりしないでください。

**警告:**

けがや装置の損傷を防止するために、次の点に注意してください。

- ラックには適切な転倒防止措置が施されています。この措置には、ラックの製造元や該当する規約によって規定されている、ボルトによる床への固定、転倒防止脚、安定器、またはそれらの組み合わせがあります。
- 水平ジャック (脚) は床まで延びています。
- ラックの全重量が水平ジャック (脚) にかかっています。
- 1つのラックだけを設置する場合は、ラックに固定脚を取り付けてください。
- 複数ラックの取り付けではラックを連結してください。

**警告:**

けがや装置の損傷を防止するために、ラックを降ろすときには、次の点に注意してください。

- 荷台からラックを降ろす際は、2人以上で作業を行ってください。42Uラックは何も載せていない場合でも重量が115 kgで、高さは2.1 mを超えることがあるため、キャスターを使って移動させるときに不安定になる可能性があります。
- ラックを傾斜路に沿って移動する際は、ラックの正面に立たないで、必ず、両側から支えてください。

**注意:**

最も重いアイテムがラックの最下部になるように、常にラックの取り付けを計画してください。最も重いアイテムを最初に取り付け、下から上へとラックへの搭載を続けてください。

**注意:**

サーバーにサーバーを取り付ける前に、サーバーの制限事項の範囲を適切に定めてください。また、取り付けを続行する前に、以下の点を考慮してください。

- サーバーの静止時と変化時の積載能力を完全に理解し、サーバーの重量に対応できることを確認する必要があります。
- サーバーのケーブル配線、取り付けと取り外し、およびラックドアの作動のための十分な隙間が存在することを確認します。

サーバーに関する警告と注意事項

**警告:**

けが、感電、または装置の損傷を防止するために、電源コードを抜き取って、サーバーに電源が供給されないようにしてください。電源ボタンを押してもシステムの電源を完全に切ることはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。

**警告:**

Energy Packを取り外した後に、火災や火傷のリスクを低減するために:

- Energy Packを分解したり、つぶしたり、穴を開けたりしないでください。
- 外部接点をショートさせないでください。
- Energy Packを火や水の中に投じないでください。
- 爆発または可燃性の液体やガスの漏れにつながる可能性があるため、Energy Packを低い空気圧にさらさないでください。
- Energy Packを60° C以上の高温にさらさないでください。

電源が切断された後でも、バッテリー電圧が1秒から160秒間残る可能性があります。

**注意:**

サーバーを不安定な電源および一時的な停電から保護するために、UPSを使用してください。UPSは、電源サージや電圧スパイクによって発生する損傷からハードウェアを保護し、停電中でもサーバーが動作を継続できるようにします。

**注意:**

電子部品の損傷を防止するために、正しくアースを行ってから取り付け、取り外し、または交換手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

**注意:**

データ損失を防ぐために、Hewlett Packard Enterpriseではハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップすることをお勧めします。



注意: アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われず、冷却機構が正常に動作しなくなるため、高温によって装置が損傷する可能性があります。

静電気対策

システムをセットアップしたり、コンポーネントを取り扱う際に従わなければならない注意事項を必ず守ってください。人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。その結果、システムまたはコンポーネントの耐用年数が短くなることがあります。

静電気による損傷を防止するには、次の点に注意してください。

- 運搬や保管の際は、静電気防止用のケースに入れ、手で直接触れることは避けます。
- 静電気に弱い部品は、静電気防止措置のなされている作業台に置くまでは、専用のケースに入れたままにしておきます。
- 部品をケースから取り出す前に、まずケースごと、アースされている面に置きます。
- ピン、リード線、または回路には触れないようにします。
- 静電気に弱い部品に触れなければならないときには、常に自分の身体に対して適切なアースを行います。静電気に弱い部品を取り扱うときには、以下のうち1つ以上の方法でアースを行ってください。
 - すでにアースされているワークステーションまたはコンピューターシャーシにアースバンドをつなぎます。アースバンドは柔軟な帯状のもので、アースコード内の抵抗は、1 MΩ ± 10%です。アースを正しく行うために、アースバ

ンドを肌に密着させてください。

- 立って作業する場合、かかとやつま先にアースバンドを付けます。導電性または静電気拡散性の床の場合、両足にアースバンドを付けます。
- 作業用具は導電性のものを使用します。
- 折りたたみ式の静電気防止マットなどが付いた携帯式作業用具もあります。

上記のような、適切なアースを行うための器具がないときは、製品販売店にお問い合わせください。

静電気の詳細および製品のインストールの支援については、製品販売店にお問い合わせください。

操作

サブトピック

サーバーの電源を入れる
サーバーの電源を切る
ラックからサーバーを引き出す
サーバーをラックから取り外す
ベゼルを取り外す
アクセスパネルを取り外す
アクセスパネルを取り付ける
ファンケージを取り外す
ファンケージを取り付ける
エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す
エアバッフルを取り付ける
ライザーケージを取り外す
ケーブルマネジメントアームを解放する
Systems Insight Displayにアクセスする

サーバーの電源を入れる

このタスクについて

サーバーの電源を入れるには、以下のいずれかの方法を使用します。

- 電源ボタンを押します。
- iLO経由の仮想電源ボタンを使用します。

サーバーの電源を切る

アップグレードやメンテナンスの手順でサーバーの電源を切る前に、重要なサーバーデータとプログラムのバックアップを実行してください。



重要:

サーバーがスタンバイモードになっていても、システムへの補助電源の供給は続行します。

以下のいずれかの方法で、サーバーの電源を切ります。

- 電源ボタンを押して離します。

この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSの制御されたシャットダウンを有効にします。また、OS構成またはポリシーによって管理されるシャットダウン動作を有効にすることもできます。

- 電源ボタンを4秒以上押したままにして、強制的にサーバーをスタンバイモードにします。
この方法は、正しい順序でアプリケーションとOSを終了せずに、サーバーを強制的にスタンバイモードにします。アプリケーションが応答しなくなった場合は、この方法で強制的にシャットダウンすることができます。
- iLO経由の仮想電源ボタンを使用する。
この方法は、サーバーがスタンバイモードに入る前に、アプリケーションとOSを正しい順序でリモートでシャットダウンします。

手順を続行する前に、サーバーがスタンバイモード（システム電源LEDがオレンジ色）になっていることを確認してください。

ラックからサーバーを引き出す

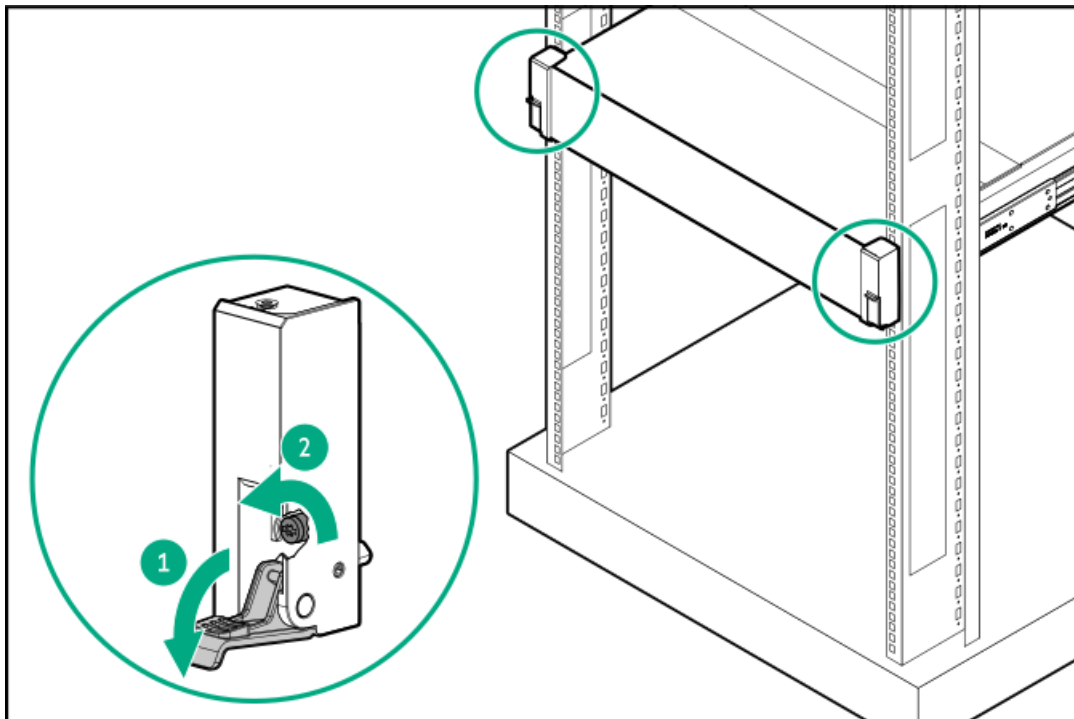
このタスクについて



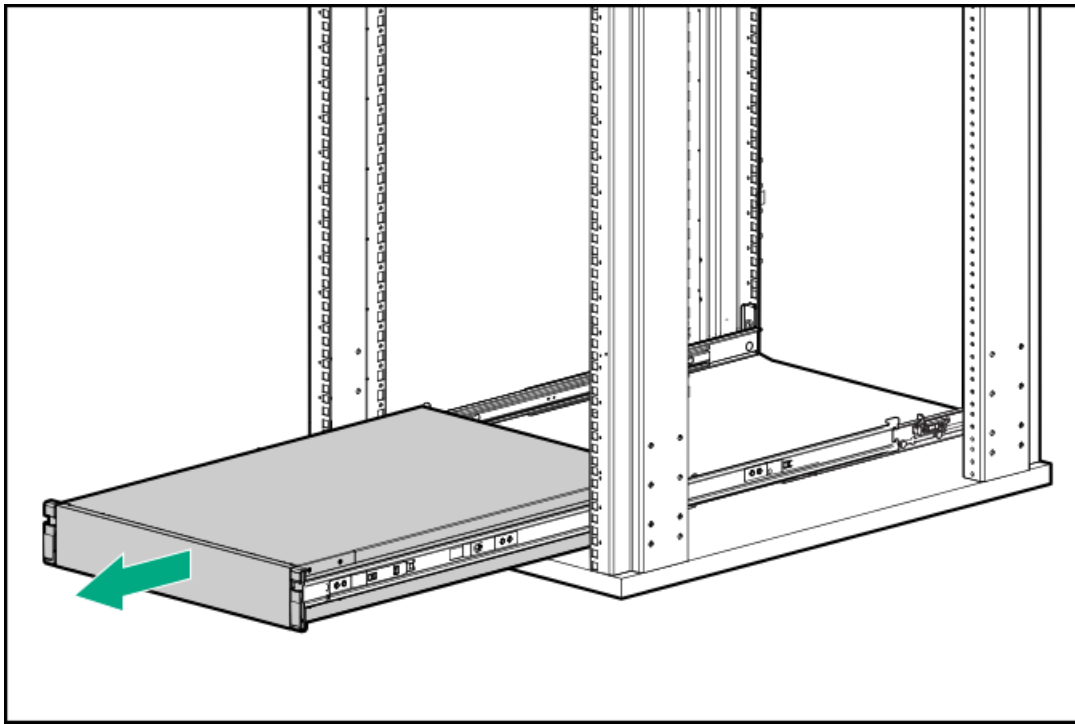
警告：けがや装置の損傷の危険を防止するため、何らかのコンポーネントをラックから引き出す前に、ラックが十分に安定していることを確認してください。

手順

- サーバーの正面左右にあるクイックリリースレバーを引き下ろします。
- 必要に応じて、T-25トルクスドライバーを使用して輸送用ネジを緩めます。



- サーバーをラックから引き出します。



サーバーをラックから取り外す

前提条件

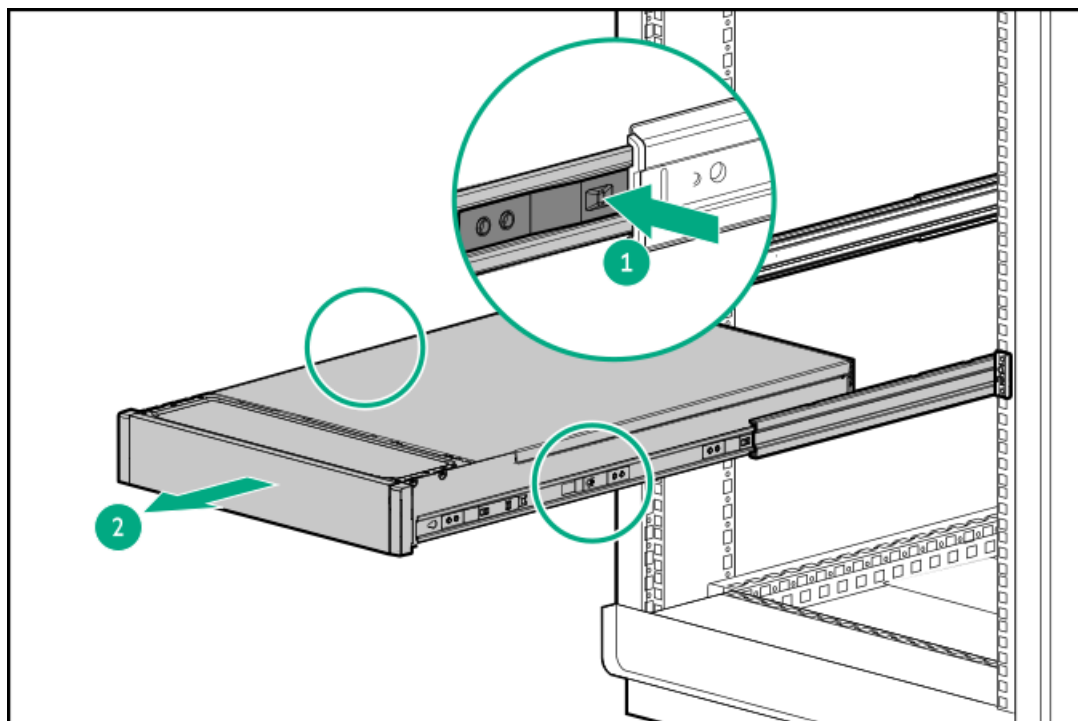
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
- T-25トルクスドライバー

このタスクについて

Hewlett Packard Enterprise製、Compaqブランド、Telco、または他社製ラックからサーバーを取り外すには、以下の手順に従ってください。

手順

1. [サーバーの電源を切ります。](#)
2. 背面のケーブル接続を外します。
3. [サーバーをラックから引き出します。](#)
4. レールラッチを解除して、サーバーをラックから取り外します。

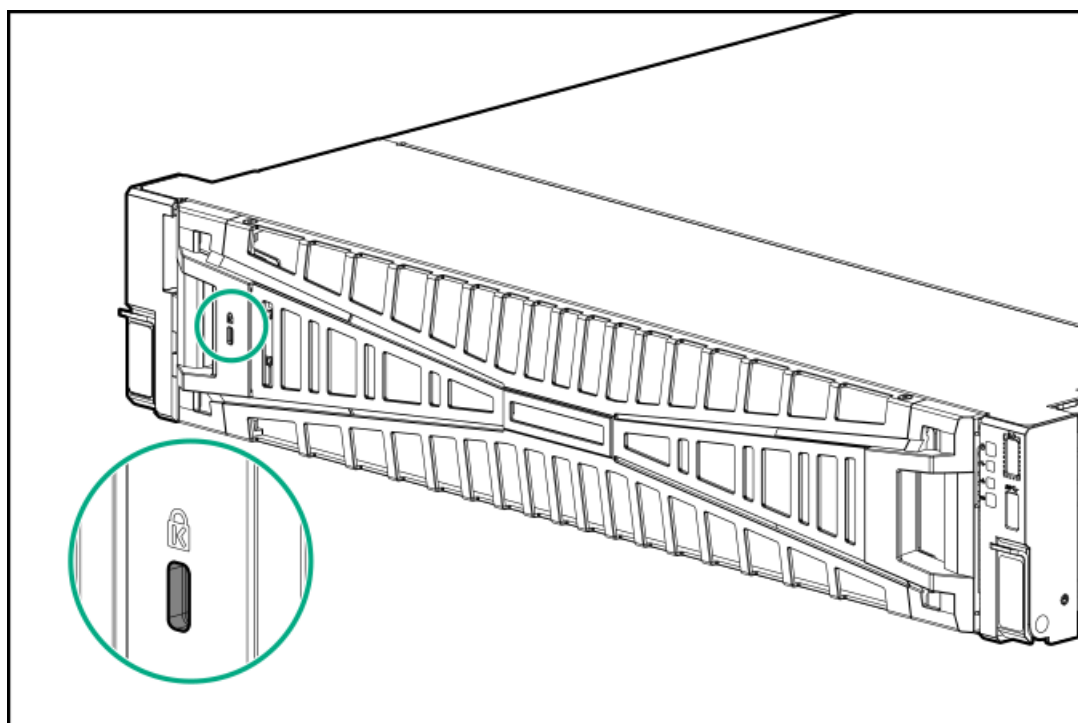


5. サーバーを安定した水平な面に置きます。

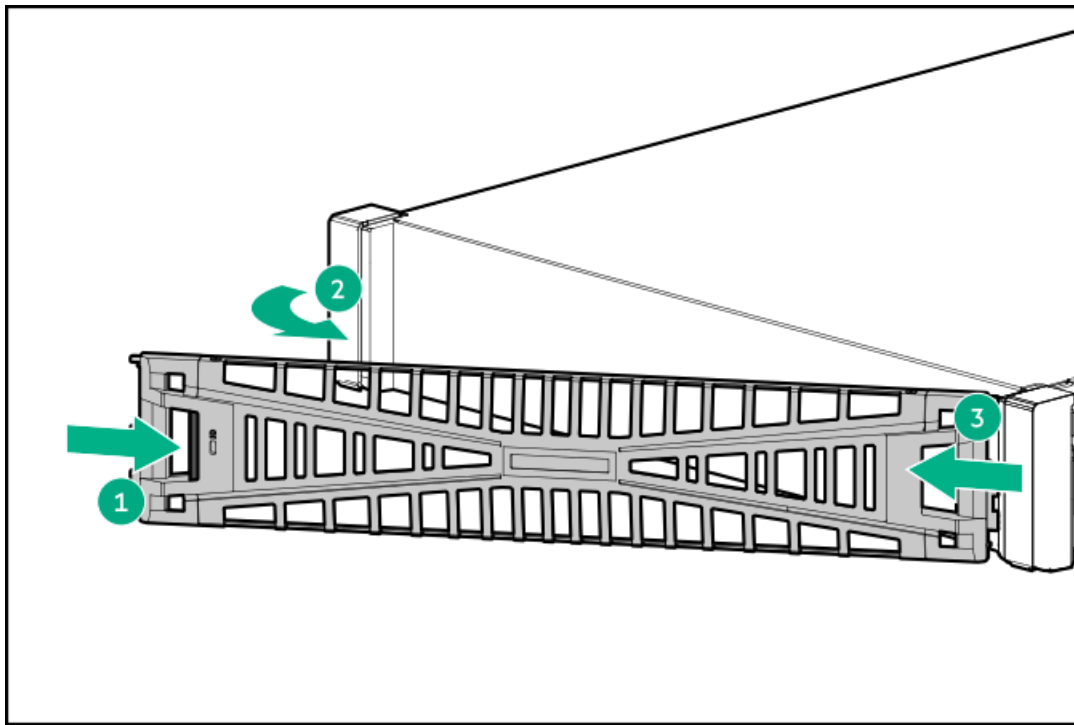
ベゼルを取り外す

手順

1. Kensingtonセキュリティロックが取り付けられている場合は、取り外します。



2. ベゼルを取り外します。



アクセスパネルを取り外す

このタスクについて



警告： 高温面でやけどをしないように、ドライブ、電源、内部のコンポーネントの温度が十分に下がってから手を触れてください。

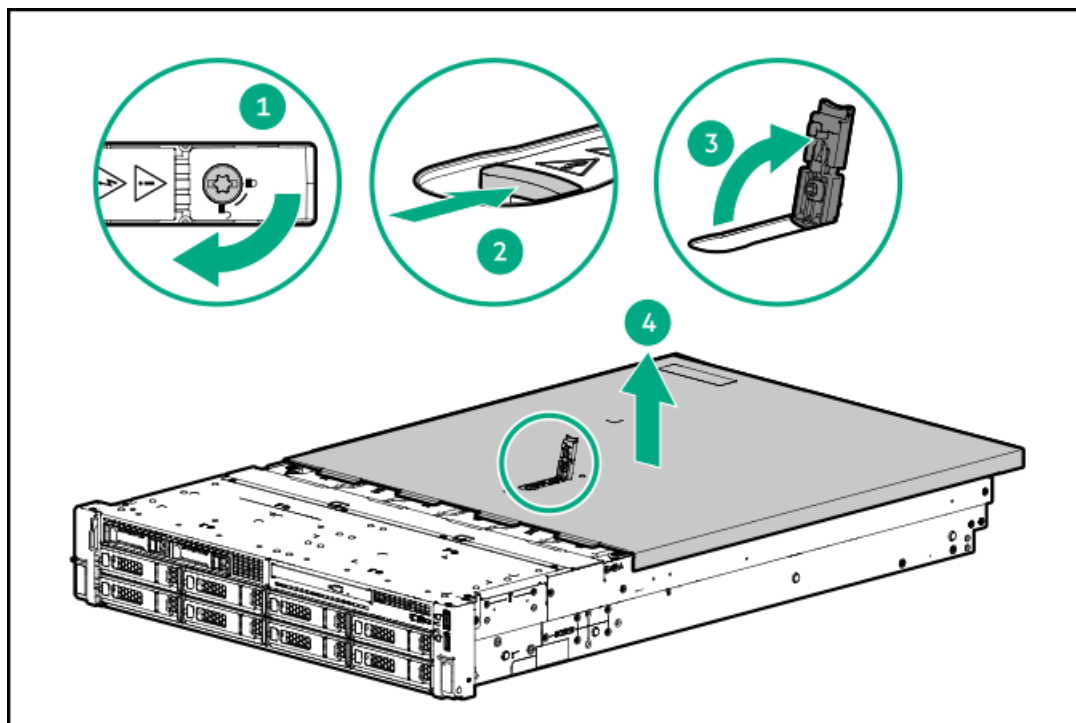


注意：

アクセスパネルを開いた状態または取り外した状態で、シャーシを長期にわたって動作させないでください。このようなマナーでシャーシを動作させると、不適切な通気および不適切な冷却により、温度損傷につながる可能性があります。

手順

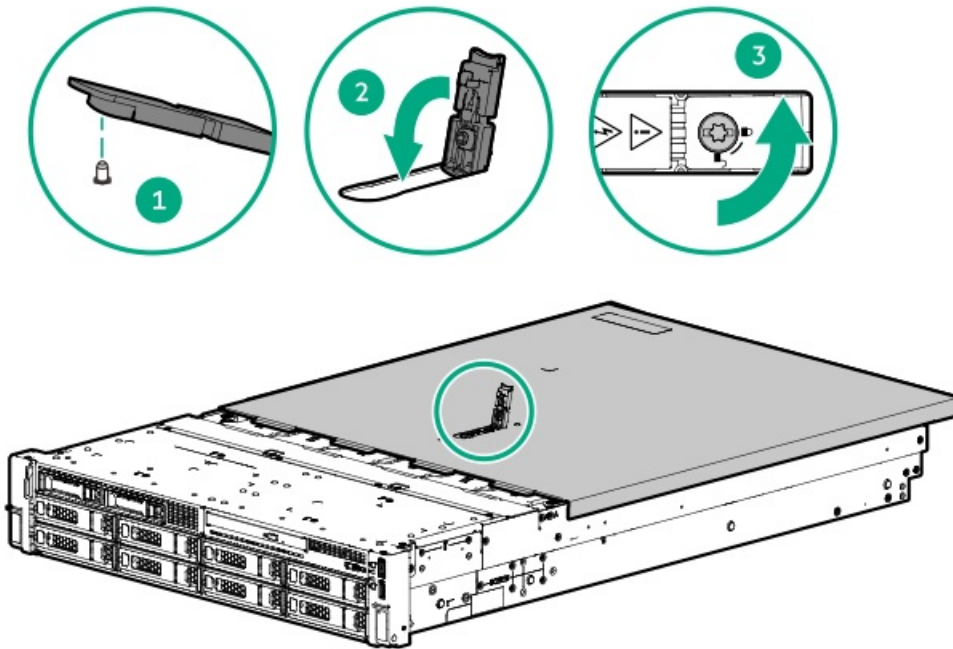
1. サーバーの電源を切ります。
2. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを解放します。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. ロック用ラッチを開くかロックを解除し、アクセスパネルをシャーシの背面側にスライドさせて、アクセスパネルを取り外します。



アクセスパネルを取り付ける

手順

1. ラッチを開いたまま、アクセスパネルをサーバーの上に置きます。
アクセスパネルの位置をずらして、サーバーの背面側から約1.25 cm (0.5インチ) 出るようにしてください。
2. ラッチを押し下げます。
アクセスパネルが完全に閉じるまでスライドさせます。
3. 必要に応じて、ラッチのセキュリティネジを締めます。



ファンケージを取り外す

このタスクについて



注意:

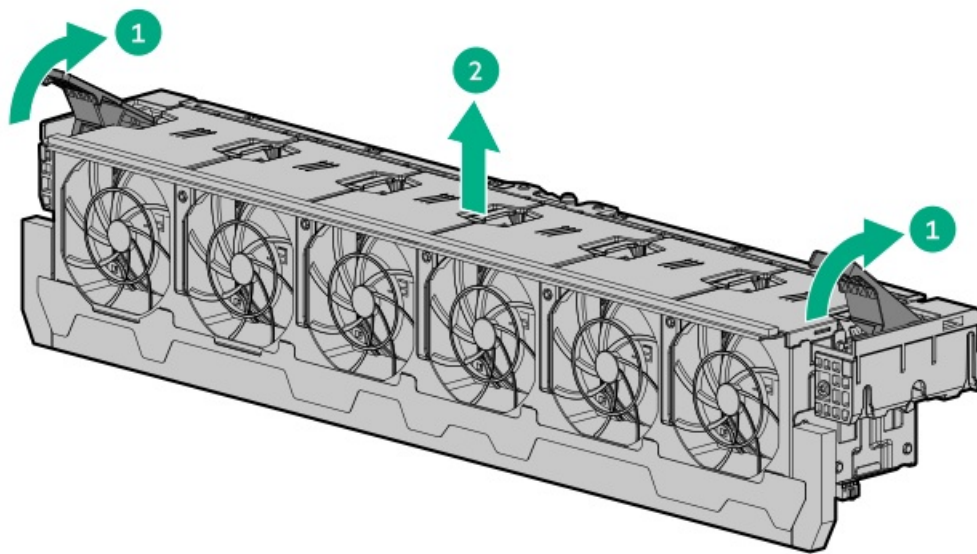
アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われないために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。



重要: 最適な冷却を行うには、すべてのプライマリファンの位置にファンを取り付けてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ファンケージを取り外します。



ファンケージを取り付ける

このタスクについて

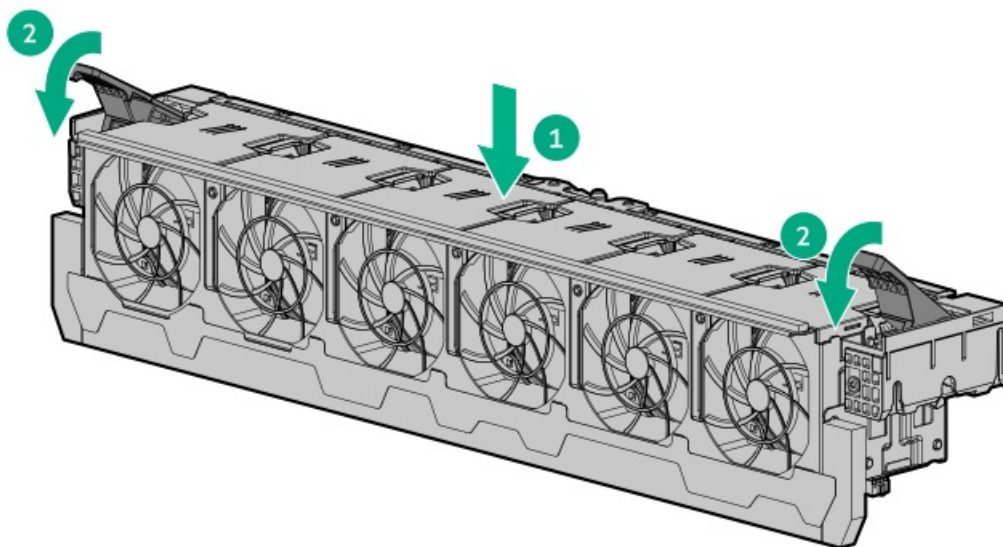


注意:

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われなかったために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。



重要: 最適な冷却を行うには、すべてのプライマリファンの位置にファンを取り付けてください。



エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外す

このタスクについて



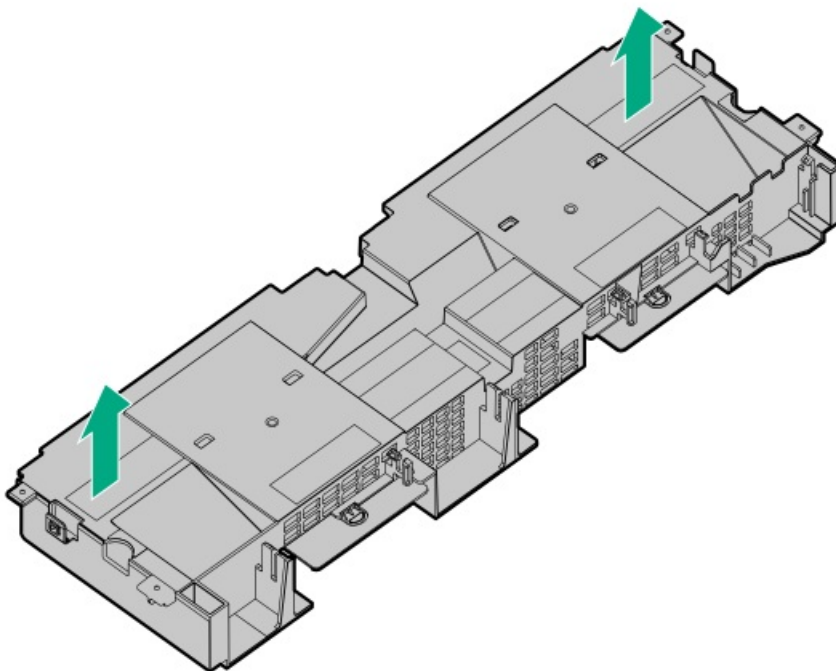
注意：バッテリーパックをキャッシュモジュールに接続しているケーブルは外さないでください。ケーブルを取り外すと、キャッシュモジュール内の保存されていないデータが消失します。



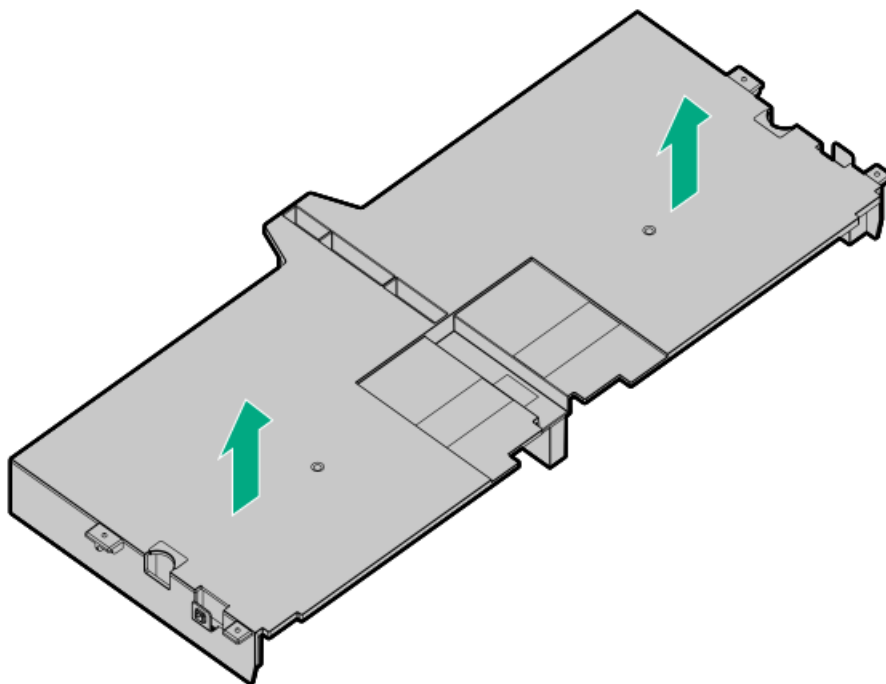
注意：適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - ラックからサーバーを取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. 次のいずれかを実行します。
 - エアバッフルを取り外します。



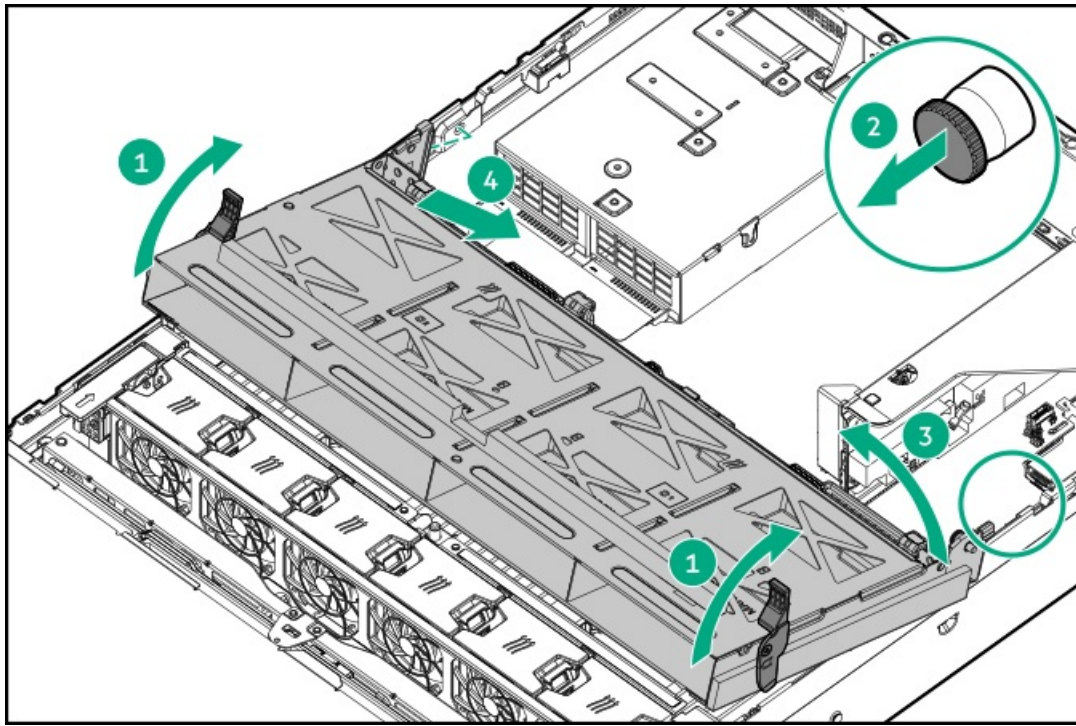
最高性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合：



- ミッドプレーンドライブケージを取り外します。
 - a. すべてのケーブルを取り外します。
 - b. ドライブをすべて取り外します。
必ず、各ドライブの位置をメモしてください。
 - c. ドライブケージを取り外します。
4LFF (3.5型) バージョンが表示されています。



注意: ドライブケージをシステムボードに落とさないでください。システムボードにドライブケージを落とすと、システムまたはコンポーネントが損傷する可能性があります。すべてのドライブを取り外してから、両手を使用してドライブケージを取り付けたり取り外したりしてください。



エアバッフルを取り付ける

手順

1. 次のアラートに注意してください。

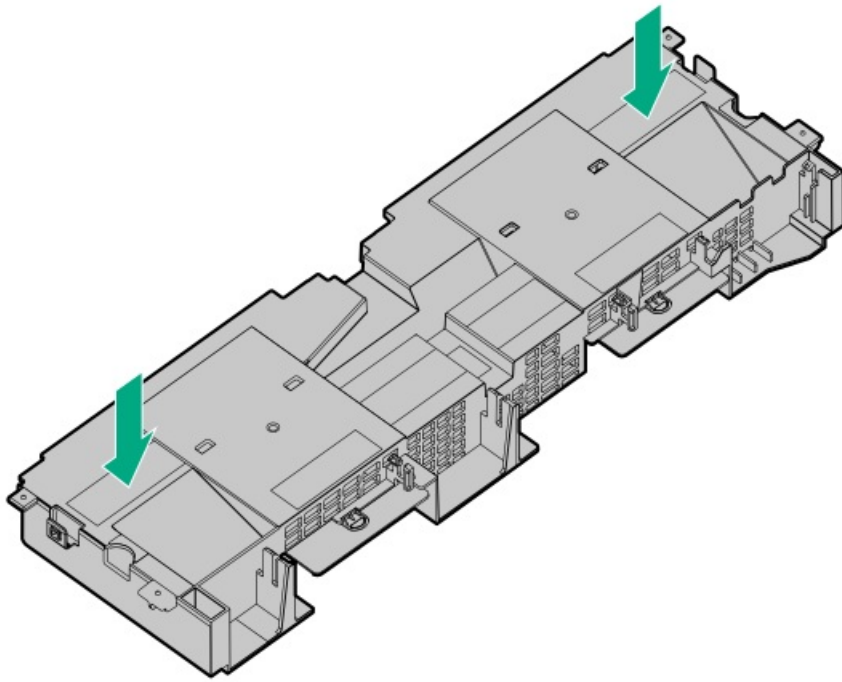


注意: 適切な冷却を確保するために、サーバーを動作させるときは、アクセスパネル、バッフル、拡張スロットカバー、またはブランクを必ず取り付けてください。サーバーがホットプラグ対応コンポーネントをサポートしている場合は、アクセスパネルを開ける時間を最小限に抑えてください。

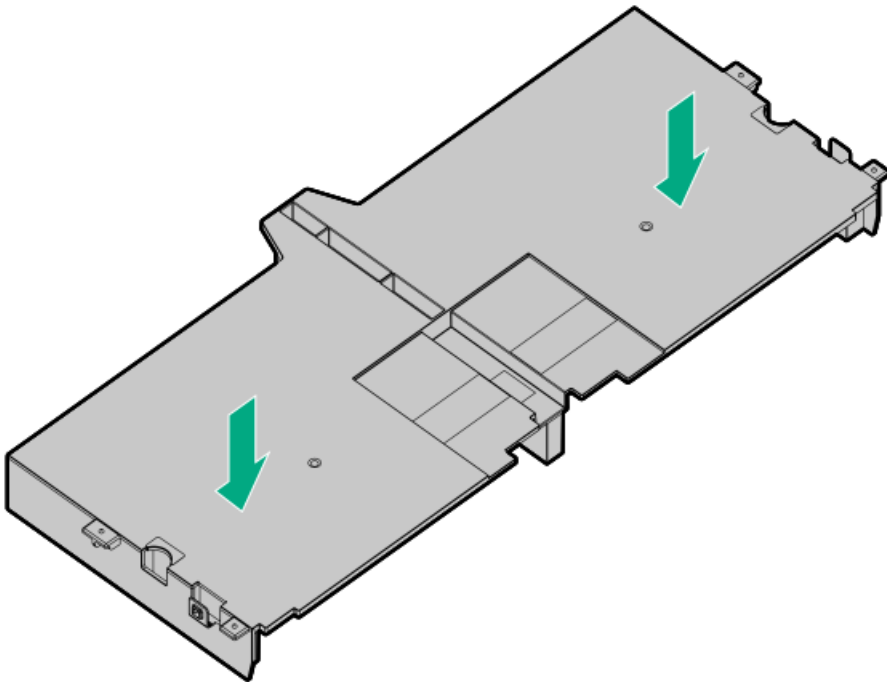


注意: バッテリーパックをキャッシュモジュールに接続しているケーブルは外さないでください。ケーブルを取り外すと、キャッシュモジュール内の保存されていないデータが消失します。

2. エアバッフルを取り付けます。



最高性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合：



ライザーケージを取り外す

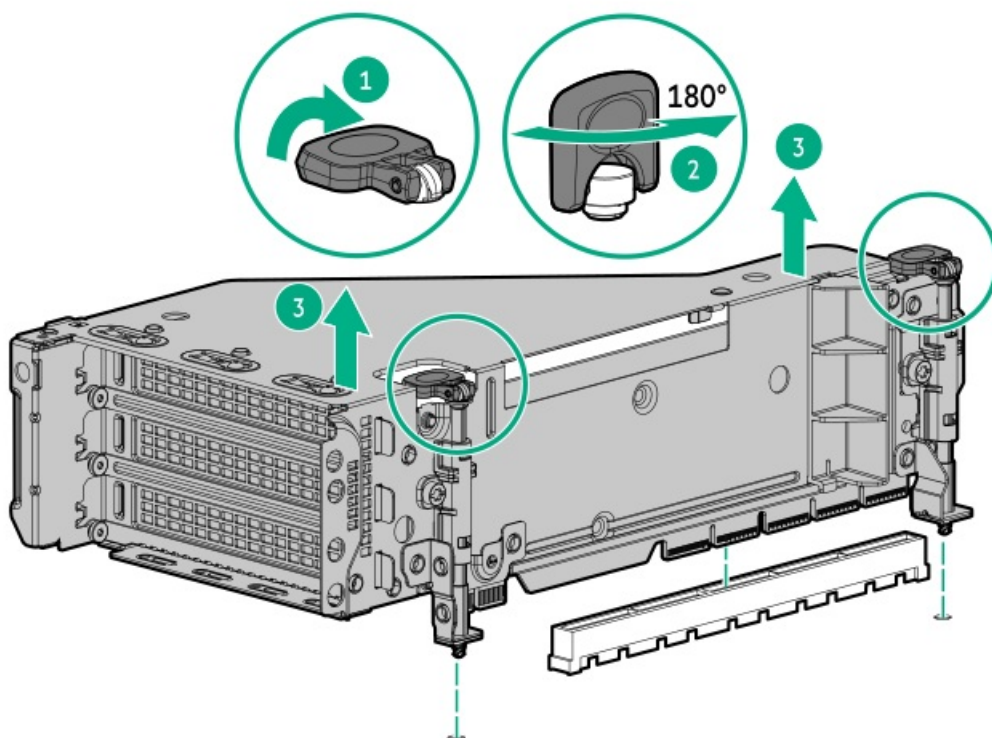
このタスクについて



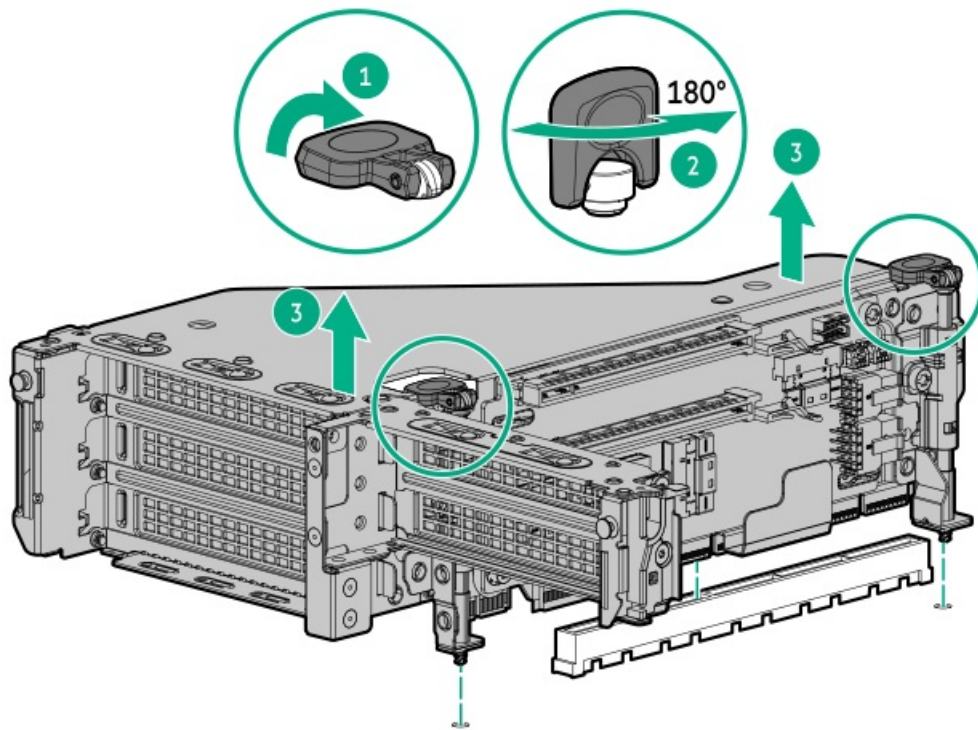
注意：サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源を切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付けを行ってください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ライザーケージを取り外します。
 - プライマリおよびセカンダリライザーケージ



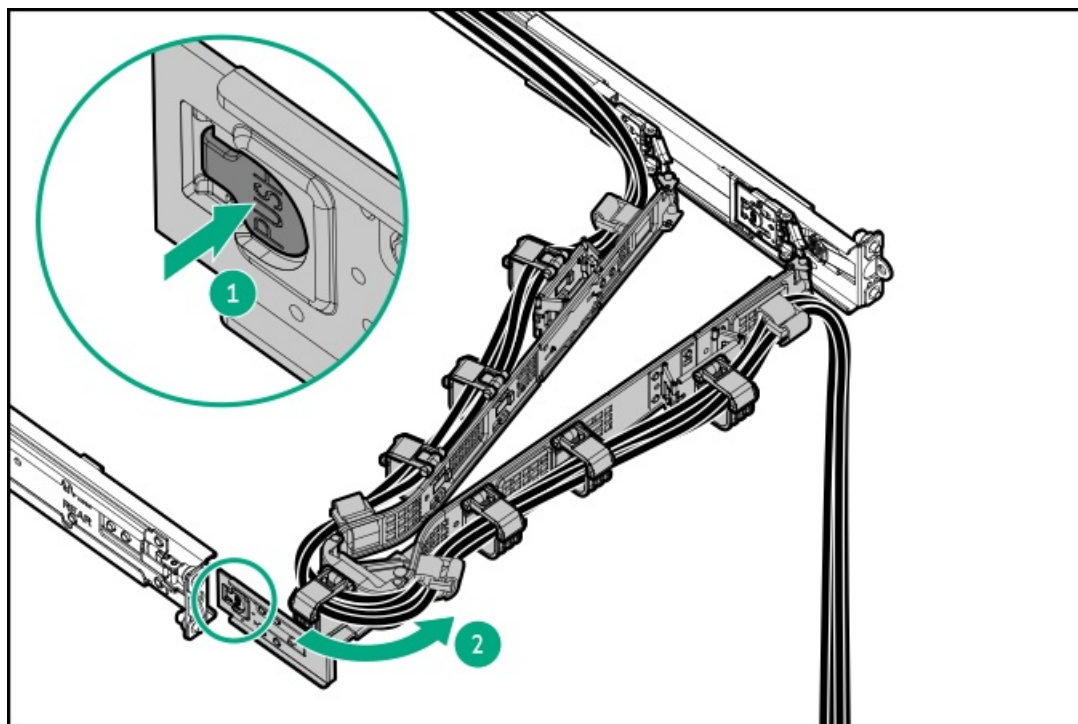
- ターシャリライザーケージ



ケーブルマネジメントアームを解放する

タスクの結果

ケーブルマネジメントアームを解放し、アームを動かしてラックから取り外します。



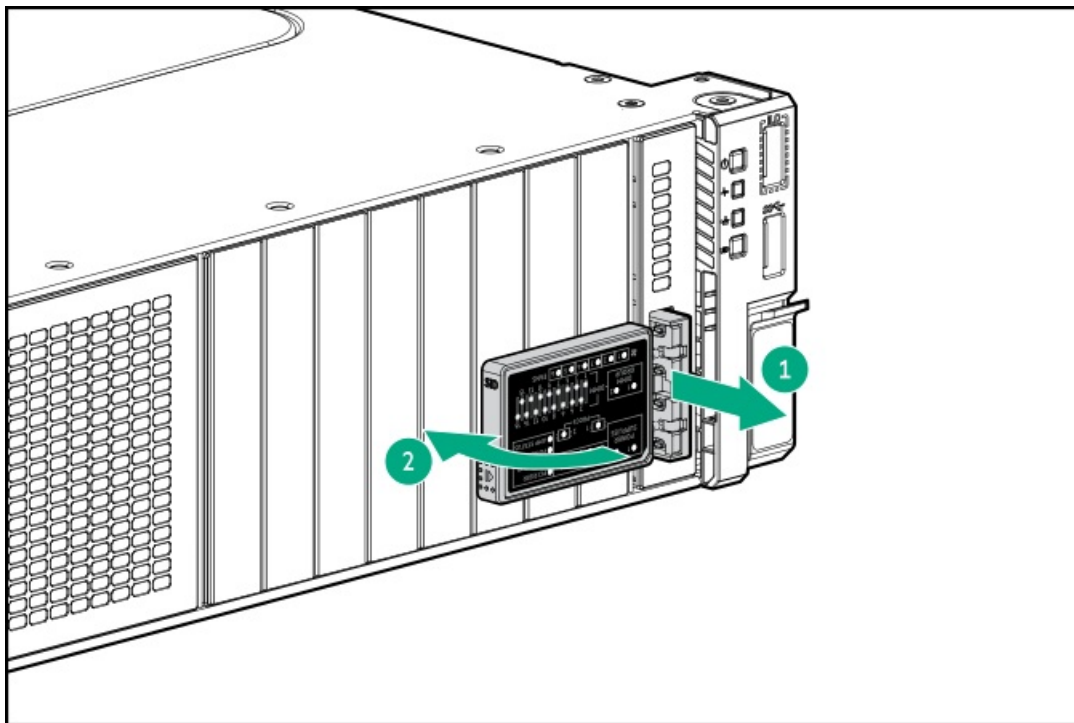
Systems Insight Displayにアクセスする

このタスクについて

Systems Insight DisplayはSFF（2.5型）モデルでのみサポートされます。

手順

1. パネルを押してロックを解放します。
2. ディスプレイを完全に取り出したら、ディスプレイを回転させ、LEDを表示します。



ハードウェアオプションの取り付け

サブトピック

はじめに

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

サーバーデータバックアップ

コントローラー

冷却

ドライブケージオプション

ドライブ

Energy Packオプション

管理

メモリ

ネットワーク

オプティカルドライブとメディアベイ

OSブートデバイス

電源装置オプション

プロセッサとヒートシンクのオプション

ラックマウントオプション

はじめに

ハードウェアオプションを取り付けてから、サーバーを初期設定してください。複数のオプションを取り付ける場合は、すべてのハードウェアオプションの取り付け手順をよく読んで類似の手順を確認してから、効率よく取り付け作業を行うようにしてください。



警告： 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブやシステムの内部部品が十分に冷めてから手を触れてください。



注意： 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

Hewlett Packard Enterprise製品のQuickSpecs

製品について詳しく知るには、Hewlett Packard Enterprise Webサイト (<https://www.hpe.com/info/quickspecs>) を検索して製品のQuickSpecsを参照してください。

- サポートされるオプション
- サポートされている構成
- コンポーネントの互換性
- 新機能
- 仕様
- 部品番号

サーバーデータバックアップ

データ損失を防ぐために、ハードウェアオプションの取り付けまたは取り外しを行う前、またはサーバーメンテナンスやトラブルシューティング手順を実行する前に、サーバーのすべてのデータをバックアップしてください。

このコンテキストでのサーバーデータは、ハードウェアのメンテナンスまたはトラブルシューティング手順の完了後、システムを通常の動作環境に戻すために必要になる可能性がある情報を指します。これには、次のような情報が含まれる可能性があります。

- ユーザーデータファイル
- ユーザーアカウント名とパスワード
- アプリケーションの設定とパスワード
- コンポーネントドライバとファームウェア
- TPMリカバリキー/パスワード
- BIOS構成設定 - UEFIシステムユーティリティのバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、UEFIユーザーガイド (<https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals>) を参照してください。
 - カスタムデフォルトシステム設定

- 電源オンおよびBIOS管理者アクセス、不揮発性メモリ、およびサーバー構成ロック（HPE Trusted Supply Chainサーバー用）に必要なパスワードを含むセキュリティパスワード
 - サーバーシリアル番号と製品ID
- iLO関連データ - iLOバックアップおよびリストア機能を使用します。詳しくは、iLOのユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/ilo6>) を参照してください。
 - iLOのライセンス
 - お客様のiLOユーザー名、パスワード、およびDNS名
 - iLO構成設定
- HPE GreenLake for Compute Ops Managementによって管理されるサーバーの場合は、HPE GreenLakeのアカウントIDを持っていることを確認してください。詳しくは、[HPE GreenLake for Compute Ops Managementお使いになる前に](#)を参照してください。

コントローラー

サブトピック

[タイプoストレージコントローラーを取り付ける](#)
[タイプpストレージコントローラーの取り付け](#)

タイプoストレージコントローラーを取り付ける

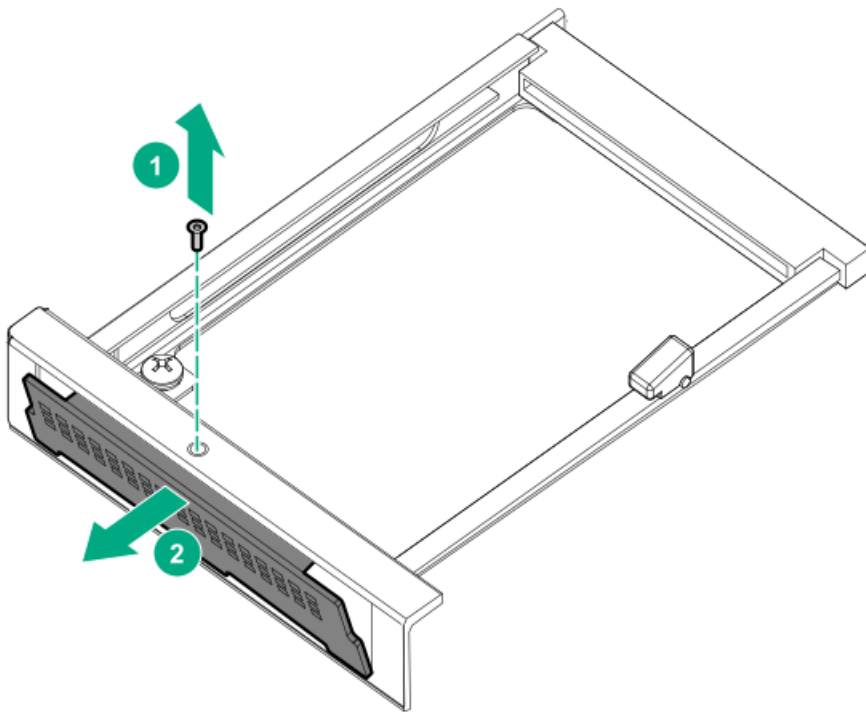
前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

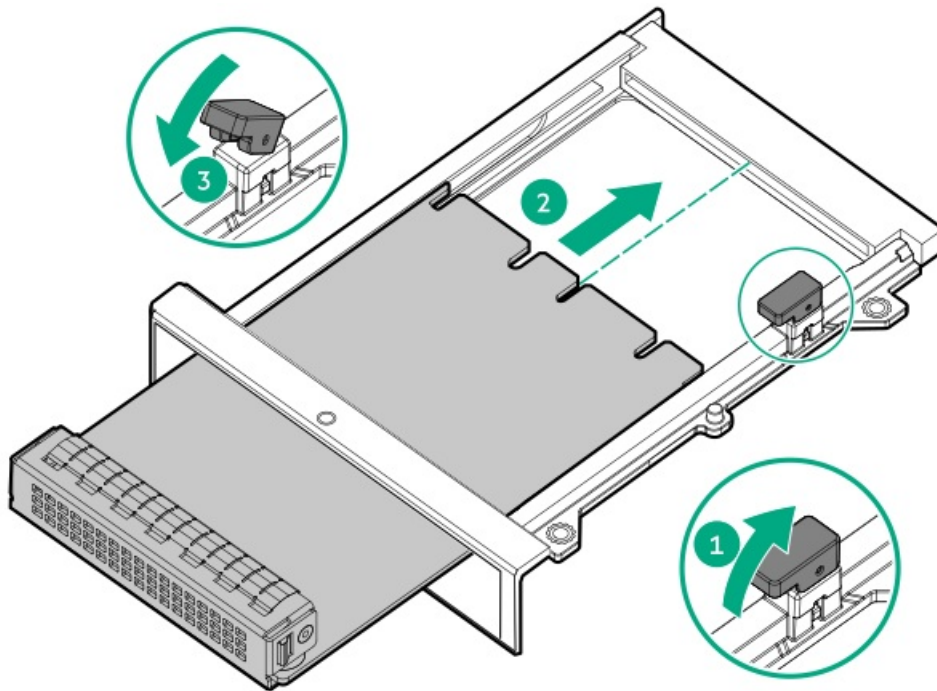
- ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

- サーバーの電源を切ります。
- すべての電源の取り外し：
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
- 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
- アクセスパネルを取り外します。
- リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
- OCPアダプターブランクを取り外します。



7. ストレージコントローラーを取り付けます。



8. ケーブルを接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タイプストレージコントローラーの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて



警告：けが、感電、または装置の損傷に対するリスクの低減のために、電源コードを抜き取って、サーバーに電力が供給されないようにしてください。フロントパネルにある電源ボタンではシステムの電源を遮断することはできません。AC電源コードを抜くまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。

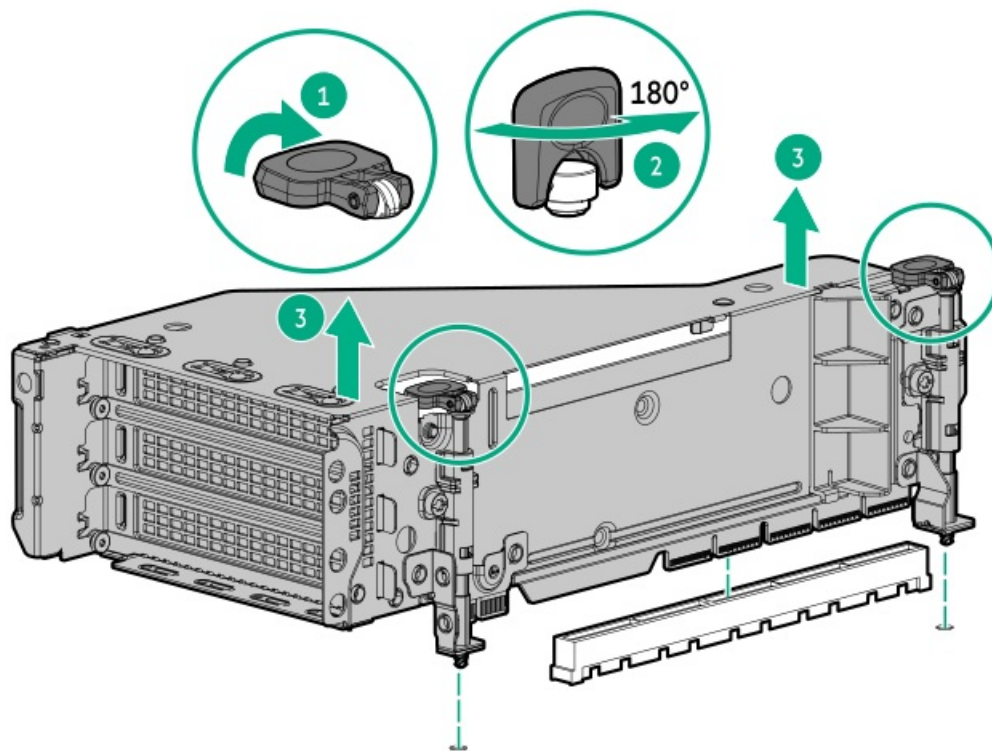


注意：不適切な冷却または高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIスロットに必ず、拡張スロットカバーか拡張ボードのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

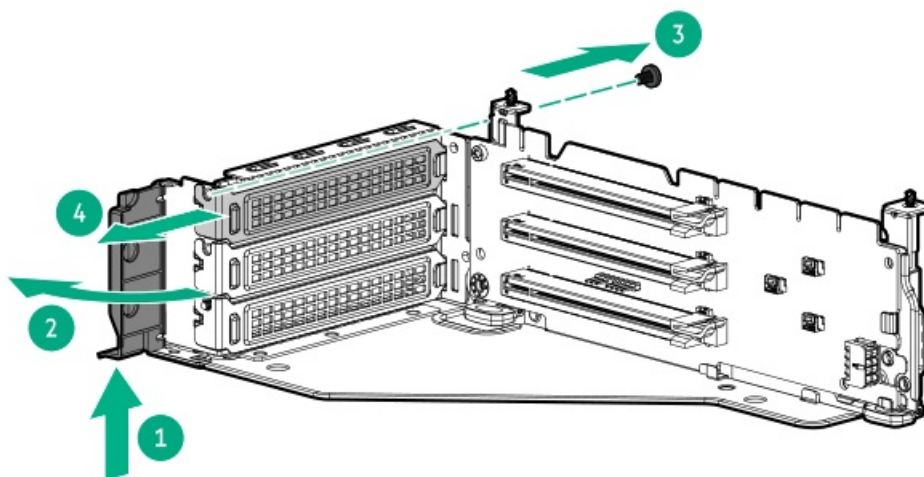
コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

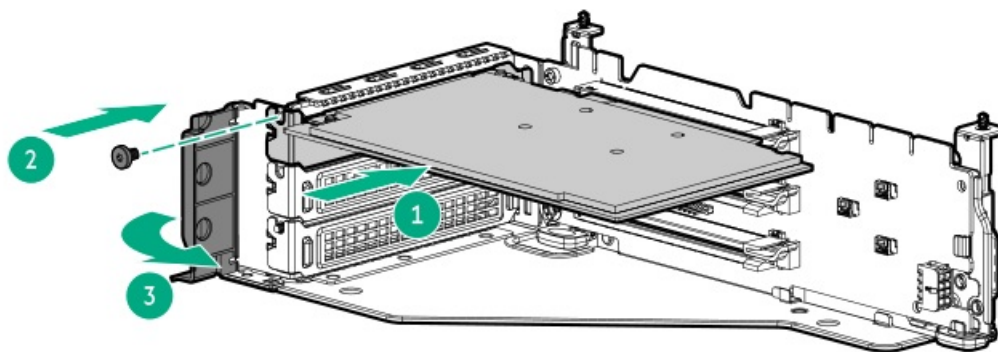
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ライザーケージを取り外します。



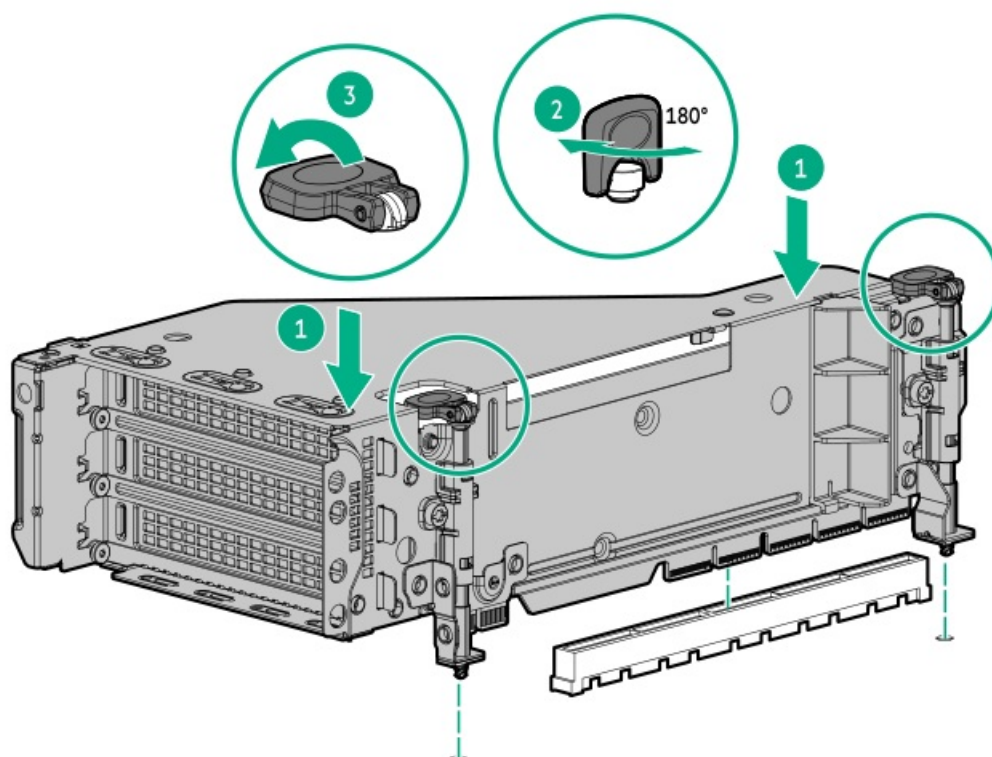
6. PCIeブランクを特定して、ライザーケージから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



8. 拡張ボードに内部ケーブルが必要な場合、ケーブルを接続します。
9. ライザーケージを取り付けます。



10. ケーブルを接続します。
11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源に接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

サブトピック

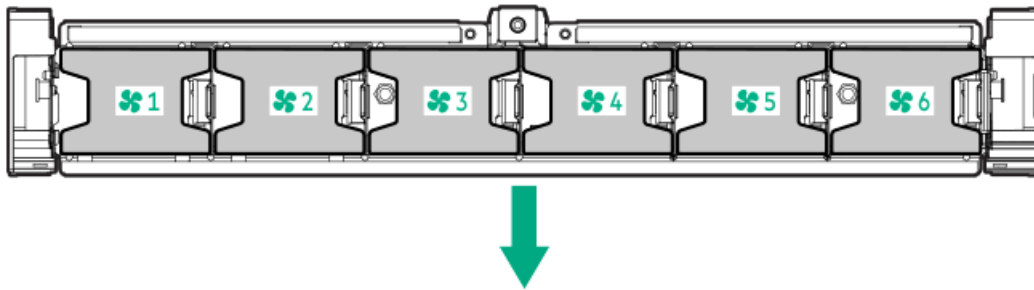
ファンモードの動作

高性能ファンの取り付け

ファンモードの動作

注意： サーバーコンポーネントの損傷を防止するために、シングルプロセッサ構成では、必ずファンベイ1と2にファンブラックを取り付けてください。

注意： 装置の損傷を防止するために、最適な数のファンが取り付けられていない場合は、サーバーを長時間動作させないでください。サーバーが起動する場合がありますが、必要なファンが取り付けられて稼働していない状態でサーバーを動作させないでください。



次の表に、有効なファン構成を示します。

構成	ファン ベイ1	ファン ベイ2	ファン ベイ3	ファン ベイ4	ファン ベイ5	ファン ベイ6
プロセッサ1 個	ファン ブラック	ファン ブラック	ファン	ファン	ファン	ファン
プロセッサ1 個、SFF (2.5 型) ドライブ 24個または LFF (3.5型) ドライブ12個 の構成、高性 能ファンを使 用	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン
プロセッサ2 個	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン	ファン

シングルプロセッサ構成の場合、24 SFF (2.5型) および12 LFF (3.5型) 構成を除き、冗長化のためには特定のファンベイに4つのファンと2つのブラックが必要です。ファンの障害やファンの欠落が発生すると、冗長性を損ないます。2つ目のファンに障害が発生したりファンがないと、サーバーが通常の方法でシャットダウンされます。

デュアルプロセッサの構成またはシングルプロセッサの24 SFF (2.5型) あるいは12 LFF (3.5型) 構成の場合、冗長化のためには6つのファンが必要です。ファンの障害やファンの欠落が発生すると、冗長性を損ないます。2つ目のファンに障害が発生したりファンがないと、サーバーが通常の方法でシャットダウンされます。

高性能ファンは24 SFF (2.5型) および12 LFF (3.5型) ドライブ構成で、次の取り付けに必要となる場合があります。

- オプションのGPUライザーの取り付け
- ASHRAE準拠の構成
詳しくは、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

サーバーはファンの回転速度の変更をサポートしています。温度が上昇し、ファンの回転速度を上げてサーバーを冷却する必要が発生するまでは、ファンは最小限の速度で回転します。サーバーは、温度に関連した以下の場合にシャットダウンします。

- 注意レベルの温度が検出された場合、iLOは、POST実行時およびOSで、通常の方法のシャットダウンを実行します。通常のシャットダウンが行われる前にサーバーハードウェアが重大レベルの温度を検出した場合、サーバーが即時シャットダウンを実行します。
- 高温シャットダウン機能がBIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で無効に設定されている場合、注意レベルの温度が検出されても、iLOは通常の方法のシャットダウンを実行しません。この機能が無効に設定されている場合でも、重大な温度レベルが検出されると、サーバーハードウェアは即時シャットダウンを実行します。



注意： BIOS/プラットフォーム構成（RBSU）で高温シャットダウン機能が無効に設定されている場合、高温イベントによりサーバーコンポーネントが損傷する場合があります。

高性能ファンの取り付け

このタスクについて



注意： 注意：サーバーの損傷を防ぐために、ファンを取り付ける前に、すべてのDIMMラッチが閉じられロックされていることを確認します。

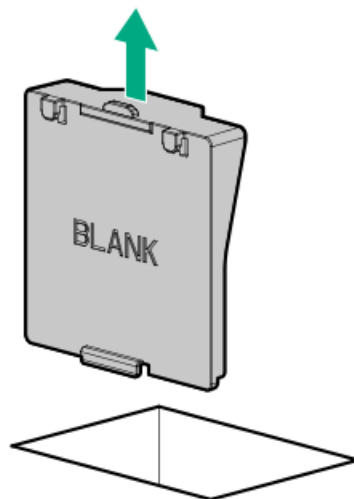


注意：

アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。このような状態でサーバーを動作させると、通気が正しく行われなために冷却機構が正常に機能しなくなり、高温によって装置が損傷する場合があります。

手順

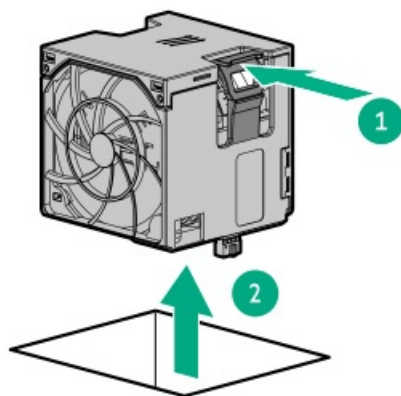
1. サーバーをラックから引き出します。
2. アクセスパネルを取り外します。
3. ファンのブラנקが取り付けられている場合は、すべて取り外します。



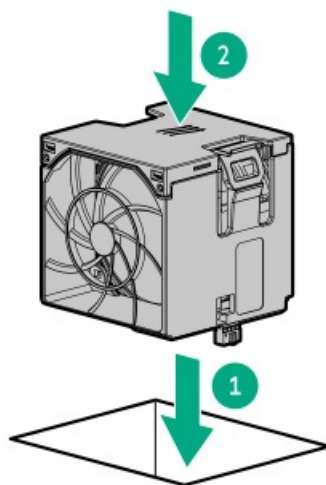
4. すべての標準ファンを取り外します。



重要: 同じサーバー内に標準ファンと高性能ファンを混在させないでください。



5. すべてのファンベイに高性能ファンを取り付けます。



6. アクセスパネルを取り付けます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ドライブケージオプション

サブトピック

- フロント8 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け
- フロント2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケージの取り付け
- スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け
- ミッドプレーンドライブケージの取り付け
- スタックしたリア2 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け

フロント8 SFF (2.5型) ドライブケージの取り付け

このタスクについて

ドライブケースは、どのボックスにも取り付けることができます。



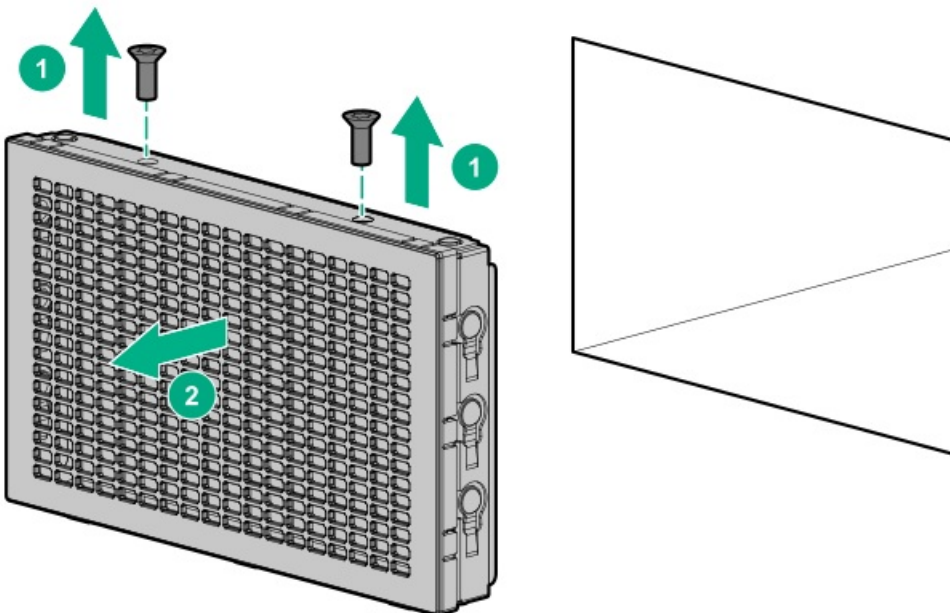
警告： 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。



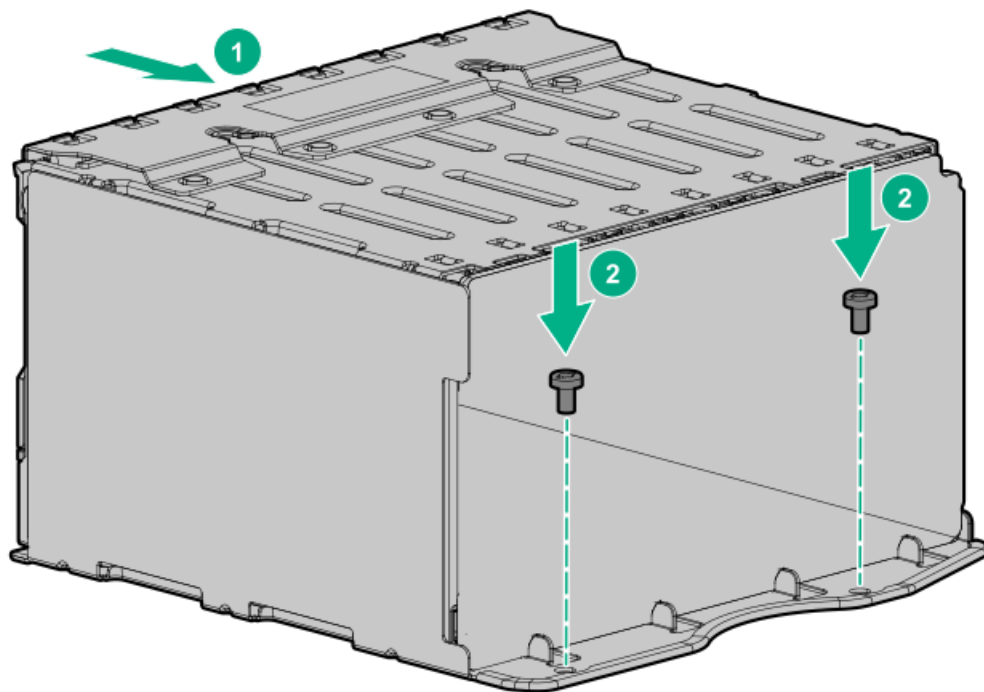
注意： 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルを取り外します。
6. ファンケースを取り外します。
7. ドライブケースブランクを取り外します。



8. ドライブケースを取り付けます。



9. 電源ケーブルをドライブバックプレーンの電源コネクタに接続します。
10. データケーブルをドライブバックプレーンからNVMeライザーに接続します。
11. ドライブblankまたはドライブを取り付けます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

フロント2 SFF (2.5型) サイドバイサイドドライブケースの取り付け

このタスクについて



警告: 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、ドライブや内部システムコンポーネントが十分に冷めてから手を触れてください。

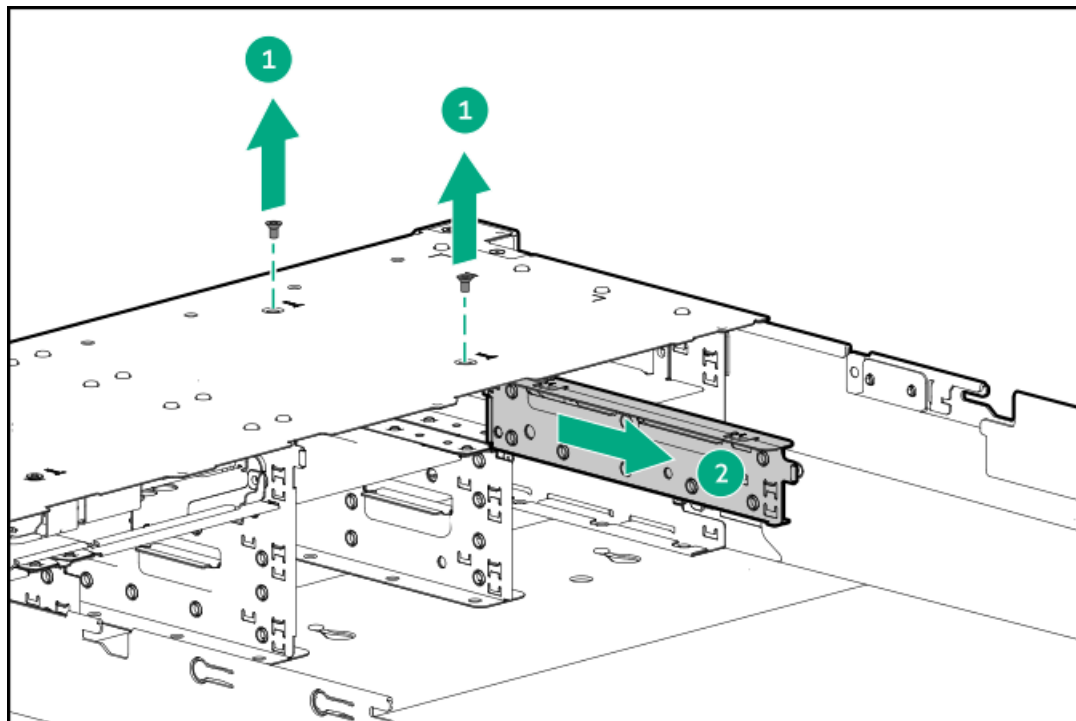


注意: 電子部品の損傷を防止するために、サーバーに正しくアースを行ってから、取り付け手順を開始してください。正しくアースを行わないと静電気放電を引き起こす可能性があります。

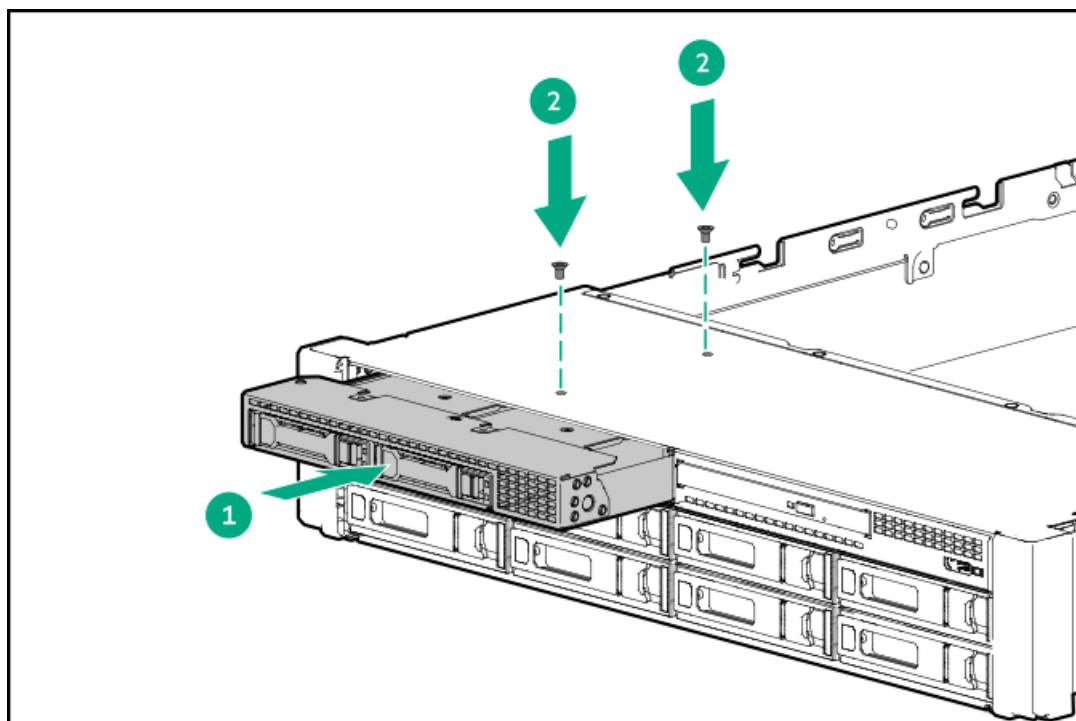
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。

4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルを取り外します。
6. ファンケージを取り外します。
7. ドライブケージブランクを取り外します。
8. サポートブラケットを取り外します。



9. ドライブケージを取り付けます。



10. 電源ケーブルをドライブバックプレーンの電源コネクタに接続します。
11. データケーブルをドライブバックプレーンからNVMeライザーに接続します。



12. ドライブブランクまたはドライブを取り付けます。
13. アクセスパネルを取り付けます。
14. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。
16. 各電源コードを電源に接続します。
17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

スタックしたフロント2 SFF（2.5型）ドライブページの取り付け

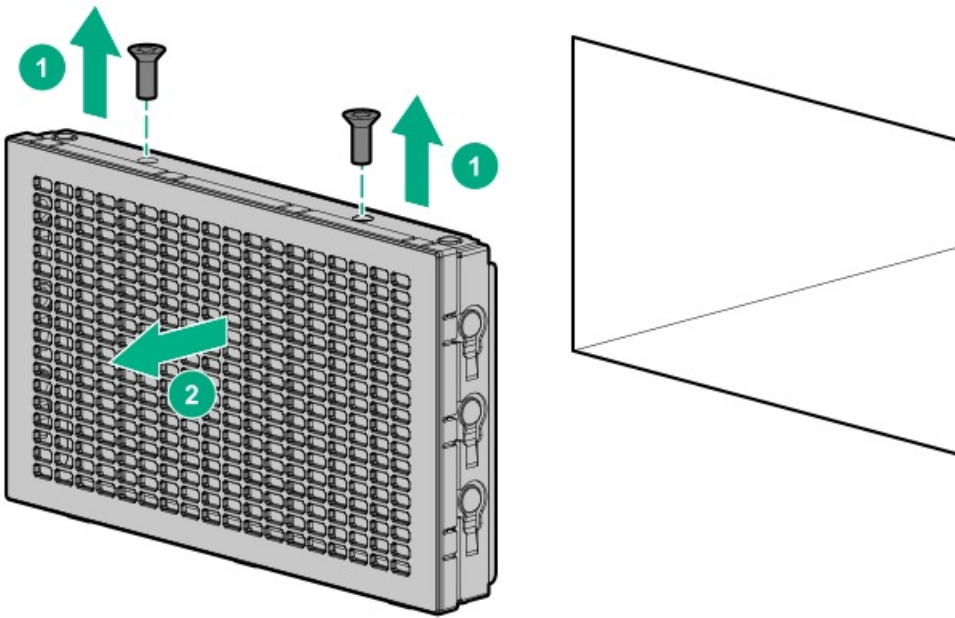
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

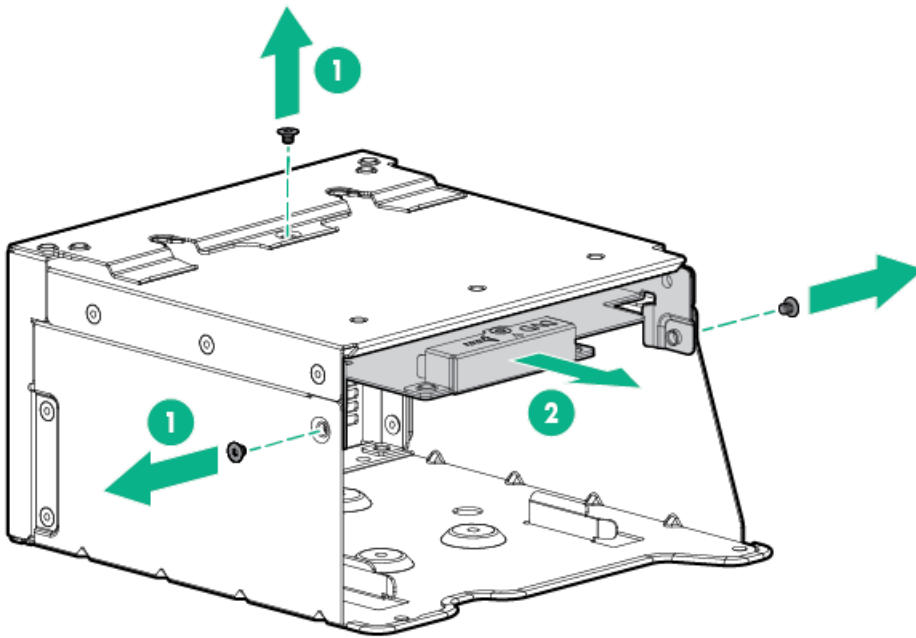
- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- この取り付けには、ユニバーサルメディアベイが必要です。

手順

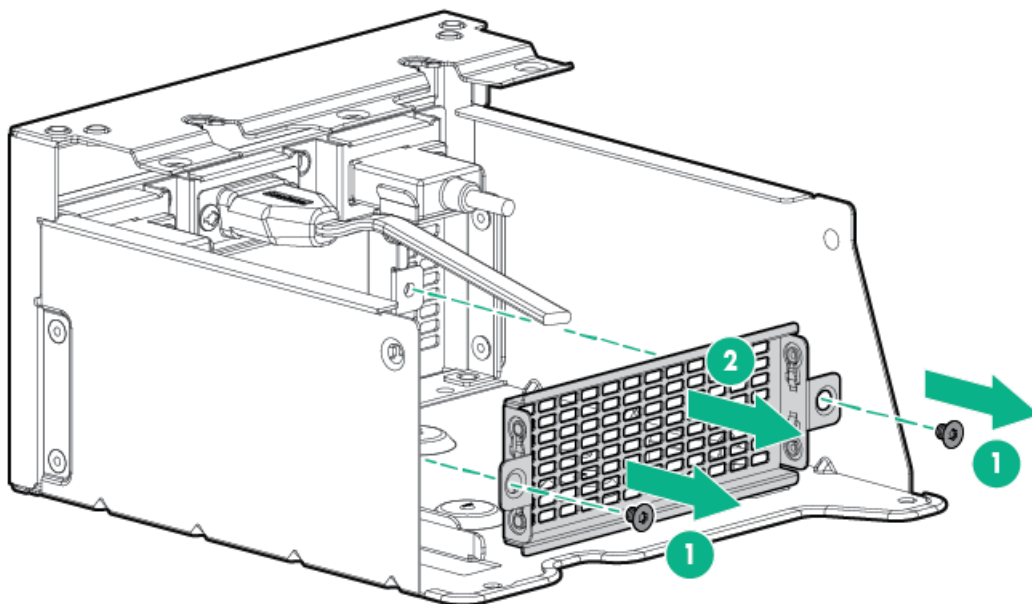
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ドライブページブランクを取り外します。



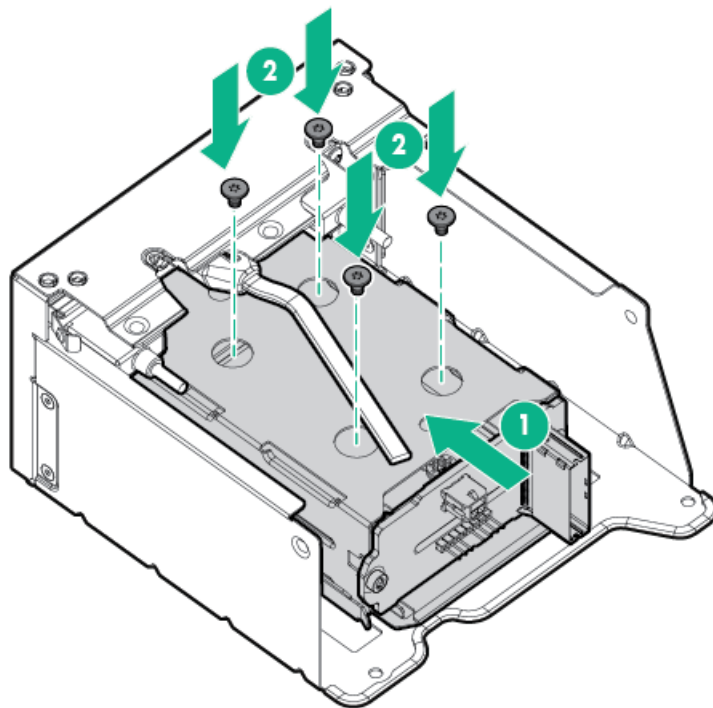
6. ユニバーサルメディアベイからオプティカルディスクドライブトレイを取り外します。



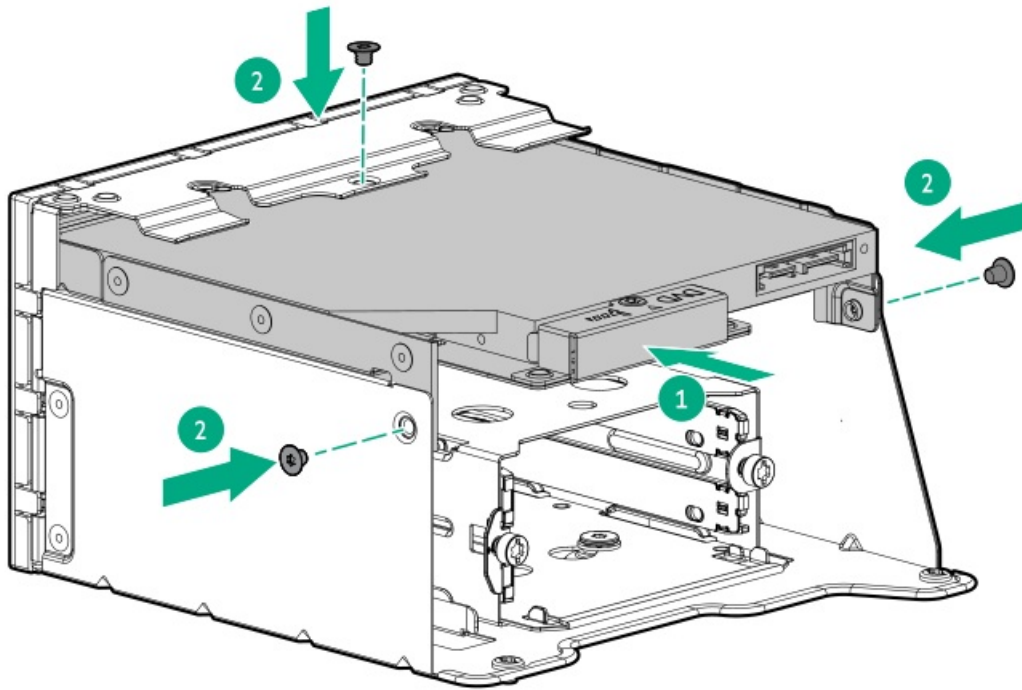
7. ユニバーサルメディアベイからSFF (2.5型) ドライブブランクを取り外します。



8. ユニバーサルメディアベイにドライブパッケージを取り付けます。



9. オプティカルディスクドライブトレイを取り付けます。



10. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。
11. 電源ケーブルおよびデータケーブルを接続します。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

ミッドプレーンドライブケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。

このタスクについて

- このオプションを取り付ける場合は、プロセッサごとにIU高性能ヒートシンクが必要です。

手順

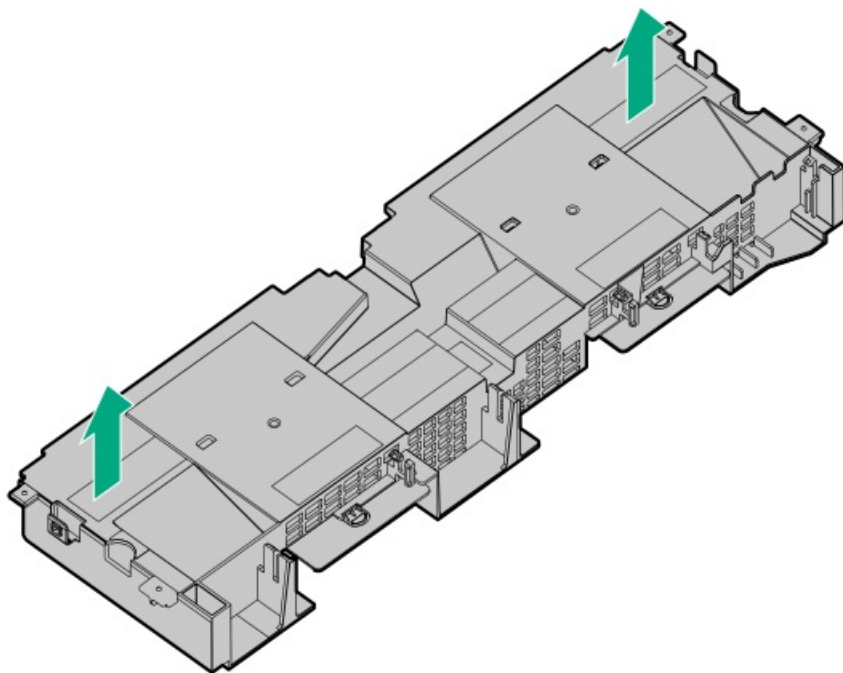
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。

- サーバーをラックから取り外します。

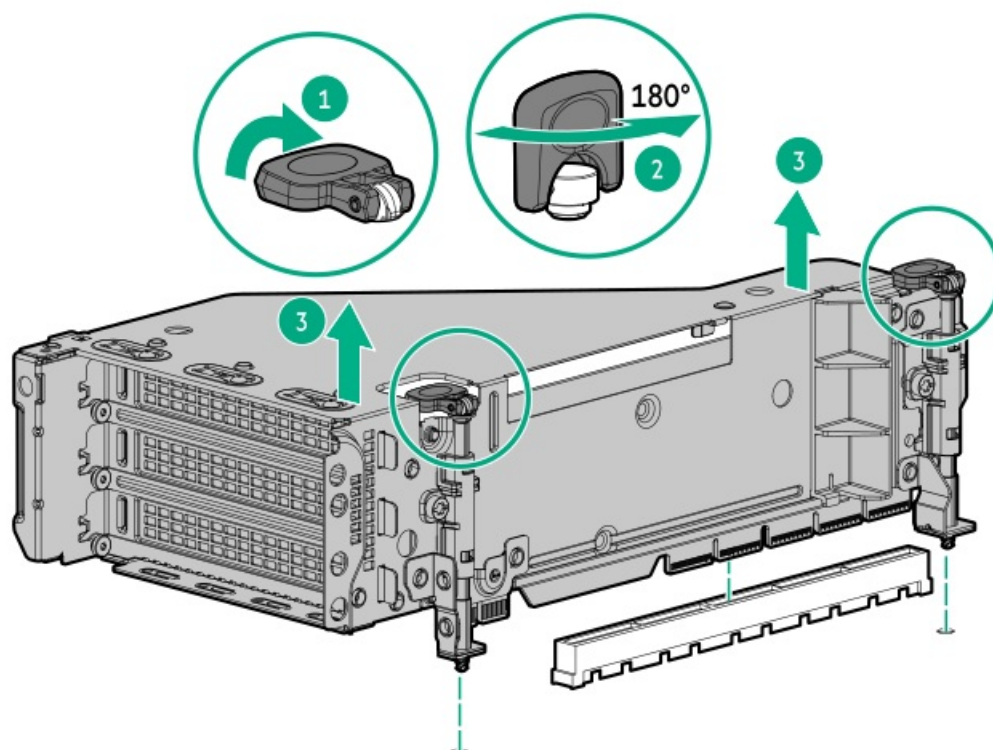
4. アクセスパネルを取り外します。

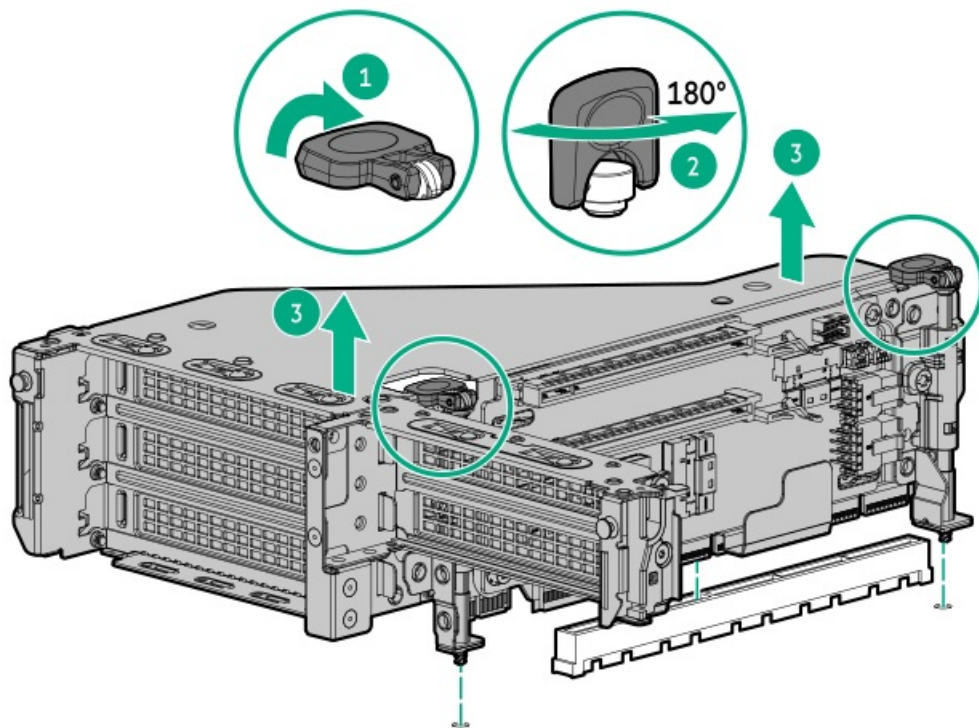
5. エアバッフルを取り外します。

取り外したエアバッフルは必要ありません。ドライブケージは、サーバーのエアバッフルとして機能します。



6. すべてのライザーケージを取り外します。





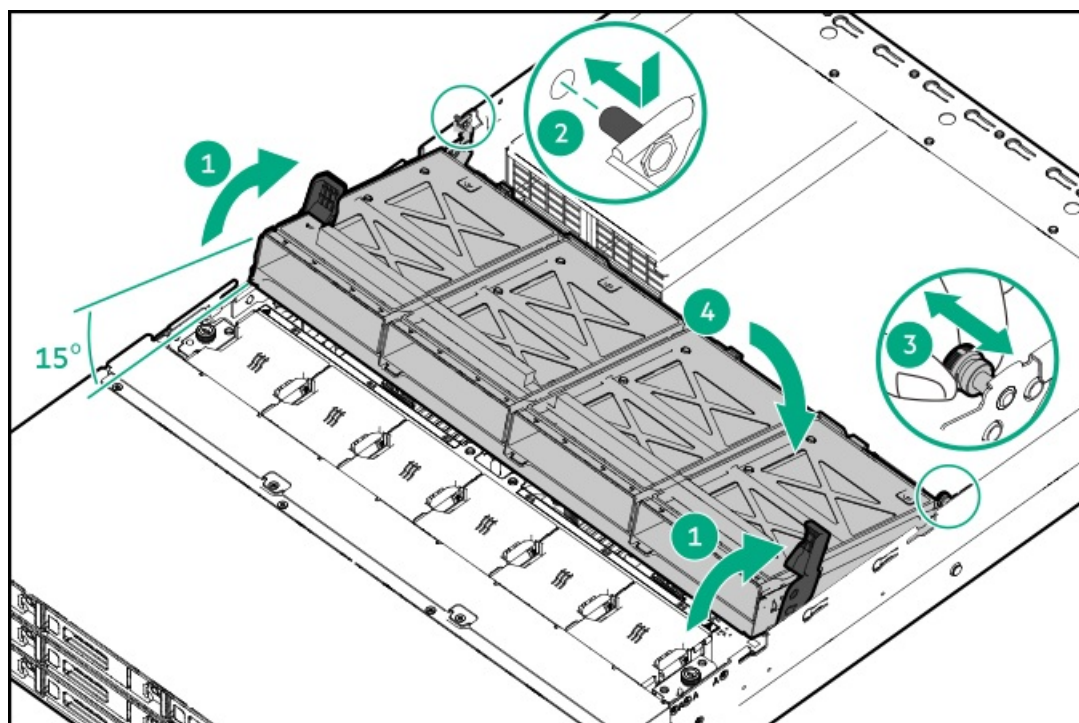
7. ドライブケースのラッチを引き上げてドライブケースの取り付けの準備を行います。

8. ドライブケースを取り付けます。

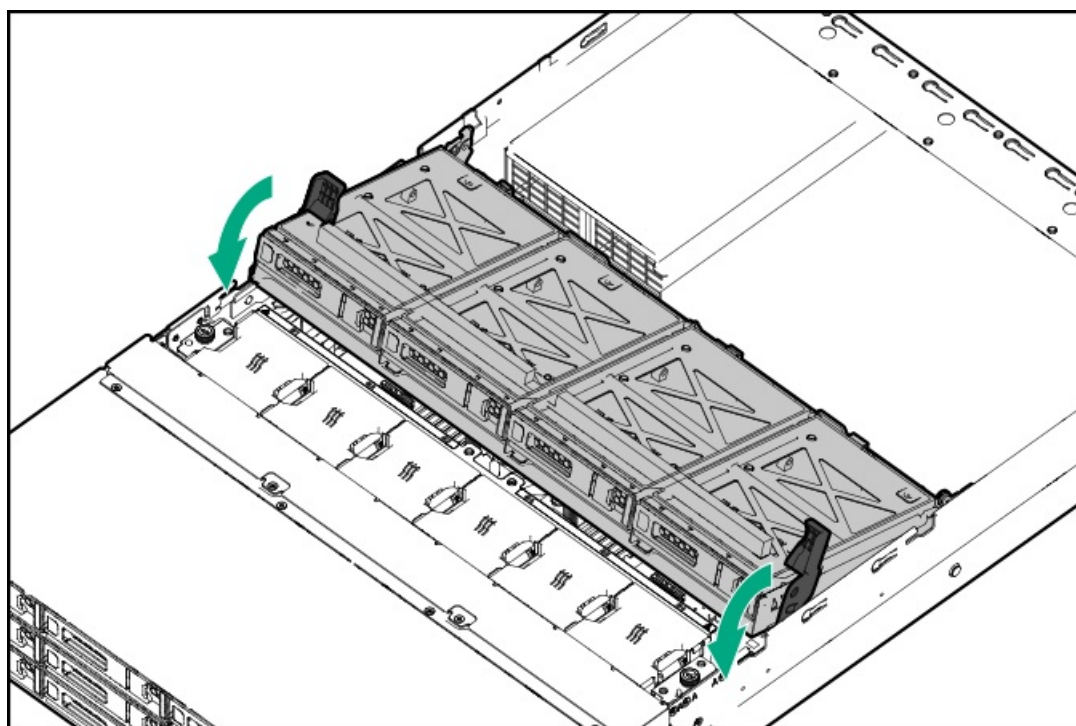


注意: ドライブケースをシステムボードに落とさないでください。システムボードにドライブケースを落とすと、システムまたはコンポーネントが損傷する可能性があります。すべてのドライブを取り外してから、両手を使用してドライブケースを取り付けたり取り外したりしてください。

- a. ドライブケースの背面で位置決めピンを探します。
- b. ドライブケースの背面左側のピンをサーバーに合わせてから、ピンを挿入します。
- c. ドライブケースの反対側をゆっくり下げます。
- d. ドライブケースの背面右側のプランジャーピンを引き出して、プランジャーピンがかみ合うまでドライブケースを下げます。



9. ドライブblankまたはドライブを取り付けます。
10. ラッチを下に押して、所定の位置にドライブケースを下げます。



11. 電源ケーブルとデータケーブルをドライブバックプレーンに接続します。
12. ライザーケースを取り付けます。
13. アクセスパネルを取り付けます。
14. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
15. 各電源コードをサーバーに接続します。
16. 各電源コードを電源に接続します。

17. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

スタックしたリア2 SFF（2.5型）ドライブページの取り付け

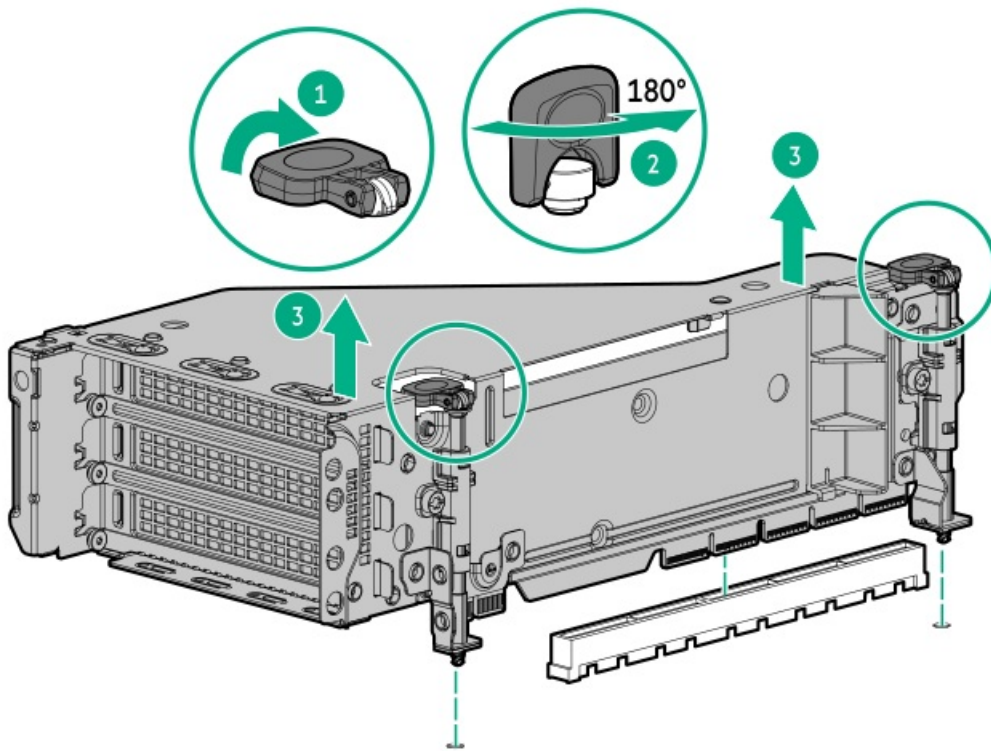
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

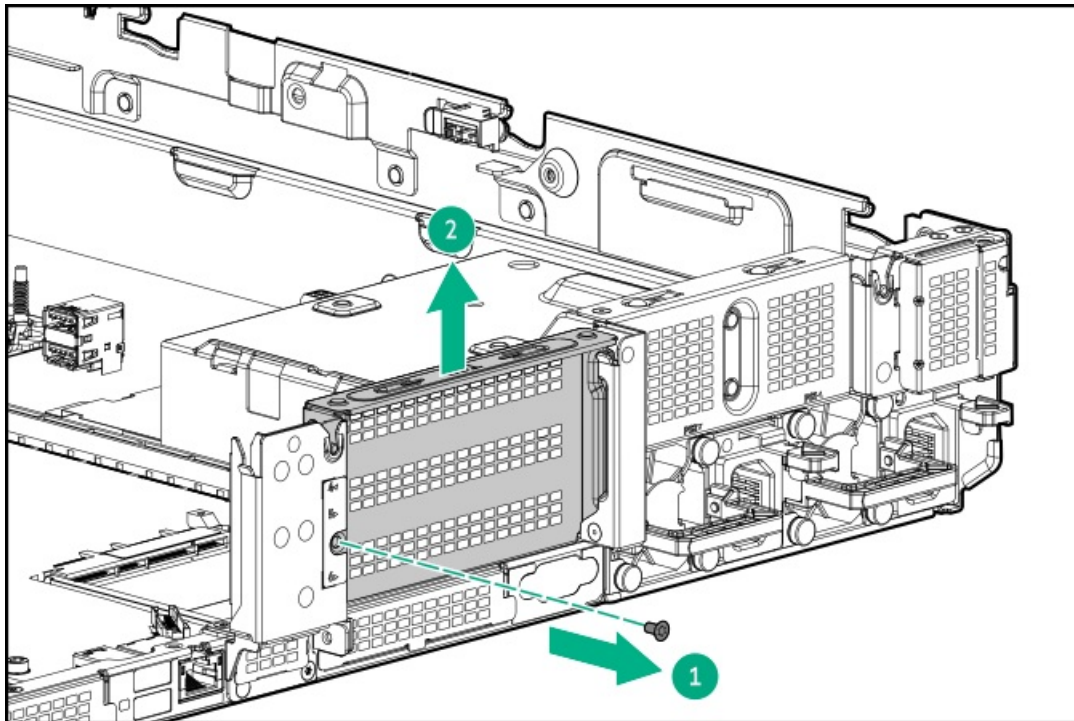
- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントベイに12個のLFF（3.5型）ドライブまたは24個のSFF（2.5型）ドライブが完全に取り付けられている必要がある
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要がある

手順

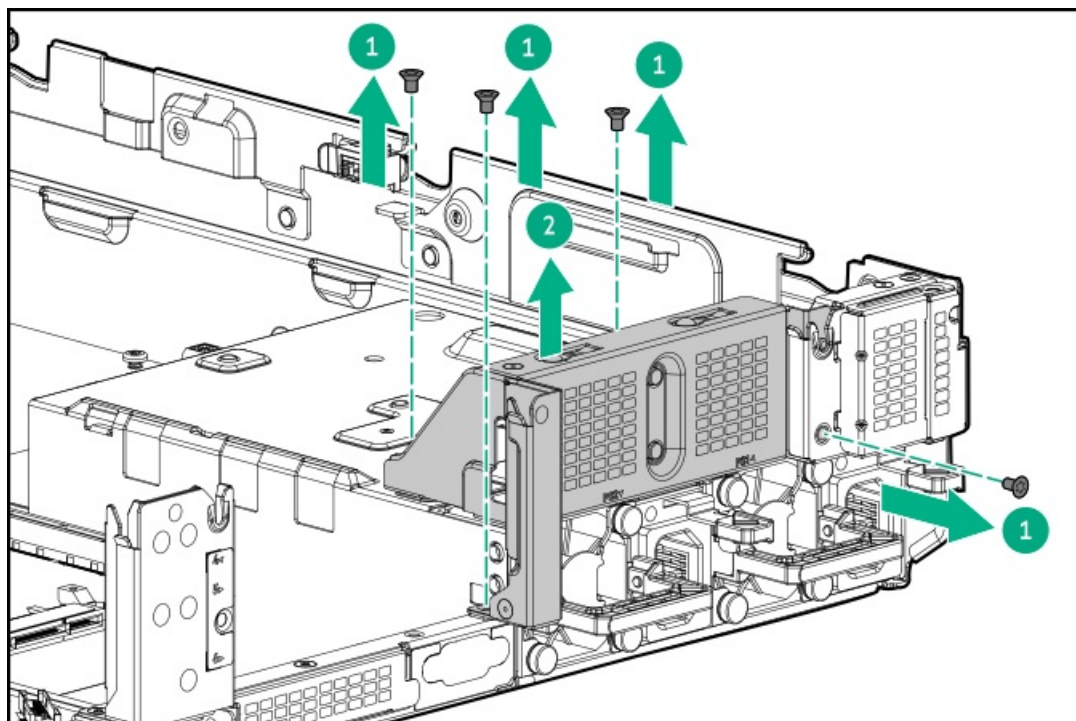
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. 次のいずれかを実行します。
 - セカンダリライザーケースが取り付けられている場合は取り外します。



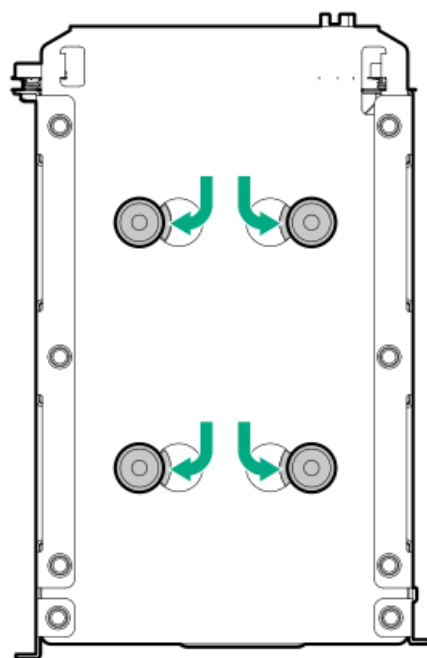
- セカンダリウォールブランクを取り外します。



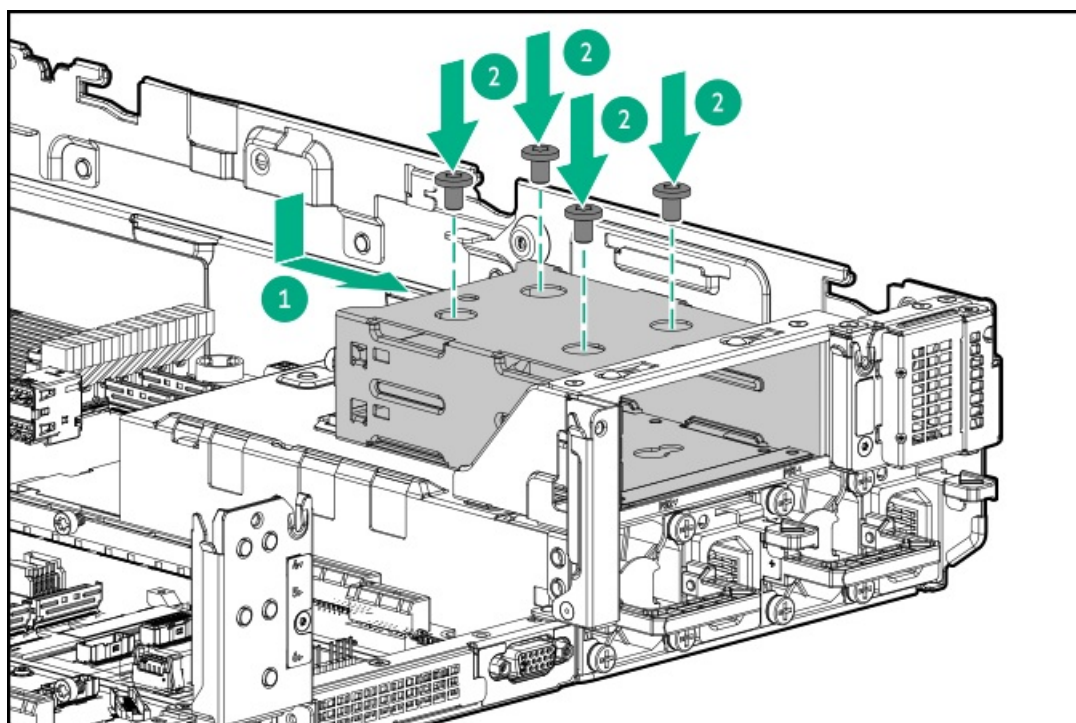
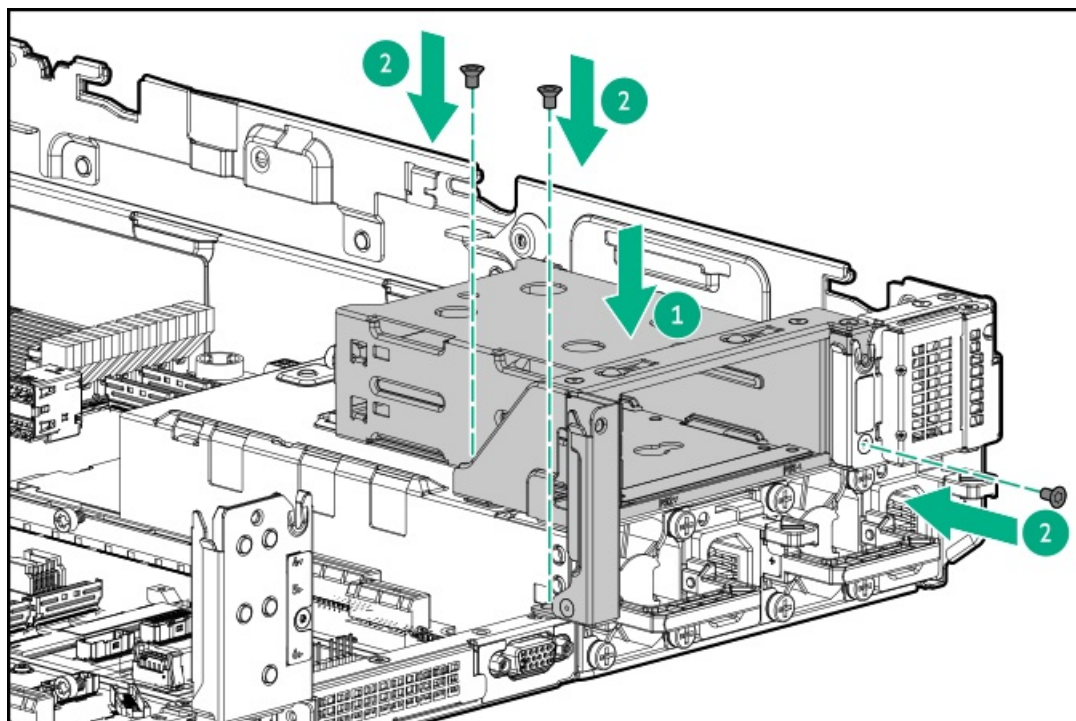
6. ターシャリウォールブランクを取り外します。



7. ドライブケースにグロメットを取り付けます。



8. ドライブケースを取り付けます。



9. ドライブblankまたはドライブを取り付けます。
10. セカンダリリアウォールまたはセカンダリライザーケージを取り付けます。
11. ドライブバックプレーンの配線を行います。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

ドライブ

サブトピック

ドライブのガイドライン

ホットプラグ対応LFF（3.5型）/SFF（2.5型）SAS、SATA、またはNVMeドライブを取り付ける

E3.Sドライブを取り付ける

ドライブのガイドライン

次の一般的なガイドラインに従ってください。

- システムがすべてのドライブ番号を自動的に設定します。
- ハードドライブを1台しか使用しない場合、最も小さいドライブ番号のベイに取り付けてください。
ドライブ番号については、「ドライブベイの番号」を参照してください。
- NVMe SSDはPCIeバスデバイスです。PCIeバスに接続されたデバイスは、デバイスとバスの信号またはトラフィックフローが完全に終了するまで取り外すことはできません。
取り外し禁止ボタンのLEDが点滅している場合は、ドライブベイからNVMe SSDを取り外さないでください。取り外し禁止ボタンのLEDの点滅は、デバイスがまだ使用されていることを示します。デバイスの信号またはトラフィックフローが完全に終了する前にNVMe SSDを取り外すと、データが消失する可能性があります。
- 容量が同じドライブを同じドライブアレイにグループ化すると、ストレージの容量効率が最大になります。

ホットプラグ対応LFF（3.5型）/SFF（2.5型）SAS、SATA、またはNVMeドライブを取り付ける

このタスクについて



注意：適切なシステム冷却を維持するため、アクセスパネルを開けたまま、または取り外したまま長時間サーバーを動作させないでください。この方法でのサーバーの動作によって、不適切なシステムのエアフローが発生します。内部ホットプラグコンポーネント手順の場合、60秒以内に手順を完了してください。そうしないと、システムの温度が上昇し、安全しきい値を外れる可能性があります。これが発生した場合：

- ヘルスLEDがオレンジ色で点滅します。
- オペレーティングシステムが正常にシャットダウンします。



注意：人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



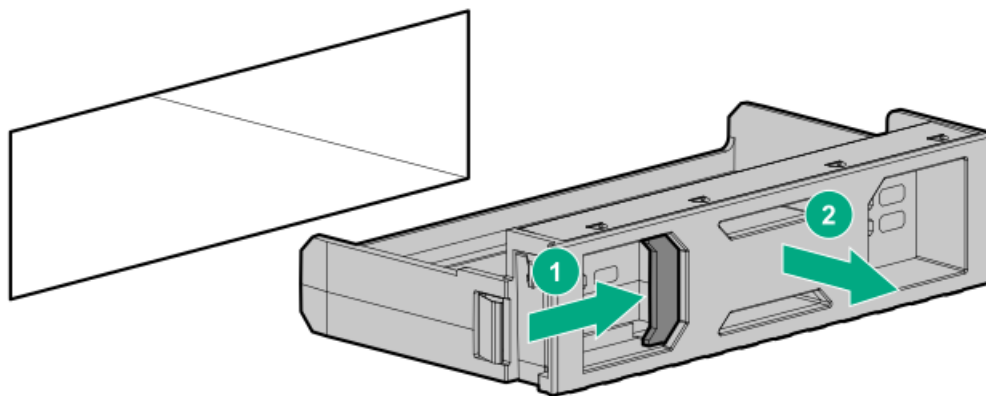
注意：不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

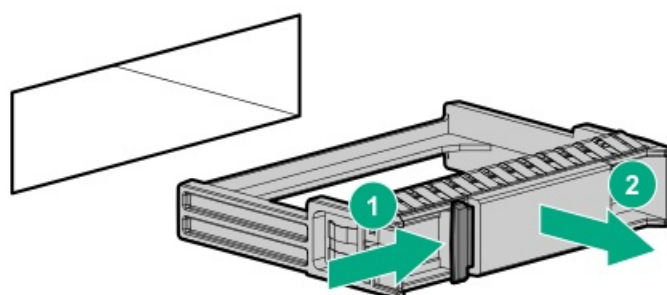
1. ドライブブランクを取り外します。

ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。

- LFF (3.5型) ドライブブランク

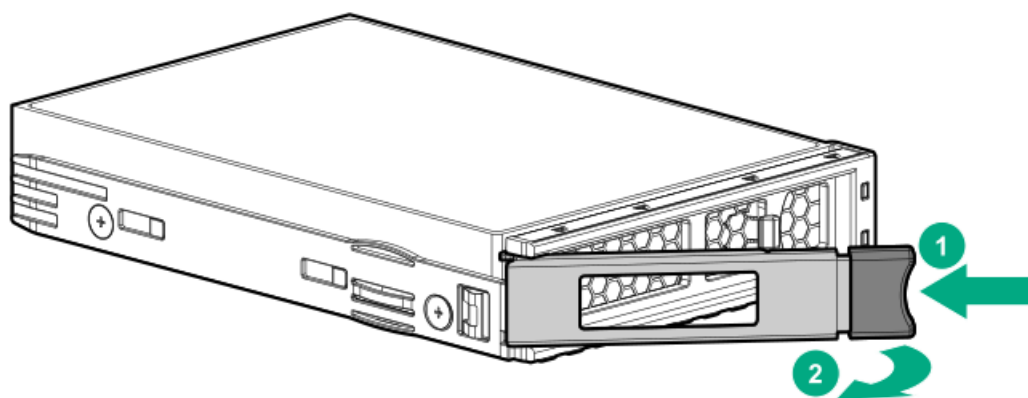


- SFF (2.5型) ドライブブランク

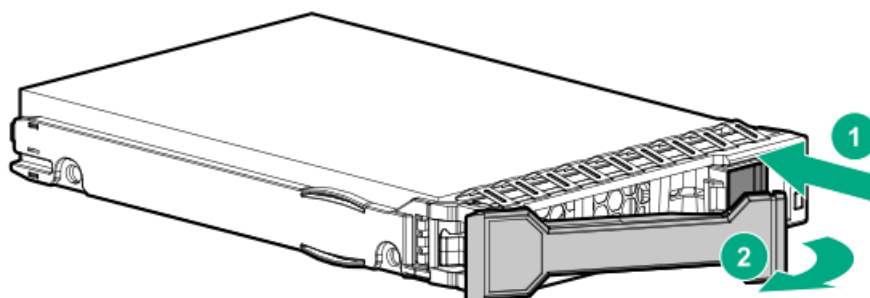


2. ドライブを準備します。

- LFF (3.5型) ドライブ



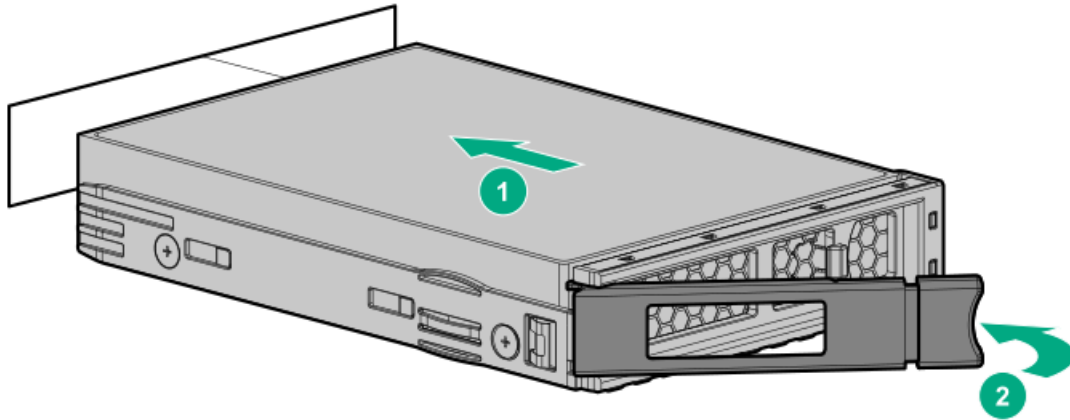
- SFF (2.5型) ドライブ



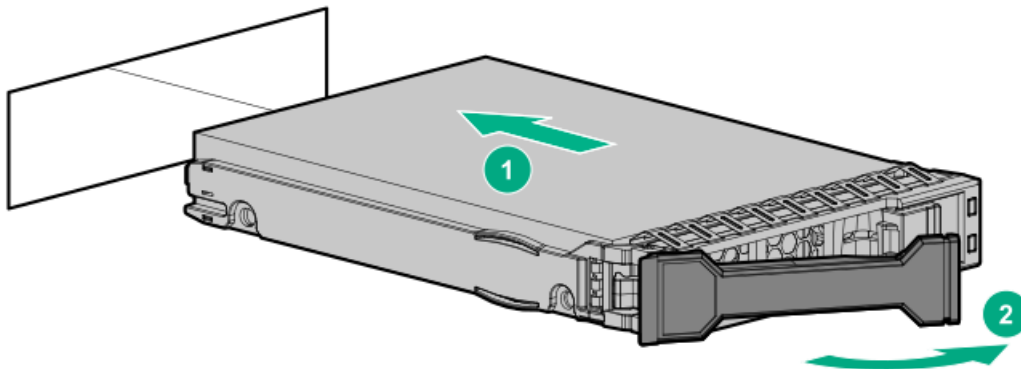
3. ドライブを取り付けます。



- LFF (3.5型) ドライブ



- SFF (2.5型) ドライブ



4. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。
5. 取り外している場合、フロントベゼルを取り付けます。
6. コントローラーを構成します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

E3. Sドライブを取り付ける

このタスクについて



注意:

人間の指など、導電体からの静電気放電によって、システムボードなどの静電気に弱いデバイスが損傷することがあります。装置の損傷を防止するために、静電気防止の注意事項に従ってください。



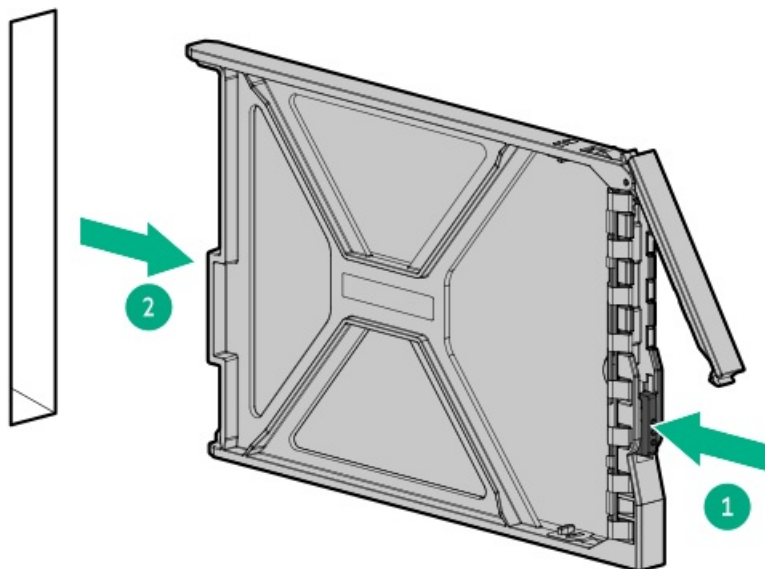
注意: 不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブランクのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

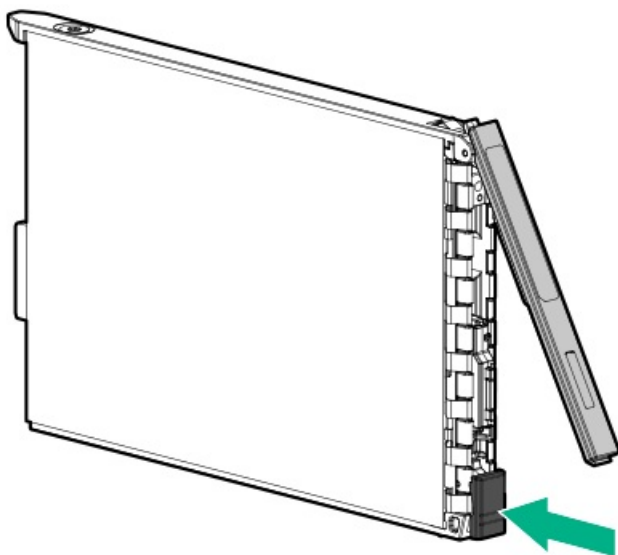
1. ドライブ上のすべてのサーバーデータのバックアップを取ります。

2. 取り付けられている場合、フロントベゼルを取り外します。
3. ドライブのLEDステータスを確認し、ドライブを取り外すことができるかどうかを判断します。
4. ドライブブランクを取り外します。

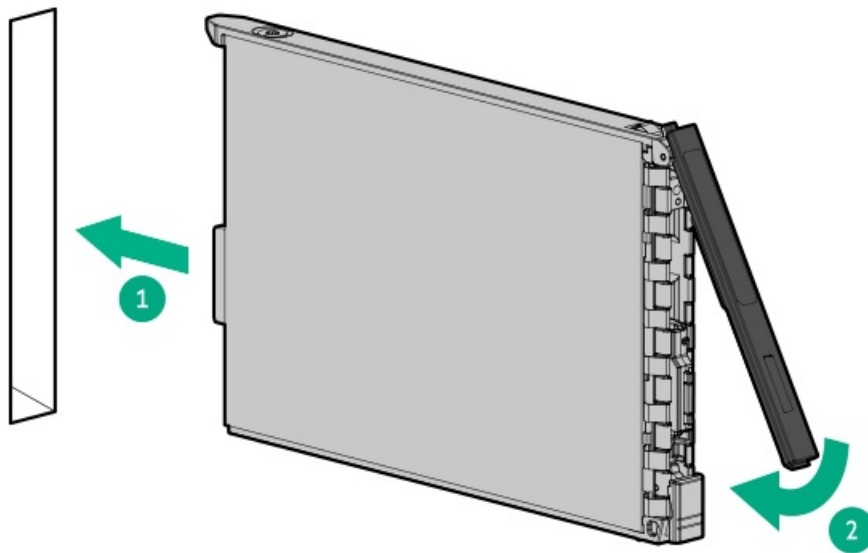
ブランクは、将来使用できるように保管しておいてください。



5. ドライブを準備します。



6. ドライブを取り付けます。



7. ドライブLEDの定義から、ドライブのステータスを確認します。
8. 取り外している場合は、フロントベゼルを取り付けます。
9. ドライブアレイを構成するには、関連するストレージコントローラーガイドを参照してください。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

Energy Packオプション

サーバー電源の計画外の停電が発生した場合、HPEストレージコントローラーのフラッシュバックアップ式ライトキャッシュ（FBWC）機能には、フラッシュデバイス内の書き込みキャッシュデータをバックアップするための集中型バックアップ電源が必要です。このサーバーは、Energy Packと総称される次の電源オプションをサポートします。

- HPE Smartストレージバッテリー
- HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

1つのEnergy Packで、複数のデバイスをサポートします。その取り付け後に、Energy PackのステータスがHPE iLOに表示されます。詳しくは、iLOのユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/ilo6>

サブトピック

最小ファームウェアバージョン
HPE Smartストレージバッテリー
HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター
Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける

最小ファームウェアバージョン

製品	最小ファームウェアバージョン
サーバーシステムROM	1.20
HPE MRタイプoおよびタイプp Gen11コントローラー	52.22.3-4650
HPE SR900シリーズタイプp Gen11コントローラー	03.01.14.062

HPE Smartストレージバッテリー

HPE SmartストレージバッテリーはHPEのSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

1個の96Wバッテリーで最大24のデバイスをサポートできます。

バッテリーの取り付け後、充電に最大で2時間かかることがあります。バックアップ電源が必要なコントローラーの機能は、バッテリーがバックアップ電源をサポートできるようになるまで再度有効になりません。

このサーバーは、145 mmケーブル付き96 W HPE Smartストレージバッテリーをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシター

HPE SmartストレージハイブリッドキャパシターはHPEのSRとMRの両方のストレージコントローラーをサポートしています。

コンデンサーパックは、最大2つまでのデバイスをサポートできます。

このサーバーは、145 mmケーブル付きHPE Smartストレージハイブリッドキャパシターをサポートします。

HPE Smartストレージハイブリッドキャパシターを取り付ける前に、このコンデンサーパックをサポートするためのファームウェアの最小要件をシステムBIOSが満たしていることを確認します。



重要:

システムBIOSまたはコントローラーファームウェアがファームウェアの最小推奨バージョンよりも古い場合、コンデンサーパックは1つのデバイスのみサポートします。

コンデンサーパックは、システムの起動後に完全に充電されています。

Smartストレージバッテリー/キャパシターを取り付ける

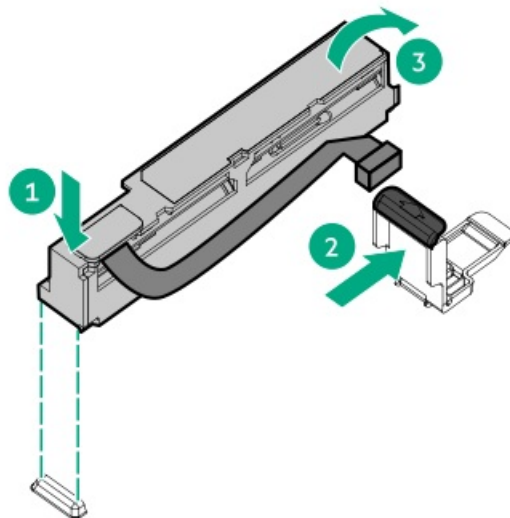
前提条件

ハードウェアオプションキットに含まれているコンポーネントが揃っていることを確認してください。

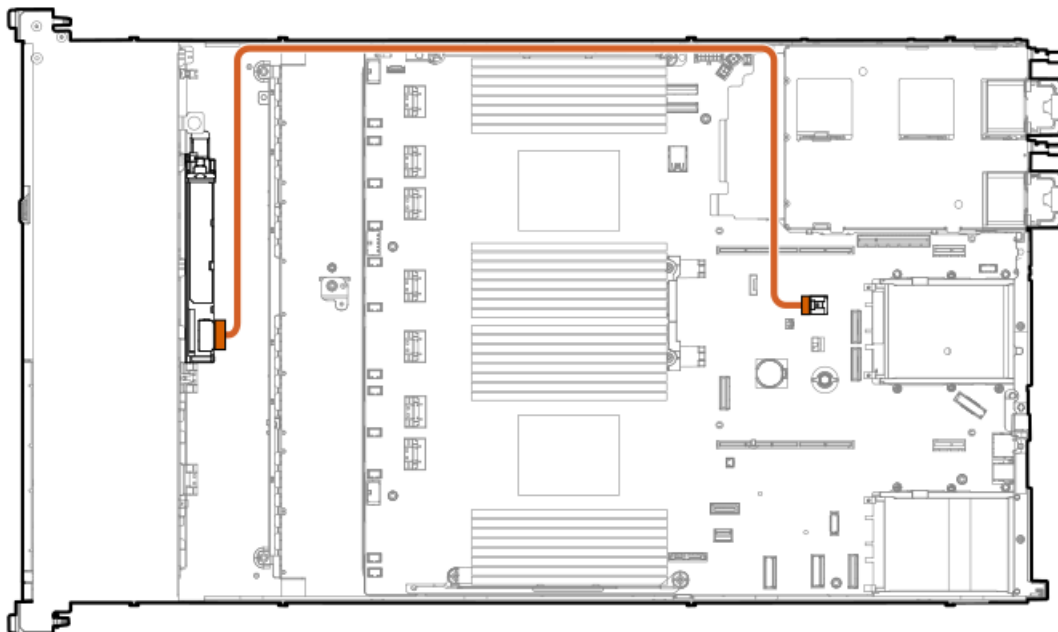
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 以下のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。

4. アクセスパネルを取り外します。
5. Energy Packを取り付けます。



6. 必要に応じて、延長ケーブルを接続します。
7. ケーブルをシステムボードに接続します。



8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源ソースに接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

管理

サブトピック

Systems Insight Displayの取り付け
リアシリアルポートインターフェイスを取り付ける

Systems Insight Displayの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

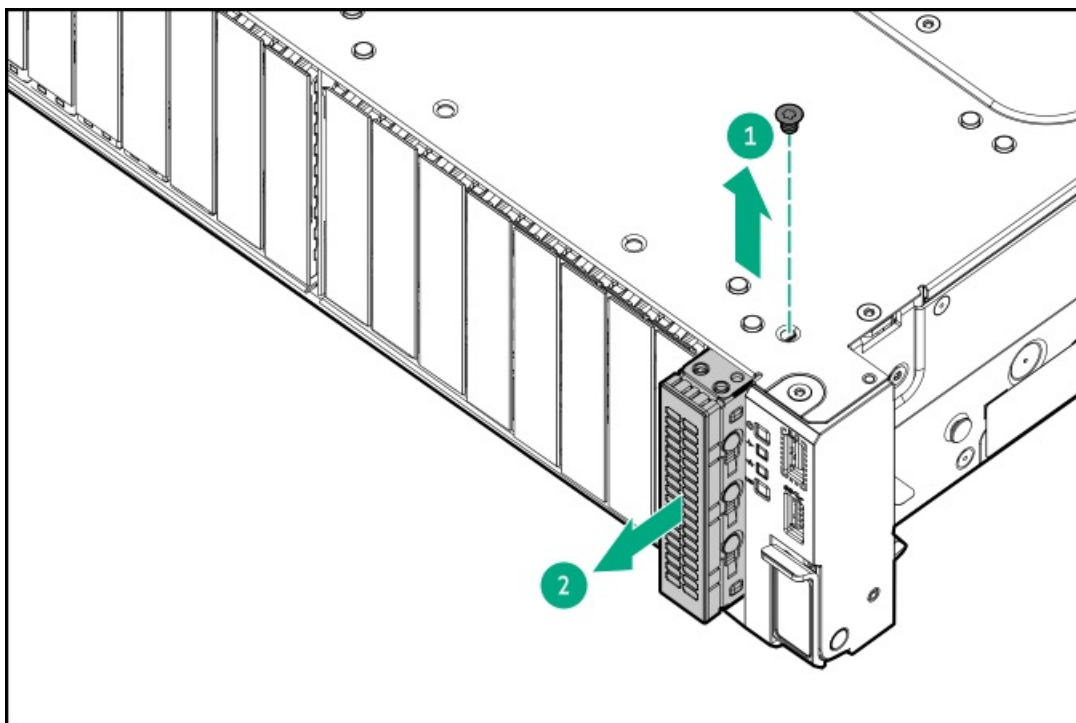
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

このタスクについて

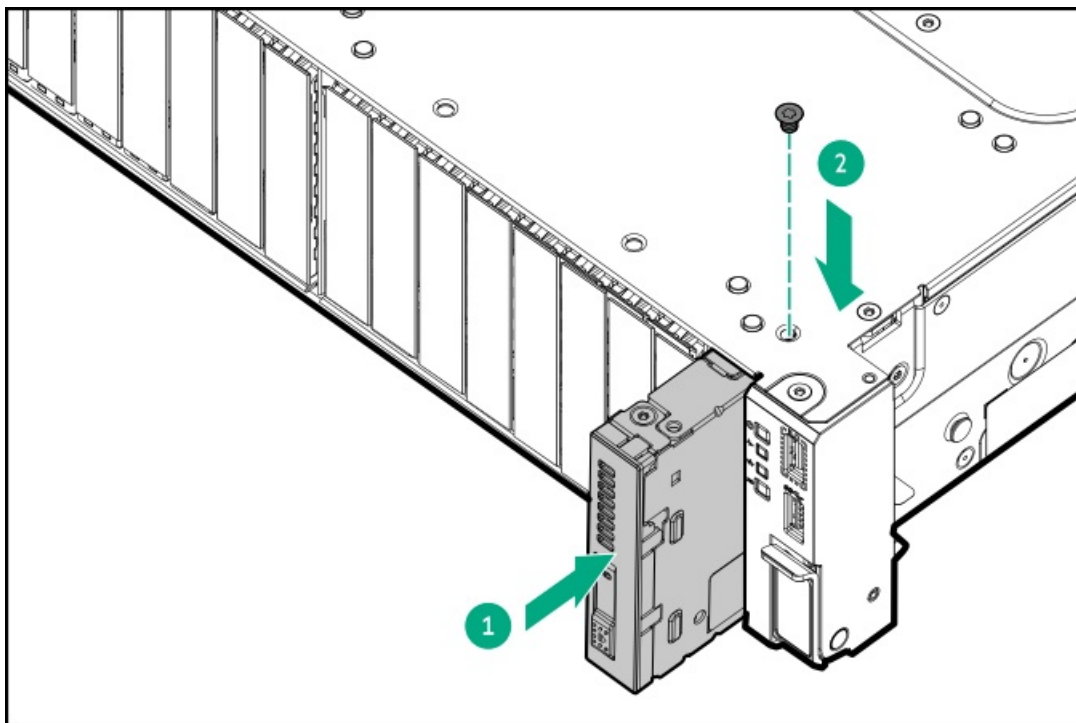
Systems Insight DisplayはSFF（2.5型）モデルでのみサポートされます。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. 次のいずれかを実行します。
 - エアバッフルを取り外します。
 - ミッドプレーンドライブケースが取り付けられている場合は、取り外します。
6. ファンケースを取り外します。
7. T-10ドライバーを使用して、電源スイッチモジュールブラントを取り外します。T-10ネジは保管しておいてください。



8. サーバー前面の開口部を通してSIDケーブルを配線し、SIDモジュールを取り付けます。T-10ネジを使用して、モジュールを固定します。



9. SIDモジュールケーブルをSIDモジュールコネクタに接続します。



注意: ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。

10. ファンケージを取り付けます。
11. 次のいずれかを実行します。
- エアバッフルを取り付けます。

- ミッドプレーンドライブケースを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
 13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
 14. 各電源コードをサーバーに接続します。
 15. 各電源コードを電源に接続します。
 16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リアシリアルポートインターフェイスを取り付ける

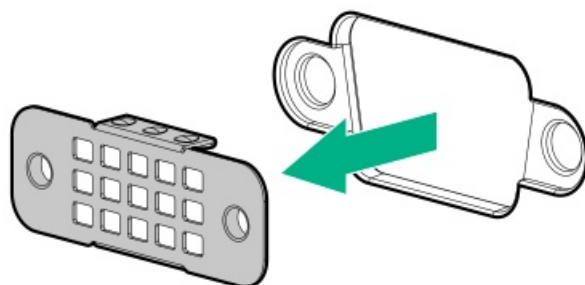
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

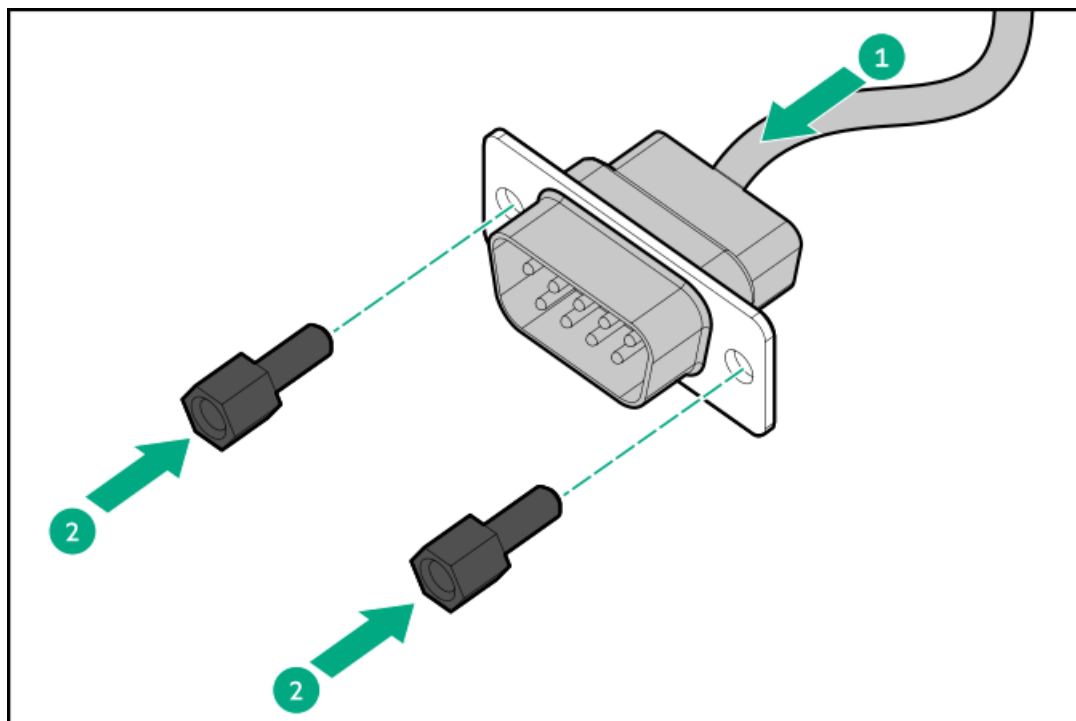
ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. シリアルポートブラックを取り外します。



6. シリアルポートインターフェイスを取り付けます。



7. ケーブルをシステムボードに接続します。
8. アクセスパネルを取り付けます。
9. サーバーをラックに取り付けます。
10. 各電源コードをサーバーに接続します。
11. 各電源コードを電源に接続します。
12. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

メモリ

サブトピック

メモリ取り付け情報

DIMMプロセッサの互換性

DIMMの取り付け

メモリ取り付け情報

特定のメモリ取り付けについては、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/docs/server-memory>) にあるメモリの取り付けガイドラインを参照してください。

DIMMプロセッサの互換性

第4世代インテルXeonスケーラブルプロセッサは、DDR5-4800 DIMMをサポートします。

DIMMを混在させないでください。サーバーでサポートされているDDR5-4800 DIMMのみを取り付けます。

DIMMの取り付け

前提条件

このオプションを取り付ける前に、以下のものがあることを確認します。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

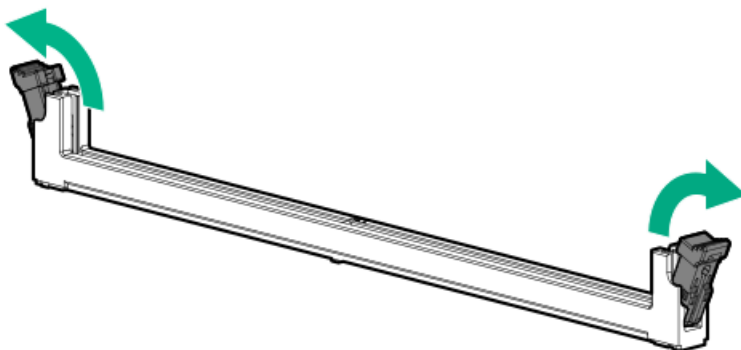
個々のオプションについて詳しくは、サーバーのQuickSpecsを[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)で参照してください。

このタスクについて

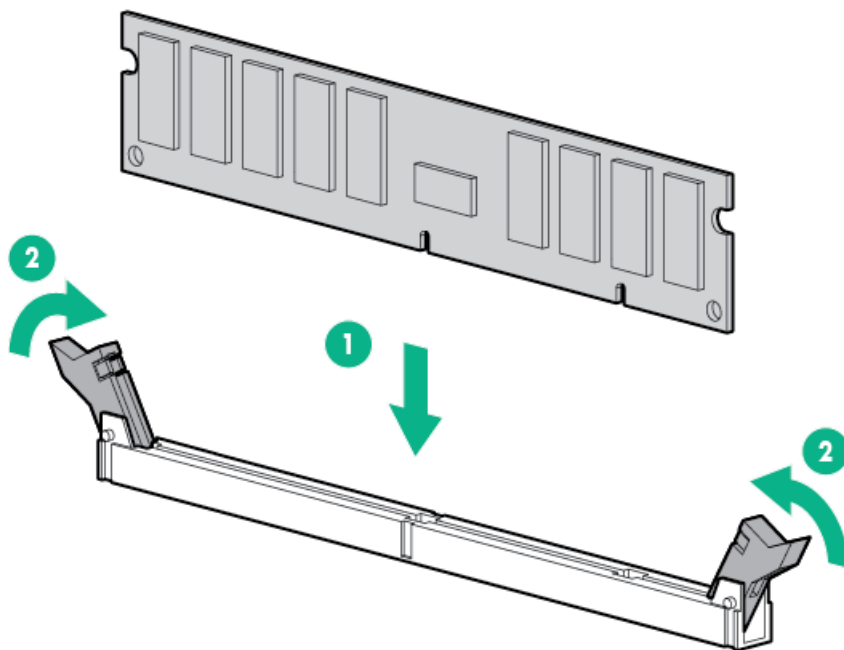
このサーバーは、最大32枚のDIMMをサポートします。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - a. サーバーをラックから引き出します。
 - b. サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルを取り外します。
6. DIMMスロットのラッチを開きます。



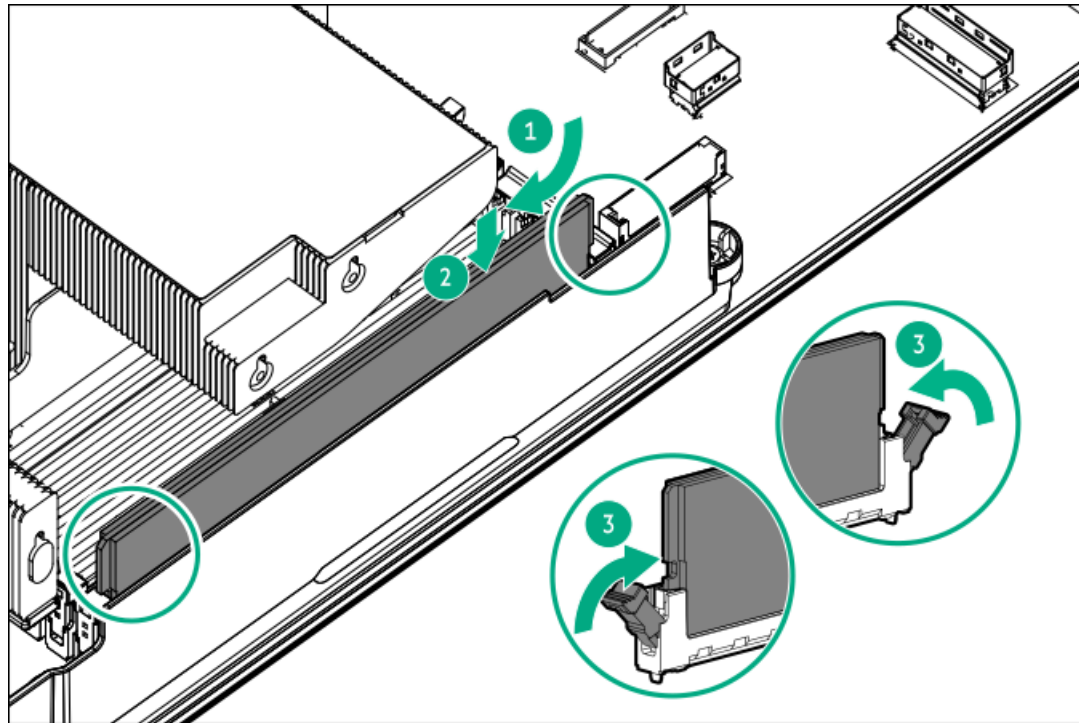
7. 次のいずれかを実行します。
 - 最高性能ヒートシンクを搭載していないシステムの場合は、DIMMを取り付けます。



- 最大性能ヒートシンクを搭載したシステムの場合、DIMMをヒートシンクウィングの下に配置してから、DIMMを取り付けます。



注意：高温面でやけどをしないように、ヒートシンクの温度が十分下がるまで少なくとも5分間待ってから手を触れてください。



8. エアバッフルを取り付けます。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに取り付けます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。

12. 各電源コードを電源に接続します。

13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

メモリモードを構成するには、UEFIシステムユーティリティのBIOS/プラットフォーム構成（RBSU）を使用します。

LEDおよび障害が発生したDIMMのトラブルシューティングについて詳しくは、Systems Insight Display LEDの組み合わせについての説明を参照してください。

ネットワーク

サブトピック

OCPネットワークアダプターを取り付ける

PCIeネットワークアダプターの取り付け

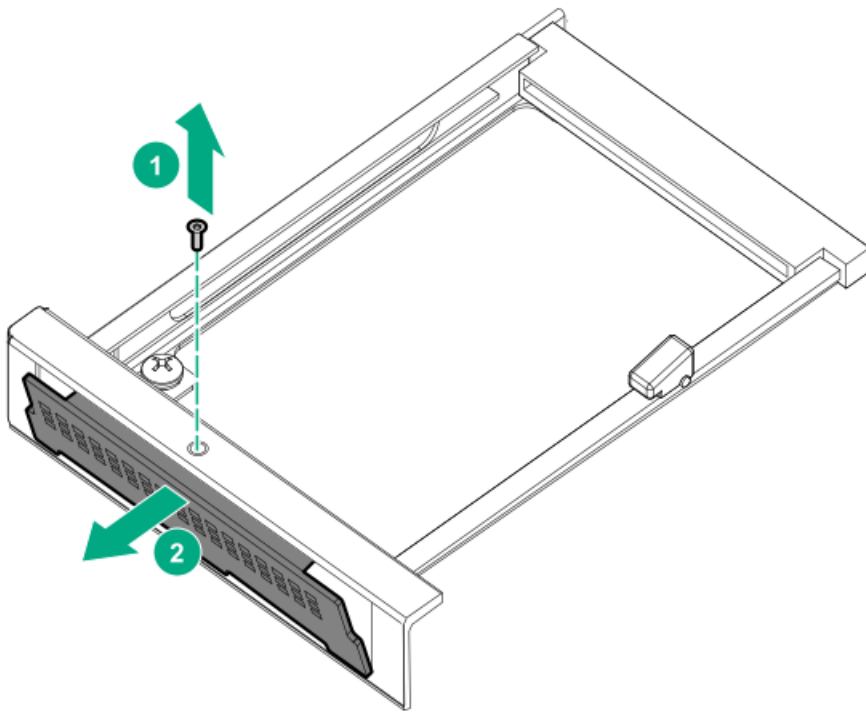
OCPネットワークアダプターを取り付ける

前提条件

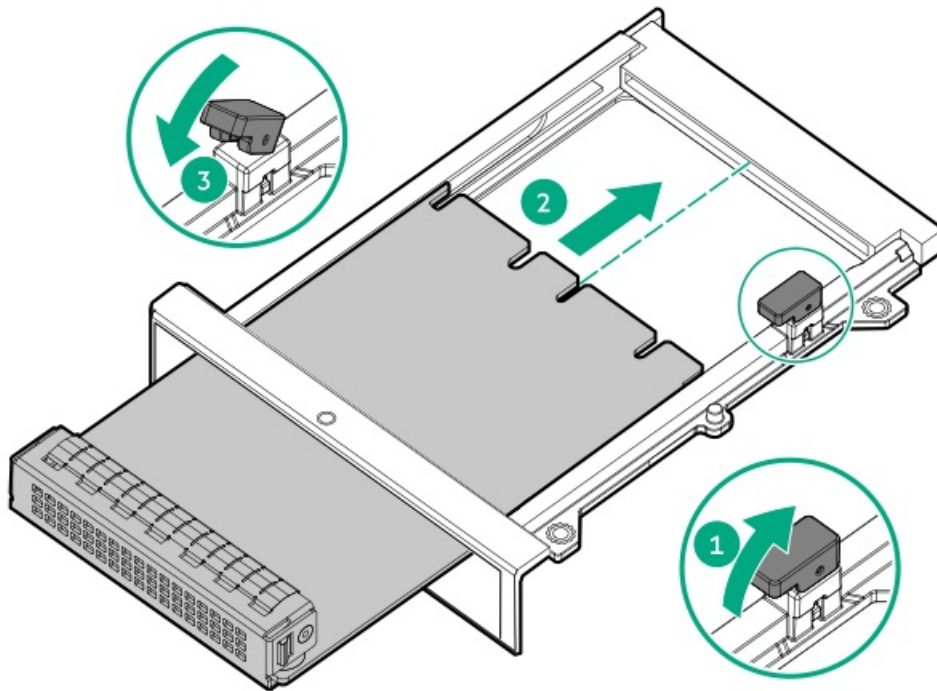
この手順を始める前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが使用可能であることを確認してください。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源の取り外し：
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. リアウォールブランクまたはライザーケージを取り外します。
6. OCPアダプターブランクを取り外します。



7. ネットワークアダプターを取り付けます。



8. ケーブルを接続します。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

PCIeネットワークアダプターの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて



警告： けが、感電、または装置の損傷に対するリスクの低減のために、電源コードを抜き取って、サーバーに電力が供給されないようにしてください。フロントパネルにある電源ボタンではシステムの電源を遮断することはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。

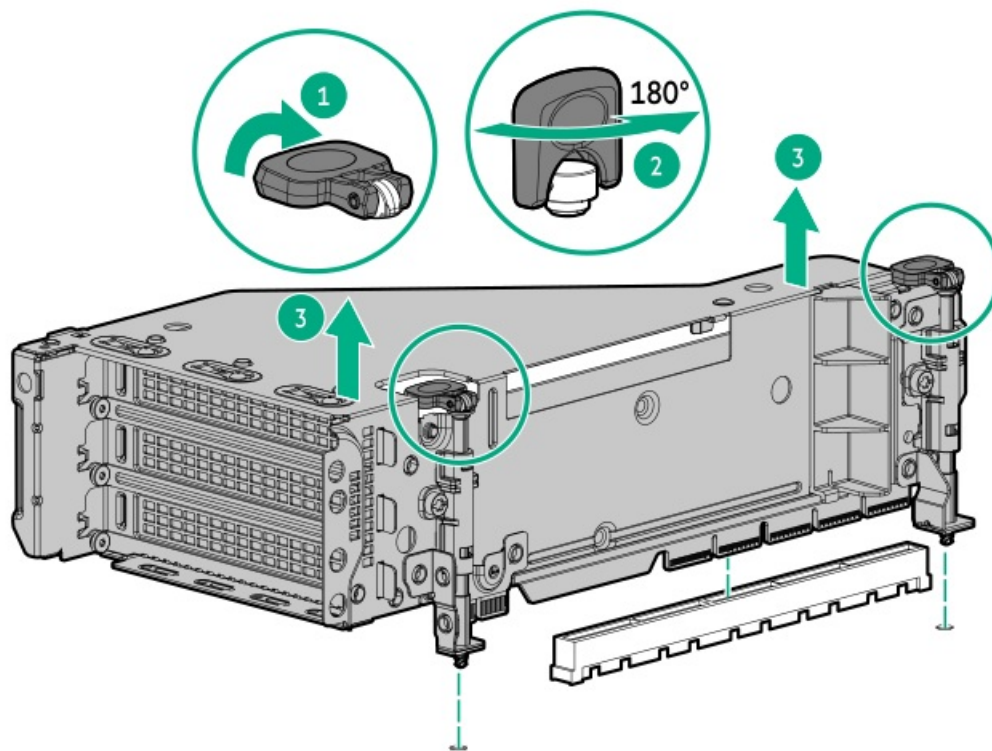


注意： 不適切な冷却または高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIスロットに必ず、拡張スロットカバーか拡張ボードのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

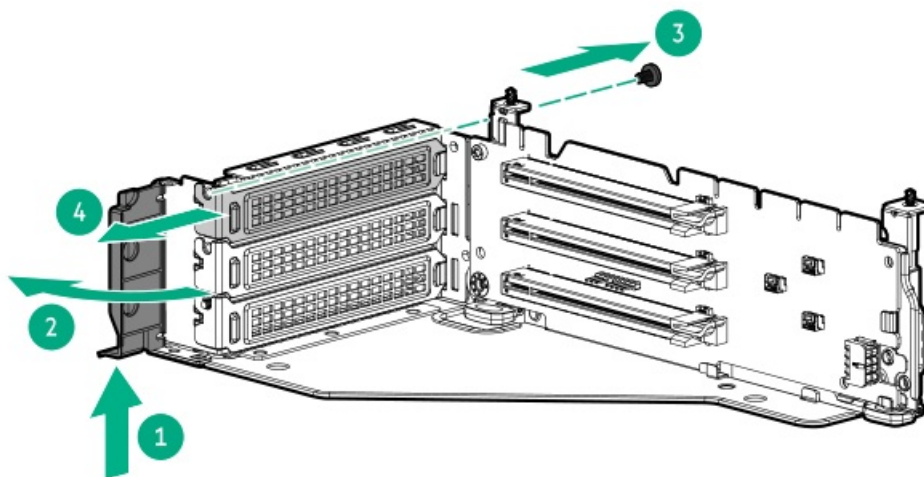
コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

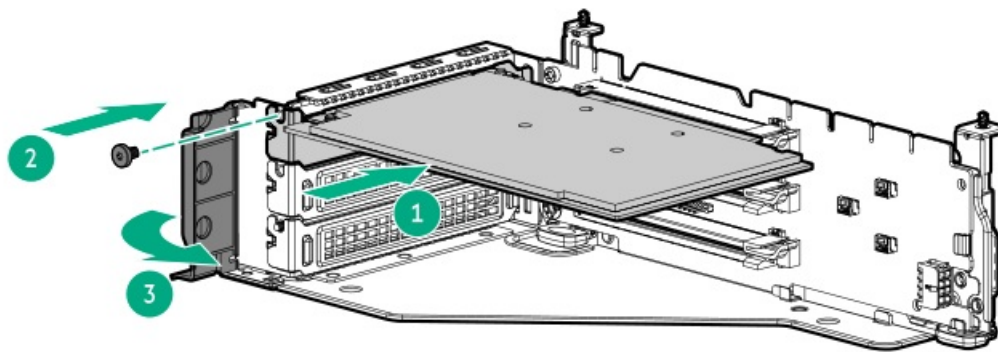
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ライザーケージを取り外します。



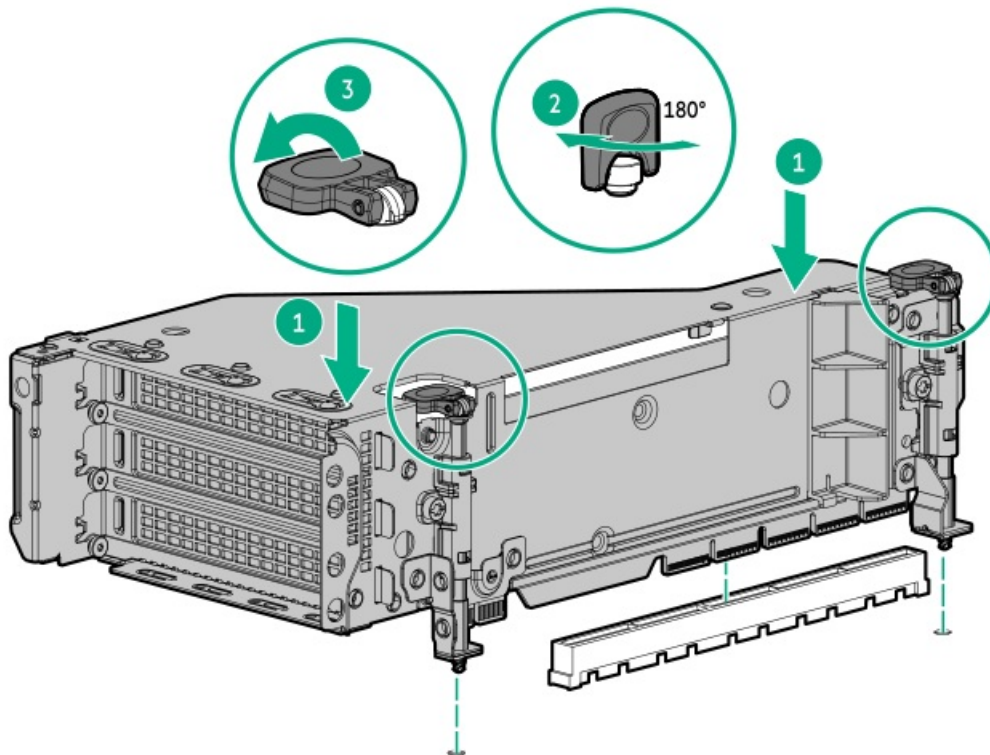
6. PCIeブランクを特定して、ライザーケーシングから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



8. ライザーケージを取り付けます。



9. ケーブルを接続します。

10. アクセスポネルを取り付けます。

11. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。

12. 各電源コードをサーバーに接続します。

13. 各電源コードを電源に接続します。

14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

オプティカルドライブとメディアベイ

サブトピック

SFF (2.5型) シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける

LFF (3.5型) シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける

SFF (2.5型) ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける

LFF (3.5型) ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける

SFF (2.5型) シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける

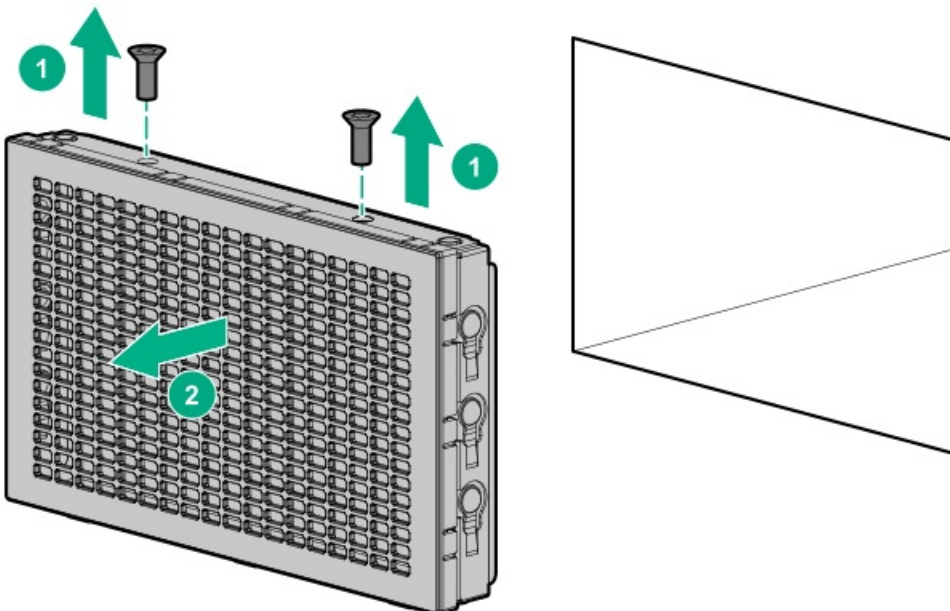
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

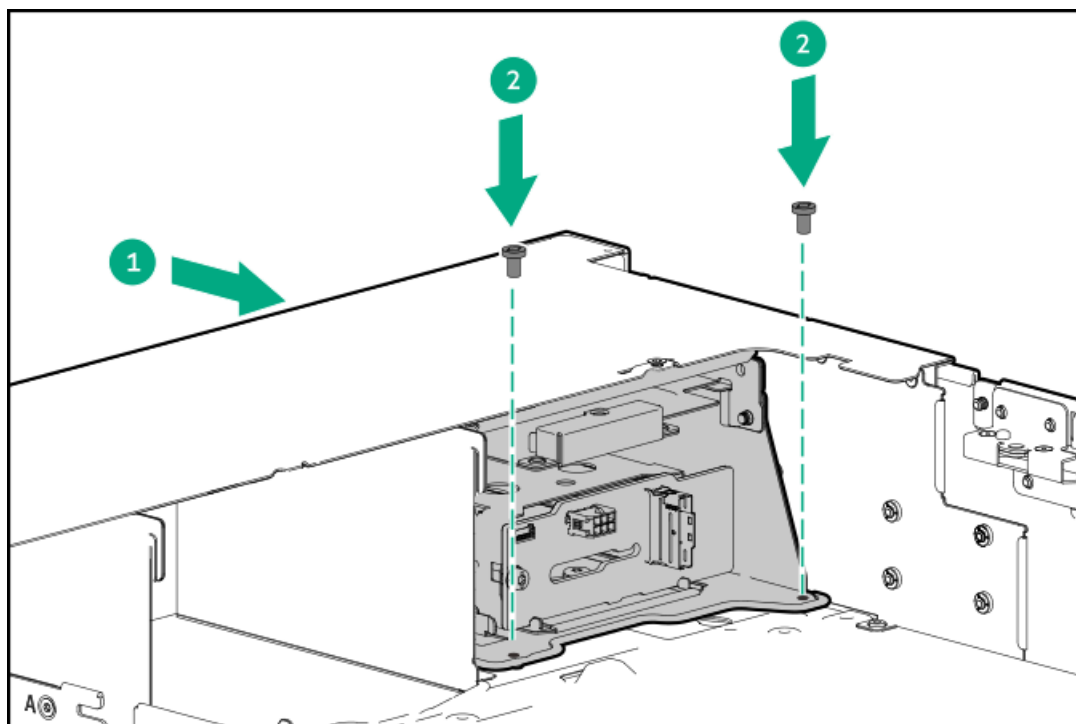
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルを取り外します。
6. ファンケージを取り外します。
7. ベイブランクを取り外します。



8. 開口部を通してUSBとビデオのケーブルを配線します。

9. スタックしたフロント2 SFF (2.5型) ドライブケージを取り付ける場合は、ドライブケージを取り付けます。
10. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。



11. ケーブルを接続します。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

LFF (3.5型) シャーシにユニバーサルメディアベイを取り付ける

前提条件

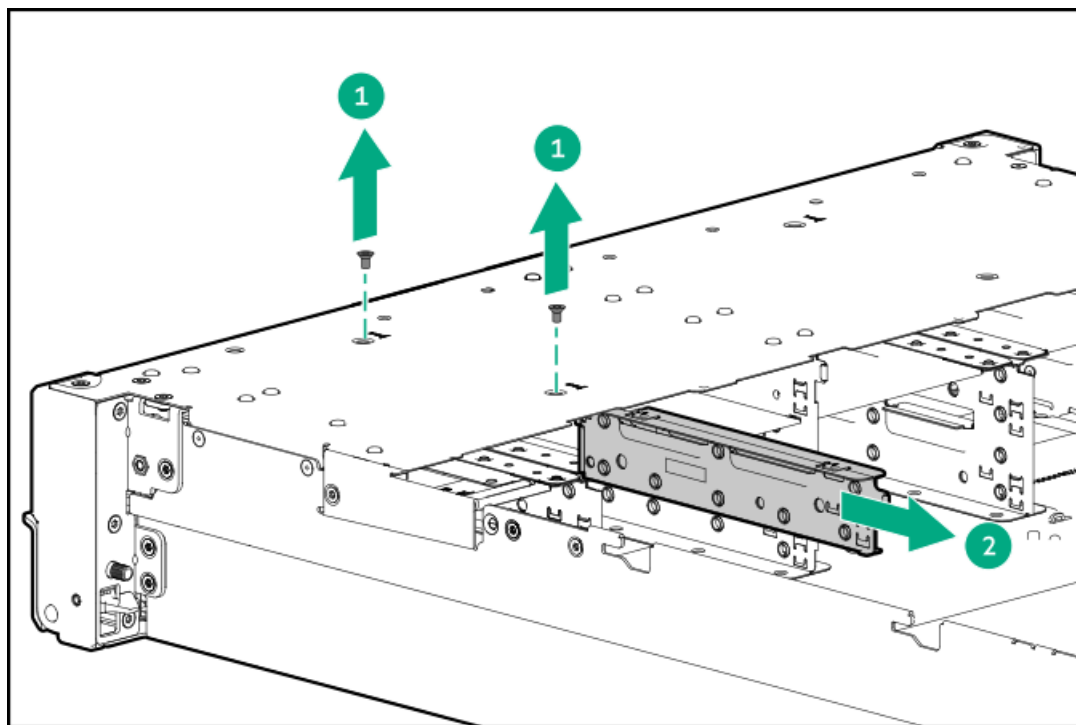
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

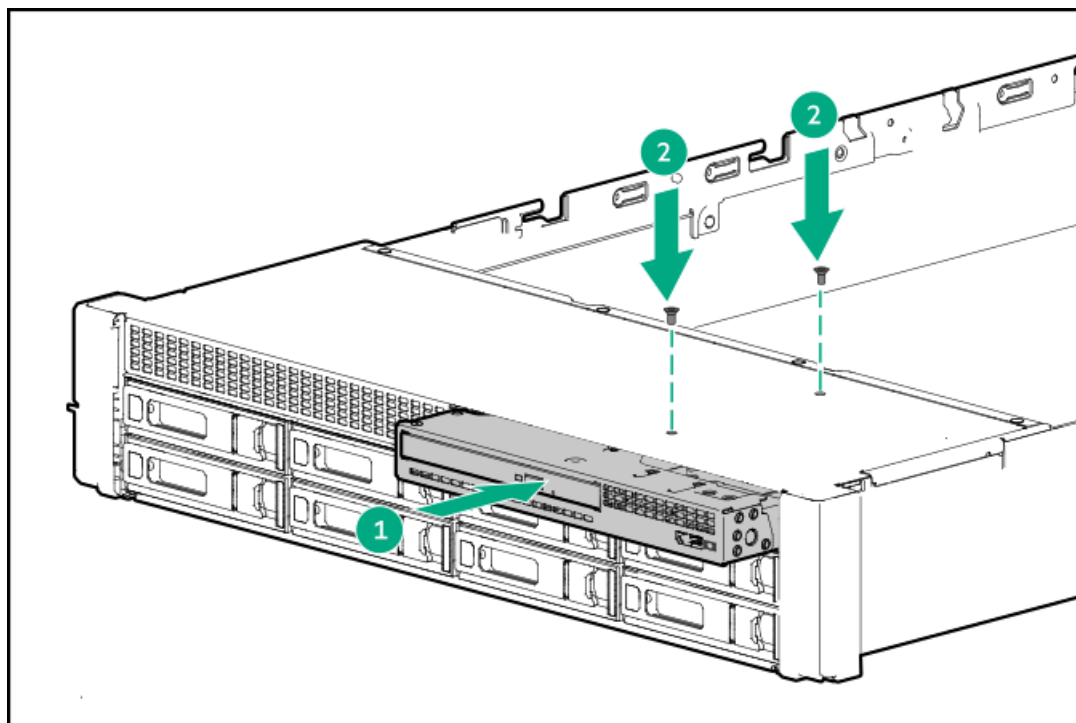
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します。
6. ファンケージを取り外します。
7. ベイブランクを取り外します。
8. サポートブラケットを取り外します。



9. 開口部を通してケーブルを配線します。
10. ユニバーサルメディアベイを取り付けます。



11. ケーブルを接続します。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

SFF (2.5型) ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける

前提条件

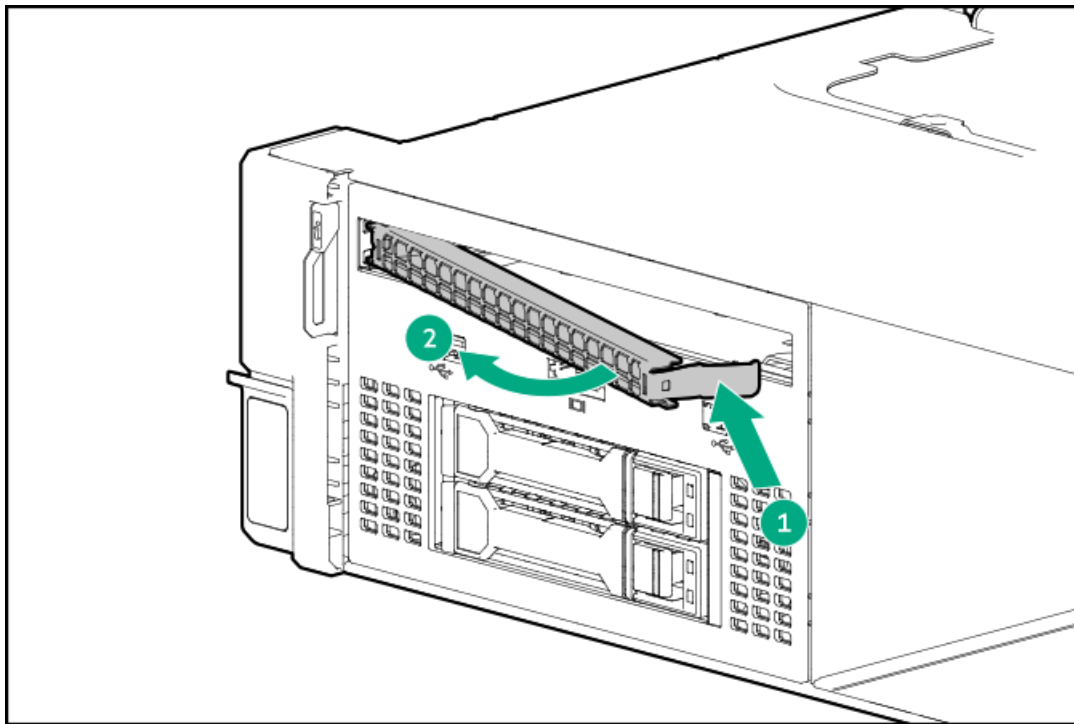
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

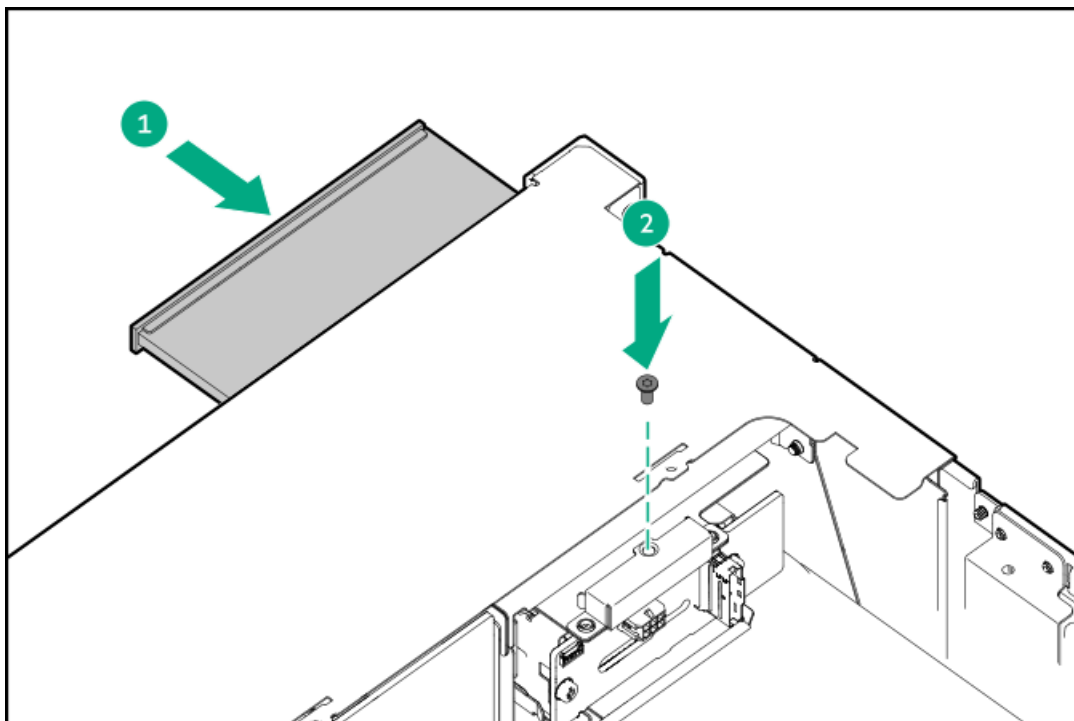
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。

3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します。
6. ファンケージを取り外します。
7. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブランクを取り外します。



8. オプティカルドライブをユニバーサルメディアベイに取り付け（番号1）、ネジを取り付けます（番号2）。



9. オプティカルディスクドライブをケーブルで接続します。

10. ファンケージを取り付けます。
11. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

LFF (3.5型) ユニバーサルメディアベイにオプティカルディスクドライブを取り付ける

前提条件

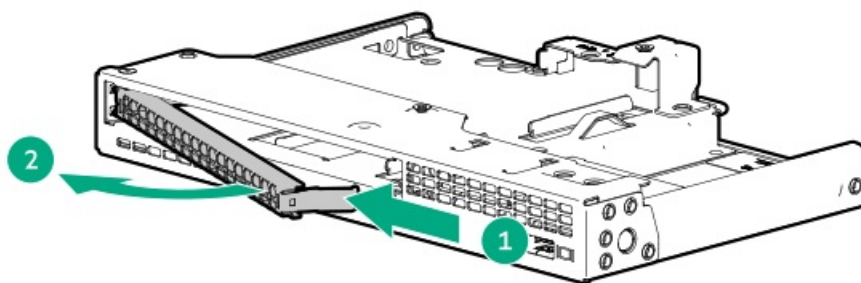
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- プラスドライバー (No. 1)

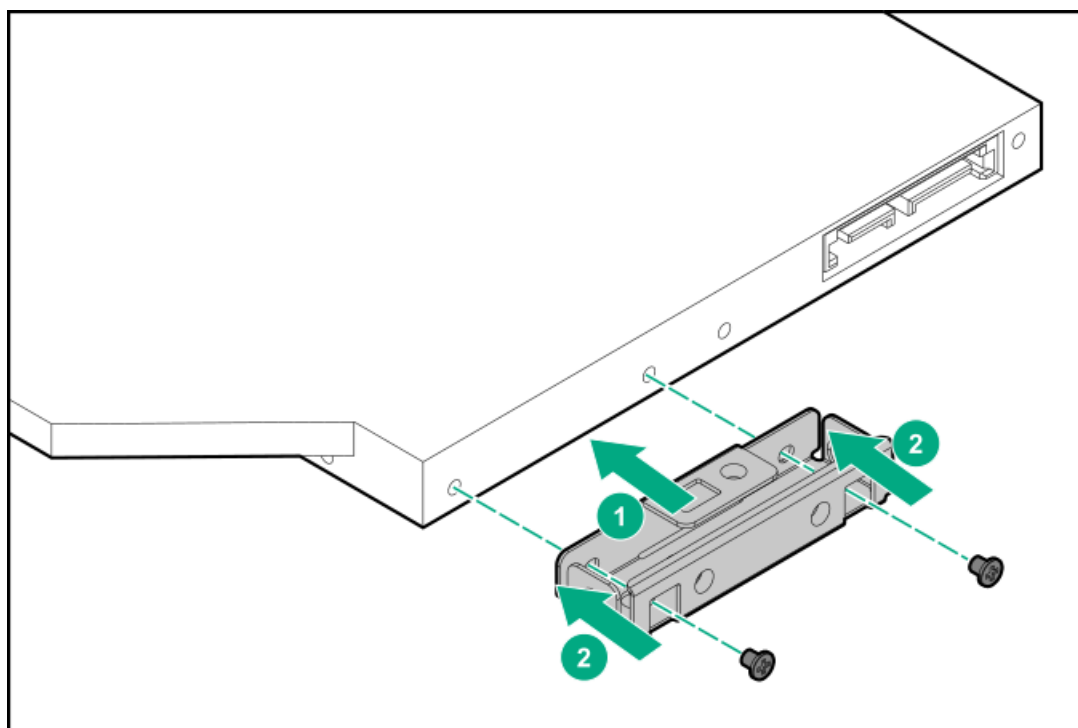
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り外します。
6. ファンケージを取り外します。
7. ユニバーサルメディアベイからオプティカルドライブブラנקを取り外します。

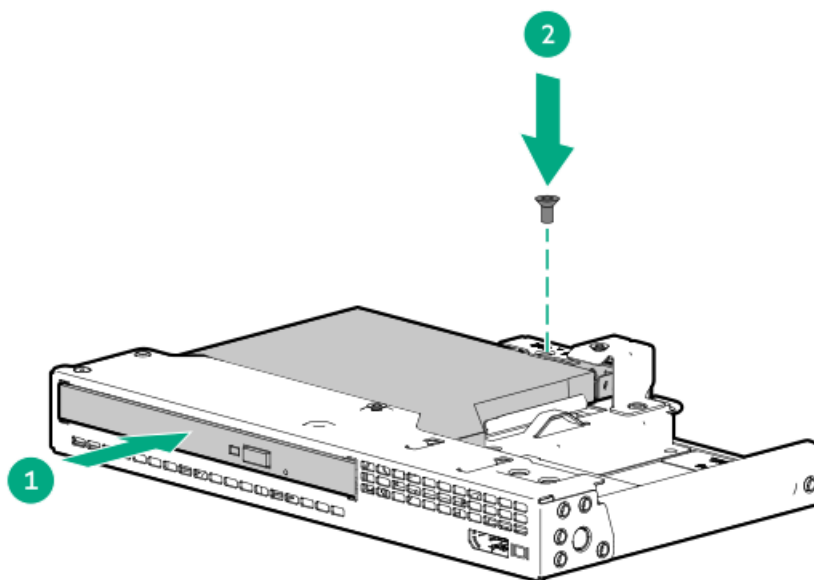
ブラנקは、将来使用できるように保管しておいてください。



8. オプティカルドライブブラケットを取り付けます。



9. オプティカルディスクドライブを取り付けます。



10. ファンケージを取り付けます。
11. エアバッフルまたはミッドプレーンドライブケージを取り付けます。
12. アクセスパネルを取り付けます。
13. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
14. 各電源コードをサーバーに接続します。
15. 各電源コードを電源に接続します。
16. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

OSブートデバイス

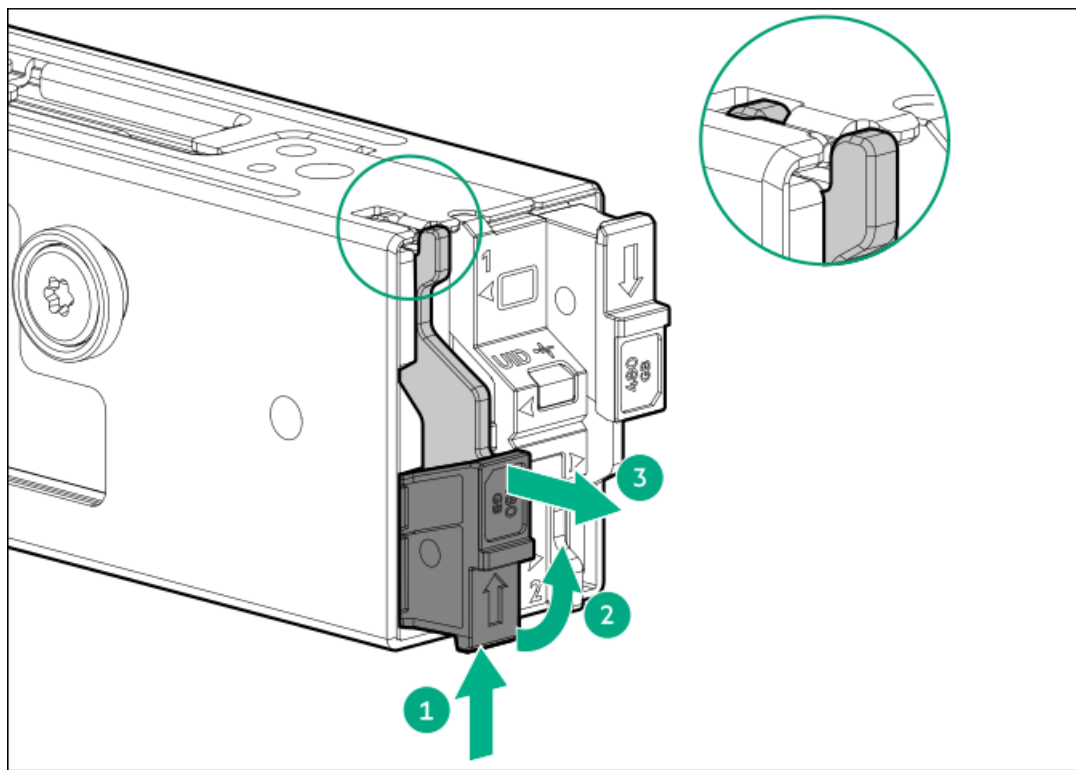
サブトピック

ブートデバイスドライブを取り付ける
HPE NS204i ブートデバイスの取り付け

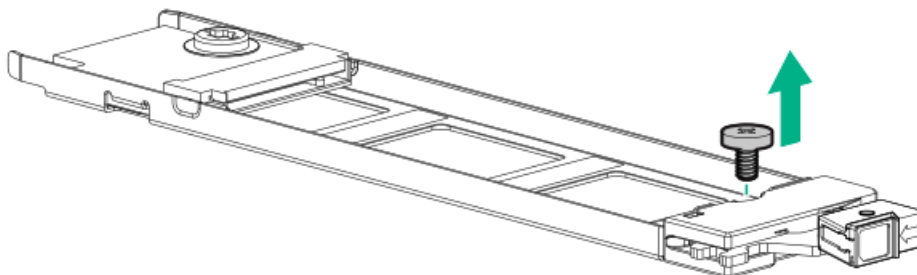
ブートデバイスドライブを取り付ける

手順

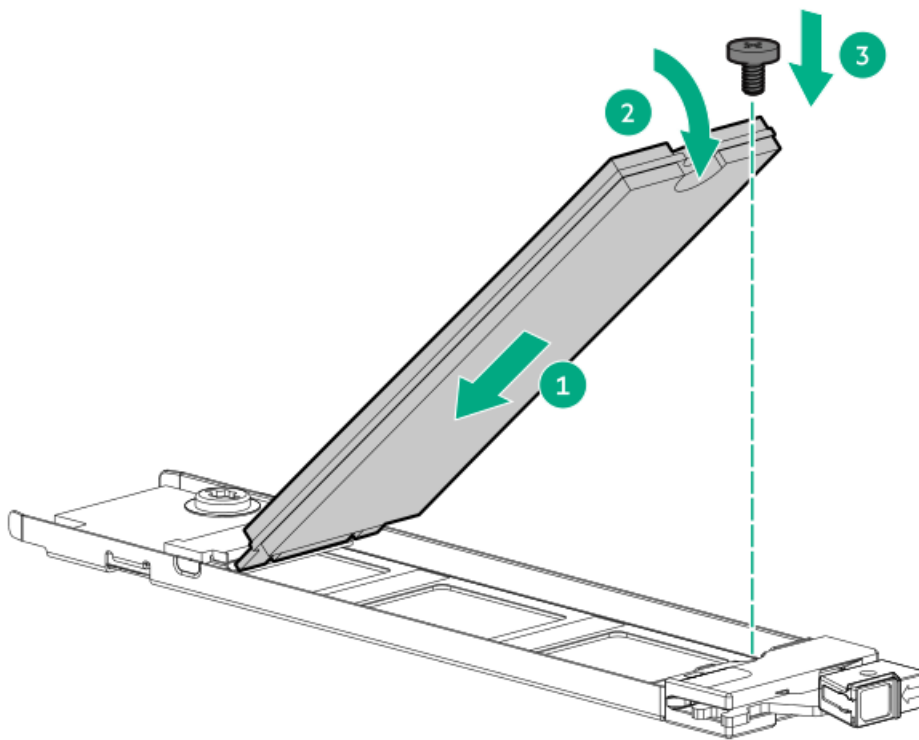
1. ボタンを押してキャリアを引き出します。



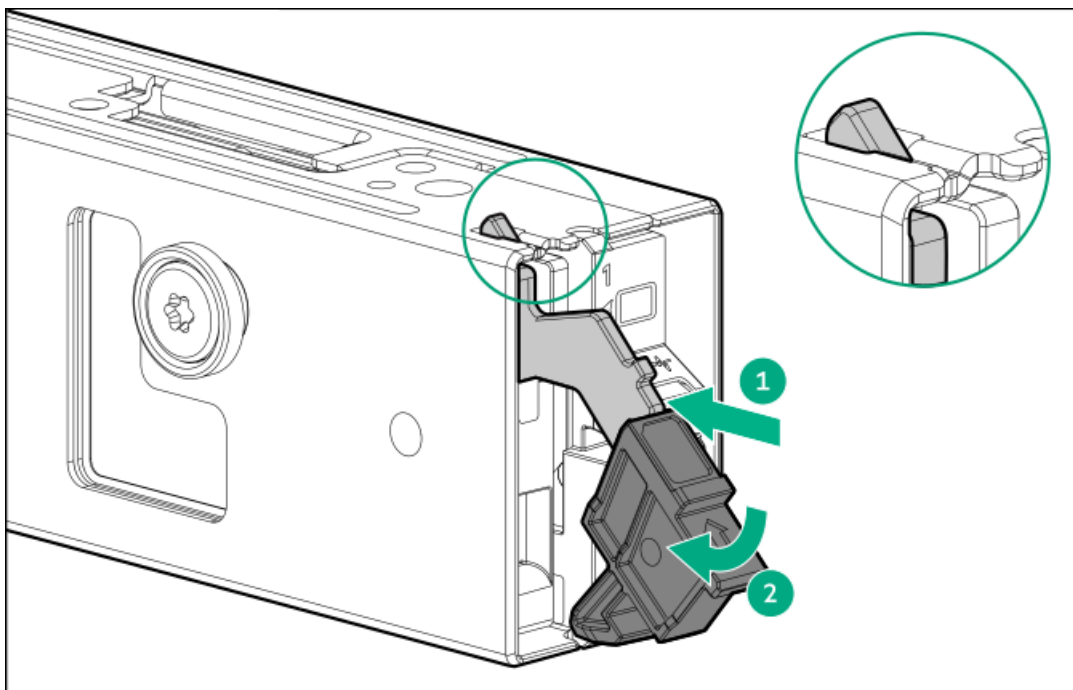
2. SSD取り付けネジを取り外します。



3. SSDを45度の角度でM.2スロットに挿入します（番号1）。
4. SSDを水平位置までゆっくりと押し下げます（番号2）。
5. SSD取り付けネジを取り付けます（番号3）。



6. 2つ目のM.2 SSDがキャリアアセンブリに取り付けられている場合、手順1と2を繰り返します。
7. キャリアをブートデバイスベイ内にスライドさせ、ボタンを押します。ラッチが所定の位置にロックされると、カチッという音がします。ラッチが完全にかみ合っていることを確認します。



注記:

ドライブの取り外しについても、同じ手順に従ってください。

HPE NS204i ブートデバイスの取り付け

前提条件

- 取り付けを開始する前に、サーバーが最新のオペレーティングシステムファームウェアとドライバーでアップデートされていることを確認してください。
- この手順を実行する前に、T-10トルクスドライバーを用意しておきます。

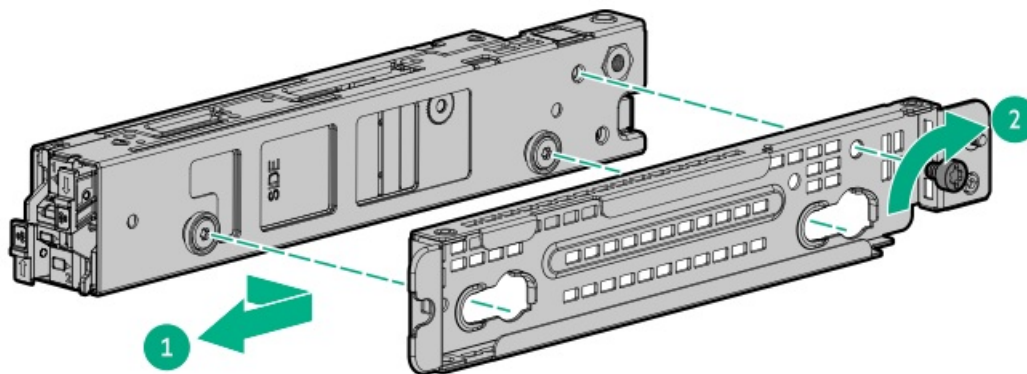
このタスクについて

次の点に注意してください。

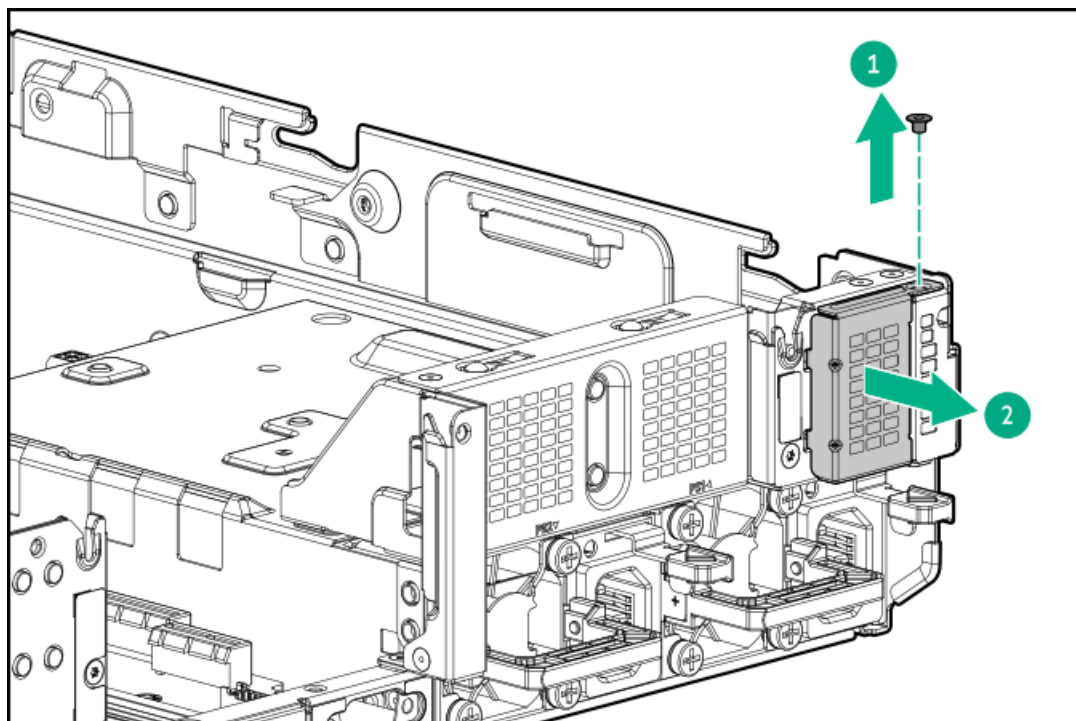
- HPE NS204i-u Gen11ホットプラグ対応ブートデバイスは、ホットプラグ対応2280 M.2 NVMe SSDを2台搭載したPCIe3 x4 カスタムフォームファクターモジュールです。
- HPE NS204i-uブートデバイスは起動時にRAID1ボリュームを自動作成するため、構成は必要ありません。
- HPE NS204iブートデバイスコンポーネントを特定します。

手順

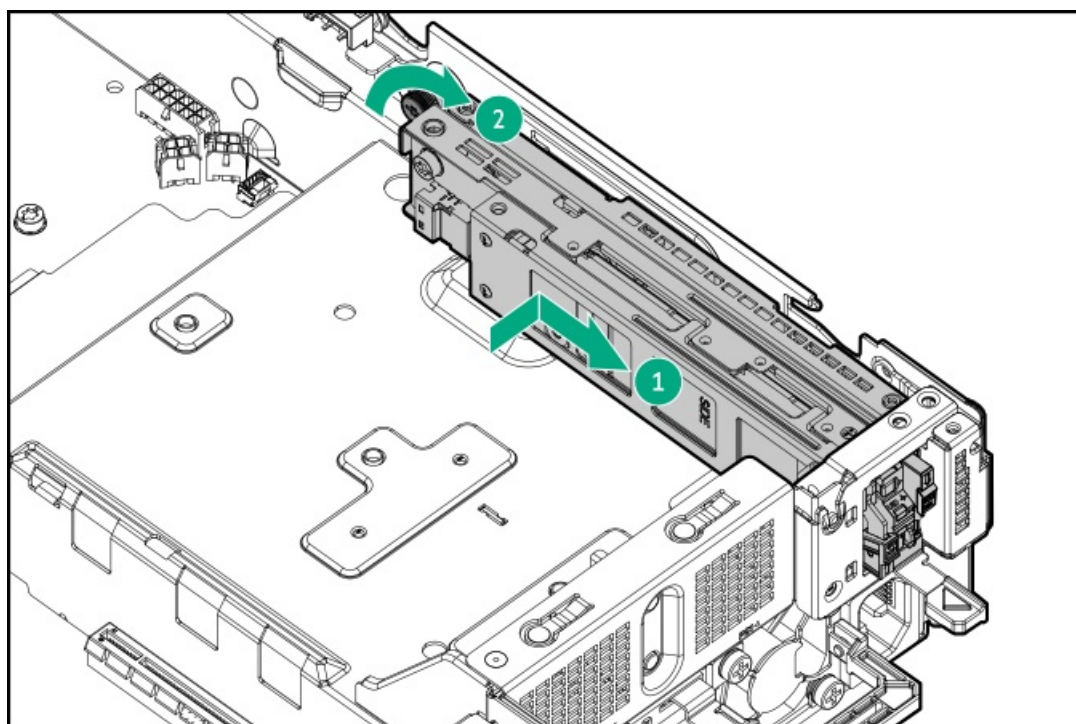
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ドライブをブートデバイスに取り付けます。
6. ブートデバイスをマウンティングブラケットに取り付けます。



7. ドライブへのアクセスを許可するには、セキュリティカバーを取り外します。
ドライブへのアクセスを保護したい場合は、セキュリティカバーを取り付けたままにしてください。



8. マウンティングブラケットを取り付けます。



9. HPE NS204i ブートデバイスに電源ケーブルと信号ケーブルを接続します。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーをラックに取り付けます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源に接続します。
14. サーバーの電源を入れます。
15. HPE NS204i ブートデバイス上のオンライン/アクティビティLEDが緑色で点灯していることを確認します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

電源装置オプション

サブトピック

[電源装置に関する警告と注意事項](#)
[ホットプラグ対応電源装置に関する計算](#)
[AC電源装置の取り付け](#)
[DC電源装置に関する警告と注意事項](#)
[DC電源ケーブルとDC電源を接続する](#)
[DC電源装置のワイヤーの色](#)
[DC電源装置の取り付け](#)

電源装置に関する警告と注意事項



警告:

感電または装置の損傷を防ぐために、以下の点に注意してください。

- 電源コードのアース用プラグは常に取り付けてください。アース用プラグは安全上必要です。
- 電源コードは、いつでも簡単に手の届くところにあるアース付きコンセントに接続してください。
- 装置の電源を切る場合は、電源コードを電源装置から抜き取ってください。
- 電源コードは、踏みつけられたり、上や横に物が置かれて圧迫されることがないように配線してください。プラグ、電源コンセント、サーバーと電源コードの接続部には、特に注意してください。



警告: 感電を防止するために、電源装置のカバーを開けないようにしてください。メンテナンス、アップグレード、および修理はすべて資格のある担当者に依頼してください。



注意: 異なるタイプの電源装置を同じサーバー内に混在させると、次のようになる場合があります:

- 電源の冗長性のサポートを含む一部の電源装置の機能が制限されたり無効になる。
- システムが不安定になり、シャットダウンすることがある。

使用可能なすべての機能にアクセスできるようにするには、同一サーバー内のすべての電源装置の出力と効率を同じ定格にする必要があります。すべての電源装置の部品番号とラベルの色が一致することを確認してください。

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください

い。

AC電源装置の取り付け

前提条件

電源装置オプションを取り付ける前に、電源装置に関する警告と注意事項をお読みください。

このタスクについて



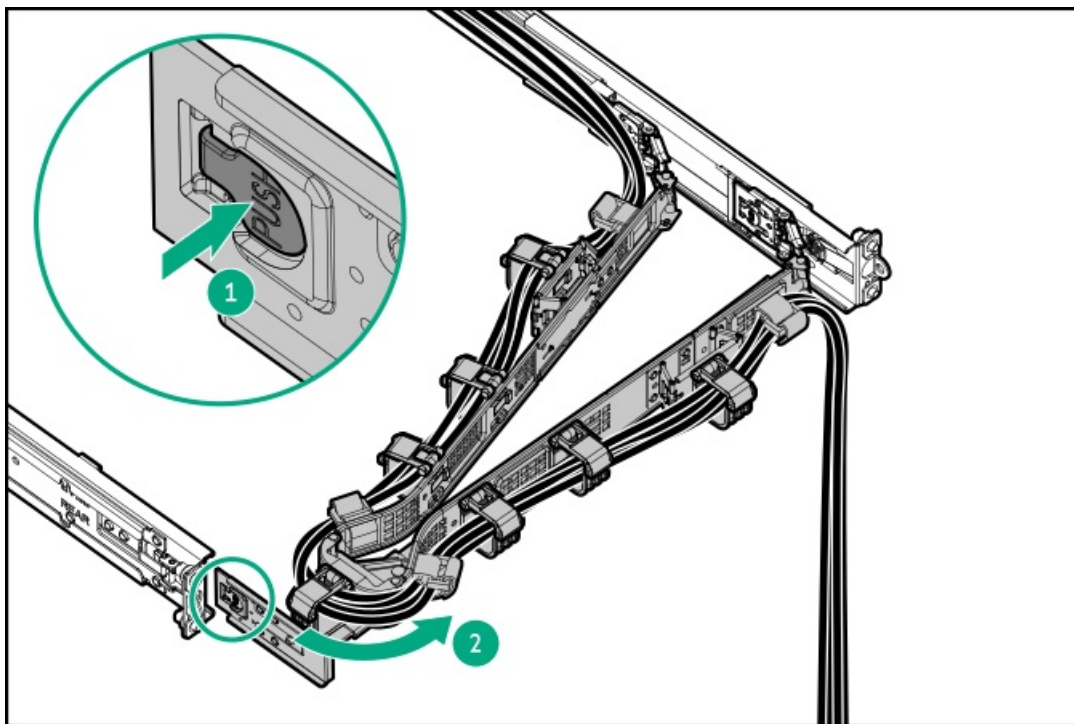
警告： 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



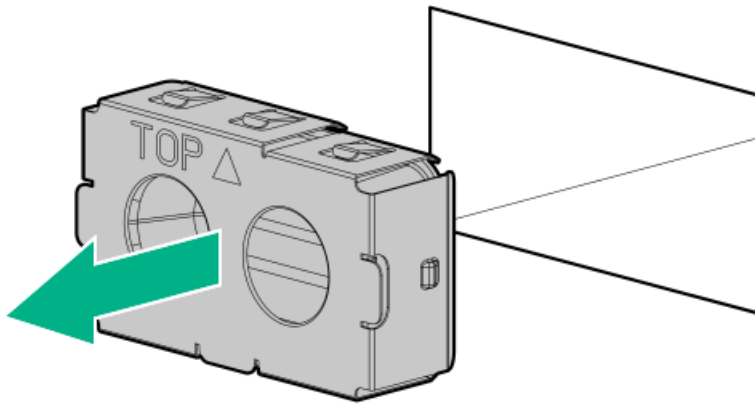
注意： 不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

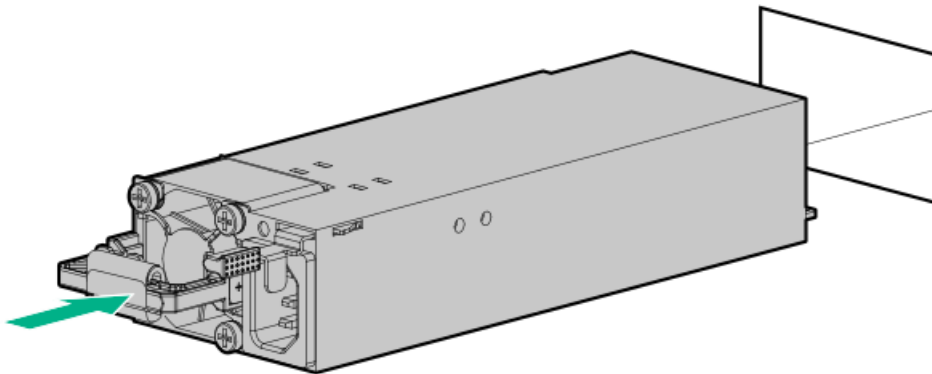
1. ケーブルマネジメントアームが取り付けられている場合は開きます。



2. 電源装置ベイ2に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブラנקを取り外します。
ブラנקは、将来使用できるように保管しておいてください。



3. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。

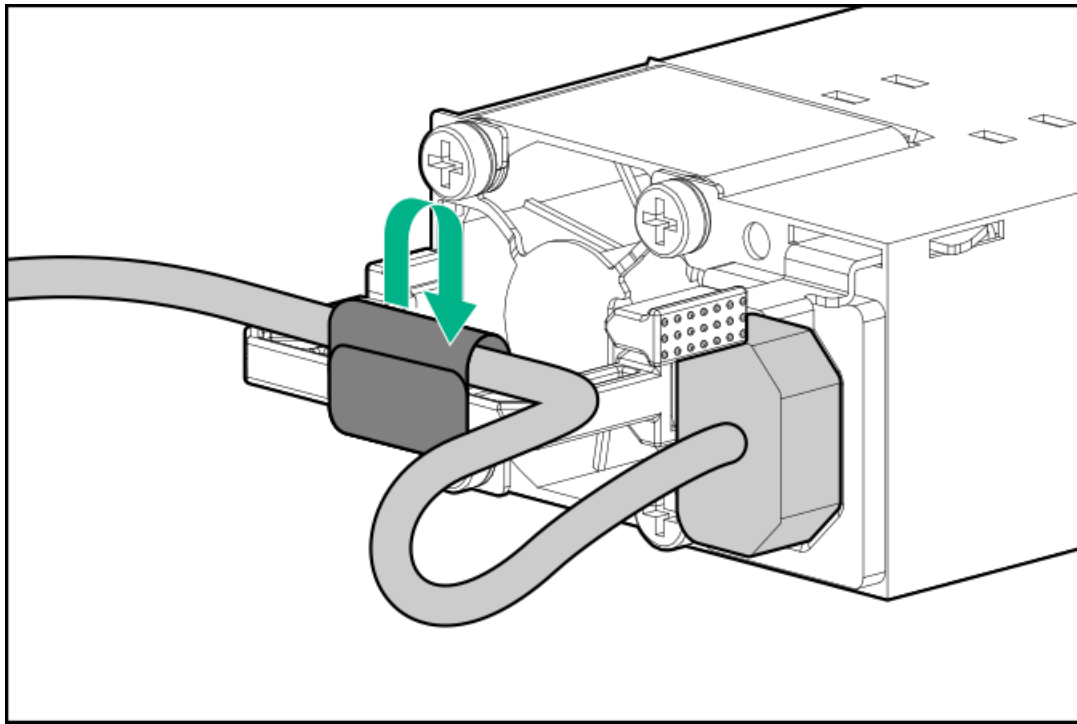


4. 電源コードを電源装置に接続します。
5. 電源装置のハンドルに取り付けられたストreinリリースストラップで電源コードを固定します。
 - a. ストレインリリースストラップを電源装置のハンドルから外します。

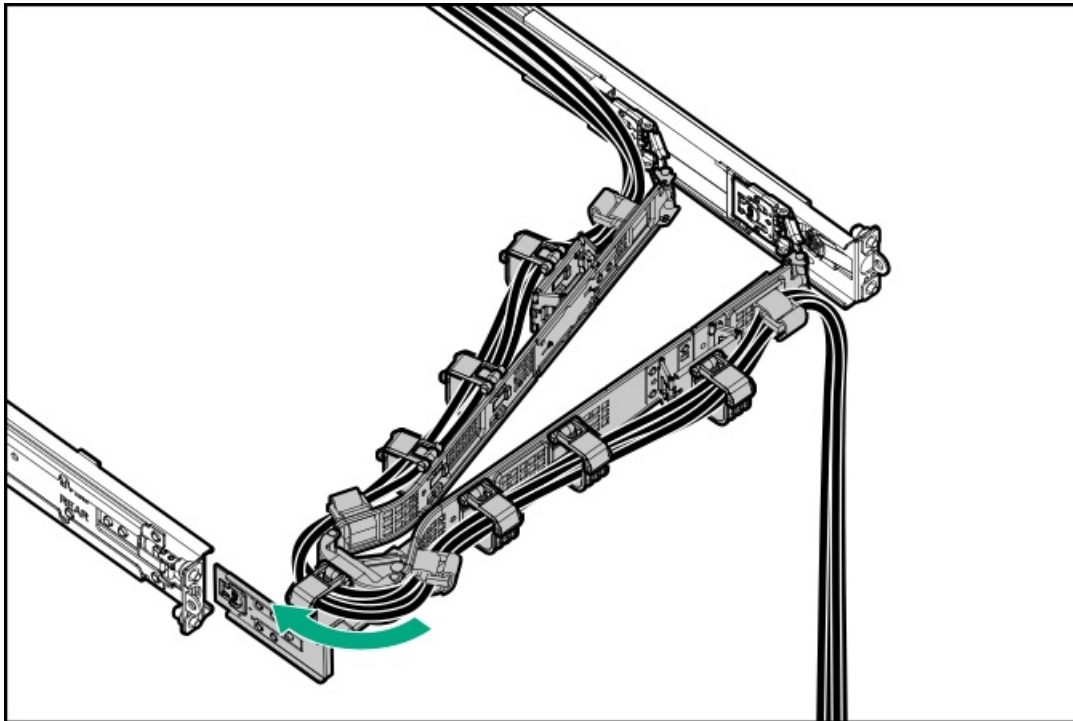


注意: 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。

- b. 電源コードをストreinリリースストラップで固定します。ストラップの余っている部分を電源装置のハンドルの周囲に巻き付けます。



6. 電源コードを接続します。
 - a. 各電源コードをサーバーに接続します。
 - b. 各電源コードを電源ソースに接続します。
7. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。
8. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを閉じます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

DC電源装置に関する警告と注意事項



警告： 感電の危険を減らすため、必ずケーブルのアースキットを正しく取り付け、適切な保護用アース端子に接続してから、サーバーに電源を接続してください。



注意： この装置は、DC供給回路のアース用導体と装置のアース用導体を接続できるように設計されています。上記の接続の場合、次の条件がすべて満たされている必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端末のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- この装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置する必要があります。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にある、アースされている回路導体には置かないでください。

DC電源ケーブルとDC電源を接続する

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- 電線カッター
- 手動圧着工具

このタスクについて



警告：

感電や高電圧によるけがを防止するために、次の注意事項を守ってください。

- この装置は、訓練を受けたサービス担当者が、地方および地域の電気規定および規制に従って設置する必要があります
- 正しくアースされているセカンダリ回路の電源に、装置を接続してください。セカンダリ回路はプライマリ回路に直接接続されておらず、変圧器、コンバーター、または同等の絶縁装置から電源を得ています。
- DC電源の過電流保護は45 Aを超えてはなりません。



警告：

DC電源装置を取り付ける際には、正極または負極リードを接続する前にアース線を接続する必要があります。



警告：

電源装置の取り付け手順やメンテナンスを実行する前に、電源装置の電源を切ってください。

**注意:**

サーバー装置で、DC供給回路のアースされている導体とアース用導体が接続されます。詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

**注意:**

DC供給回路のアースされている導体とアース用導体がサーバー装置でDC接続されている場合は、次の条件を満たす必要があります。

- この装置は、DC供給システムのアース電極導体、またはその接続先であるアース端子のバーまたはバスからのボンディングジャンパーに直接接続する必要があります。
- 装置は、同じDC供給回路のアースされている導体とアース用導体間が接続されている他の装置、およびDCシステムのアースポイントと同じ隣接区域（隣接するキャビネットなど）に設置してください。DCシステムは、別の場所でアースされている必要があります。
- DC供給源は、装置と同じ建物内に設置する必要があります。
- スイッチや電源切断用のデバイスは、DC供給源とアース電極導体の接続ポイントの間にあり、アースされている回路導体には置かないでください。

手順

1. DC電源コードが150.00 cm (59.06インチ) 以上になるように切ります。

**重要:**

リング端子は、UL認定の6 AWGワイヤーに対応するものである必要があります。

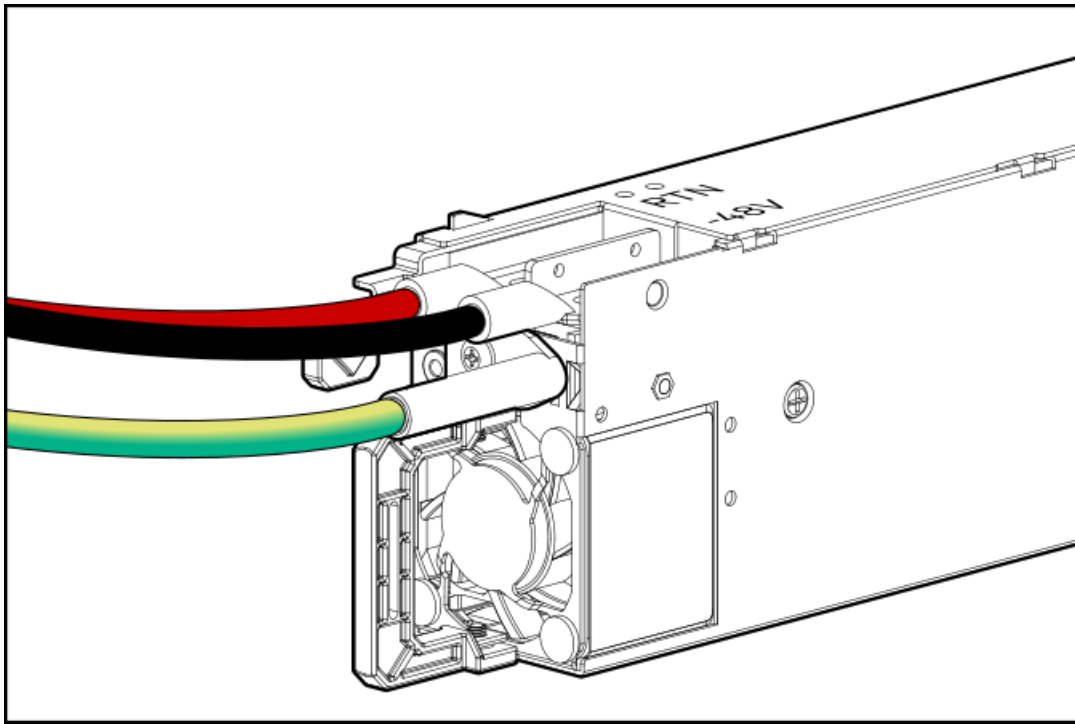
**重要:**

ピラーまたはスタッドタイプの端子の最小公称ネジ径は、3.50 mm (0.138インチ) にする必要があります。また、ネジタイプの端子の直径は、5.00 mm (0.197インチ) にする必要があります。

2. 電源にリングトングが必要な場合は、圧着工具を使って電源コード線とアース線にリングトングを取り付けます。
3. 同色ワイヤーごとにまとめて、同じ電源に取り付けます。

詳しくは、電源装置に付属のドキュメントを参照してください。

DC電源装置のワイヤーの色



ワイヤーの色	説明	ワイヤースロット
赤色	正のリターンワイヤー -48V	
黒色	負の入力ワイヤー	リターン
緑色+黄色	アース用ワイヤー	安全アース

DC電源装置の取り付け

前提条件

- 電源装置を取り付ける前に、以下の記載をお読みください。
 - 電源装置に関する警告と注意事項
 - DC電源装置に関する警告と注意事項
 - DC電源装置のワイヤーの色
- この手順を実行する前に、プラスドライバー（No. 2）を用意しておきます。
- 電源ケーブルを接続する前に、次の点を確認してください。
 - お客様が用意した電源ケーブルで使用するために、オプションのP36877-B21 HPEラグキットをHPE製品販売店から購入できます。（以下にリストされている電源ケーブルとラグキットは、1600 W -48 VDC電源装置でのみ使用できます。）
 - 入力電源コードオプションを使用している場合は、P22173-B21 HPE 1600 W DC PSU電源ケーブルキットをHPE製品販売店から購入できます。
 - DC電源装置オプションキットには、電源装置のDCケーブルキットが付属していないため、電源装置ケーブルラグキットが含まれていない場合があります。DCケーブルキット（オプション）またはDCケーブルラグキット（オプション）は、Hewlett Packard EnterpriseまたはHPE製品販売店から直接購入できます。詳しくは、<https://www.hpe.com/info/fsps-qs>にある電源装置のQuickSpecsを参照してください。

このタスクについて

入力電源コードオプションを使用しない場合、電源装置のケーブル接続は資格のある電気技師と相談した上でを行い、ご使用の地域の規定に準拠している必要があります。



警告：

感電、火災または装置の損傷を防止するために、この製品の取り付けについては、必ず、以下のガイドラインに従ってください。

- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、立ち入りが制限された場所に設置された Hewlett Packard Enterpriseサーバーへの取り付け専用です。
- HPE 1600 W FS DC-48Vパワーサプライは、DC供給分岐回路に直接接続するものではありません。必ず、各DC電源装置用の独立した過電流保護の出力を提供するパワーディストリビューションユニット（PDU）に接続してください。PDUの過電流保護出力装置は、それぞれDC電源から利用可能な電流の障害を防止するのに適していなければなりません。また、最大45 Aの定格でなければなりません。
- PDU出力は、各電源装置への電力を切断する遮断器または回路ブレーカーを備えている必要があります。電源装置の電源を完全に切るには、PDUで電力を切断してください。最終的な電力供給先の製品は、複数の電源装置を備えている場合があります。そのような製品の電源を完全に切るには、各電源装置への電力を切断してください。
- この電源装置は、情報技術機器および通信機器に関する各国の適合した要件に従って、SELVまたはTNVとして分類されたDC電源にのみ接続されます。通常、これらの要件は、IEC 60950-1/IEC 62368-1のInternational Standard for Information Technology Equipmentに基づいています。各地域の電源に関する規定に従って、DC供給源にはアース端子に確実に接続できる電極（Neutral/Return）が1本備わっている必要があります。
- 電源装置の前面にある電源装置アース用ネジを、必ず、適切なアース端子に接続してください。この端子は、各地域の電源に関する規定に従って、必ず、建物内の適切なアース端子に接続してください。十分なアースを継続して提供できるように、ラックまたはキャビネットシャーシの上に物を置かないでください。



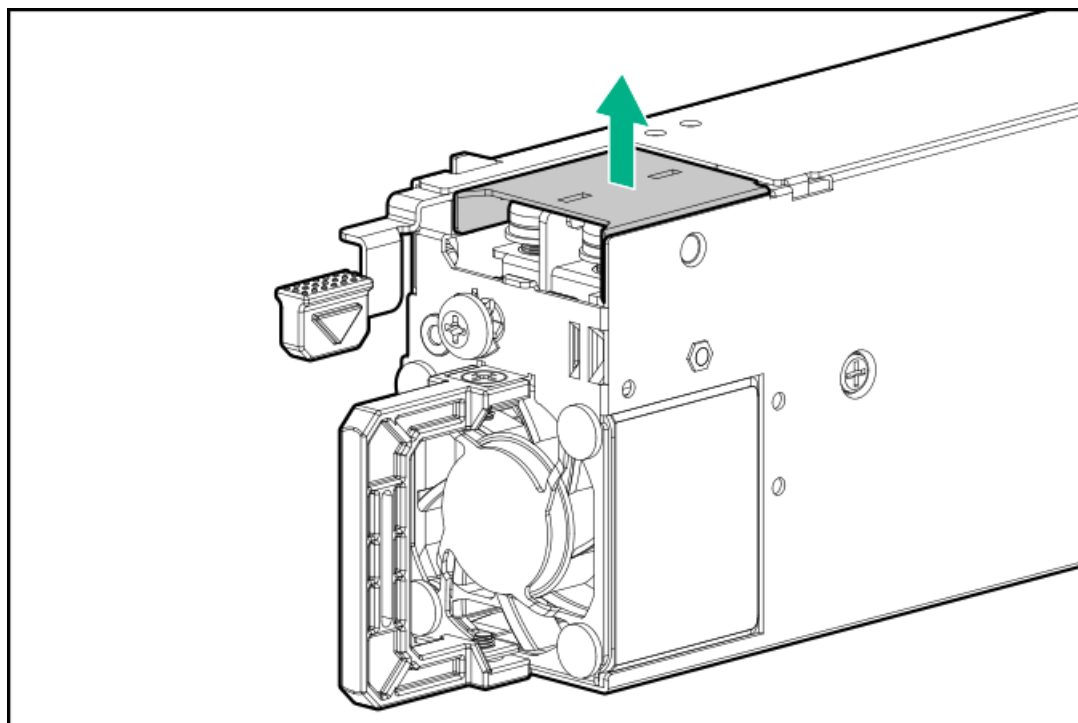
警告： 表面が熱くなっているため、やけどをしないように、電源装置、電源装置ブラנק、またはデュアルスロット電源装置アダプターが十分に冷めてから手を触れてください。



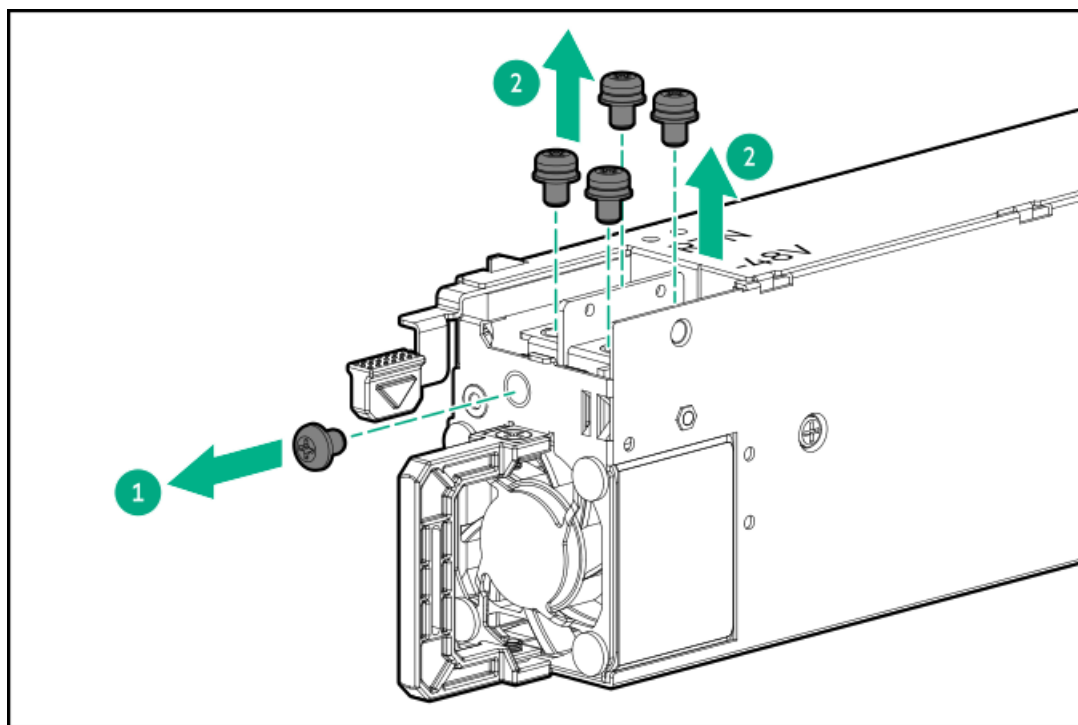
注意： 不適切な冷却および高温による装置の損傷を防止するために、すべてのベイに必ず、コンポーネントかブラנקのどちらかを実装してからサーバーを動作させてください。

手順

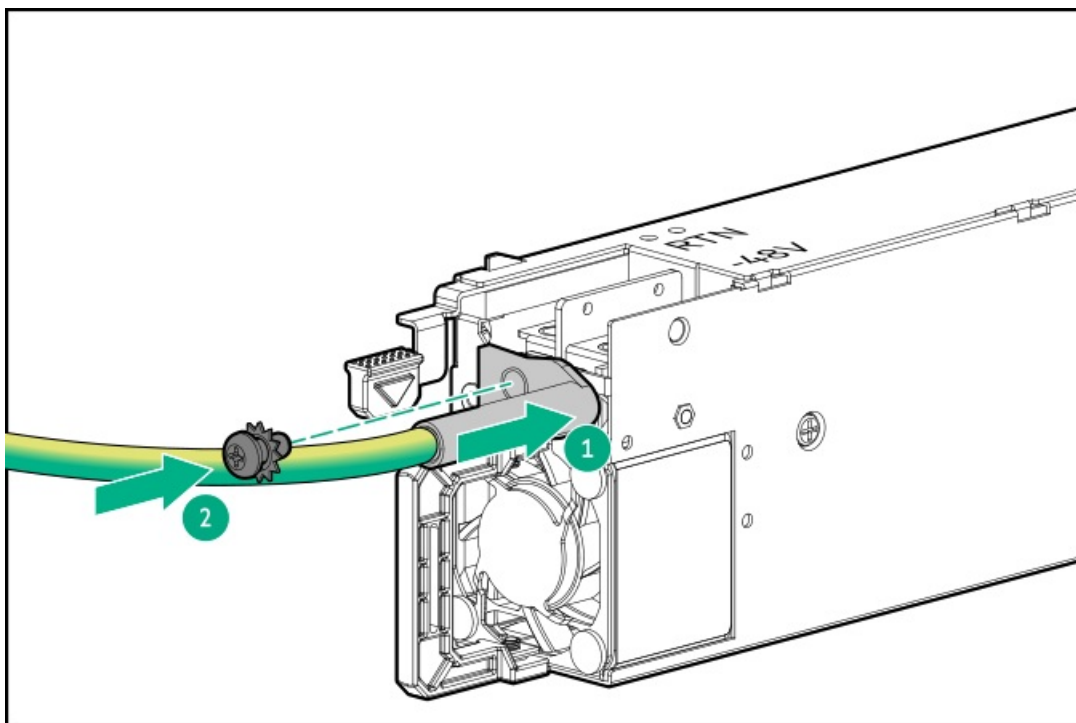
1. 電源装置から保護カバーを取り外します。



2. アース線のネジ（番号1）を取り外してから、正のリターンワイヤーと負の入力ワイヤーのネジ（番号2）を取り外します。

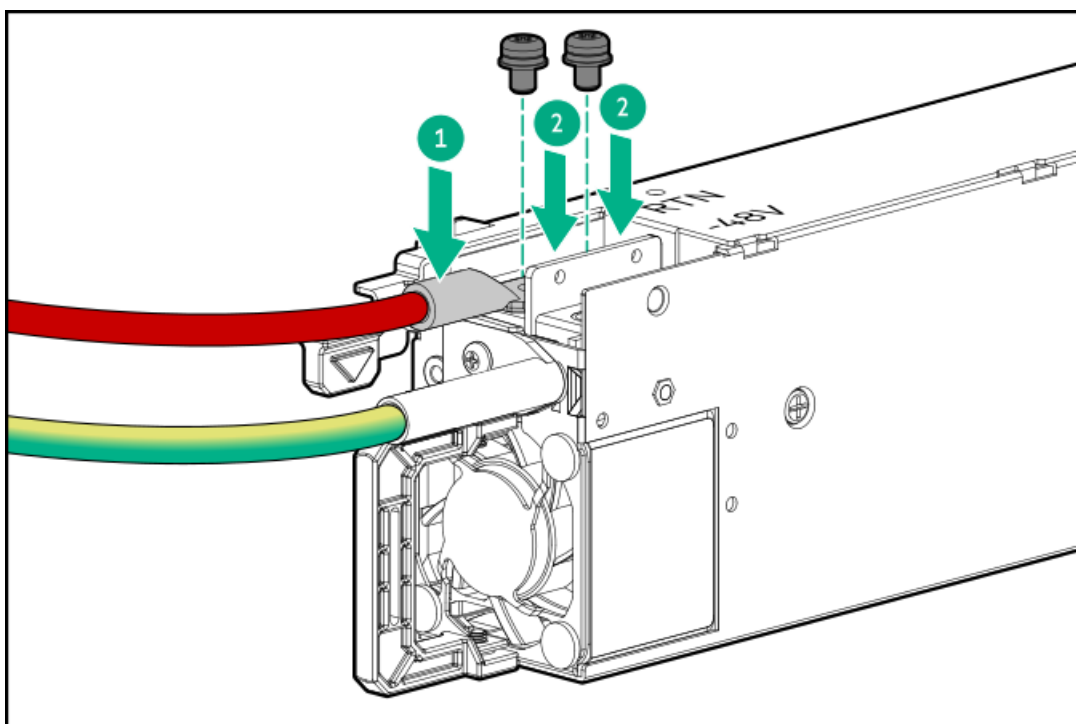


3. アース線（緑色と黄色）をDC電源装置（番号1）に接続し、ネジとワッシャーを1.47 N-m（13 lbf-in）で締めます（番号2）。



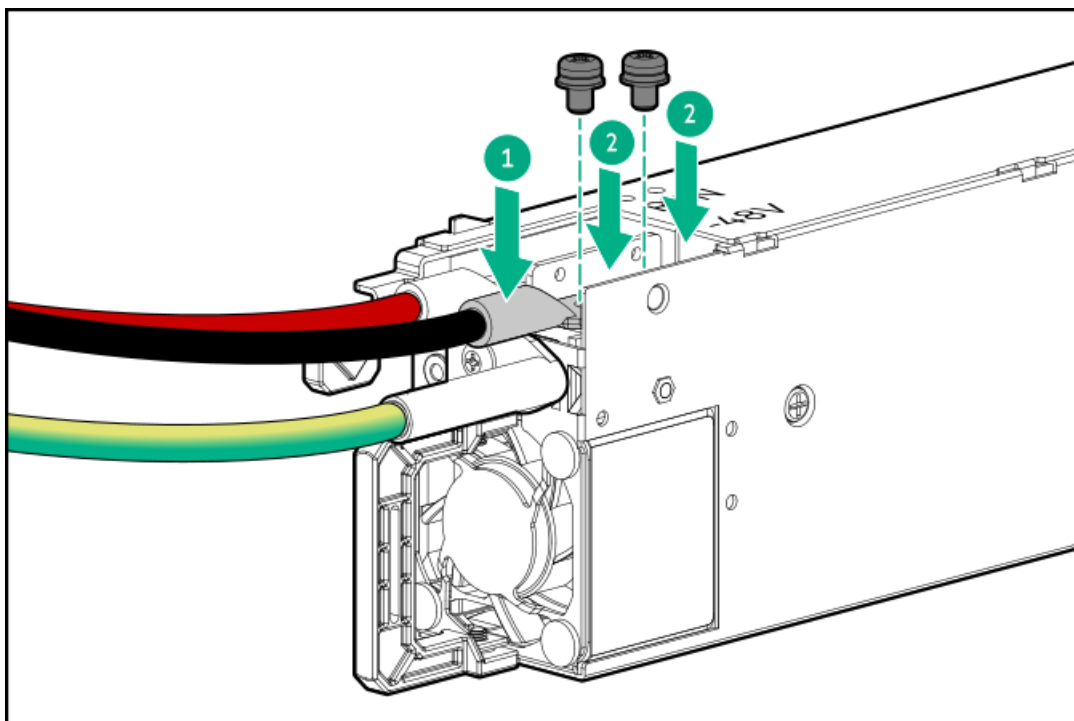
4. 正のリターンワイヤー（赤色）を取り付けます。

- a. 正のリターンワイヤー（赤色）をDC電源装置のRTNスロットに挿入します（番号1）。
- b. 0.98 N-m (8.68 lbf-in) でネジを締めます（番号2）。



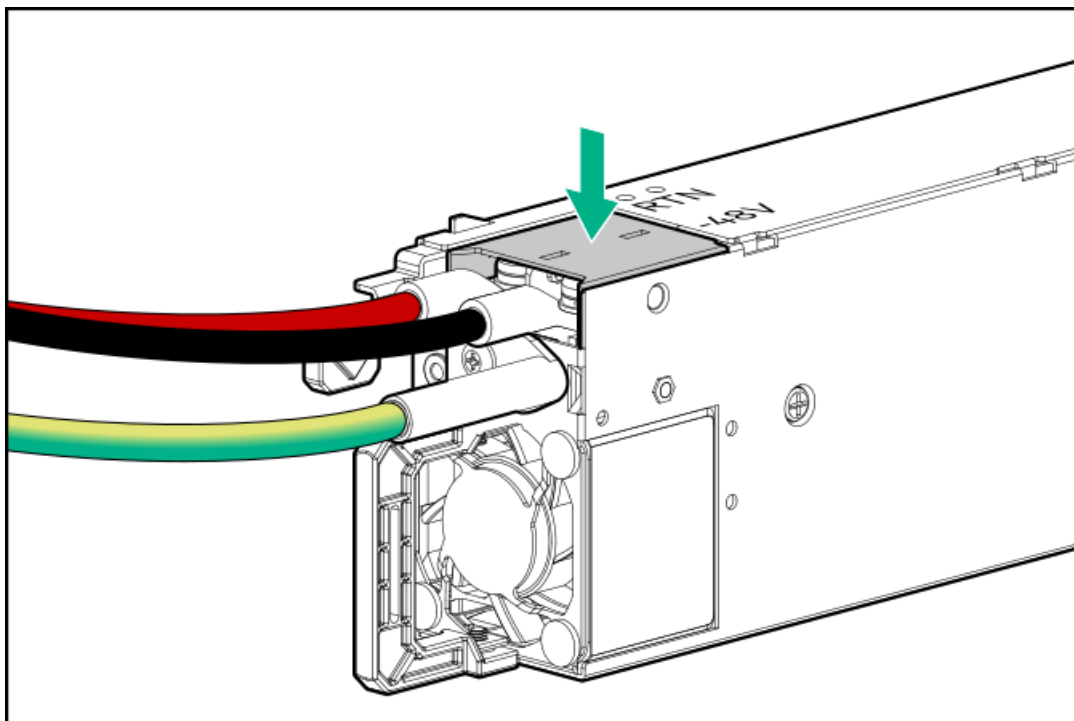
5. 負の入力ワイヤー（黒色）を取り付けます。

- a. 負の入力ワイヤーをDC電源装置の-48Vスロットに挿入します（番号1）。
- b. 0.98 N-m (8.68 lbf-in) でネジを締めます（番号2）。



6. DC電源装置に保護カバーを取り付けます。

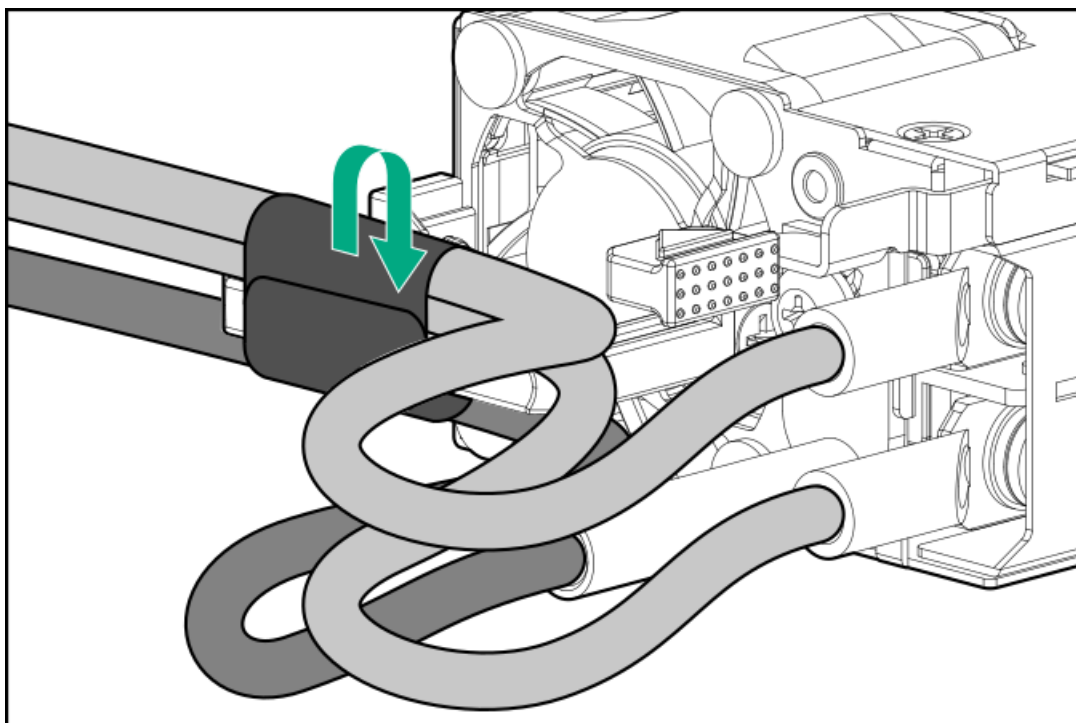
保護カバーがロックされていることを確認します。



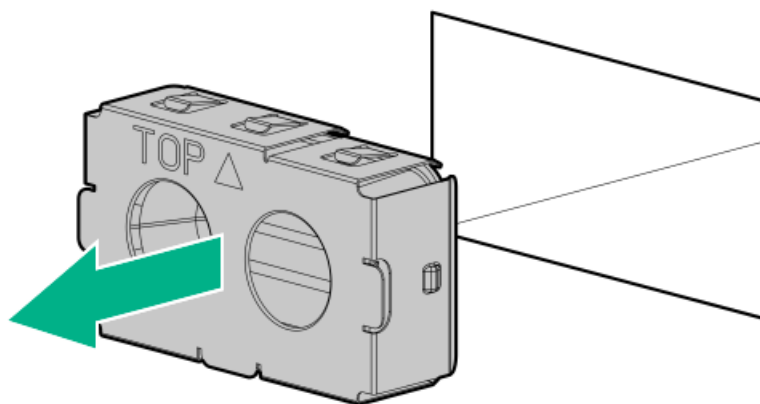
7. アース、正のリターン、および負の入力ワイヤーをストレインリリーフストラップに固定します。



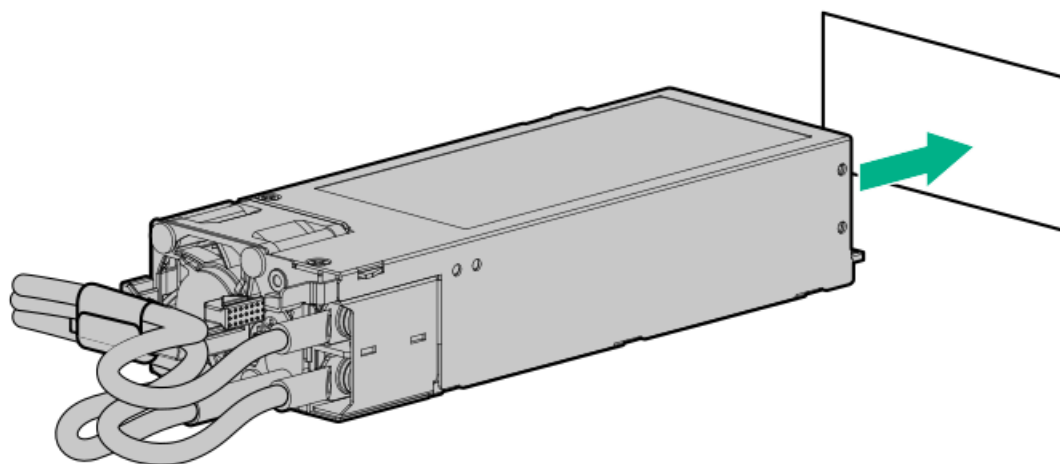
注意: 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。



8. 電源装置ベイ2に電源装置を取り付ける場合は、電源装置ブラックを取り外します。
 ブラックは、将来使用できるように保管しておいてください。



9. 電源装置が所定の位置にカチッと収まるまで、すぐにベイにスライドさせて押し込みます。



10. 必ず、-48 V DC電源をオフにするかPDUブレーカーをオフの位置にしてから、電源コードを-48 V DC電源またはPDUに接続します。
11. -48 V電源をオンにするかPDUブレーカーをオンの位置にして-48 Vの電力を電源装置に供給します。
12. DC電源ケーブルとDC電源を接続します。
13. 電源装置LEDが緑色に点灯していることを確認します。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

プロセッサとヒートシンクのオプション

サブトピック

プロセッサに関する注意事項

プロセッサを取り付ける

直接液冷キットの接続

プロセッサに関する注意事項



注意: プロセッサやシステムボードの損傷を防止するために、この サーバー のプロセッサの交換や取り付けは、認定された担当者のみが行ってください。



注意: サーバーの誤動作や装置の損傷を防止するために、マルチプロセッサ構成では、必ず、同じ部品番号のプロセッサを使用してください。



注意: プロセッサソケットとプロセッサのピンは非常に壊れやすく、簡単に損傷します。コンポーネントの損傷を避けるために、これらのピンには触れないでください。ピンが壊れると、システムボードやプロセッサの交換が必要になる場合があります。



重要: プロセッサソケット1には必ずプロセッサを取り付けてください。ソケット1にプロセッサが取り付けられていない場合、サーバーは動作しません。



重要: 以前より高速のプロセッサを取り付ける場合は、プロセッサを取り付ける前に、システムROMをアップデートしてください。ファームウェアをダウンロードするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイト (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) にアクセスしてください。

プロセッサを取り付ける

前提条件

- T-30トルクスドライバー
- サーマルグリース

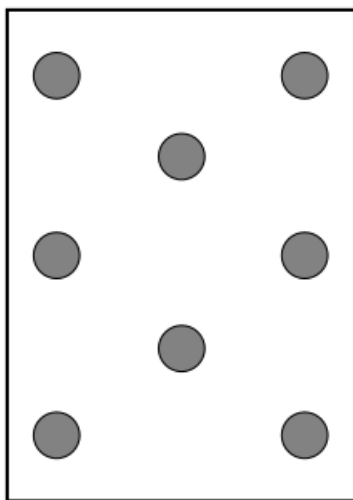
このタスクについて



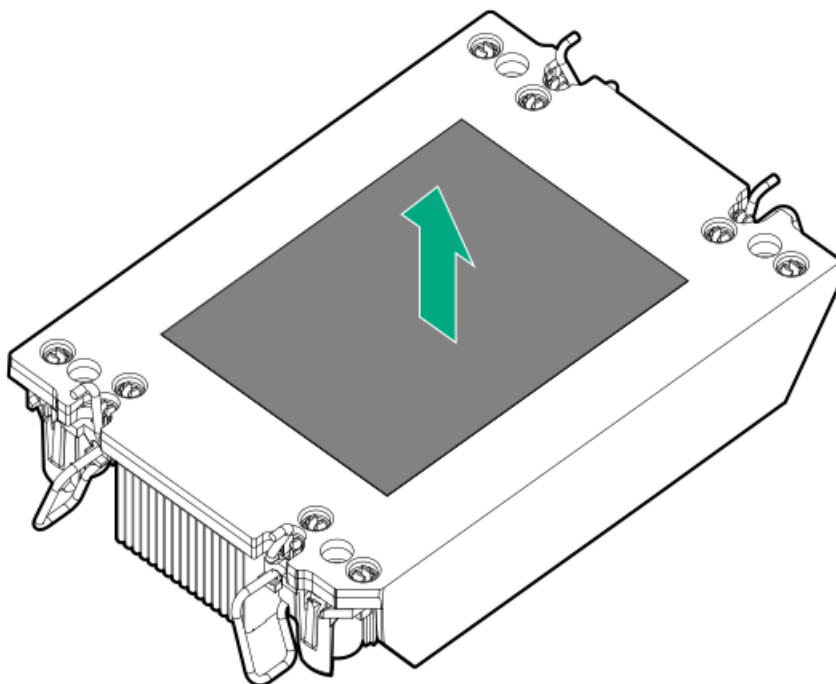
注意：サーバーのオーバーヒートを防止するために、必ず、各プロセッサースocketにプロセッサースocketカバーとプロセッサーブランクまたはプロセッサとヒートシンクを取り付けてください。

手順

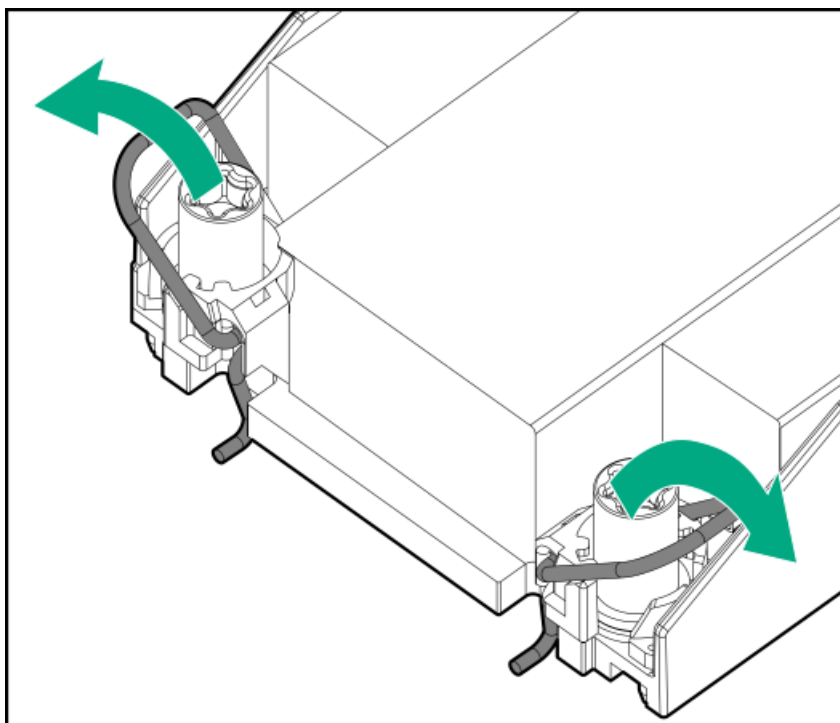
1. 同じヒートシンクを使用している場合は、プロセッサの上部にサーマルグリースシリンジの内容物すべてを塗ります。次の図に示すパターンに従ってください。



2. 新しいヒートシンクを使用する場合は、サーマルインターフェース材料から保護フィルムを取り外します。

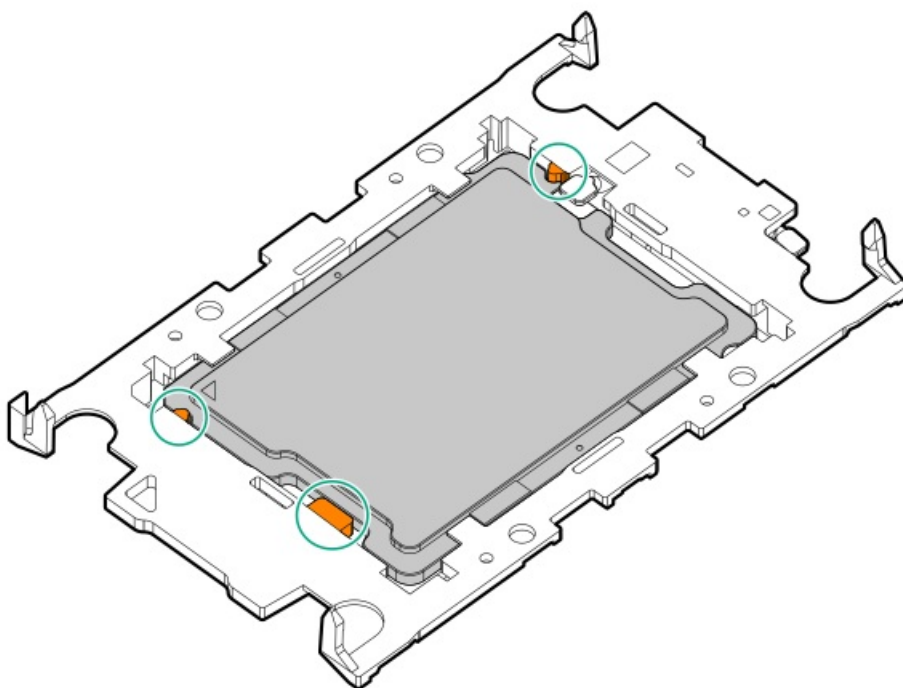


3. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。

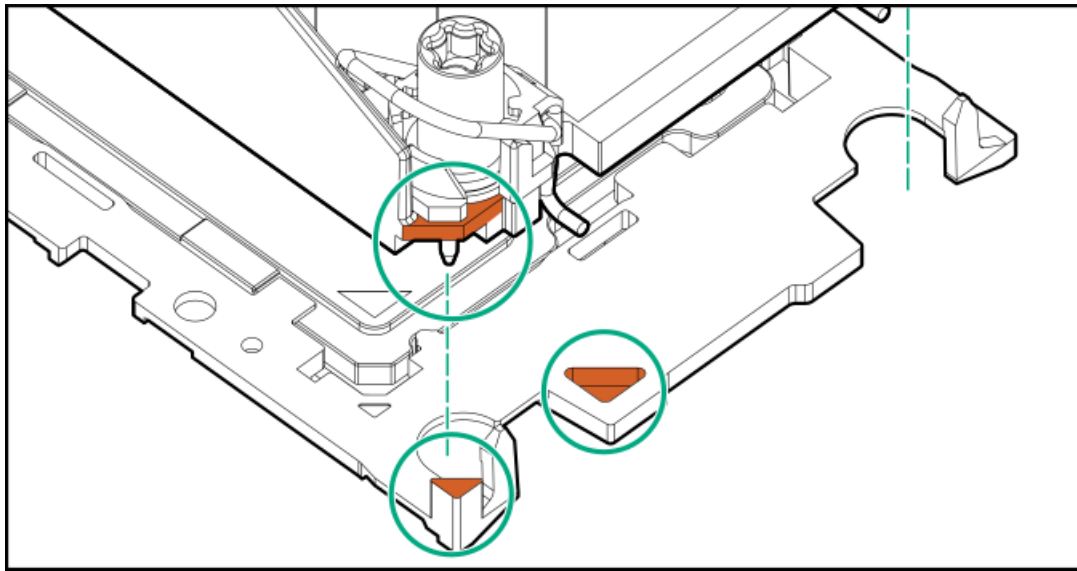


4. プロセッサがプロセッサキャリアにしっかりと固定されていることを確認します。

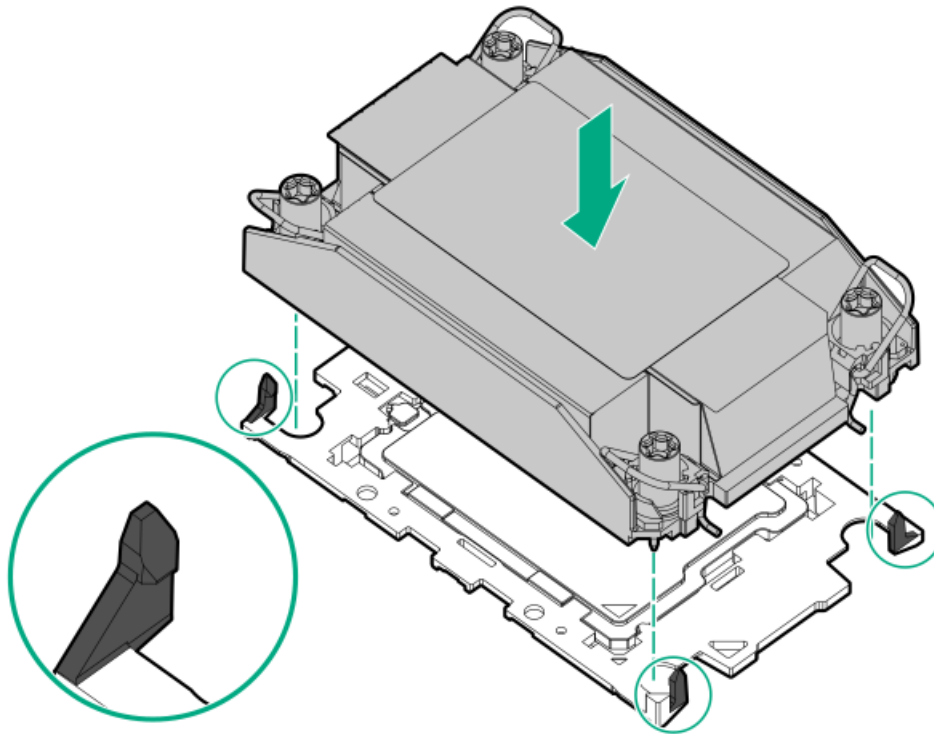
次の図は、プロセッサを固定するキーイング機能タブを示しています。これらのタブの位置は、プロセッサキャリアによって異なります。



5. ヒートシンクをプロセッサキャリアに接続します。
 - a. プロセッサキャリアとヒートシンクとでピン1インジケータを揃えます。

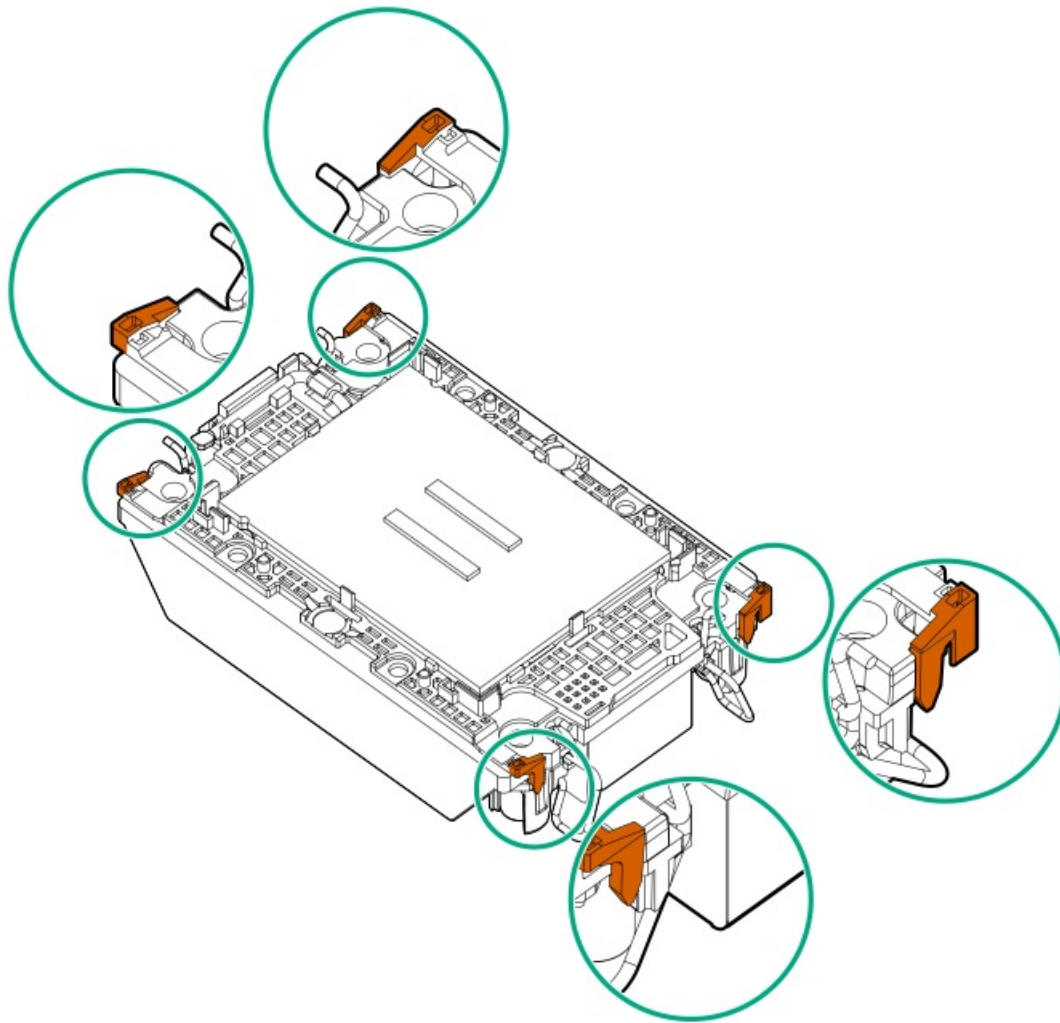


- b. プロセッサキャリアのタブが所定の位置にカチッと収まるまで、ヒートシンクをキャリアの上に下ろします。
ヒートシンクがプロセッサキャリアに正しく固定されたことを示すカチッという音がします。

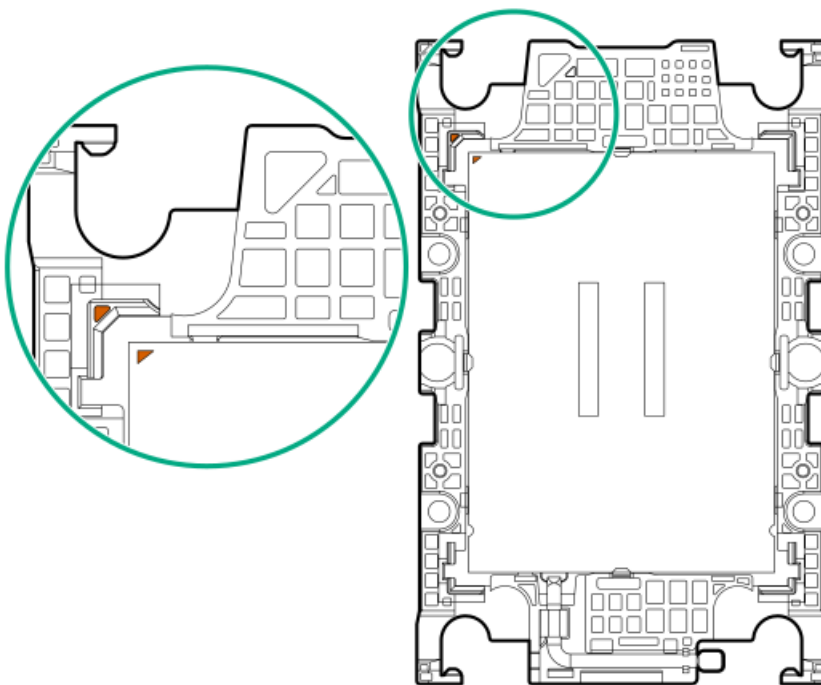


6. 次の確認手順を実行します。

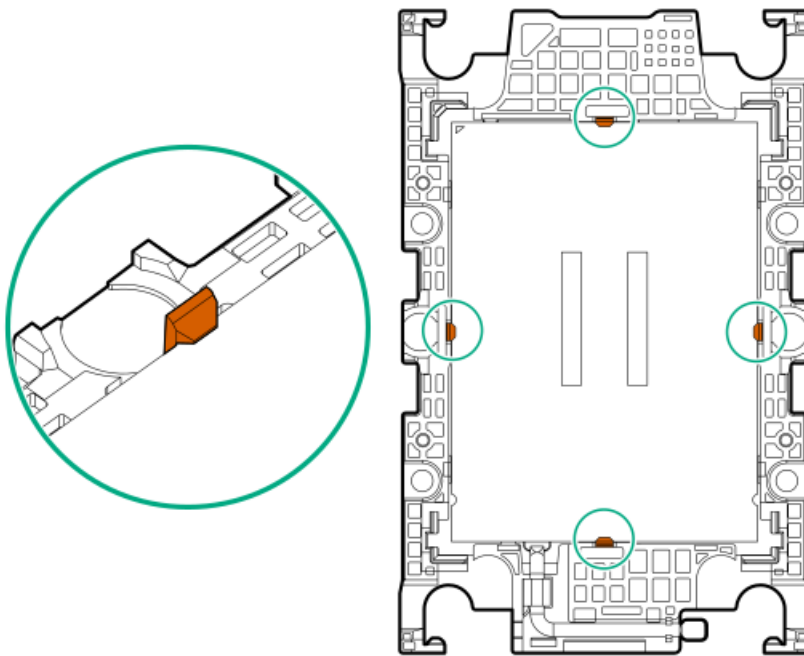
- a. プロセッサキャリアのタブがヒートシンクにしっかりと固定されていることを確認します。



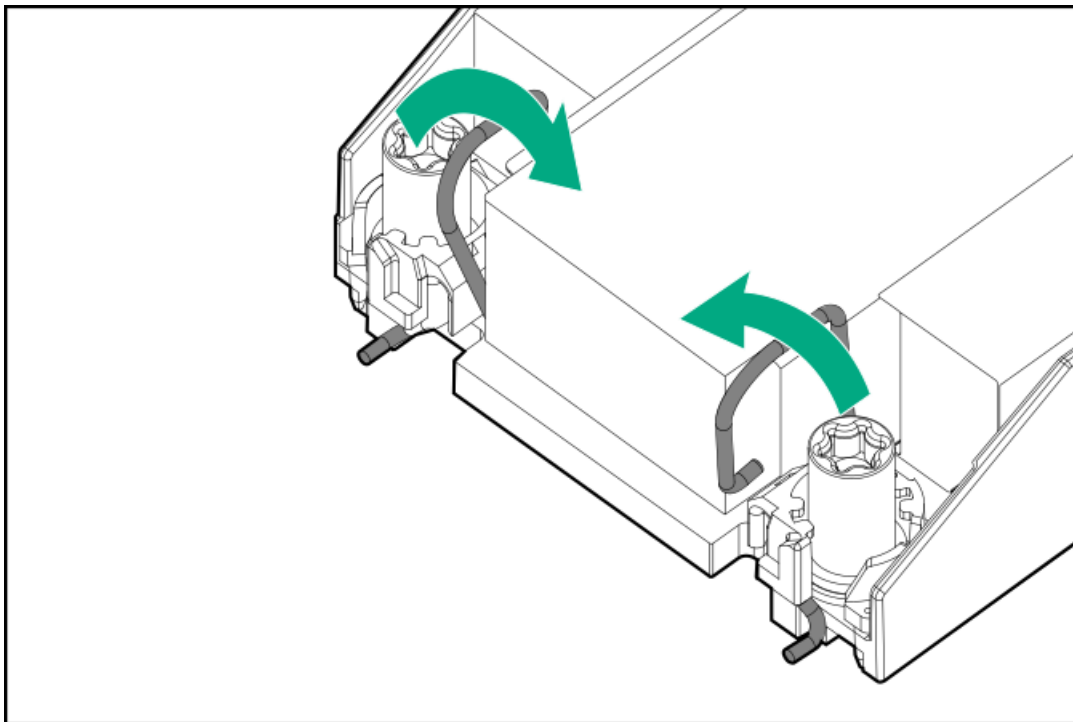
b. プロセッサーとプロセッサーキャリアのピン1インジケータが揃っていることを確認します。



c. プロセッサーがキャリアのスナップで正しく固定されていることを確認します。



7. 傾き防止ワイヤーをロック解除位置に設定します。



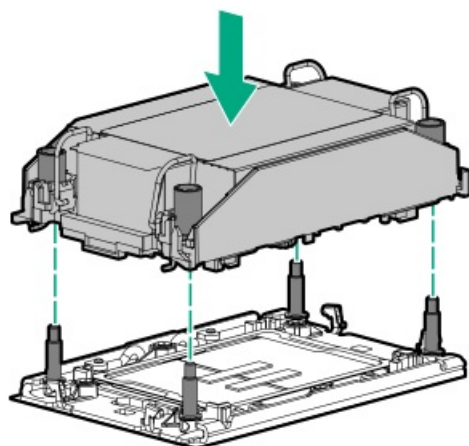
8. **注意:**
 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れがヒートシンクの接触面に付かないようにするため、ヒートシンクはベースプレートの端だけでお持ちください。ヒートシンクのフィンに手を触れないでください。

プロセッサヒートシンクモジュールを取り付けます。

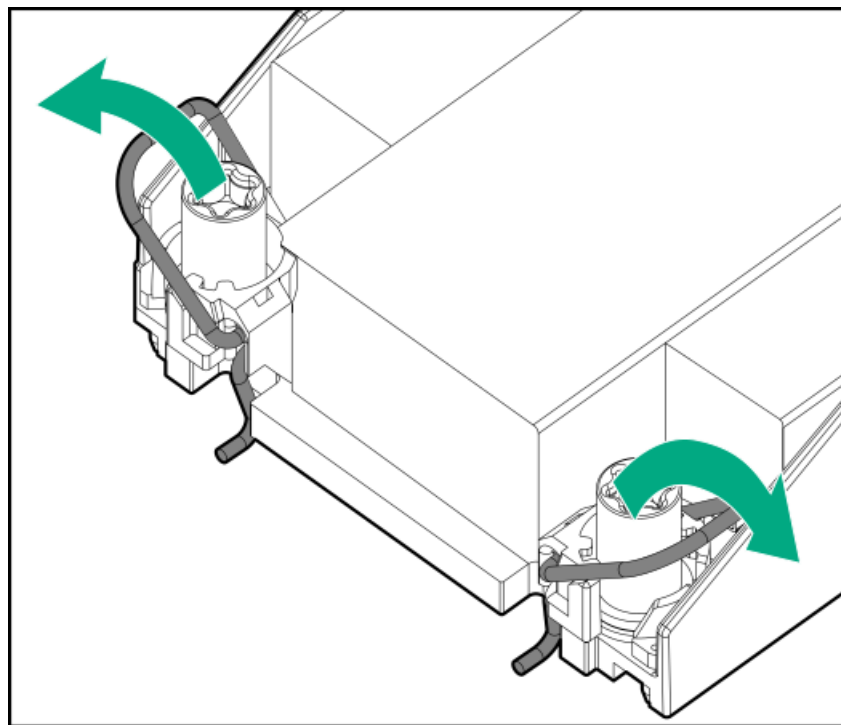
- トルクレンチを使用してヒートシンクのネジを締める場合は、トルク0.9 N-m (8 in-lb) に設定します。
- ヒートシンクラベルの**サーバーの前面**のテキストに注意して、ボススタープレート上でプロセッサヒートシンクモジュールを正しい向きにします。

- c. ボルスタープレートのガイドポストにプロセッサヒートシンクモジュールを慎重に下ろします。

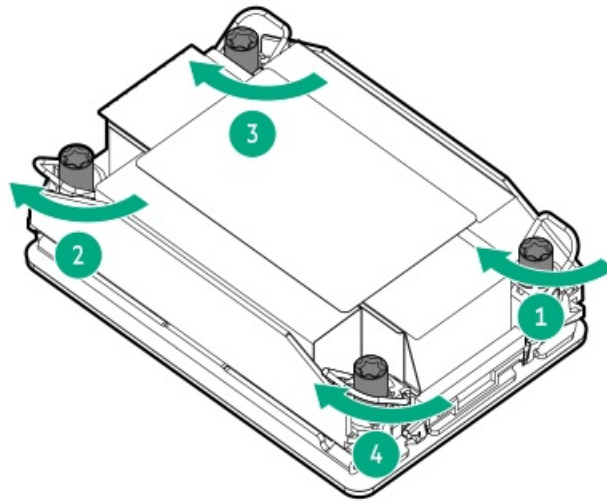
モジュールを一方向にのみ取り付けできるように、ポストにはキーが付いています。ネジを固定する前に、モジュールがボルスタープレートに正しく取り付けられていることを確認してください。



- d. 傾き防止ワイヤーをロック位置に設定します。



- e. T-30トルクスドライバーを使用して、対角線上にある1組のヒートシンクネジを締めてから（番号1～2）、もう1組のヒートシンクネジを締めます（番号3～4）。



9. エアバッフルとその他の取り外したハードウェアコンポーネントを取り付けます。
10. アクセスパネルを取り付けます。
11. サーバーがエンクロージャーまたはラックから取り外された場合は、ここで再び取り付けます。
12. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源ソースに接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

直接液冷キットの接続

前提条件

DLCホースキットが揃っていることを確認してください。ホースキットは、DLCマニホールドをプロセッサのクールドプレートに接続します。

このタスクについて

DLCシステムについて詳しくは、HPE Cray XD Direct Liquid Cooling System Site Preparation, User, and Maintenance Guideを参照してください：

<http://www.hpe.com/info/xdDLCguide>

手順

1. サーバーの背面から、ライザーケージまたはNS204i-uブラケットから出ているホースを見つけます。
2. ホースからクイックコネクターキャップを取り外します。
3. DLCホースキットを接続します。
4. DLCホースキットをラックのDLCマニホールドに接続します。

ラックマウントオプション

クイックデプロイ、工具不要のHPEラックレールオプションを使用して、サーバーを標準4ポストサーバーに取り付けます。レール設計では、さまざまなマウントインターフェイスのサーバーへの取り付けをサポートしています。

ケーブル管理のために、ラックレールキットには次のオプションのいずれかまたは両方が含まれている場合があります。

- ラックレールの面ファスナーストラップ
- ケーブルマネジメントアーム

サブトピック

レール識別マーカー

ラックマウントインターフェイス

ラックレールのオプション

サーバーをラックに取り付ける

ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

ケーブルマネジメントアームを取り付ける

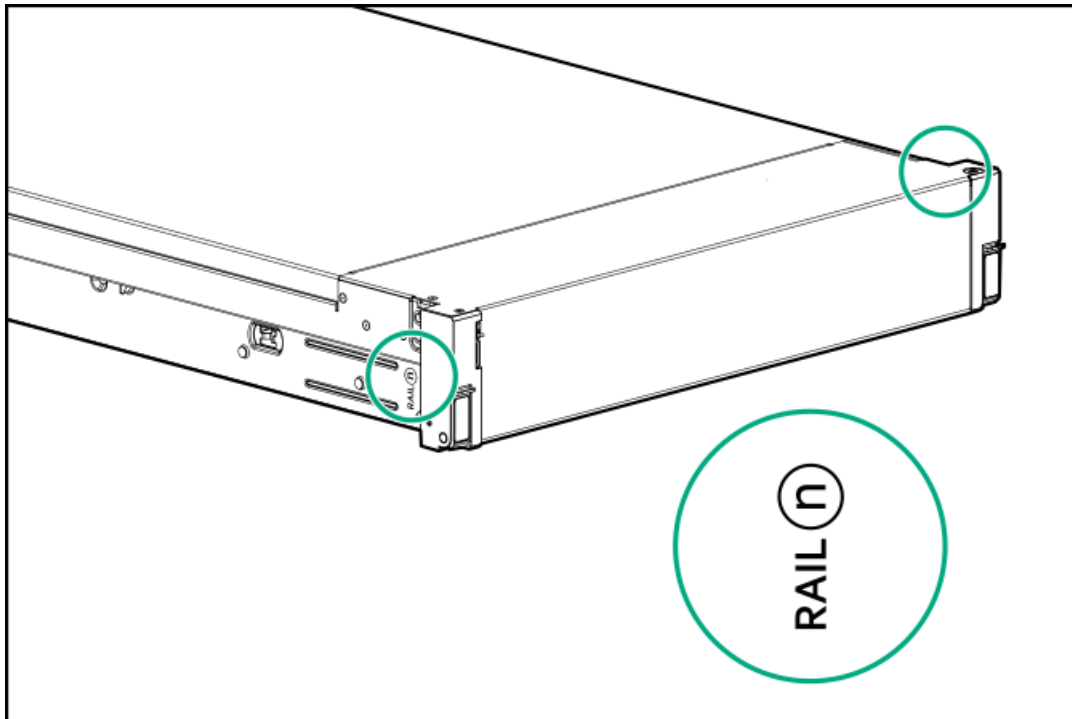
レール識別マーカー

ラックレールオプションのサポートは、次の2つの要因によって異なります。

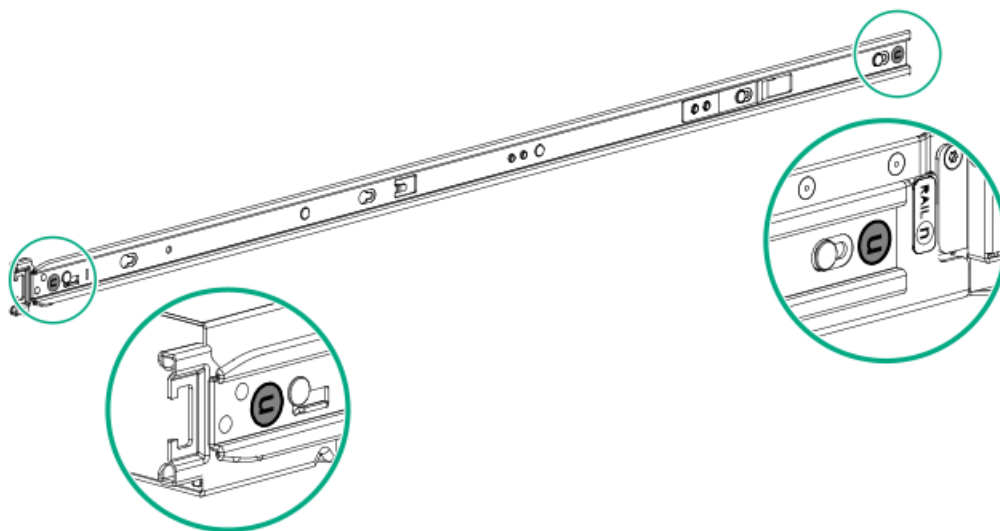
- フロントエンドおよびリアエンドサーバー構成によって決まる、シャーシの高さと重量。
- フロントパネル（フロントベゼルなし）の端からリアパネルの端までを測定したシャーシの奥行き。

ラックレールとサーバー間の互換性を確保するために、シャーシのレール番号ラベルがレールに表記されているものと一致していることを確認してください。

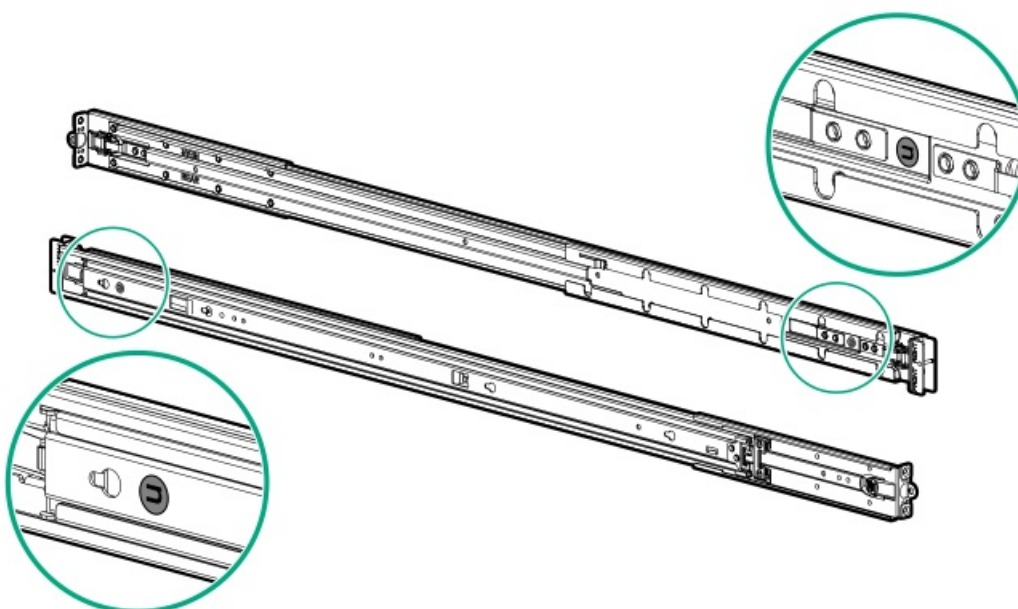
- シャーシのレール番号ラベル



- フリクションラックレールのインナーレールにあるレール識別子スタンプ

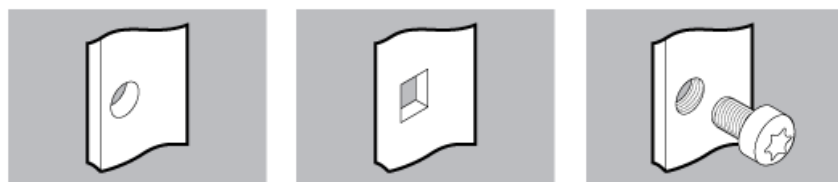


- フリクションラックレールのマウンティングレールにあるレール識別子スタンプ



ラックマウントインターフェイス

サーバーレールは、次のマウントインターフェイスを備えたラックに取り付けることができます。



丸穴

角穴

丸ネジ穴

この手順で使用する図は、画像の右上隅にアイコンを表示します。このアイコンは、画像に描かれているアクションが有効なマウントインターフェイスのタイプを示します。

ラックレールのオプション

このサーバーは、SFF（2.5型）およびLFF（3.5型）ドライブ構成用のラックレール#3をサポートします。

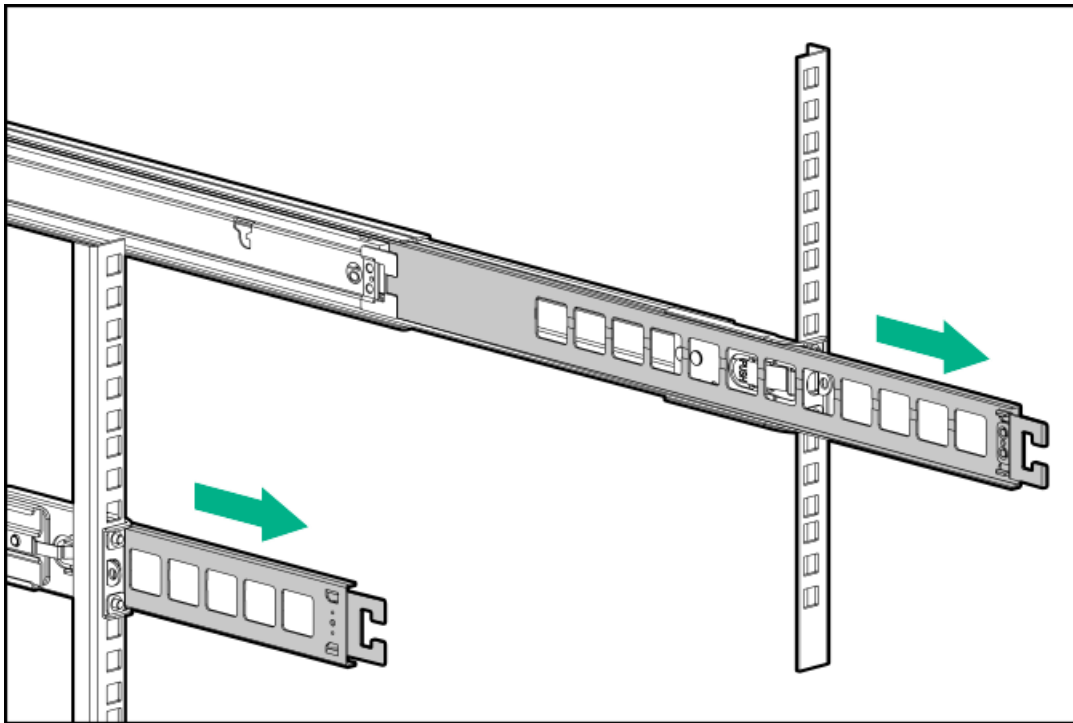
サーバーをラックに取り付ける

前提条件

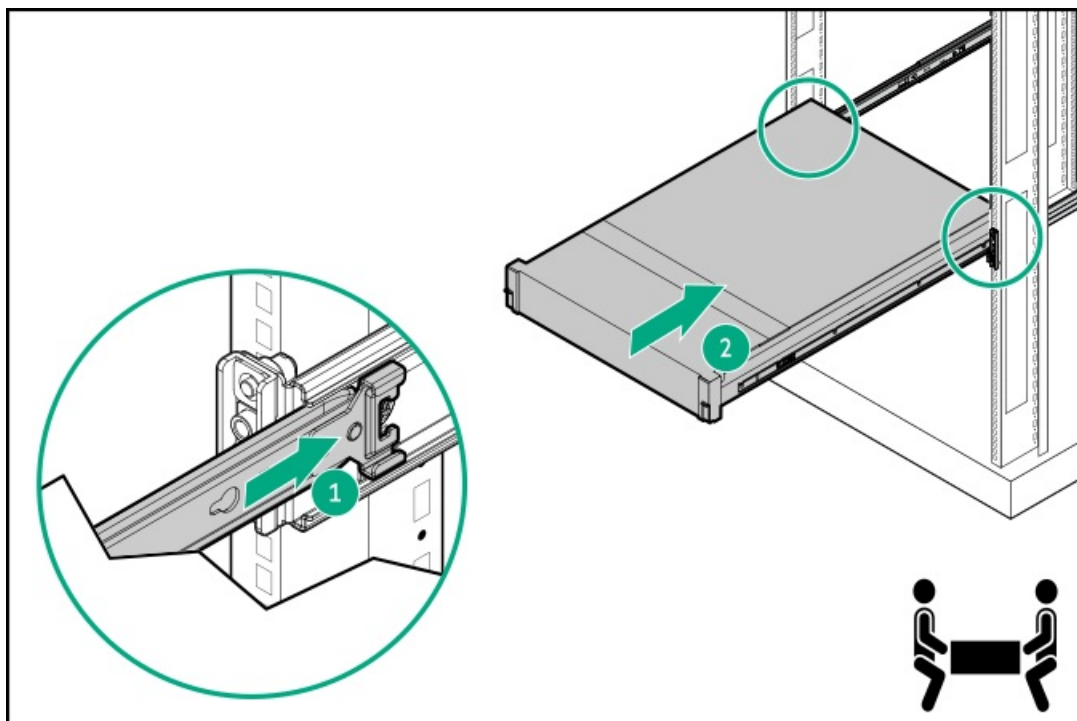
- この手順を実行する前に、以下を参照してください。
 - [ラックに関する警告と注意事項](#)
 - [サーバーに関する警告と注意事項](#)
 - [空間および通気要件](#)
- T-25トルクスドライバー

手順

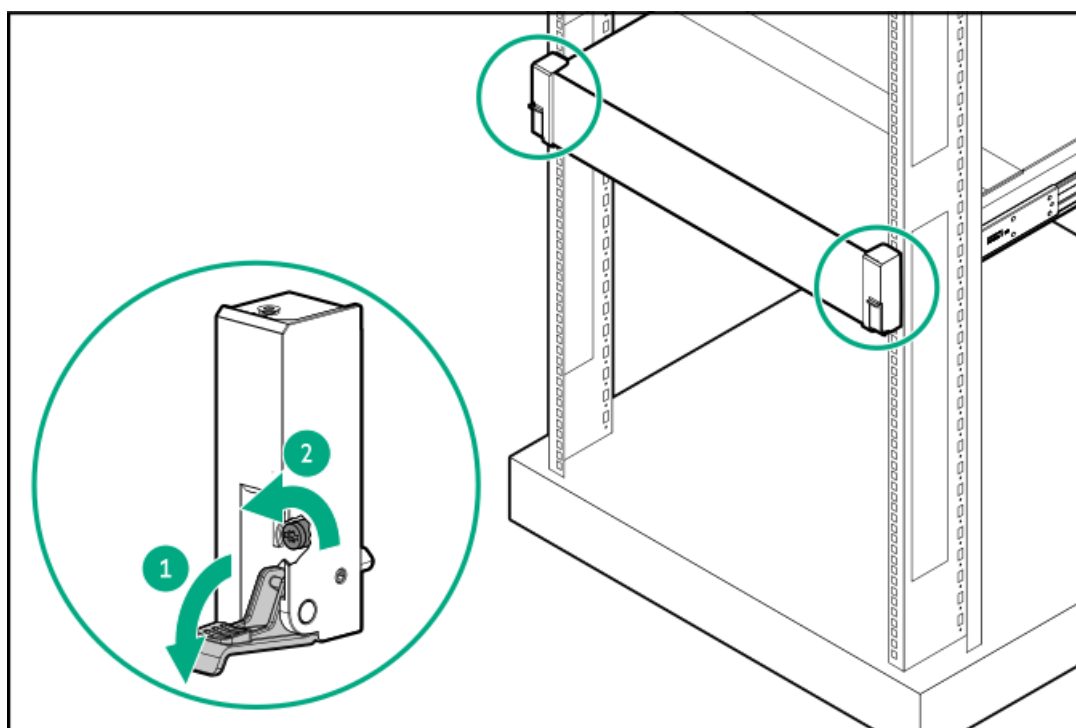
1. スライドレールをマウンティングレールから、内部のストッパーにぶつかって所定の位置にロックされるまで引き伸ばします。



2. サーバーをラックに取り付けます。
 - a. インナーレールをスライドレールに挿入します（番号1）。
 - b. シャーシヤーがラックポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせて、ラックに押し込みます（番号2）。



3. シャーシイヤーを開き（番号1）、輸送用ネジを締めます（番号2）。

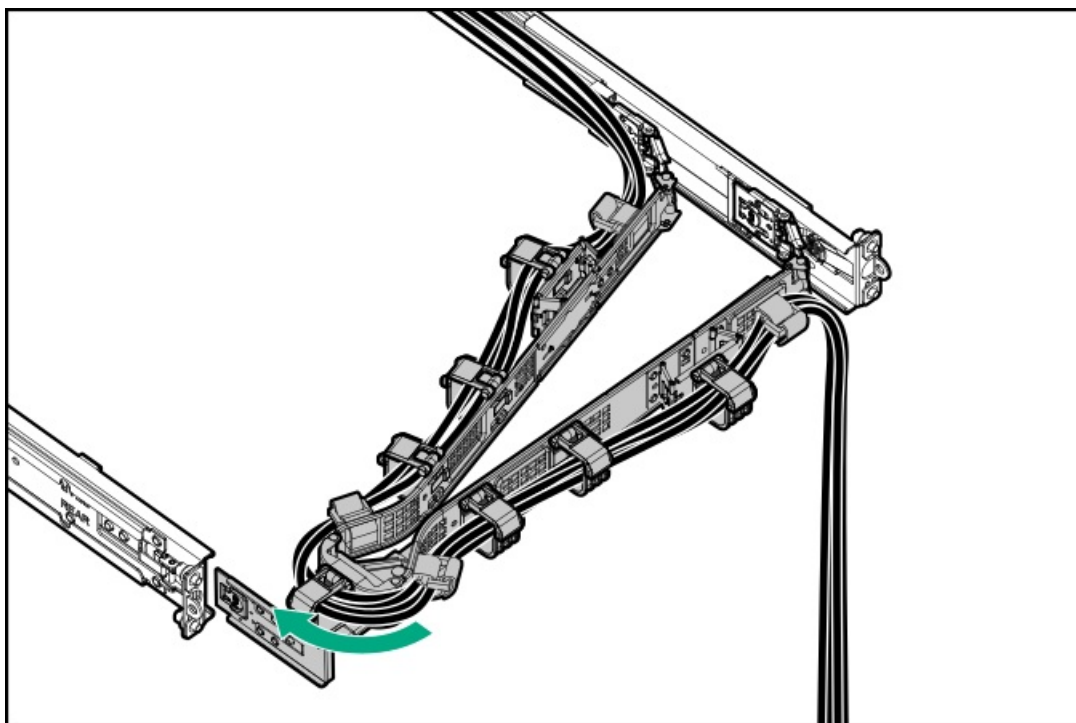


4. 周辺装置のすべてのケーブルをサーバーに接続します。

5. 電源コードを接続します。

- a. 各電源コードをサーバーに接続します。
- b. 各電源コードを電源ソースに接続します。

6. 取り付けられている場合は、ケーブルマネジメントアームを閉じます。



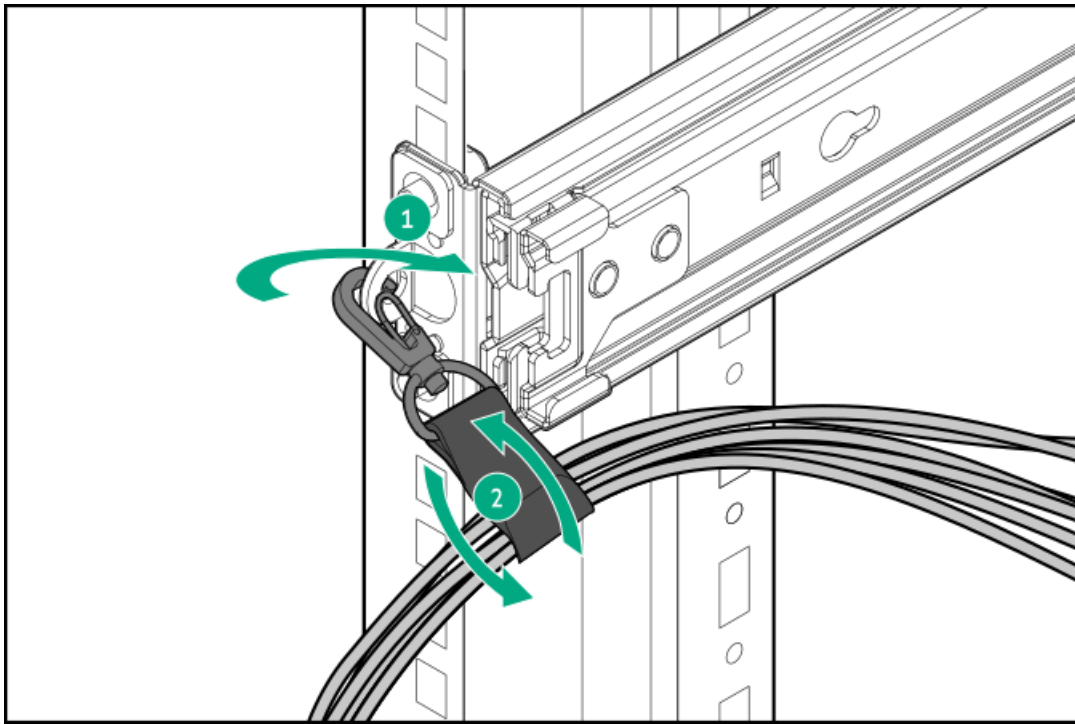
ラックレールの面ファスナーストラップの取り付け

このタスクについて

ラックマウント型サーバーにラック内保守性を必要としない場合は、CMAの代わりにラックレールの面ファスナーストラップを使用して、リアパネルのケーブルを管理します。面ファスナーストラップは、左側または右側のラックマウンティングレールのいずれかに取り付けることができます。

手順

1. ストラップカラビナをラックマウンティングレールに取り付けます。
2. リアパネルの電源コードと周辺ケーブルを束ねた後、ストラップをケーブルに巻き付けます。



ケーブルマネジメントアームを取り付ける

前提条件

- この手順を実行する前に**ロック警告**および**注意事項**を確認します。
- T-25トルクスドライバー - このツールは、シャーシ内にある輸送用ネジを緩めたり締めたりする場合に必要です。

このタスクについて

ケーブルマネジメントアーム（CMA）を使用すると、システムの電源を切ったり、リアパネルケーブルを抜いたりしなくても、サーバーをサーバーから完全に引き出すことができます。このCMAは、右開きと左開きの両方の実装に対応するように設計されています。

この手順の目的のため、左と右の用語はサーバーの前面に向かって見たときの方向です。



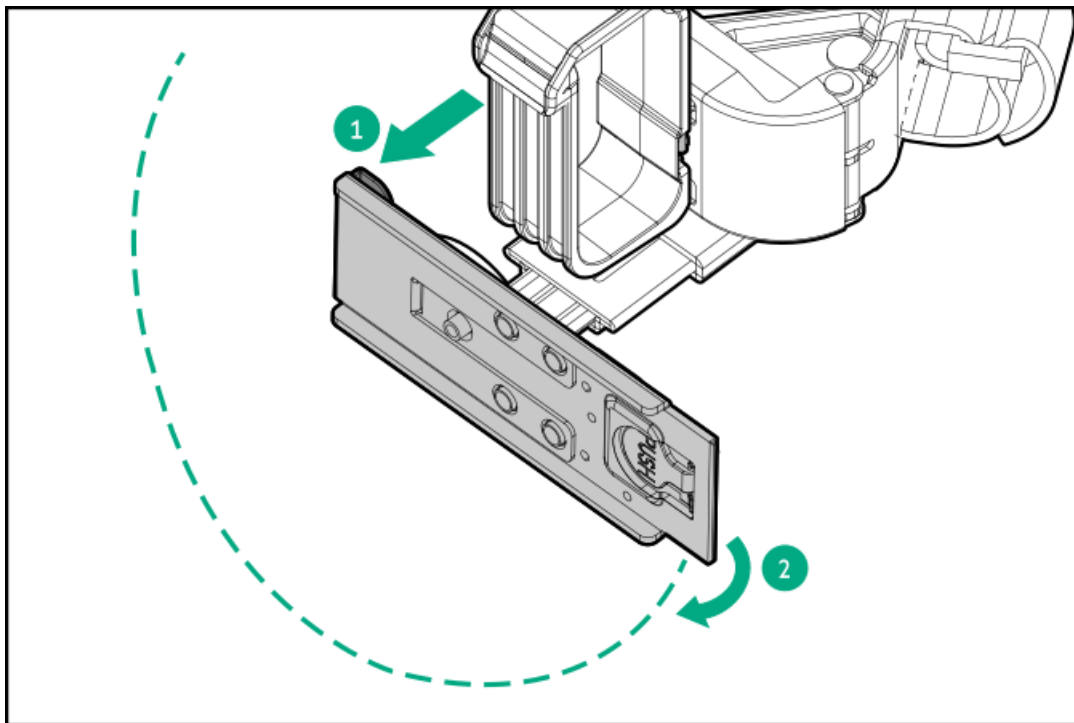
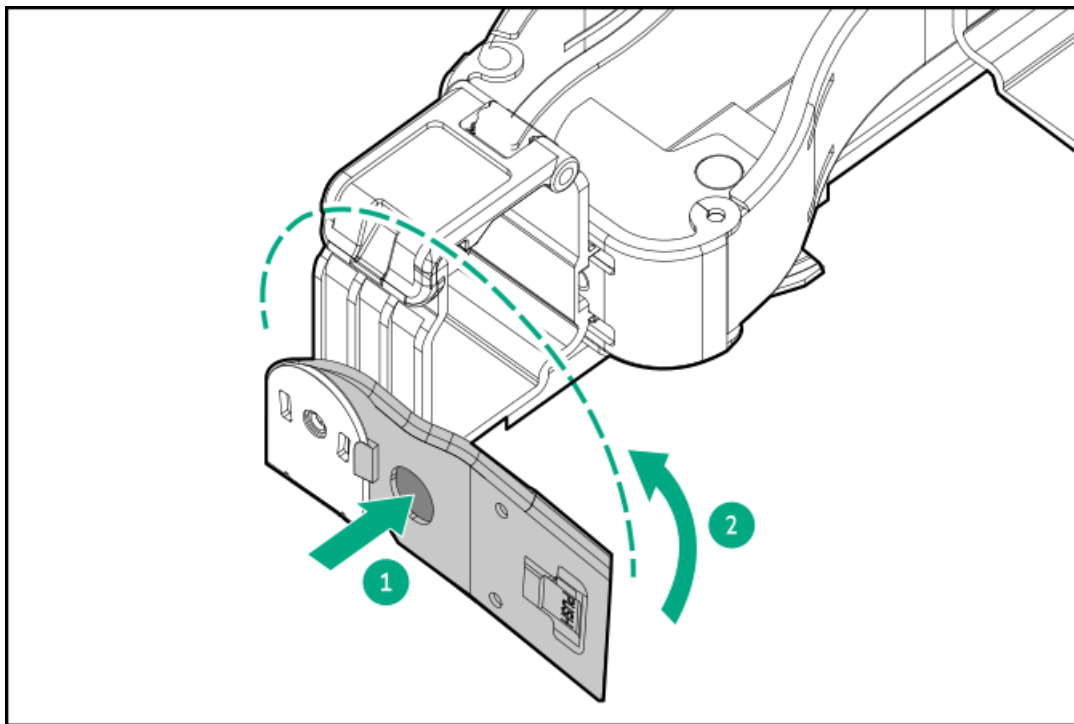
注意：

取り外しおよび交換手順の際は、CMAを支えてください。手順中にCMAが自重でぶら下がらないようにしてください。

手順

1. すべての周辺装置のケーブルと電源コードをリアパネルに接続して固定します。
2. （オプション）CMA固定用ブラケットを回転させて、左側または右側のCMA操作に合わせることができます。回転機構を押したまま（番号1）、ブラケットを180°回転させます（番号2）。

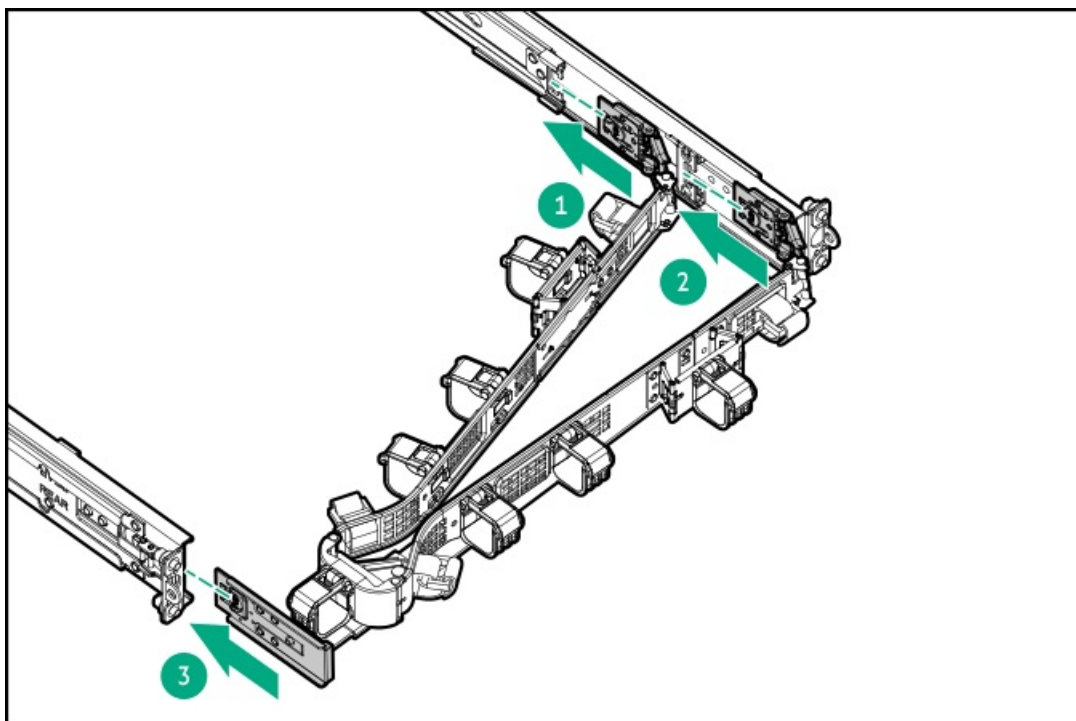
ブラケットが調整された位置でロックされたことを示すカチッという音がします。



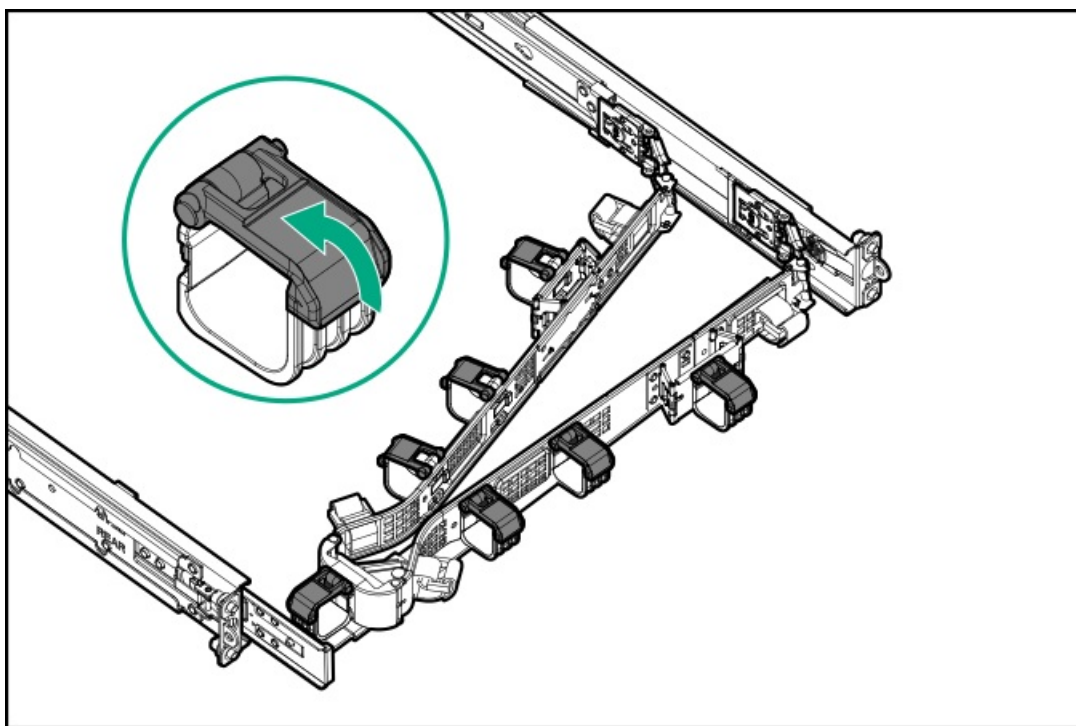
3. CMAヒンジ付きタブと固定ブラケットをサーバーレールに取り付けます。

- a. 内側のタブをスライドレールに挿入します（番号1）。
- b. 外側のタブをマウンティングレールに挿入します（番号2）。
- c. 固定ブラケットを反対側のマウンティングレールに挿入します（番号3）。

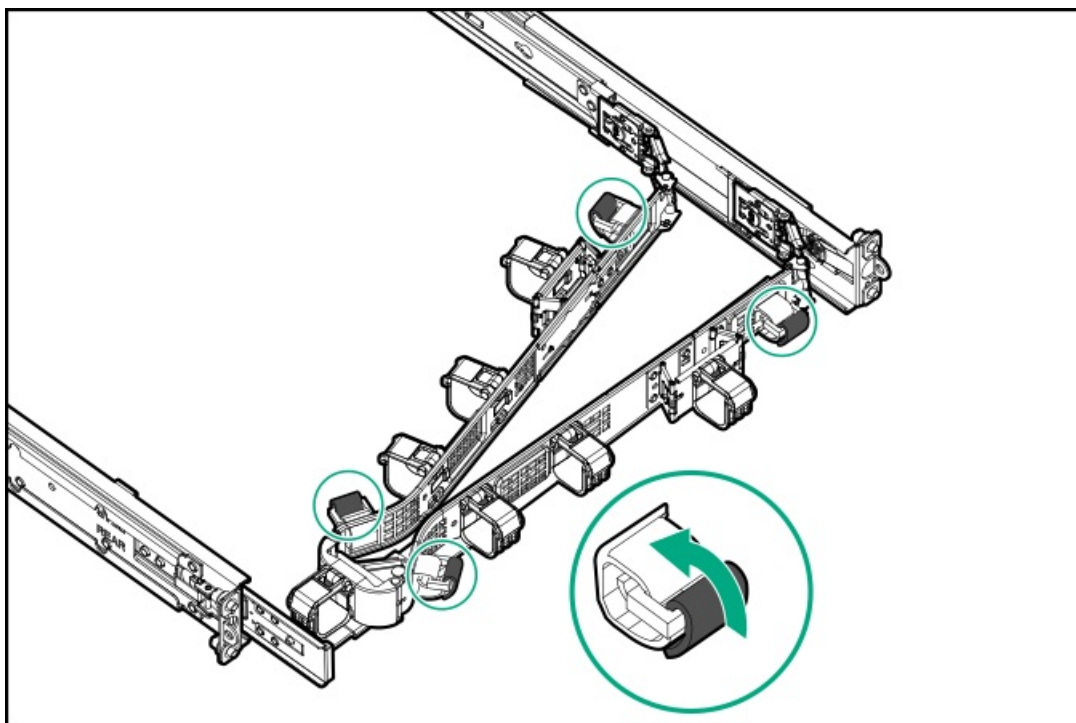
タブとブラケットが所定の位置にロックされたことを示すカチッという音がします。



4. ケーブルランプを開きます。

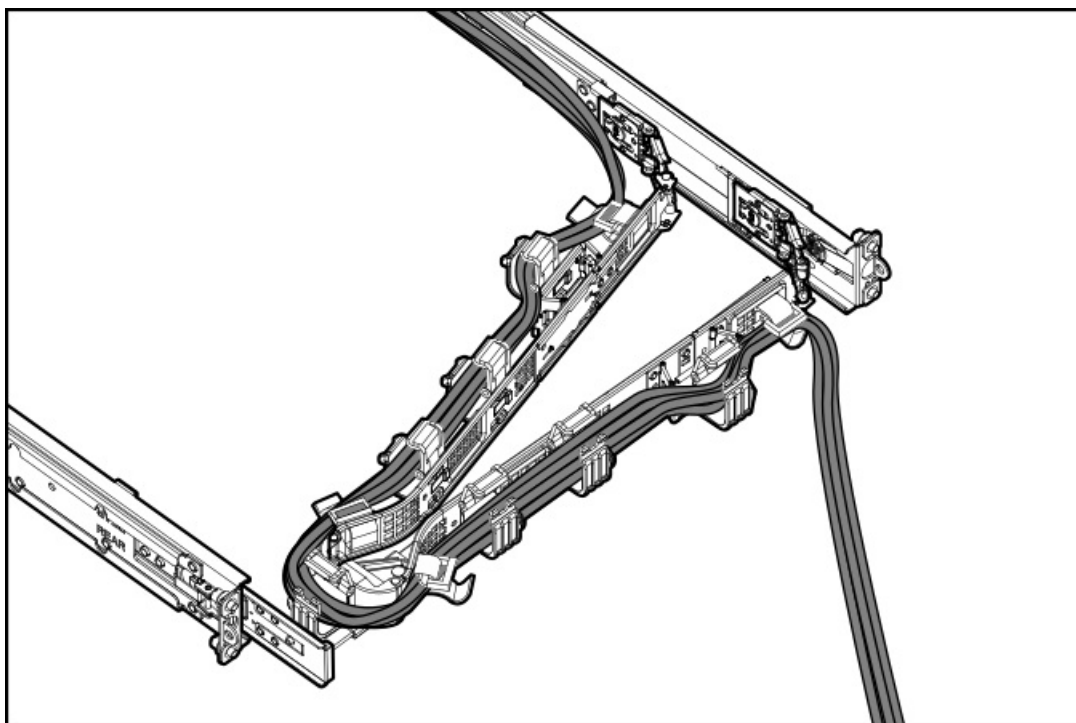


5. (オプション) CMAにケーブルストレーンリリーフを追加するためのケーブルストラップが付いている場合は、ストラップを外します。

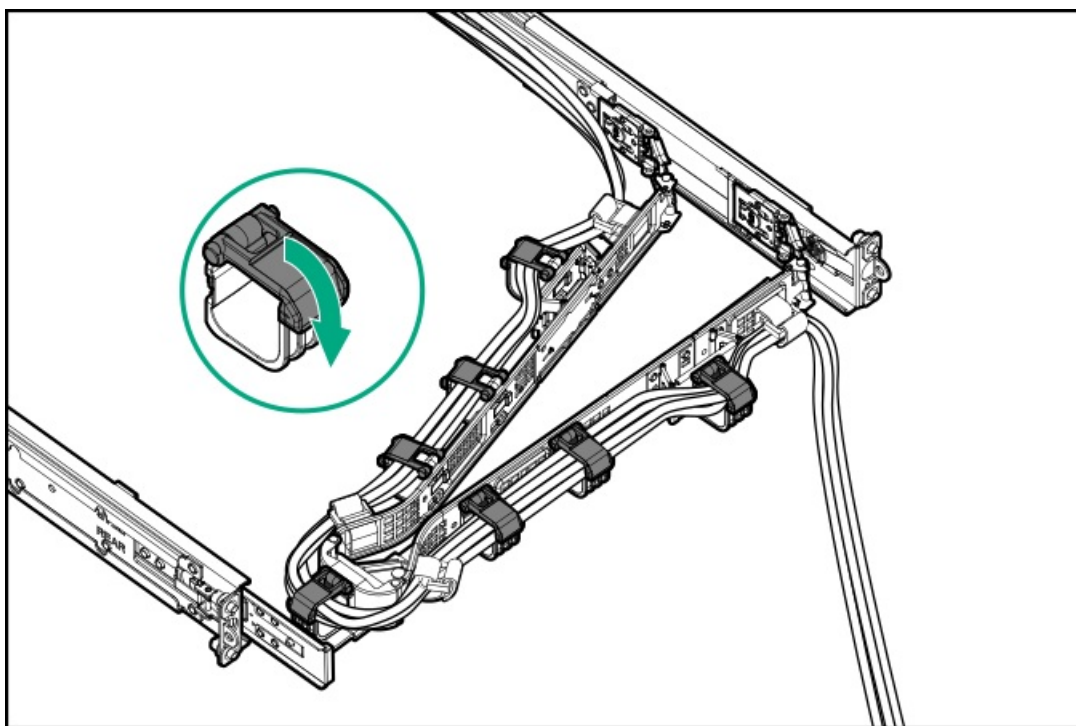


6.  **注意:** CMAに固定された周辺ケーブルと電源コードの管理には、業界のベストプラクティスを採用してください。これらはさらに重要なポイントのいくつかです。
- リアパネルとCMAの間に十分なケーブルのたるみを残して、サーバーをサーバーから引き出す際に、CMAを完全に引き出せるようにします。
 - ただし、CMA内に余分なケーブルのたるみがないようにしてください。これにより、ケーブルがからまり、ケーブルが損傷する可能性があります。
 - ケーブルと電源コードが、それらが接続されているサーバーの上部または底部を越えて伸びていないことを確認してください。さもないと、サーバーをサーバーから引き出すか戻すときに、サーバーに取り付けられている他の機器にケーブルが引っかかる可能性があります。

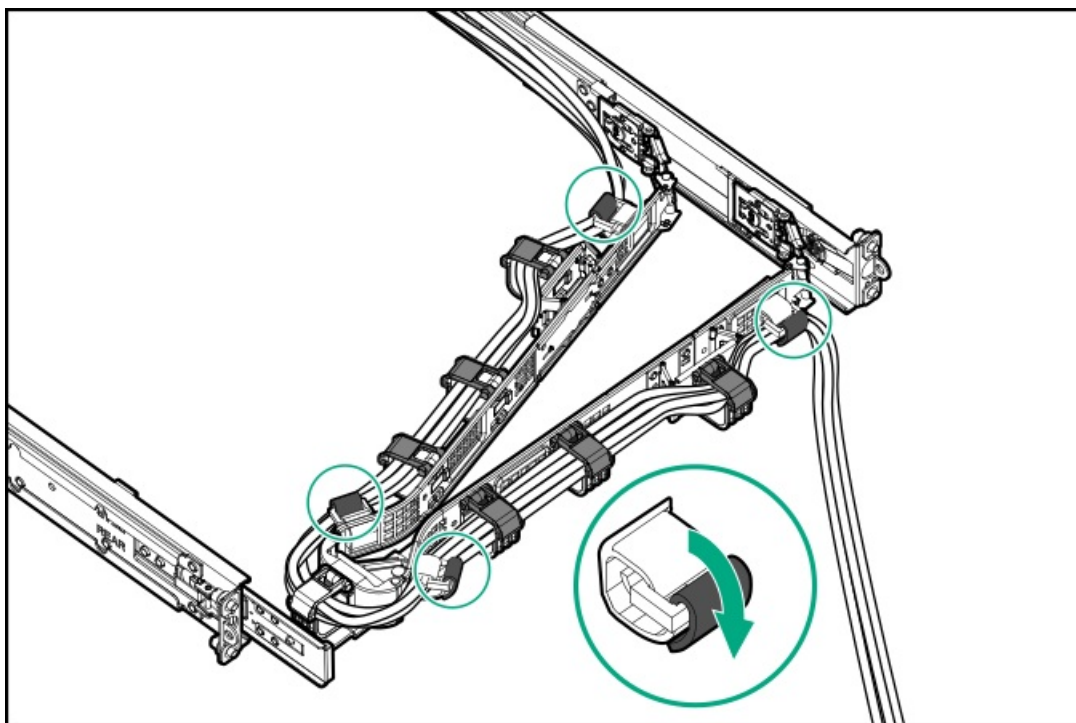
周辺ケーブルと電源コードをケーブルクランプやストラップに通します。



7. ケーブルクランプを閉じます。



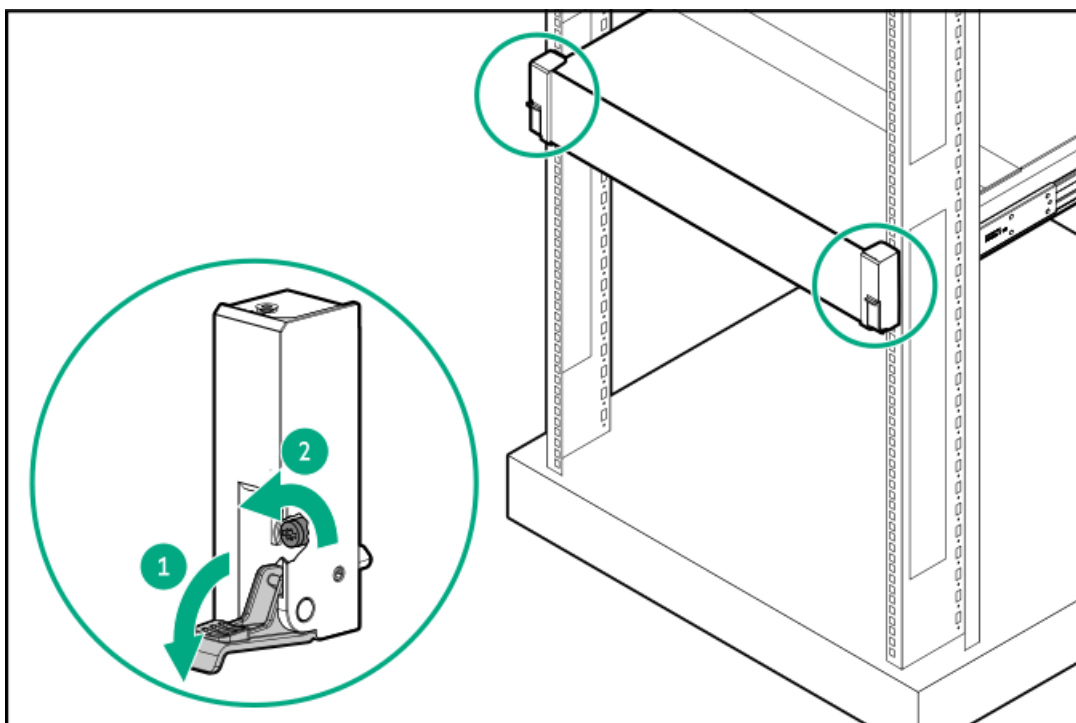
8. (オプション) CMAIにケーブルストラップが付いている場合は、ストラップを締めます。



9. サーバーレールの動作を確認します。

この手順には作業者が2人必要になることがあります。1人はシャーシをサーバーから出し入れし、もう1人はリアパネルのケーブルと電源コードを確認します。

- a. サーバーからシャーシを完全に引き出します。
 - b. シャーシを完全に引き出しても、ケーブルと電源コードに十分なたるみがあることを確認します。ケーブルが絡んだり折れたりしていないことを確認します。
 - c. ケーブルとコードが正しく固定されていることを確認するには、シャーシをサーバーから出し入れします。周辺ケーブルと電源コードが誤って外れる恐れがないことを確認してください。
10. シャーシイヤーがサーバーポストにぴったり接するまで、サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. (オプション) シャーシイヤーラッチを開き (番号1)、輸送用ネジを締めます (番号2)。



タスクの結果

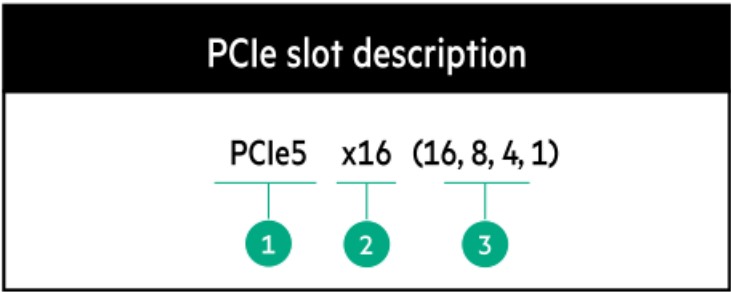
以上で取り付けは完了です。

ライザーおよびライザーケージオプション

サブトピック

- [PCIe5スロットの説明](#)
- [サポートされるPCIeフォームファクター](#)
- [拡張ボードの取り付け](#)
- [セカンダリライザーケージの取り付け](#)
- [ターシャリライザーケージの取り付け](#)
- [アクセラレータまたはGPUの取り付け](#)
- [リア2 SFF（2.5型）ライザーケージの取り付け](#)
- [リア2 LFF（3.5型）ライザーケージの取り付け](#)
- [プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け](#)
- [ターシャリライザーの取り付け](#)

PCIe5スロットの説明



番号	説明	定義
1	PCI Expressのバージョン	PCIeの各バージョンは、プロセッサと周辺機器の間の特定のデータ転送速度に対応しています。一般に、バージョンをアップデートすると、転送速度は向上します。 • PCIe 1. x • PCIe 2. x • PCIe 3. x • PCIe 4. x • PCIe 5. x PCIeテクノロジーは、現在も開発が進められています。最新情報については、PCI SIGのWebサイトを参照してください。
2	物理コネクタのリンク幅	PCIeデバイスは、インターコネクトまたはリンクと呼ばれる論理接続を介して通信します。物理レベルでは、リンクは1つまたは複数のレーンで構成されます。レーンの数には、xというプレフィックスが付いており、通常の使用ではx16が最大サイズになります。 • x1 • x2 • x4 • x8 • x16
3	ネゴシエーション可能なリンク幅	これらの番号は、スロットでサポートされる最大リンク帯域幅に対応します。

サポートされるPCIeフォームファクター

すべてのスロットは、フルハイトの拡張カードをサポートします。以下の情報を使用して、各スロットでサポートされている長さを探します。

プライマリライザーコネクタ

PCIeスロットとカードの長さ	3スロットライザー*	3スロットライザー（オプション）
スロット1 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット2 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット3 - ハーフレングス/フルハイト (HL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)

* 3 x16ライザーキットを取り付けると、すべてのスロットがPCIe5 x16フルレングスおよびフルハイトをサポートします。

セカンダリライザーコネクタ

PCIeスロットとカードの長さ	3スロットライザー*	3スロットライザー (オプション)
スロット1 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット2 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット3 - ハーフレングス/フルハイト (HL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)

* 3 x16ライザーキットを取り付けると、すべてのスロットがPCIe5 x16フルレングスおよびフルハイトをサポートします。

ターシャリライザーコネクタ

PCIeスロットとカードの長さ	2スロットライザー (オプション)
スロット7 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x16 (16、8、4、2、1)
スロット8 - フルレングス/フルハイト (FL/FH)	PCIe5 x8 (8、4、2、1) またはPCIe4 x16 (16、8、4、2、1)

拡張ボードの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント

このタスクについて



警告: けが、感電、または装置の損傷に対するリスクの低減のために、電源コードを抜き取って、サーバーに電力が供給されないようにしてください。フロントパネルにある電源ボタンではシステムの電源を遮断することはできません。AC電源コードを抜き取るまで、電源装置の一部といくつかの内部回路はアクティブのままです。

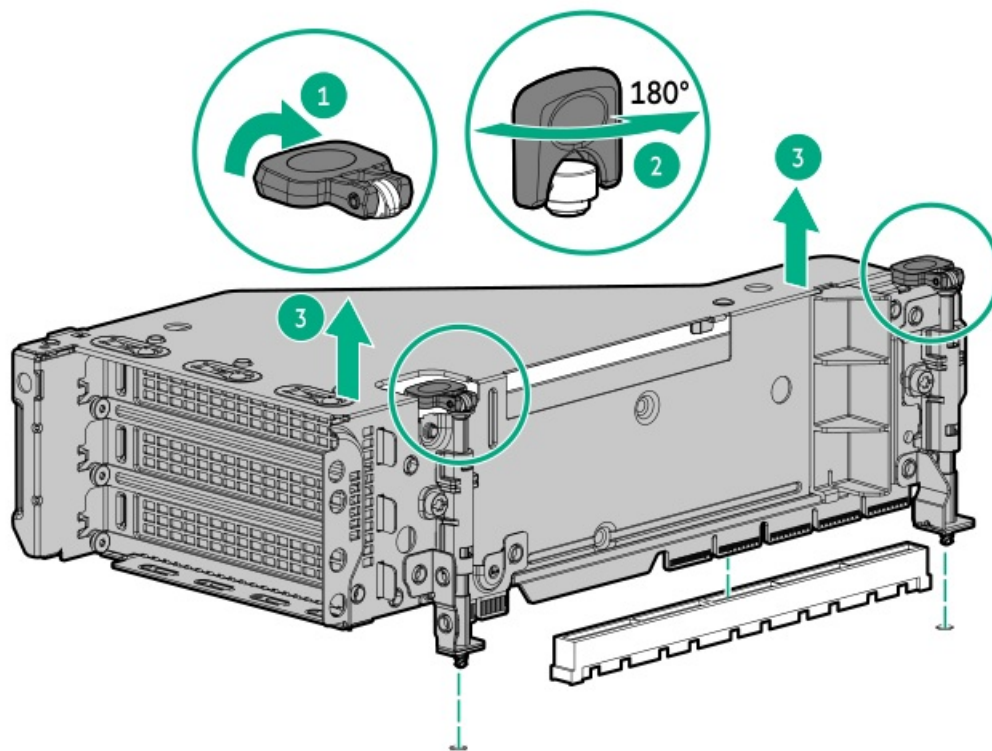


注意: 不適切な冷却または高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIスロットに必ず、拡張スロットカバーか拡張ボードのいずれかを実装してサーバーを動作させてください。

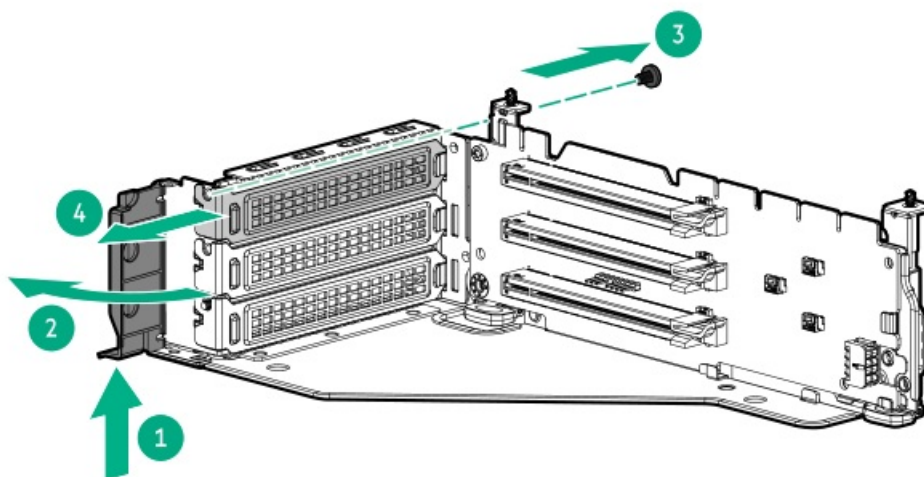
コンポーネントを取り付けるには、以下の手順に従ってください。

手順

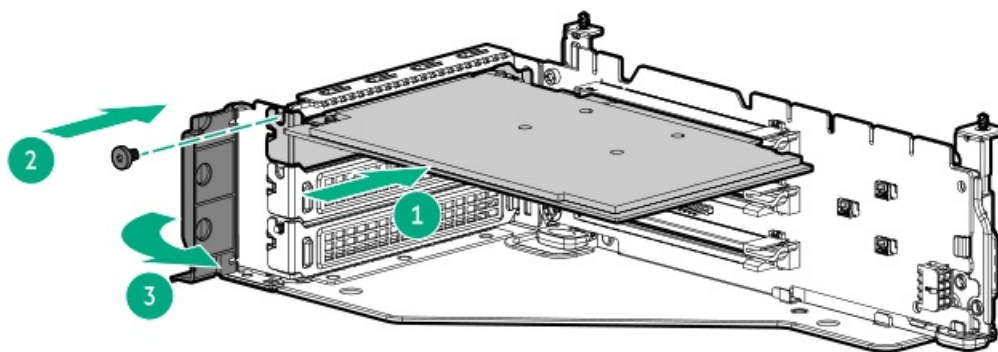
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. ライザーケージを取り外します。



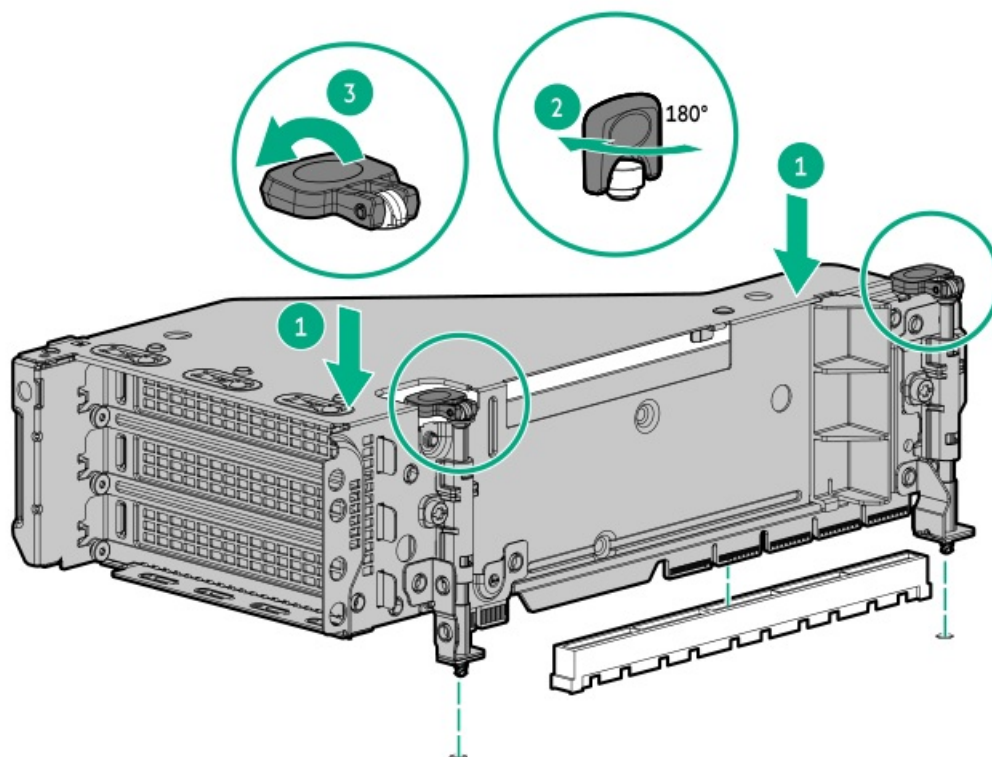
6. PCIeブランクを特定して、ライザーケージから取り外します。



7. 拡張ボードを取り付けます。



8. ライザーケージを取り付けます。



9. ケーブルを接続します。
10. アクセスポネルを取り付けます。
11. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
12. 各電源コードをサーバーに接続します。
13. 各電源コードを電源に接続します。
14. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

セカンダリライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

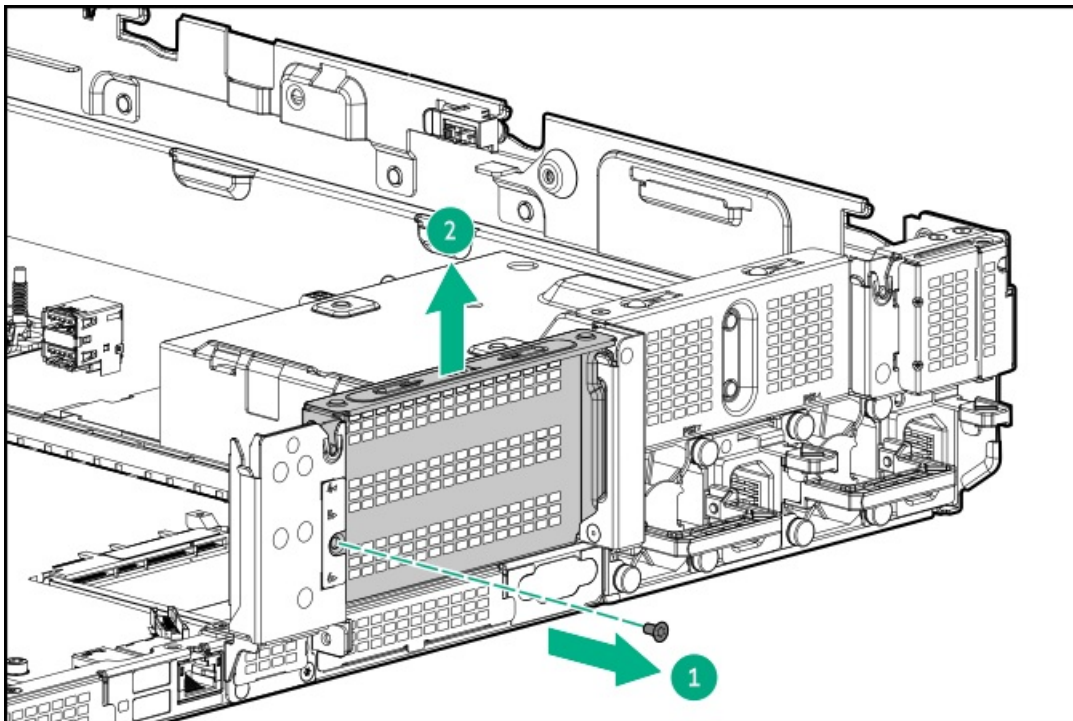
手順

1. 次のアラートに従ってください。

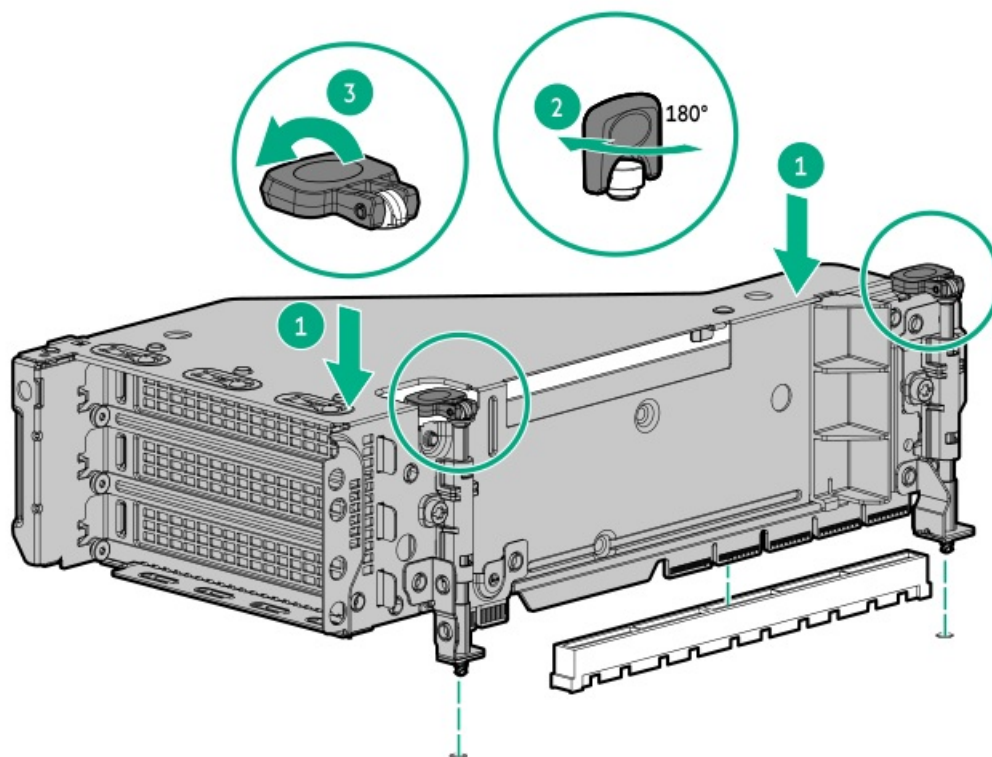


注意： サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源を切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付けを行ってください。

2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. リアウォールブランクを取り外します。



7. 必要な場合、拡張ボードを取り付けます。
8. ライザーケージを取り付けます。



9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ターシャリライザーケージの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

手順

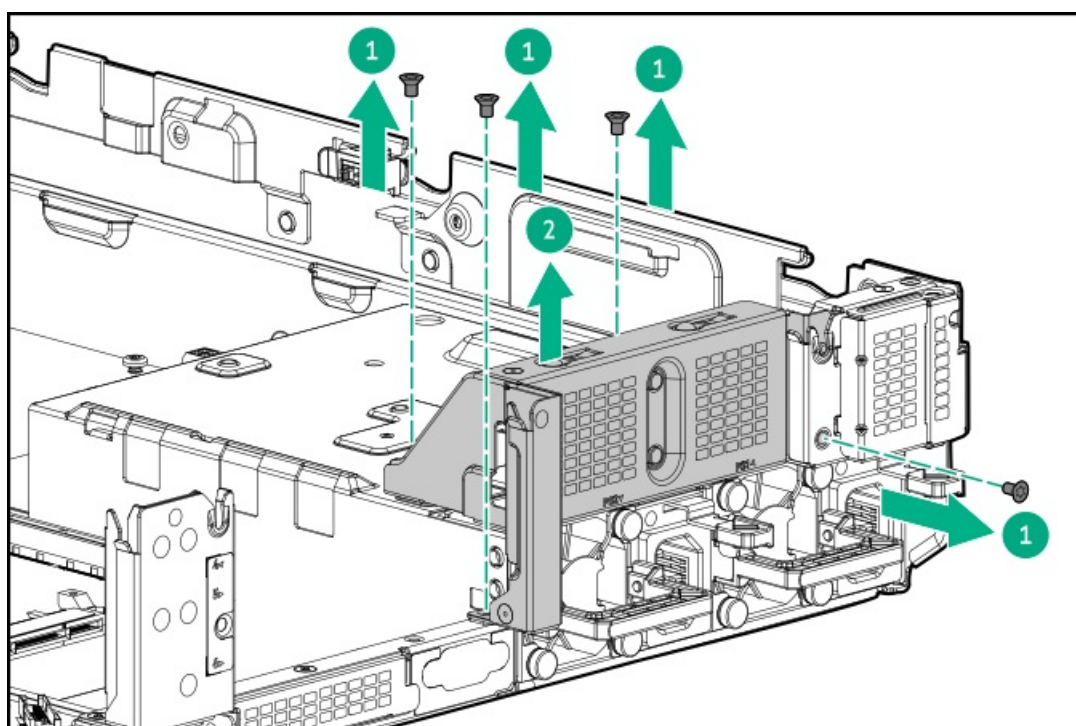
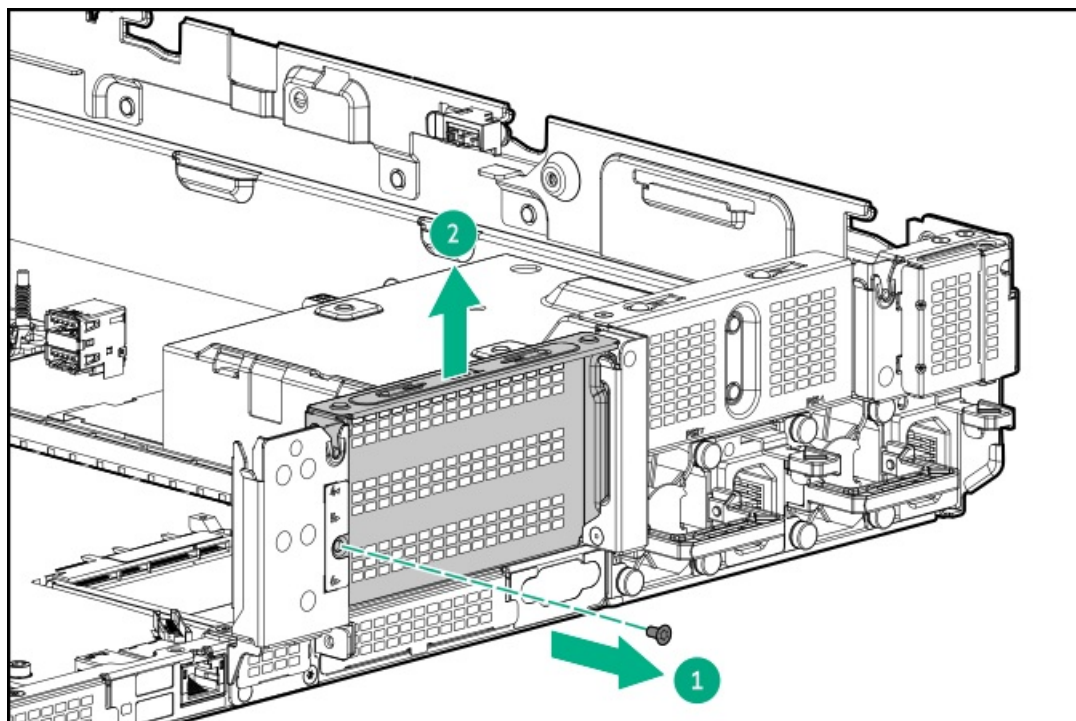
1. 次のアラートに注意してください。



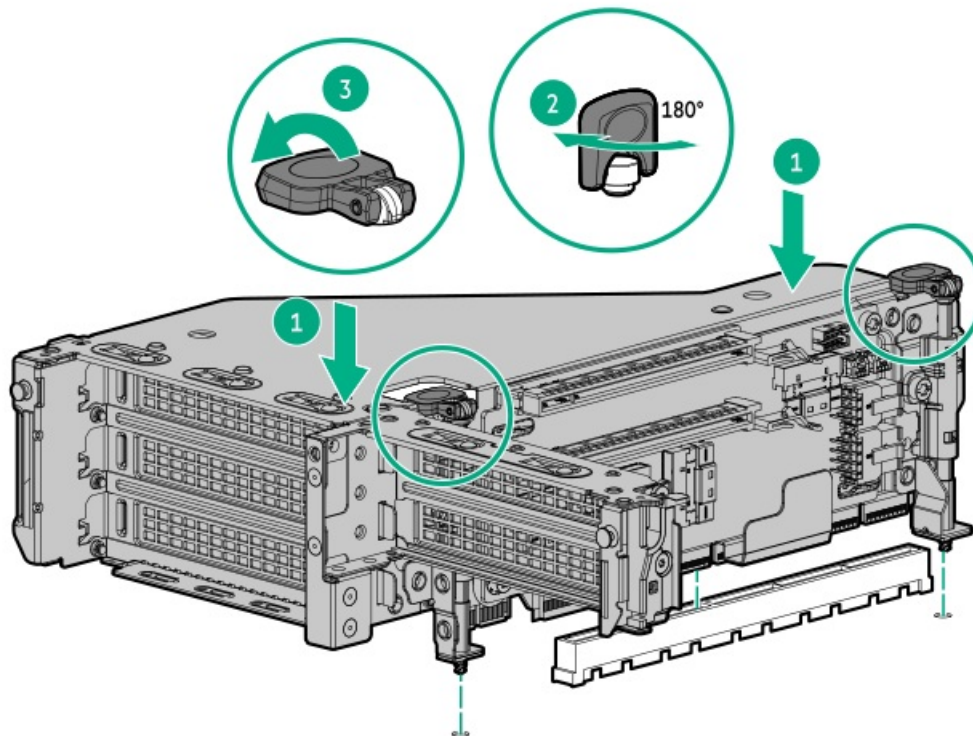
注意: サーバーまたは拡張ボードの損傷を防止するために、サーバーの電源を拡張ボード、電源を切るか、すべての電源コードを抜き取ってからPCIライザーケージの取り外しまたは取り付けを行ってください。

2. サーバーの電源を切ります。
3. 次のいずれかを実行します。

- 各電源コードを電源から抜きます。
 - 各電源コードをサーバーから抜きます。
4. 次のいずれかを実行します。
- サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. リアウォールブランクを取り外します。



7. 必要な場合、拡張ボードを取り付けます。
8. ターシャリライザーケースを取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

アクセラレータまたはGPUの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-30トルクスドライバー
- T-10トルクスドライバー
- このオプションを使用するには、高性能のヒートシンクが取り付けられている必要があります。

このタスクについて

アクセラレータまたはGPUは、プライマリ、セカンダリ、またはターシャリの位置に取り付けることができます。ここでは、セカンダリの位置に取り付ける場合の手順を示します。

手順

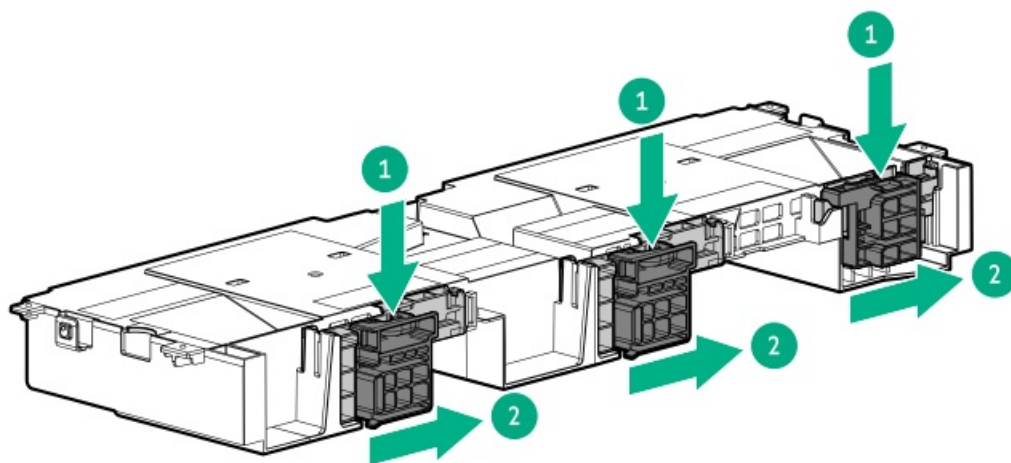
1. 次のアラートに注意してください。



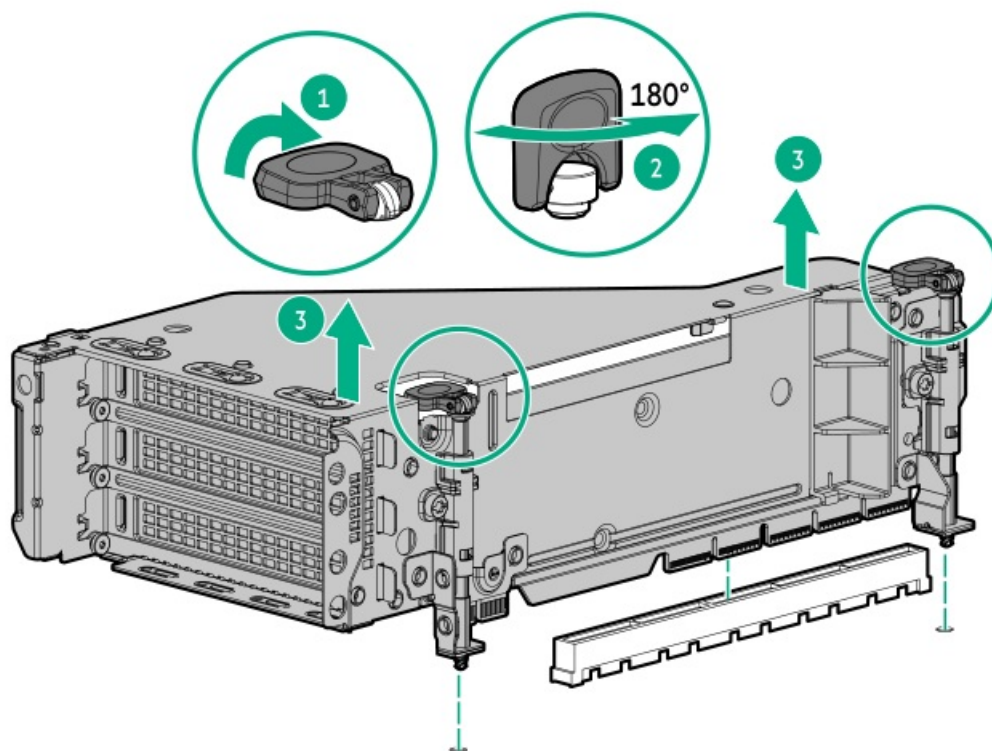
注意: 不適切な冷却や高温による装置の損傷を防止するために、すべてのPCIeスロットに拡張スロットカバーまたは拡張ボードが取り付けられている場合を除き、サーバーを動作させないでください。

2. サーバーの電源を切ります。
3. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
4. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
5. アクセスパネルを取り外します。
6. エアバッフルを取り外します。
7. エアバッフルに適切なサポートブラケットを取り付けます。

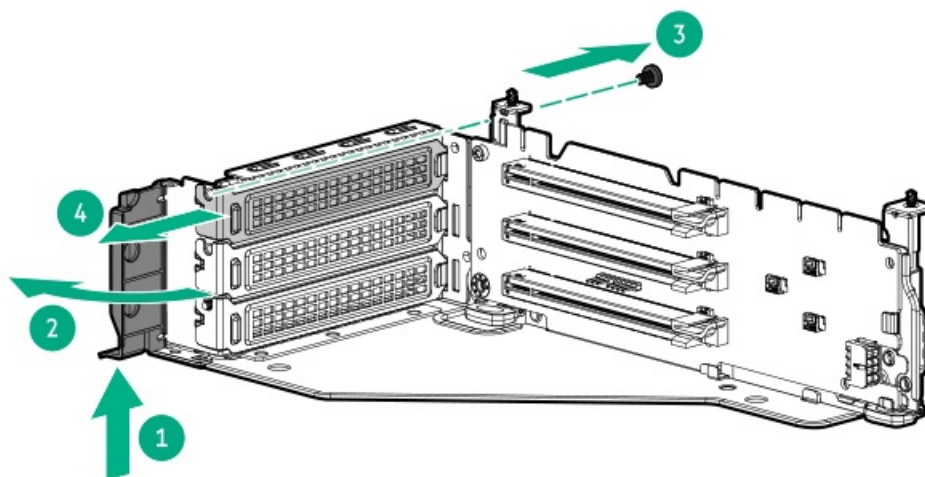
ご使用の構成をサポートしているブラケットを取り付けます。プライマリ、セカンダリ、およびターシャリの位置が示されています。



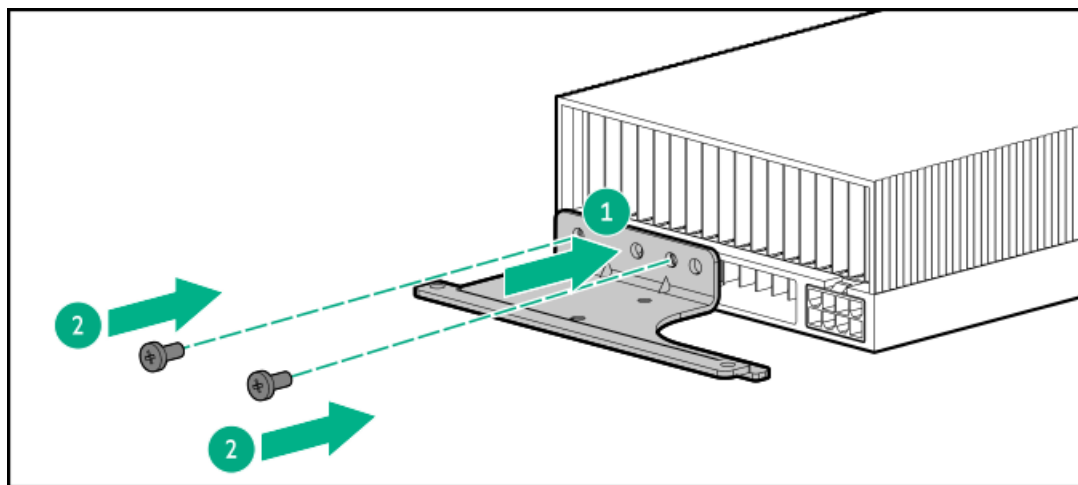
8. ライザーケージを取り外します。



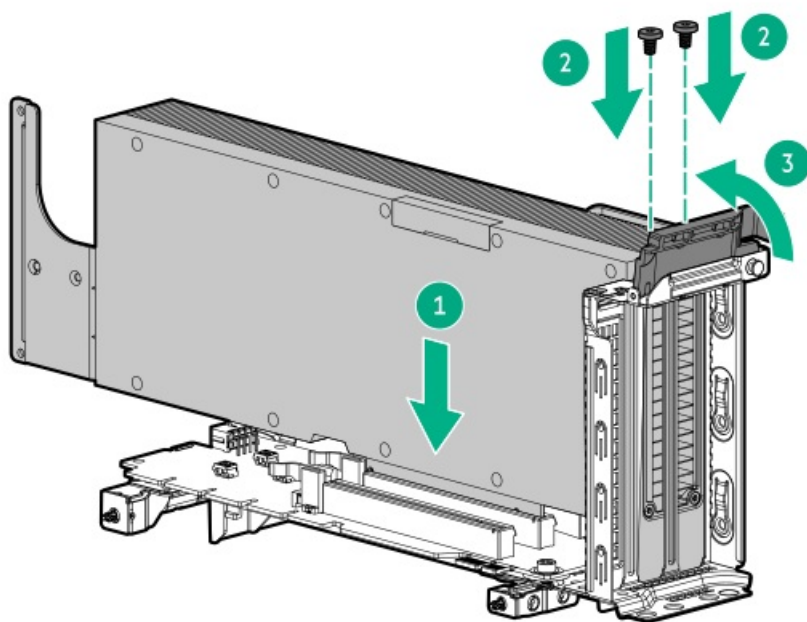
9. ライザーケージから適切なPCIeブランクを取り外します。



10. 製造者が提供するGPUエクステンダーブラケットを取り付けます。

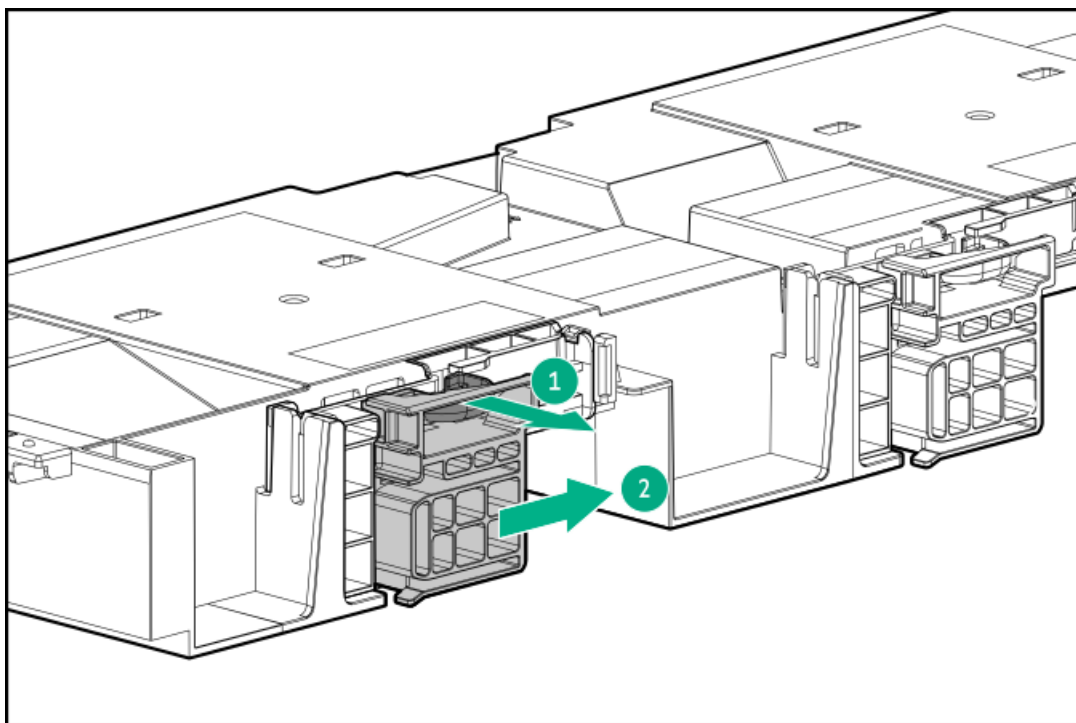


11. GPUをライザーに取り付けます。

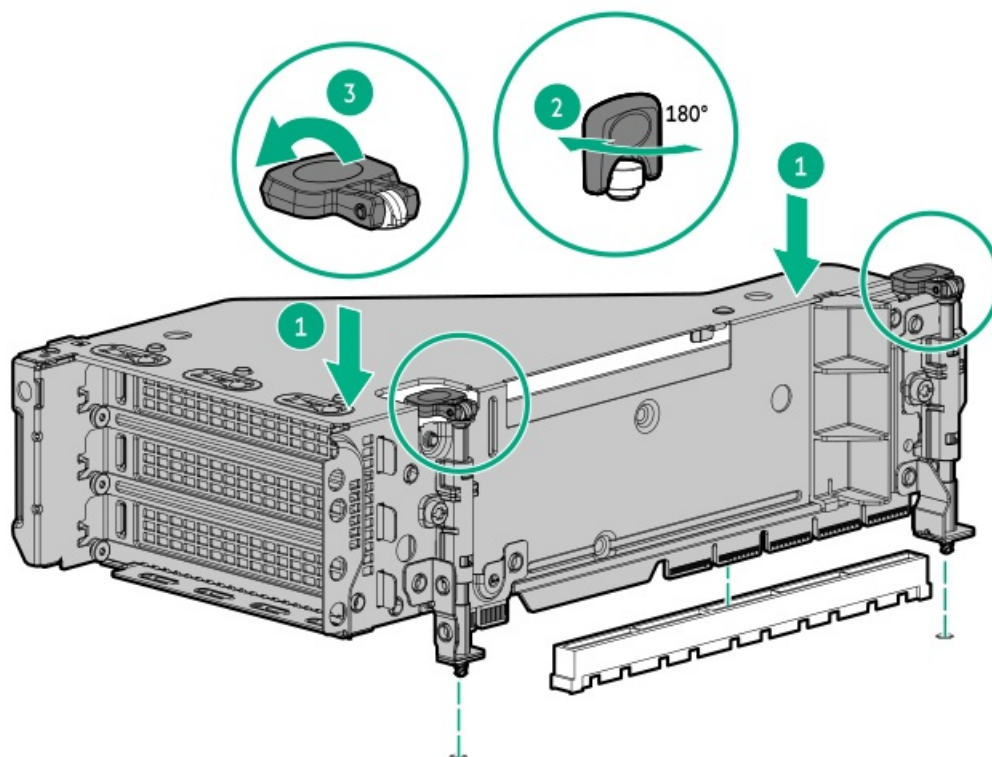


12. GPU電源ケーブルを接続します。

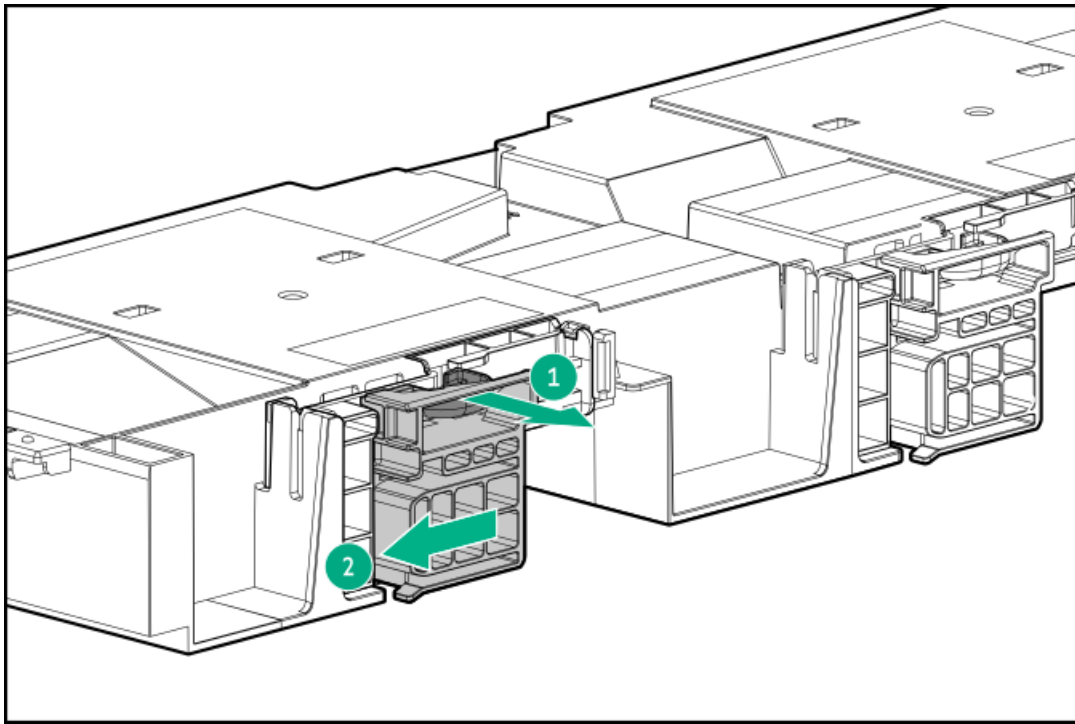
13. 必要に応じて、サポートブラケットを開きます。



14. ライザーケージを取り付けます。



15. 固定用クリップをロック位置まで閉じます。



16. アクセスパネルを取り付けます。
17. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
18. 各電源コードをサーバーに接続します。
19. 各電源コードを電源に接続します。
20. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

リア2 SFF (2.5型) ライザーケージの取り付け

前提条件

-

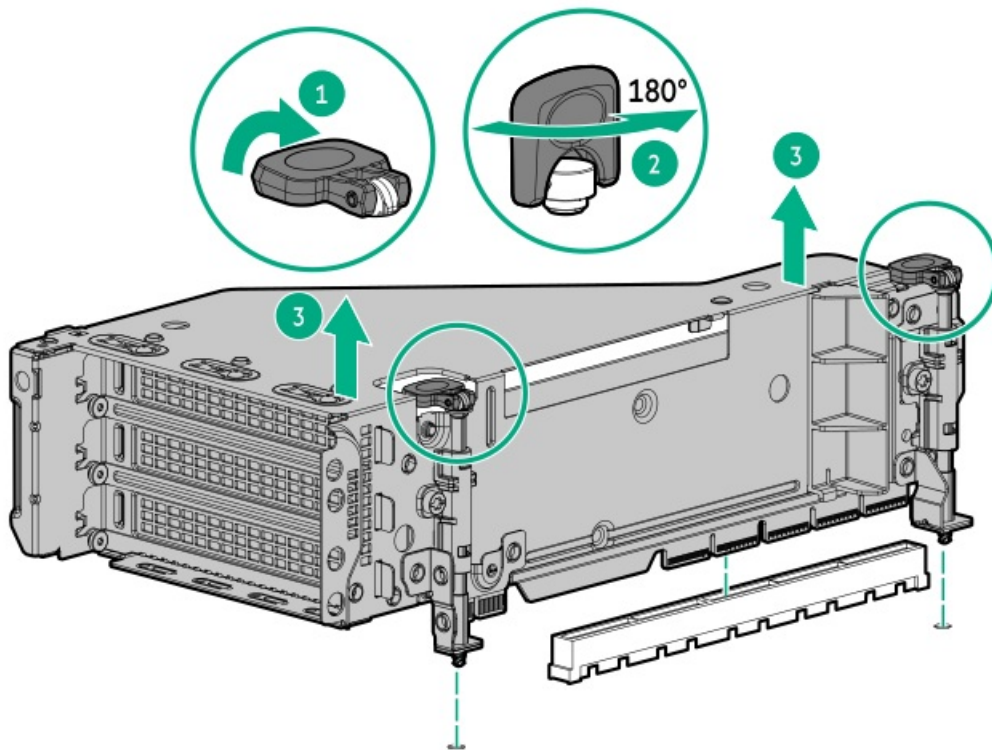
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントドライブベイに12個のLFF (3.5型) ドライブまたは24個のSFF (2.5型) ドライブが完全に取り付けられている必要があります。
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要があります。

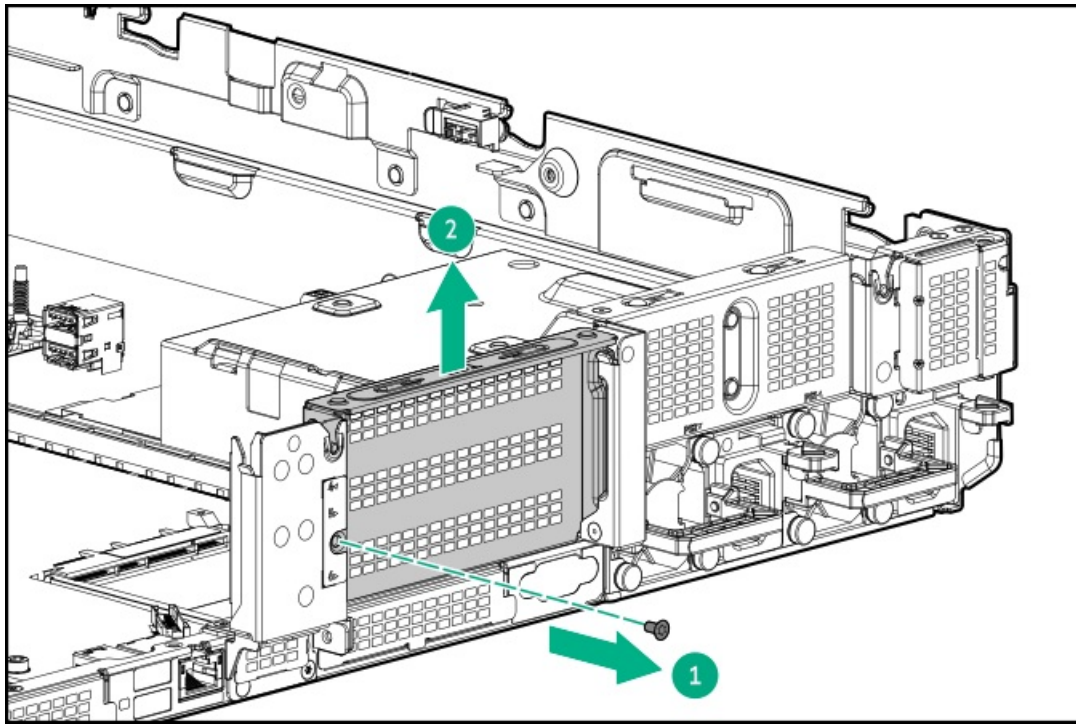
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。

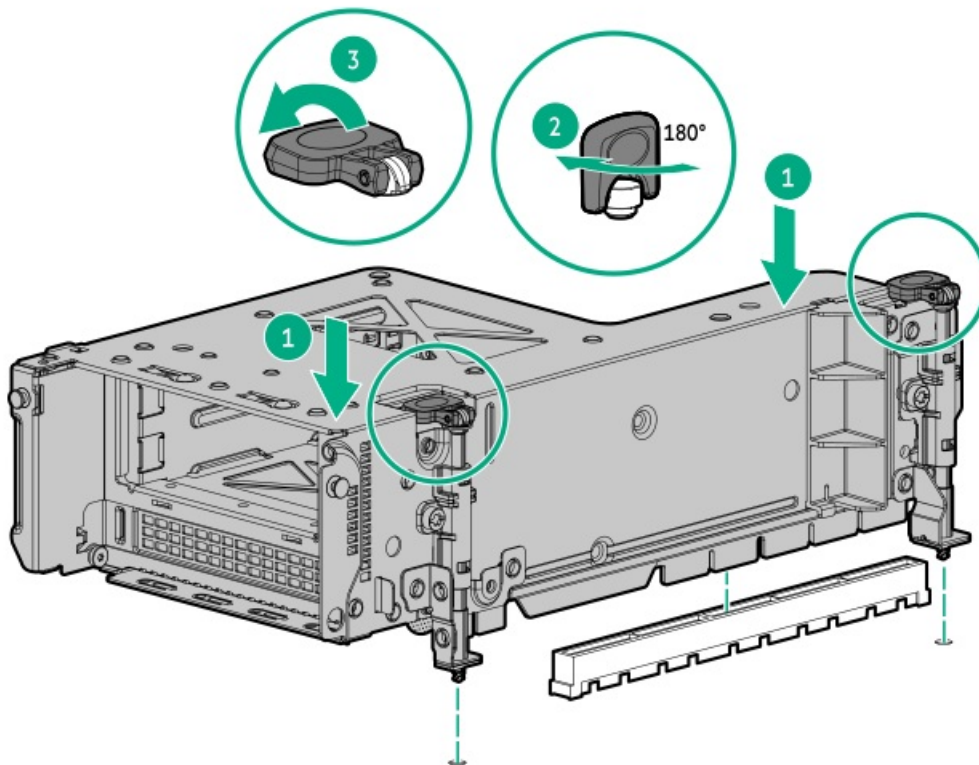
- b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
- サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. 次のいずれかを実行します。
- プライマリベイの場合、ライザーケージを取り外します。



- セカンダリベイの場合、リアウォールブラックを取り外します。



6. ドライブケースを取り付けます。



7. ドライブを取り付けます。

8. ドライブバックプレーンケーブルをコントローラーに接続します。

9. アクセスパネルを取り付けます。

10. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。

11. 各電源コードをサーバーに接続します。

12. 各電源コードを電源に接続します。

13. サーバーの電源を入れます。

リア2 LFF (3.5型) ライザーケージの取り付け

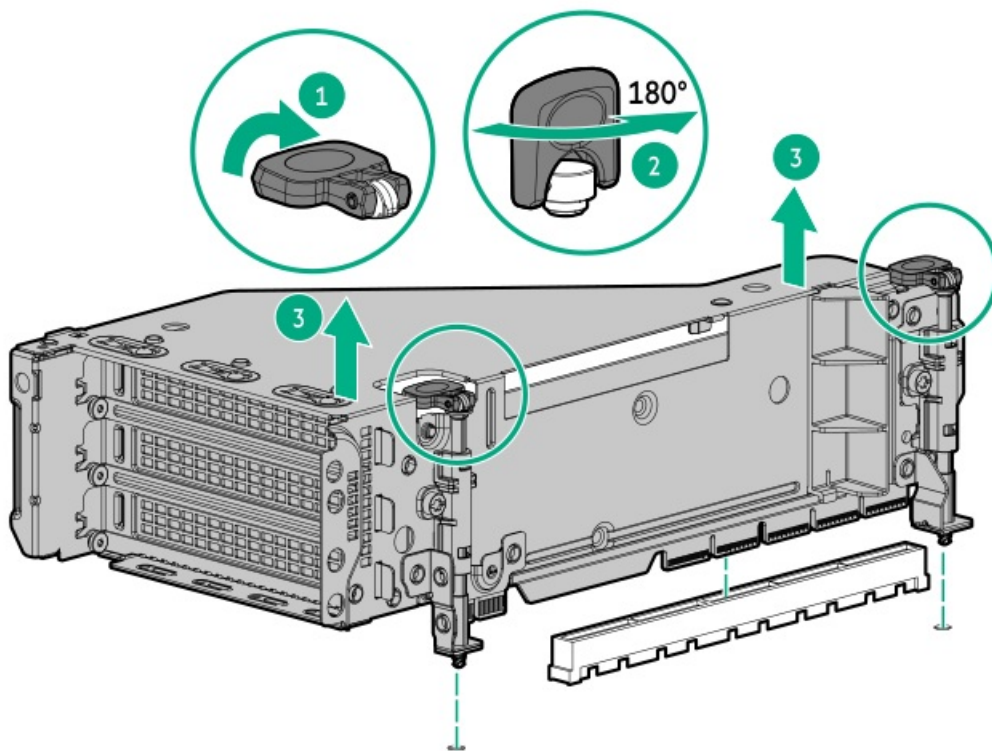
前提条件

この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

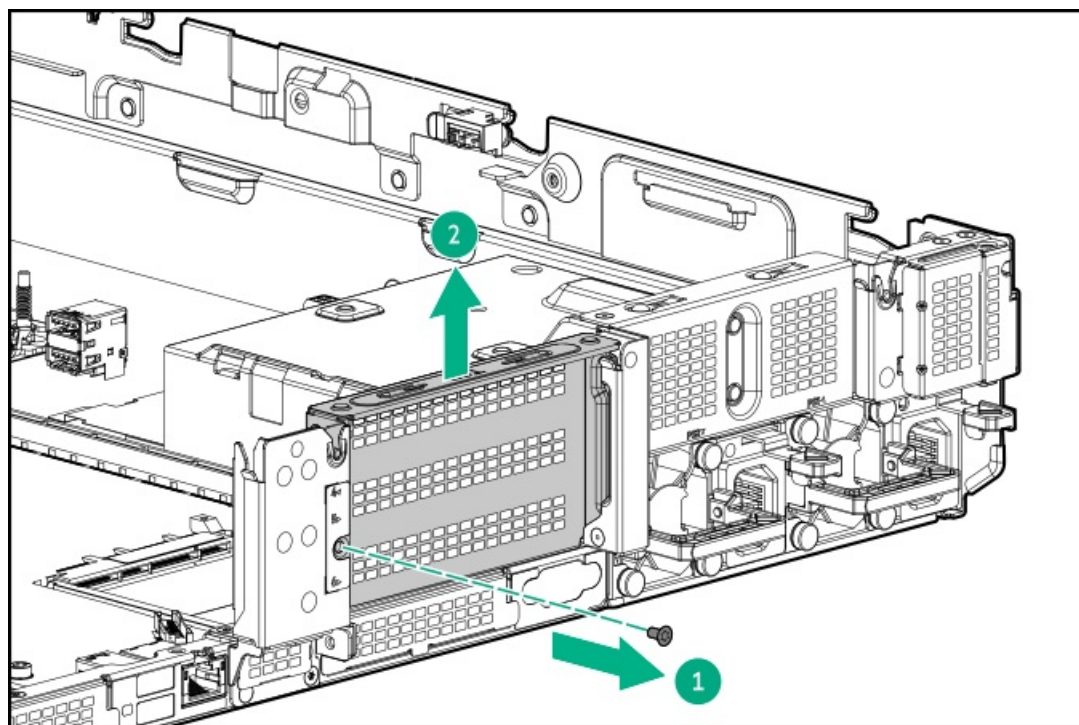
- T-10トルクスドライバー
- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- フロントドライブベイに12個のLFF (3.5型) ドライブまたは24個のSFF (2.5型) ドライブが完全に取り付けられている必要があります。
- すべてのファンベイに高性能ファンが取り付けられている必要があります。

手順

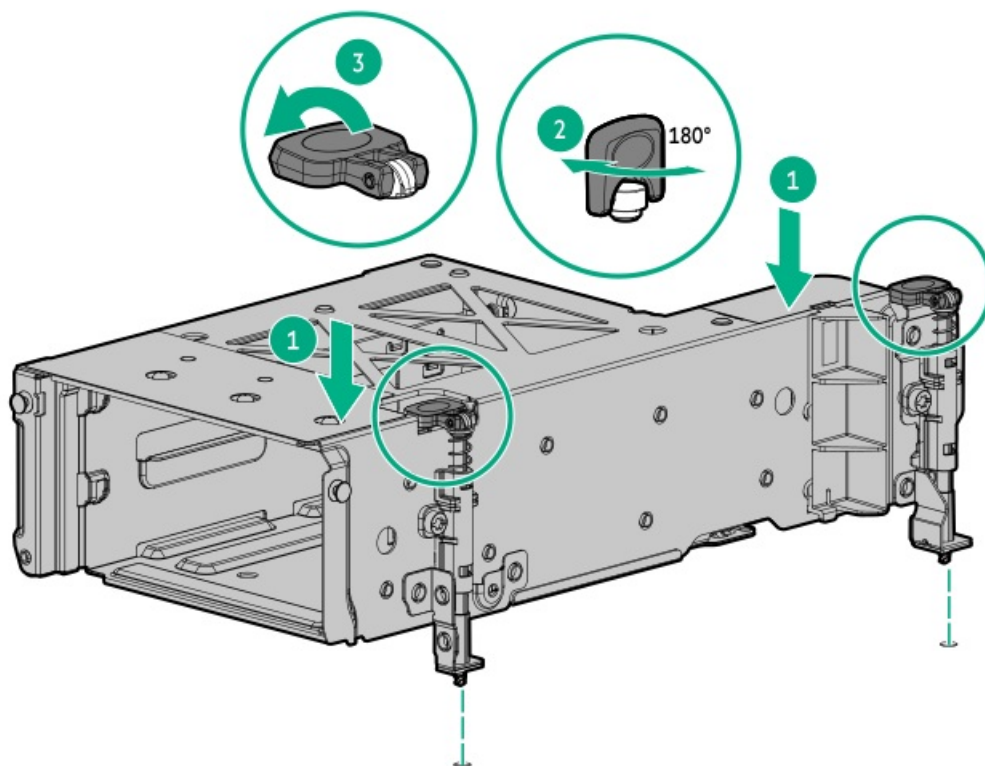
1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. 次のいずれかを実行します。
 - プライマリベイの場合、ライザーケージを取り外します。



- セカンダリライザーケースの場合、リアウォールブランクを取り外します。



6. ドライブケースを取り付けます。



7. バックプレーンのケーブルを接続します。
8. ドライブを取り付けます。
9. アクセスパネルを取り付けます。
10. サーバーをラックに戻します。
11. 各電源コードをサーバーに接続します。
12. 各電源コードを電源に接続します。
13. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

プライマリおよびセカンダリライザーの取り付け

前提条件

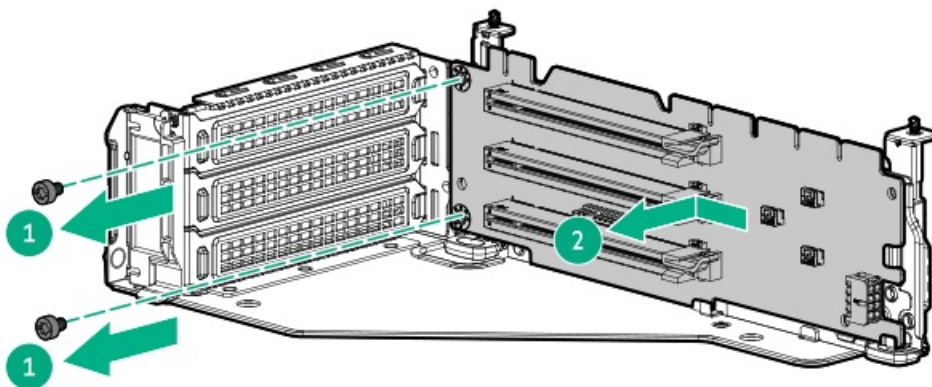
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー

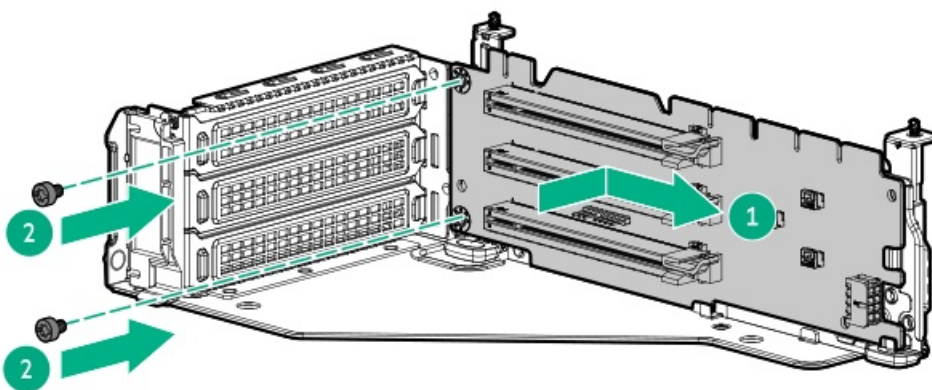
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。

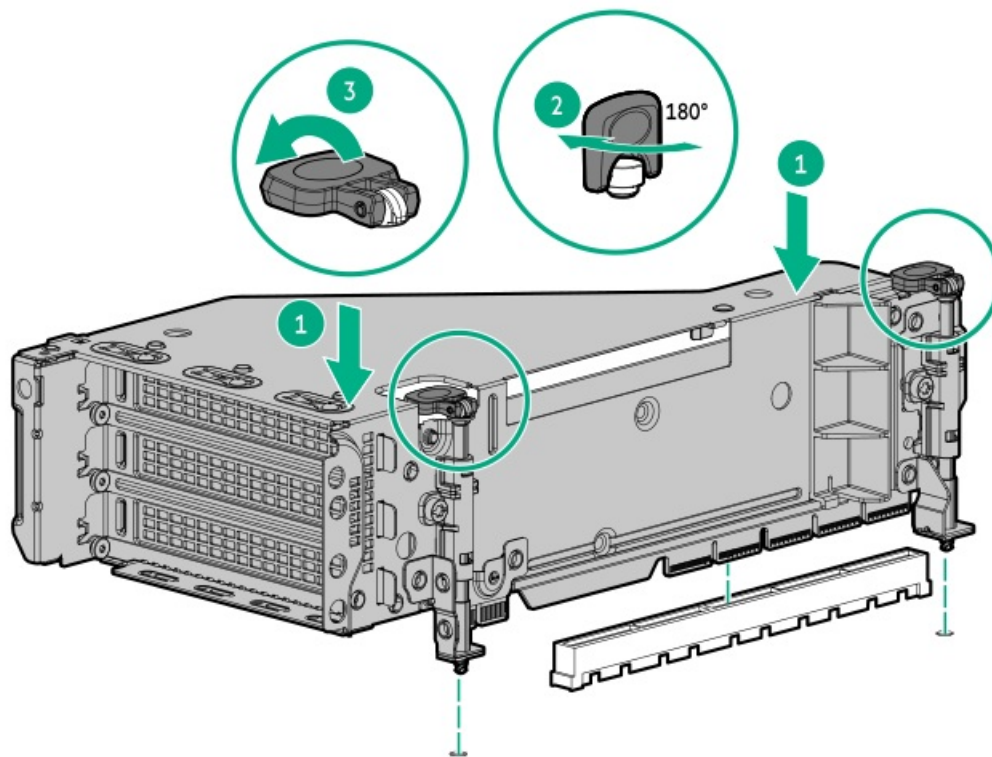
- 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
 4. アクセスパネルを取り外します。
 5. ライザーケージを取り外します。
 6. ライザーボードを取り外します。



7. ライザーを取り付けます。



8. 必要な場合、拡張ボードを取り付けます。
9. 必要な場合は、データケーブルをライザーまたは拡張ボードに接続します。
10. ライザーケージを取り付けます。



11. アクセスパネルを取り付けます。
12. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
13. 各電源コードをサーバーに接続します。
14. 各電源コードを電源に接続します。
15. サーバーの電源を入れます。

タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

ターシャリライザーの取り付け

前提条件

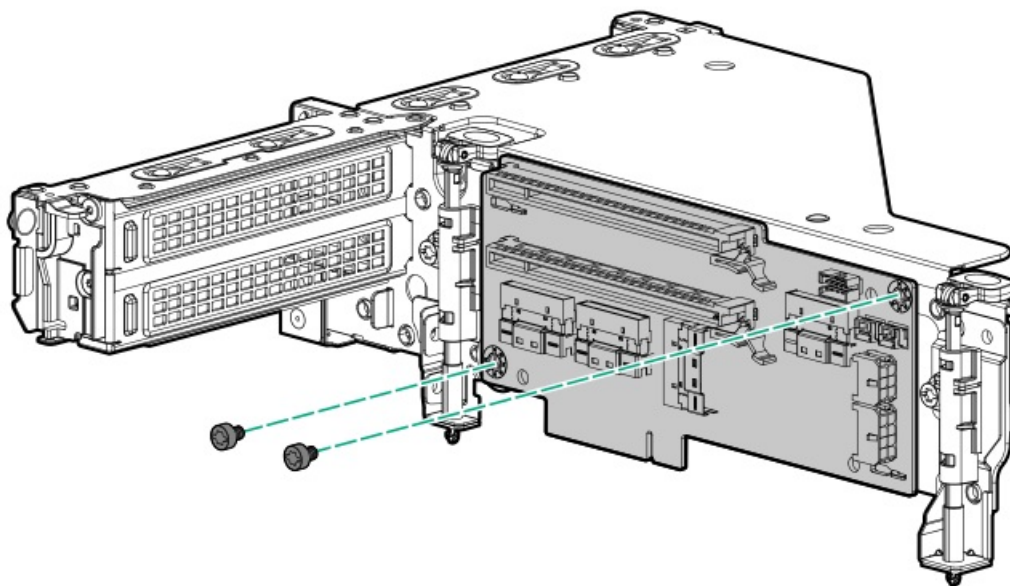
この手順を実行する前に、次のものを用意しておきます。

- ハードウェアオプションキットに含まれるコンポーネント
- T-10トルクスドライバー
- このオプションを取り付けるには、ターシャリライザーケージが必要です。

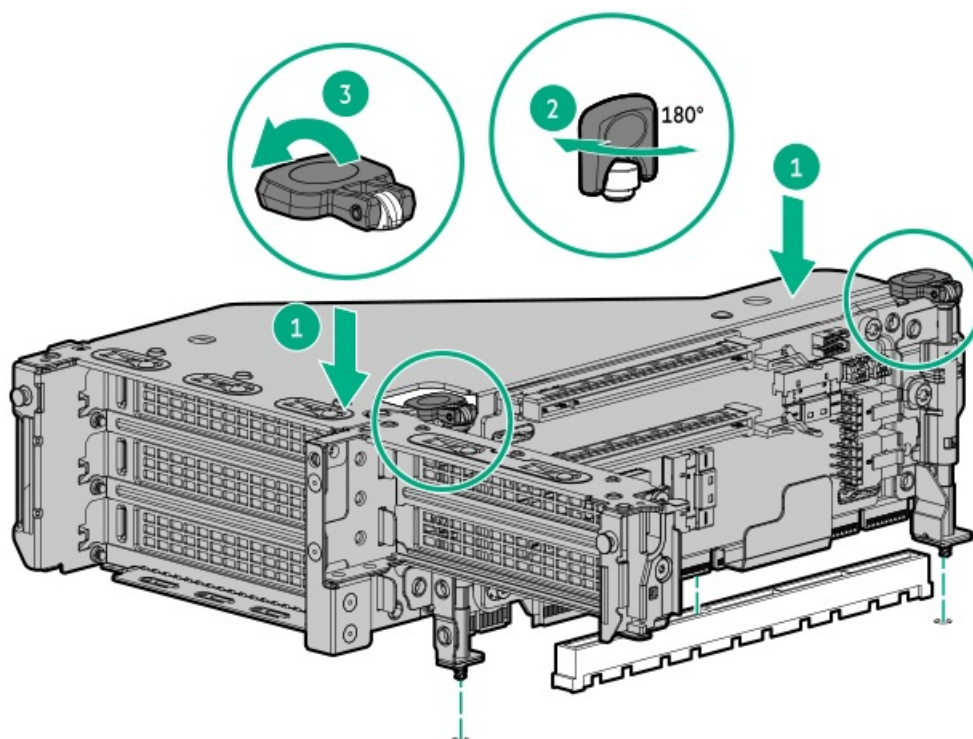
手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. 次のいずれかを実行します。
 - 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。

- サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
 5. ライザーケージを取り外します。
 6. ライザーを取り付けます。



7. 必要な場合、拡張ボードを取り付けます。
8. 必要な場合は、データケーブルをライザーまたは拡張ボードに接続します。
9. ターシャリライザーケージを取り付けます。



タスクの結果

以上で取り付けは完了です。

セキュリティ

サブトピック

ベゼルを取り付ける

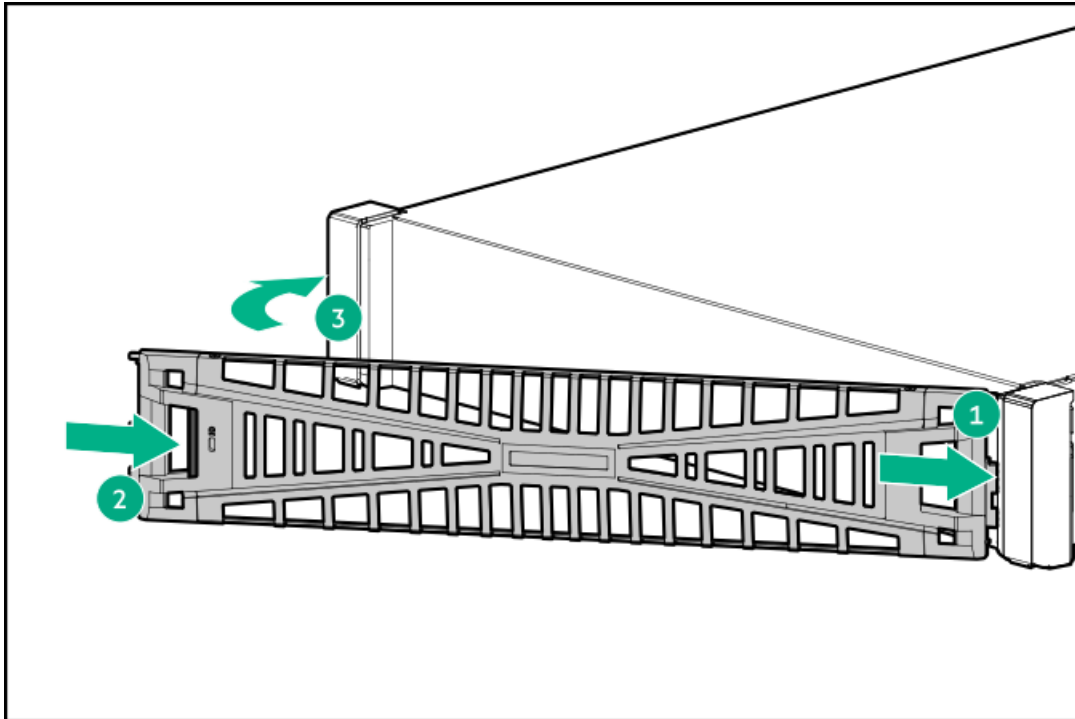
シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン

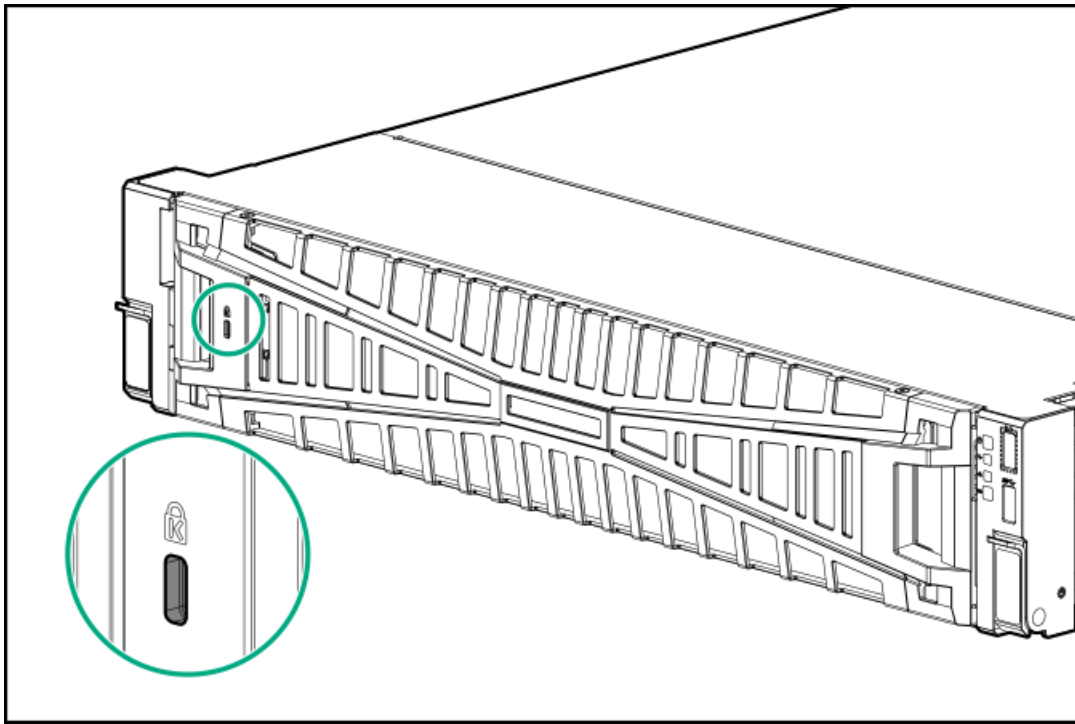
ベゼルを取り付ける

タスクの結果

フロントベゼルを取り付けます。



(オプション) ベゼルロックを取り付けます。



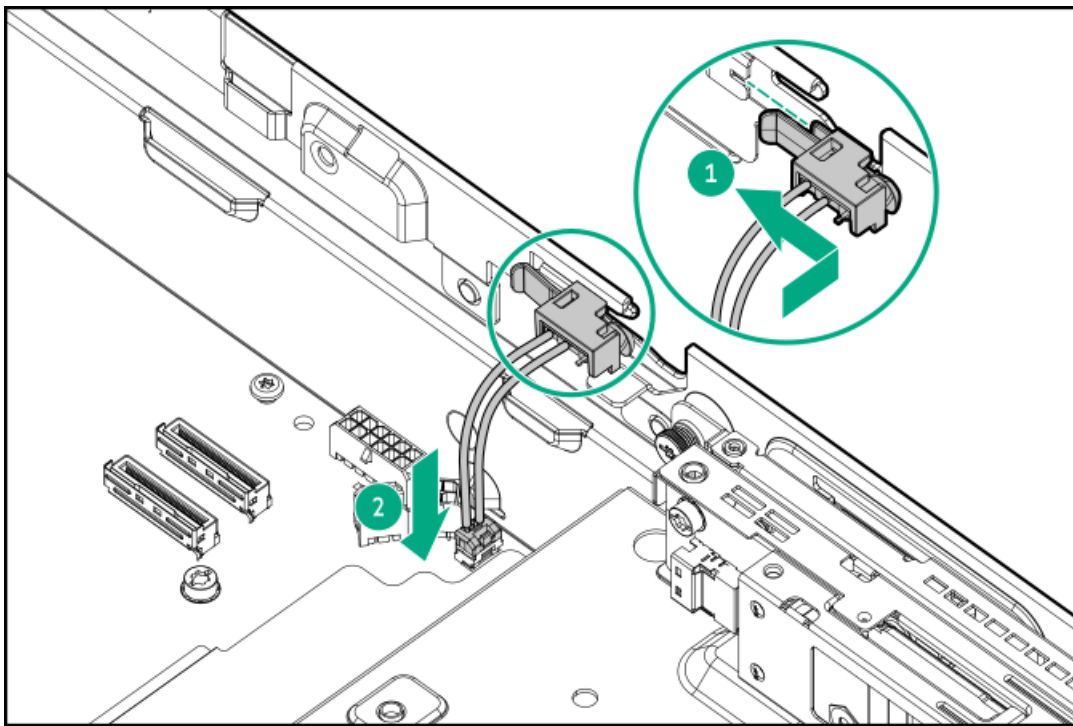
シャーシ侵入検知スイッチの取り付け

前提条件

この手順を実行する前に、ハードウェアオプションキットに付属のコンポーネントが揃っていることを確認すること。

手順

1. サーバーの電源を切ります。
2. すべての電源を取り外します。
 - a. 各電源コードを電源から抜き取ります。
 - b. 各電源コードをサーバーから抜き取ります。
3. 次のいずれかを実行します。
 - サーバーをラックから引き出します。
 - サーバーをラックから取り外します。
4. アクセスパネルを取り外します。
5. シャーシ侵入検知スイッチを取り付けます。



6. アクセスパネルを取り付けます。
7. サーバーをスライドさせてラックに押し込みます。
8. 各電源コードをサーバーに接続します。
9. 各電源コードを電源に接続します。
10. サーバーの電源を入れます。

Trusted Platform Module 2.0のガイドライン



注意:

- 必ず、このセクションに記載されているTPMのガイドラインに従ってください。ガイドラインに従わないと、ハードウェアが損傷したり、データアクセスが中断したりする場合があります。
- サーバーの変更やOSでのTPMのサスペンドまたは無効化のための手順に従っていないと、TPMを使用しているOSですべてのデータアクセスがロックされる場合があります。これには、システムまたはオプションファームウェアのアップデート、ハードウェア（システムボードやドライブなど）の交換、TPMのOS設定の変更が含まれます。
- OSのインストール後にTPMモードを変更すると、データ消失などの問題の原因となります。

Hewlett Packard Enterpriseの特別な注意事項：このシステムでTPM機能を有効にする前に、TPMの用途が関連する地域の法律、規定および政策に準拠することを保証し、該当する場合、承認または免許を取得しなければなりません。

慧与特别提醒：在您启用系统中的TPM功能前，请务必确认您对TPM的使用遵守当地相关法律、法规及政策，并已事先获得所需的一切批准及许可（如适用），因您未获得相应的操作/使用许可而导致的违规问题，皆由您自行承担全部责任，与慧与无涉。

- 内蔵TPMが有効にされている場合、Trusted Platform ModuleはTPM 2.0モードで動作します。

- TPMを構成するには、UEFIシステムユーティリティを使用します。システムユーティリティ画面で、システム構成 > BIOS/プラットフォーム構成 (RBSU) > サーバーセキュリティ > Trusted Platform Moduleオプションを選択します。詳しくは、UEFIユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en>

- Microsoft Windows BitLockerドライブ暗号化機能を使用する場合は、常にリカバリキーまたはパスワードを保持してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキーまたはパスワードが必要です。
- HPEは、TPMの不適切な使用によって発生したデータアクセスのブロックについては、責任を負いかねます。操作手順については、オペレーティングシステムに付属の暗号化テクノロジー機能のドキュメントを参照してください。

サブトピック

[BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン](#)

BitLockerリカバリキー/パスワードの保管のガイドライン

リカバリキー/パスワードは、BitLockerのセットアップ時に生成され、BitLockerを有効にした後に保存および印刷できます。BitLockerを使用する際は、常に、リカバリキー/パスワードを保管してください。システム整合性が侵害された可能性をBitLockerが検出した後にリカバリモードに入るには、リカバリキー/パスワードが必要です。

最大限のセキュリティを確保できるように、リカバリキー/パスワードを保管する際は、次のガイドラインに従ってください。

- リカバリキー/パスワードは必ず、複数の場所に保管してください。
- リカバリキー/パスワードのコピーは必ず、サーバーから離れた場所に保管してください。
- リカバリキー/パスワードを、暗号化されたドライブに保存しないでください。

ケーブル接続

サブトピック

[ケーブル接続のガイドライン](#)

[ケーブル配線図](#)

ケーブル接続のガイドライン

次の注意事項に従ってください。

- ケーブルオプションキットについては、製品のQuickSpecsを参照してください。
- ケーブルのスペア部品番号については、メンテナンス&サービスガイドの図による部品カタログを参照してください。
- 一部の図では、A、B、Cなどのアルファベット順のコールアウトを示しています。これらのコールアウトは、ケーブルのコネクター近くのラベルに対応しています。
- Yケーブルなど、一部のケーブルには複数のコネクターがありますが、すべてのコネクターが使用されるわけではありません。
- この章で使用するケーブル配線図のケーブルの色は、説明目的でのみ使用されます。
- サーバーケーブルを取り扱う際は、すべてのガイドラインを守ってください。

ケーブルを接続する前

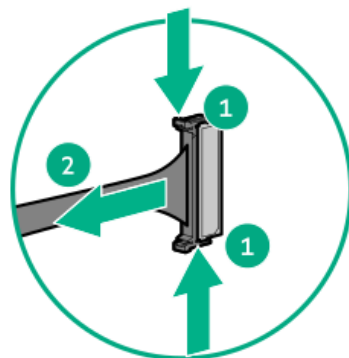
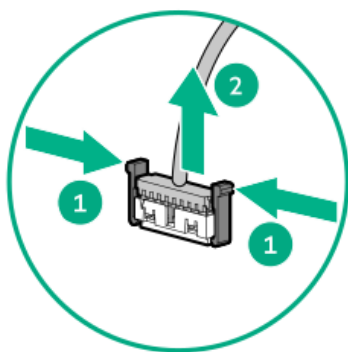
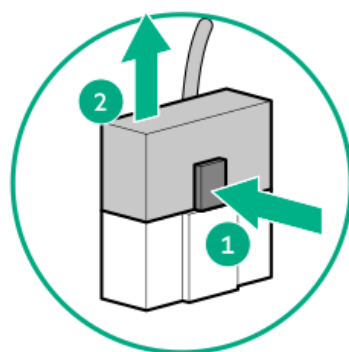
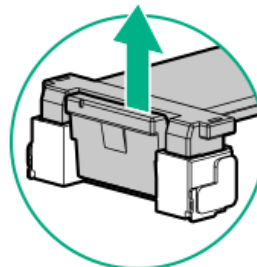
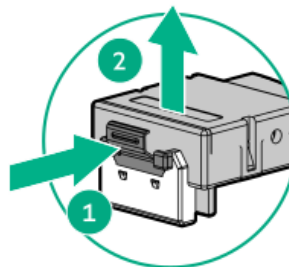
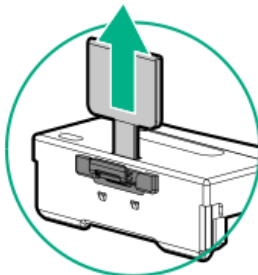
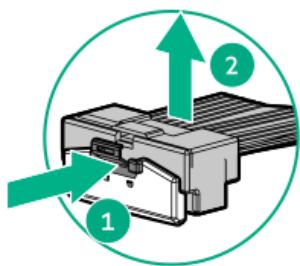
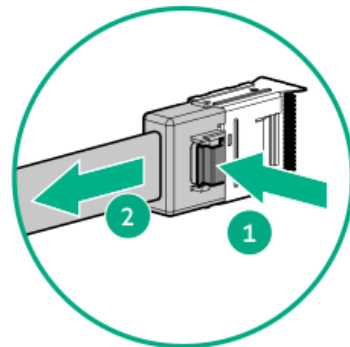
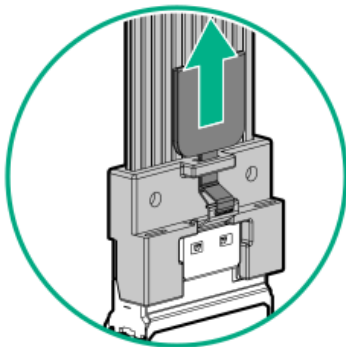
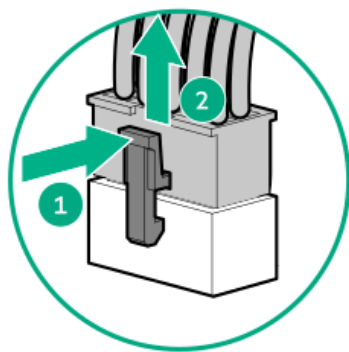
- PCAコンポーネントのポートラベルに注意してください。すべてのサーバーがすべてのコンポーネントを使用するわけではありません。
 - システムボードのポート
 - ドライブおよび電源装置バックプレーンのポート
 - 拡張ボードのポート（コントローラー、リタイマー、アダプター、エキスパンダー、ライザーなどのボード）
- 各ケーブルコネクタ付近のラベルに注意してください。このラベルは、ケーブルコネクタの接続先ポートを示します。
- 一部のデータケーブルは事前に曲がっています。ケーブルを伸ばしたり、操作したりしないでください。
- 機械的損傷を防いだり、手指の油分やその他の汚れが付かないようにするため、コネクタの終端には触らないようにしてください。

ケーブルの接続時

- ケーブルをポートに接続する前に、所定の場所にケーブルを置いて、ケーブルの長さを確認します。
- 内部ケーブル管理機能を使用し、ケーブルを適切に配線し、固定します。
- ケーブルを配線する際には、ケーブルがはさまれたり折り曲げられたりする可能性のない位置に配線してください。
- 電源コードまたはサーバーのケーブルの内部ワイヤーの損傷を防止するために、きつく曲げることは避けてください。電源コードやサーバーのケーブルを被覆材にしわができるほどきつく曲げないでください。
- 余分な長さのケーブルを適正に固定して、曲げすぎたり邪魔になったり、通気が制限されないようにしてください。
- コンポーネントの損傷や信号干渉を防ぐため、すべてのケーブルが正しい配線位置にあることを確認した後で新しいコンポーネントを取り付け、ハードウェアの取り付け/保守後にサーバーを閉じてください。

ケーブルを取り外す場合

- ケーブルコネクタの本体をしっかりと持ちます。ケーブル本体は引っ張らないようにしてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブル内部のワイヤーや、ポートのピンが損傷を受けることがあります。
- ケーブルをスムーズに取り外せない場合は、ケーブルを取り外すために使われるリリースラッチの有無を確認してください。



- 使用しないケーブルを取り外します。サーバーの中に残したままにしておくと、通気の妨げになることがあります。取り外したケーブルを後から使用する場合、再利用できるようラベルを付けて保管してください。

ケーブル配線図

次の注意事項に従ってください。

- コンポーネントをケーブル接続する前に、ケーブル接続のガイドラインを参照してください。
- ケーブルの部品番号または検索機能を使用して、図を見つけます。

ドライブバックプレーン

コンポーネントのケーブル接続

EDSFFのケーブル接続

ケーブルの部品番号

P51556-001

P51555-001

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
	P51542-001
	P51542-001
	P53288-001
	P51564-001
	P51544-001
8 SFF (2.5型) ボックス1のケーブル接続	P51545-001
	P51546-001
	P51549-001
	P51550-001
	P51551-001
	P51552-001
	P51553-001
	P51548-001
	P51543-001
	P53287-001
	P53285-001
	P51556-001
	P22904-001
	P22905-001
8 SFF (2.5型) ボックス2のケーブル接続	P51545-001
	P51547-001
	P51546-001
	P22905-001
	P51551-001
	P51552-001
	P22904-001
	P53286-001
8 SFF (2.5型) ボックス3のケーブル接続	P51545-001
	P51546-001
	P22904-001
	P14330-001
	P51553-001
	P53287-001
	P51543-001
8 SFF (2.5型) ボックス7のケーブル接続	P51554-001
	P22903-001
	P14329-001
フロント2 SFF (2.5型) のケーブル接続	P51555-001
	P51556-001
	P22905-001
	P51545-001
リア2 SFF (2.5型) のケーブル接続	P22903-001
	P14329-001

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
LFF（3.5型）のケーブル接続	P51554-001
	P51557-001
	P51559-001
	P51560-001
	P51561-001
	P58791-001
	P46047-001
	P51563-001
ライザー有効化のケーブル接続	P51558-001
	P46031-001
	P46034-001
	P51571-001
	P46032-001
	P46028-001
	P46026-001
	P46029-001
	P46030-001

電源

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
フロントEDSFFボックス1~3	P51577-001
リア2 SFF（2.5型）ライザーケージ	P51574-001
フロント8 SFF（2.5型）ボックス1~3	869825-001
フロント4 LFF（3.5型）ボックス1	P14341-001
フロント4 LFF（3.5型）ボックス2/3	P14342-001
フロント2 SFF（2.5型）サイドバイサイド	P14343-001
8 SFF（2.5型）ミッドプレーン+2 LFF（3.5型）ライザーケージ+スタックしたリア2 SFF（2.5型）	P51575-001
スマートバッテリー	P45618-001
GPU電源	869820-001
GPU電源+サイドバンド	P58422-001

NS204i-uのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
NS204i-uデータケーブルの接続（SFF（2.5型））	P51579-001
NS204i-u電源ケーブルの接続	P54089-001
NS204i-uデータケーブルの接続（LFF（3.5型））	P51578-001

OCP帯域幅

コンポーネントのケーブル接続	ケーブルの部品番号
OCP帯域幅アップグレード	P43736-001
	P43735-001
	P43734-001

Systems Insight Display

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号

Systems Insight Display [P48971-001](#)

I/Oのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号

SFF (2.5型) メディアベイUSB [P50731-001](#)

SFF (2.5型) メディアベイDP/USB [P14314-001](#)

LFF (3.5型) ディスプレイポート [869808-001](#)

SFF (2.5型) /LFF (3.5型) ODD [756914-001](#)

フロント電源スイッチ

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号

SFF (2.5型) /LFF (3.5型) フロント電源スイッチ [P43727-001](#)

シリアルポートのケーブル接続

コンポーネントのケーブル接続 ケーブルの部品番号

シリアルポートのケーブル [P45623-001](#)

サブトピック

[EDSFFのケーブル接続](#)

[8 SFF \(2.5型\) ボックス1のケーブル接続](#)

[8 SFF \(2.5型\) ボックス2のケーブル接続](#)

[8 SFF \(2.5型\) ボックス3のケーブル接続](#)

[ミッドプレーン8 SFF \(2.5型\) のケーブル接続](#)

[フロント2 SFF \(2.5型\) のケーブル接続](#)

[リア2 SFF \(2.5型\) のケーブル接続](#)

[LFF \(3.5型\) のケーブル接続](#)

[ライザー有効化のケーブル接続](#)

[電源ケーブルの接続](#)

[GPUのケーブル接続](#)

[NS204i-uブートデバイスのケーブル接続](#)

[OCP帯域幅の有効化](#)

[Systems Insight Displayのケーブル接続](#)

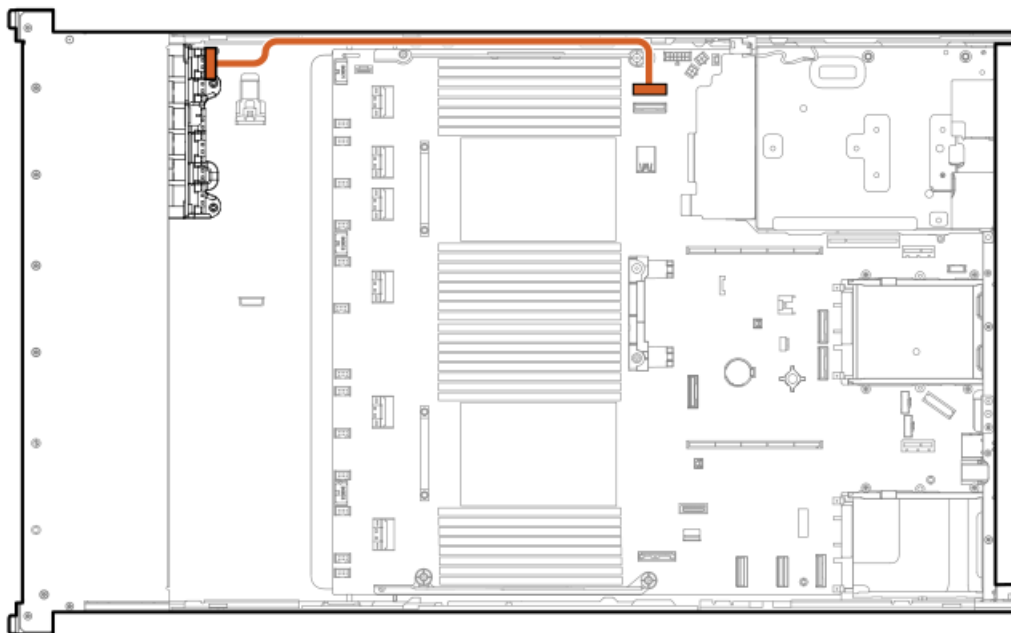
[I/Oのケーブル接続](#)

[フロント電源スイッチのケーブル接続](#)

[シリアルポートのケーブル接続](#)

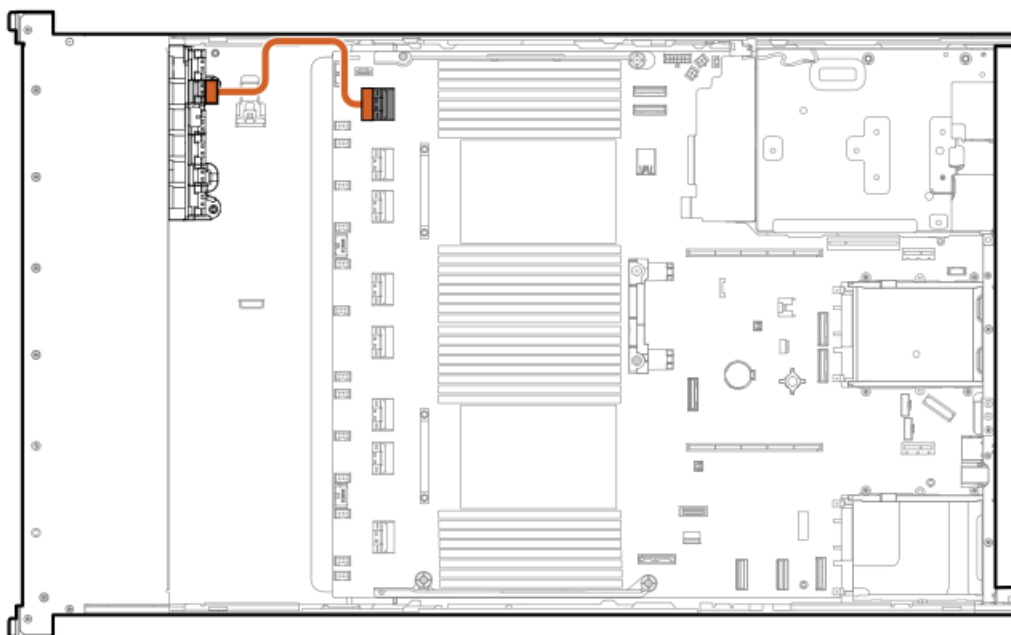
EDSFFのケーブル接続

EDSFFボックス1ポート1



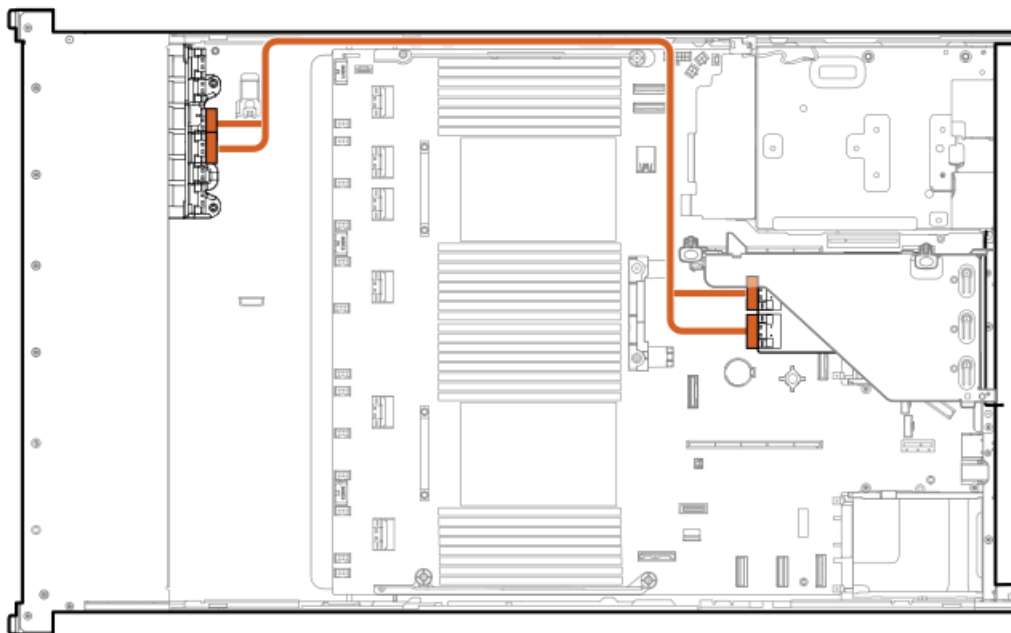
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51556-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

フロントEDSFFボックス1ポート2



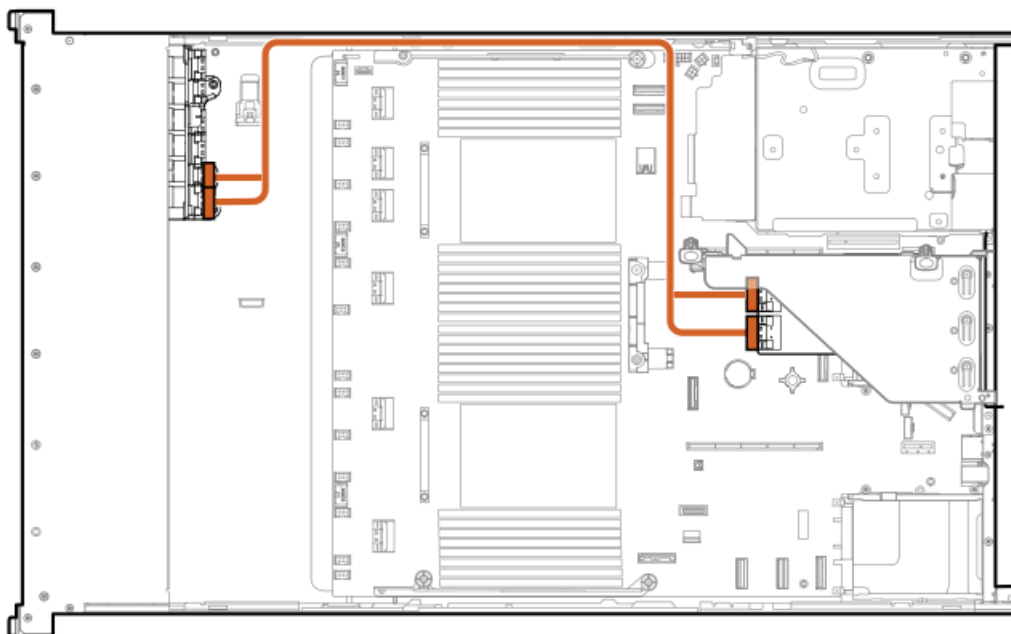
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51555-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス1ポート3および4



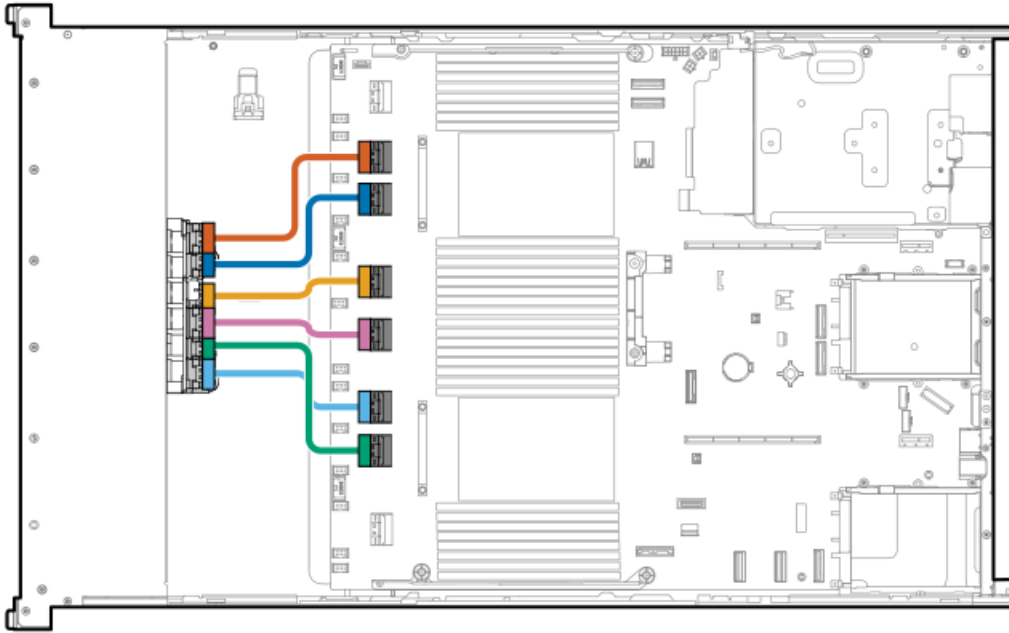
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51542-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリライザーコントローラー

EDSFFボックス1ポート5および6



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51542-001	オレンジ色	EDSFFボックス1ポート5/6	セカンダリライザーコントローラー

EDSFFボックス2ポート1～6

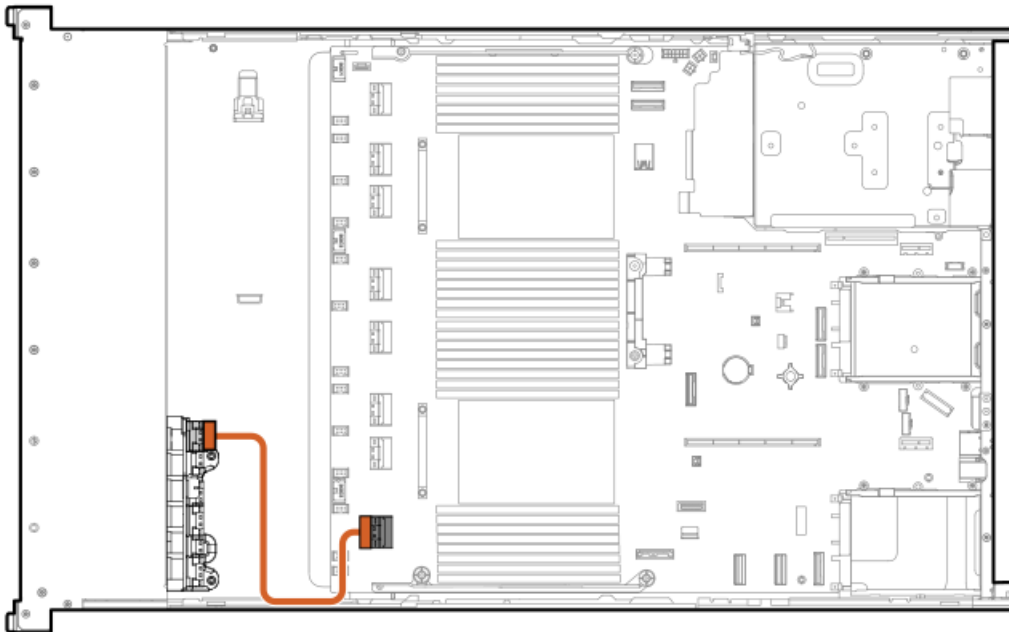


ケーブルの部品番号

P53288-001

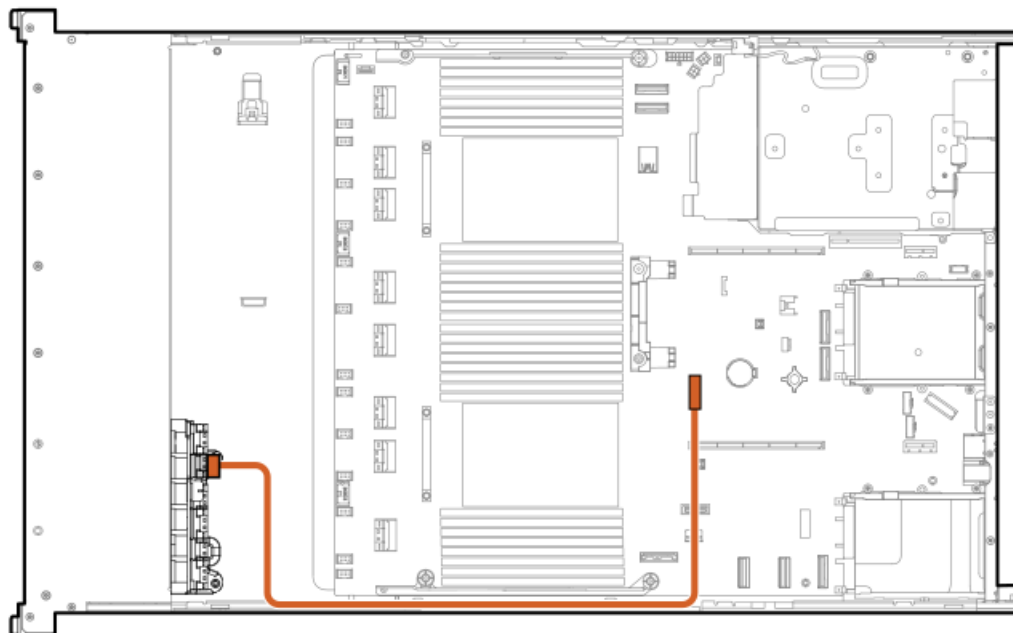
色	接続元	接続先
オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード
青色	ドライブバックプレーン	システムボード
黄色	ドライブバックプレーン	システムボード
ピンク色	ドライブバックプレーン	システムボード
緑色	ドライブバックプレーン	システムボード
ライトブルー	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス3ポート1



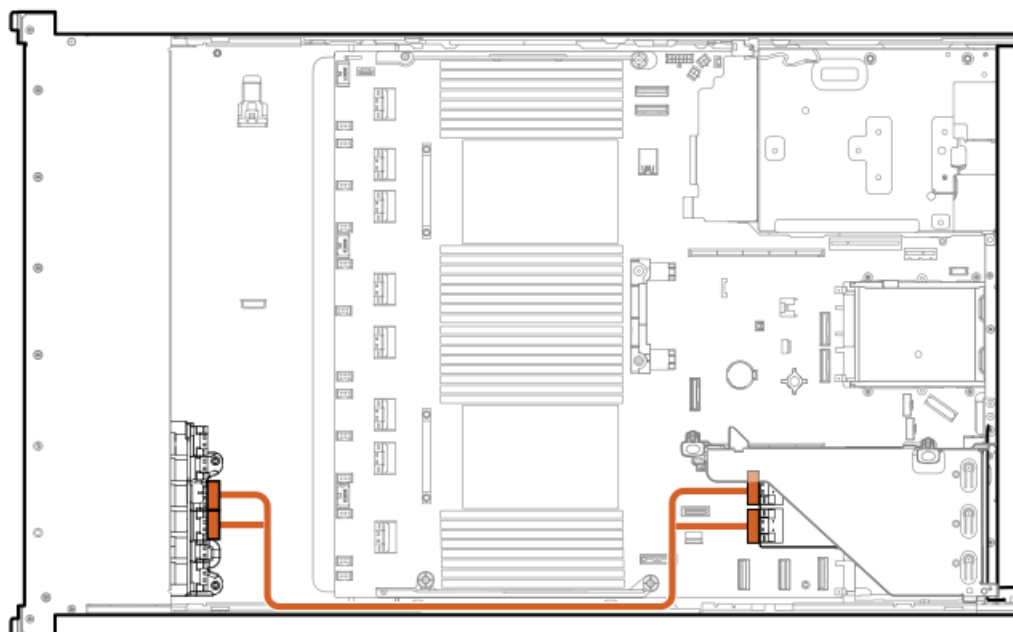
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51555-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス3ポート2



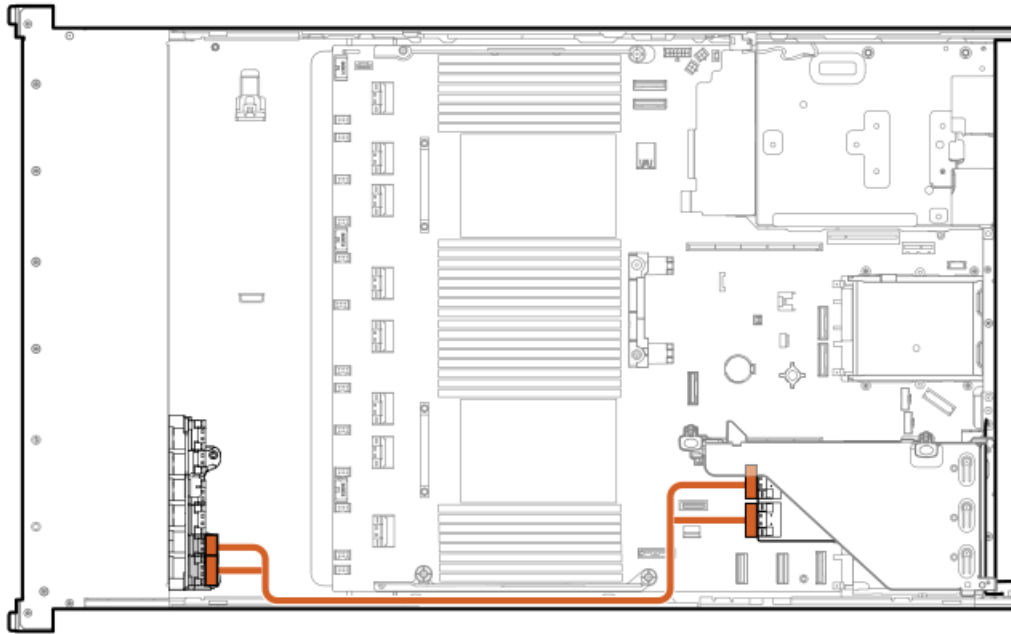
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51564-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス3ポート3および4



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51544-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリライザーコントローラー

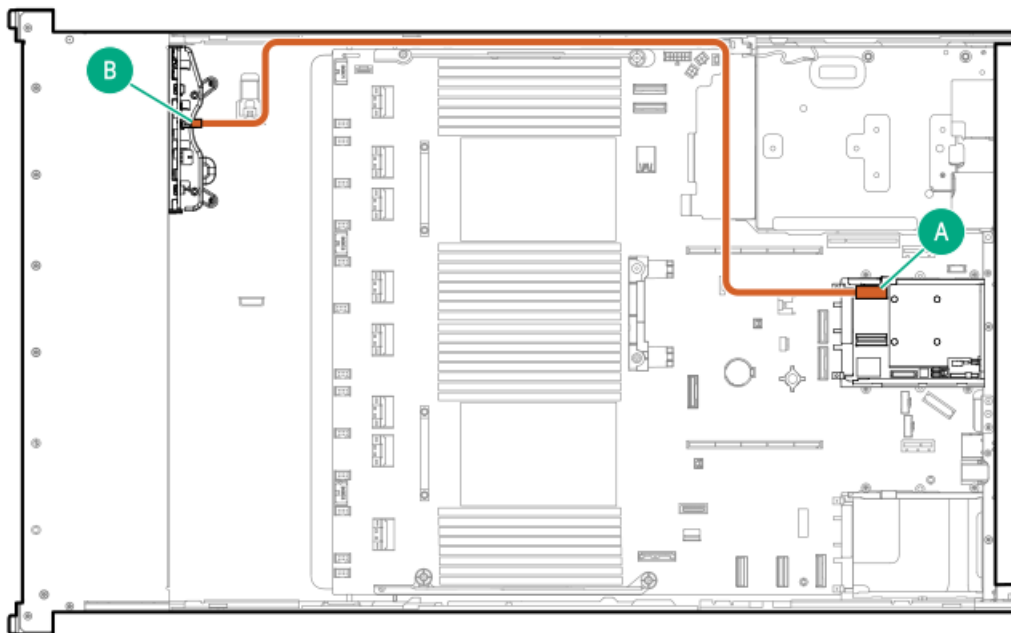
EDSFFボックス3ポート5および6



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51544-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリライザーコントローラー

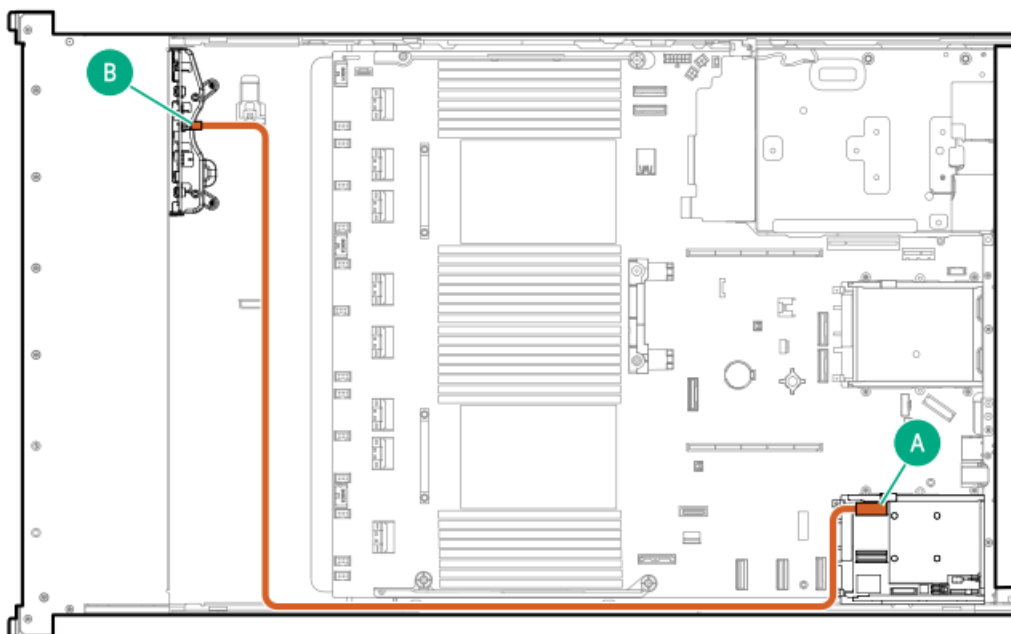
8 SFF (2.5型) ボックス1のケーブル接続

8 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプ0コントローラー



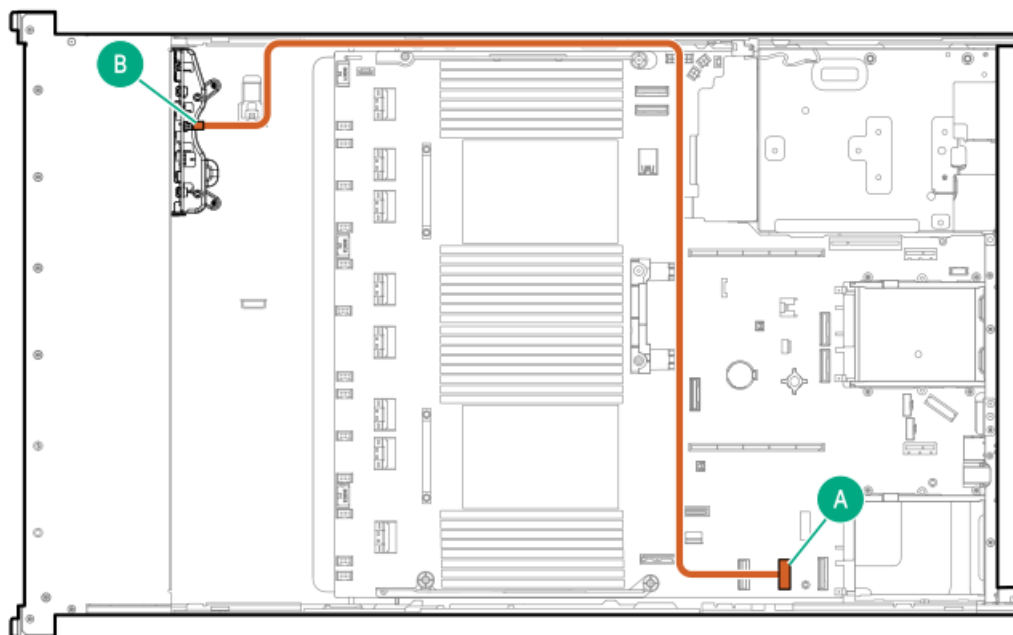
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



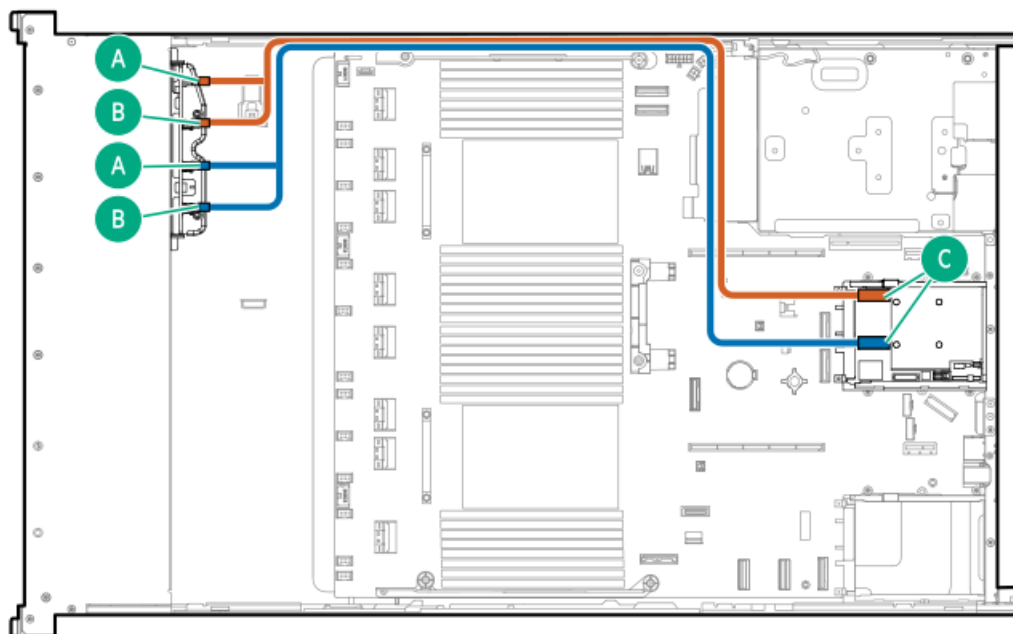
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 : オンボードコントローラー



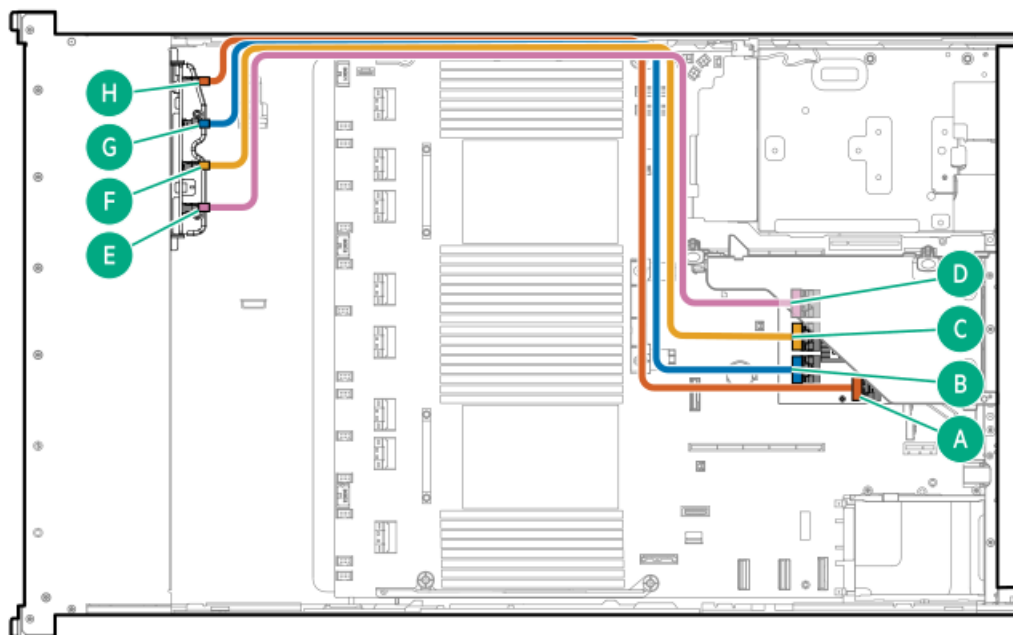
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1 : OCP 2へ



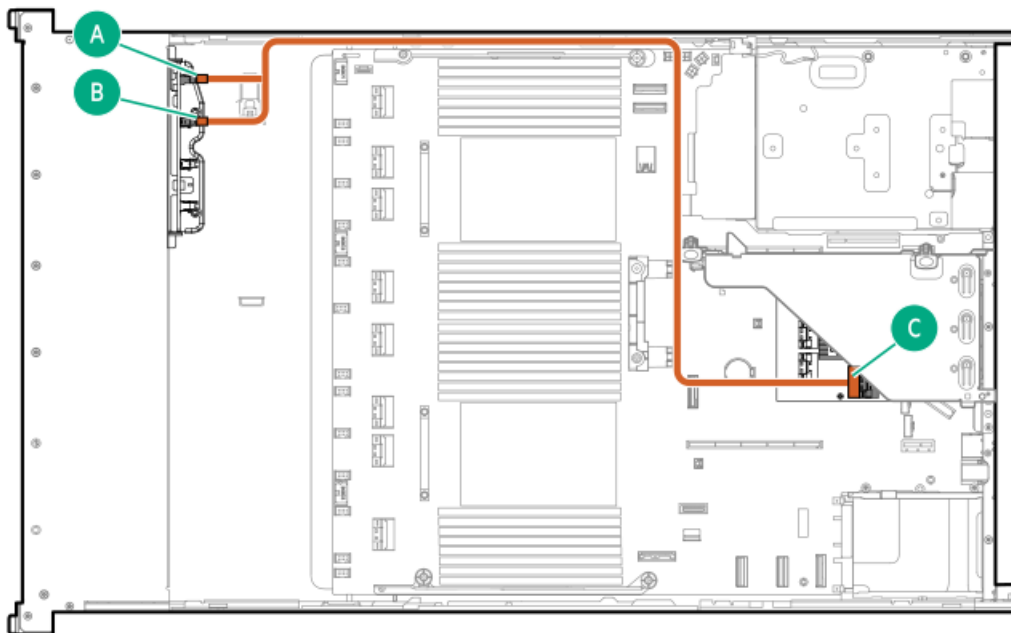
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプpコントローラー



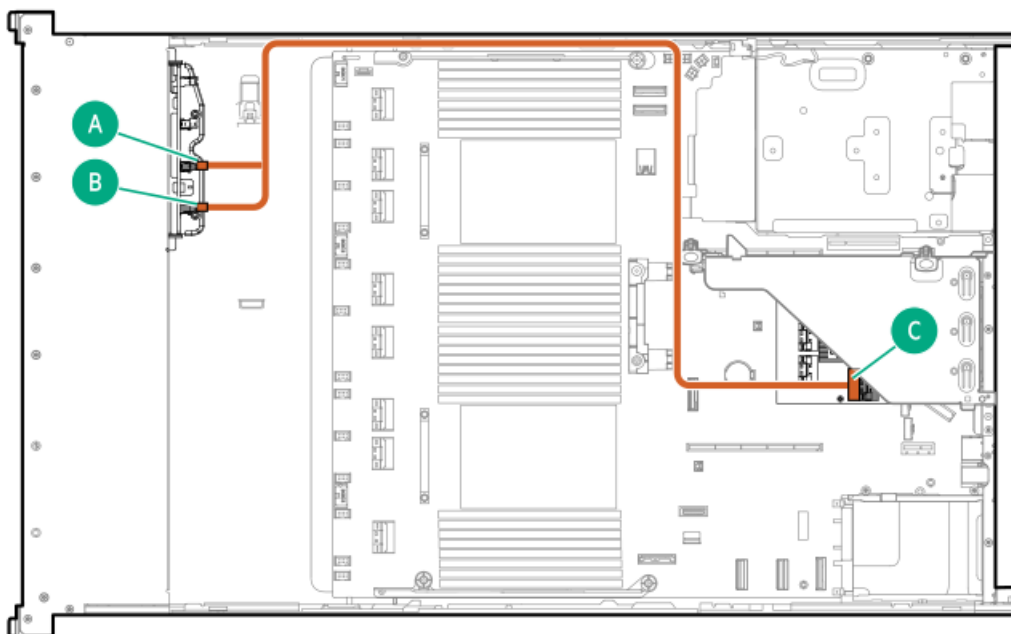
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51549-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	黄色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 :



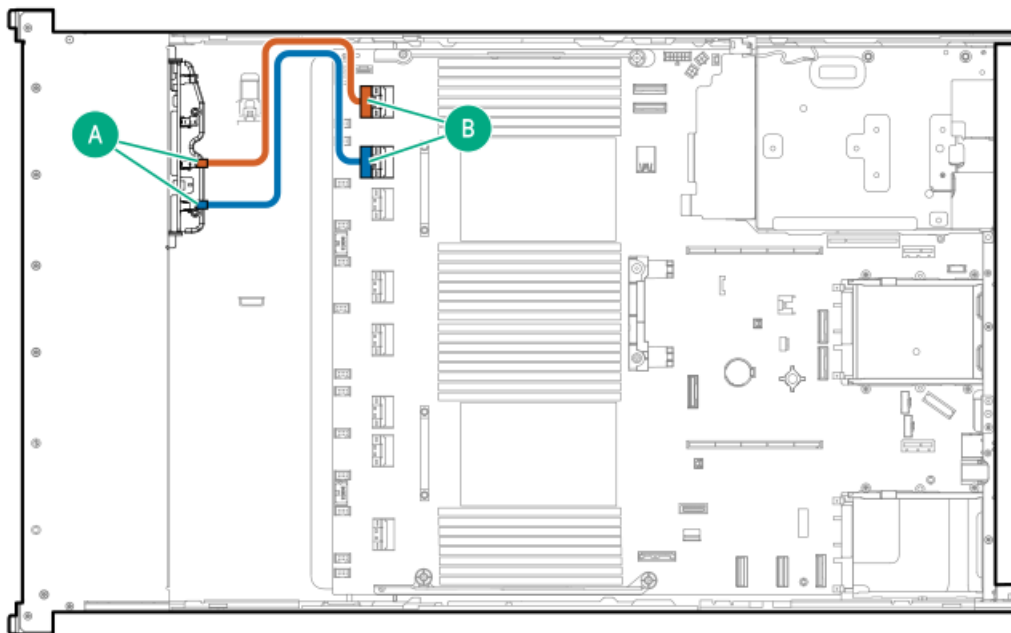
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51548-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプpコントローラー



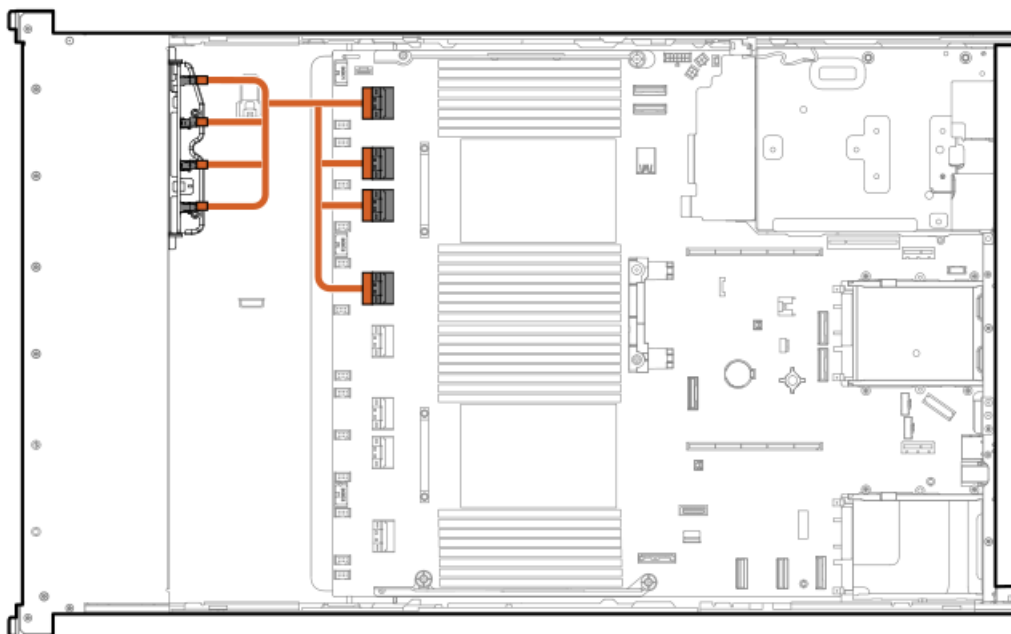
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51548-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51543-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン ポート3/4	システムボードのポート 7/8

8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P53285-001	オレンジ色	ボックス1、ポート1~4	システムボードのポート5 ~8

8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



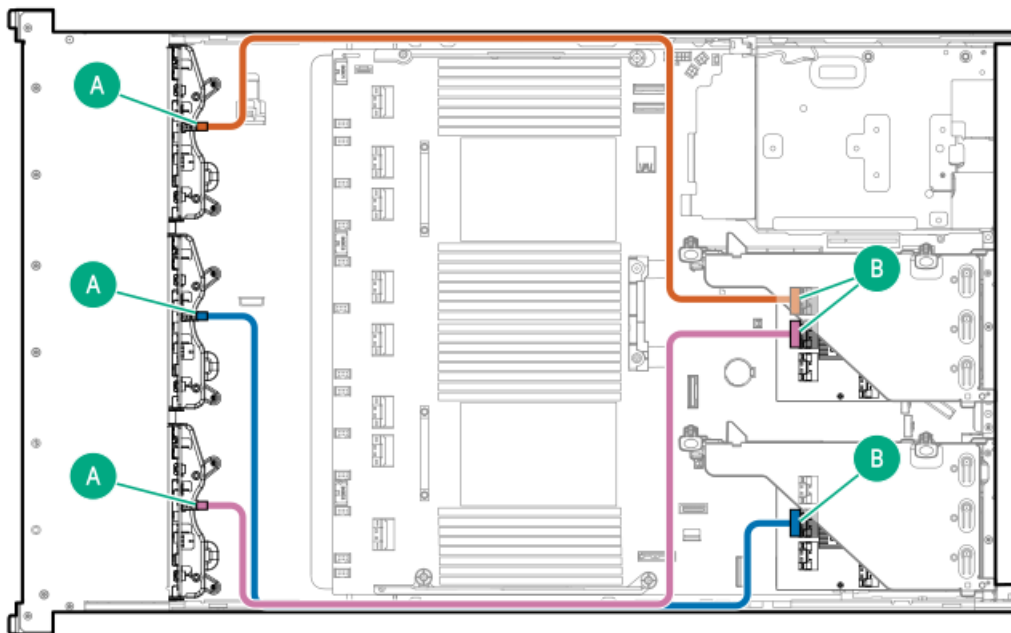
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51556-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ボックス1	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



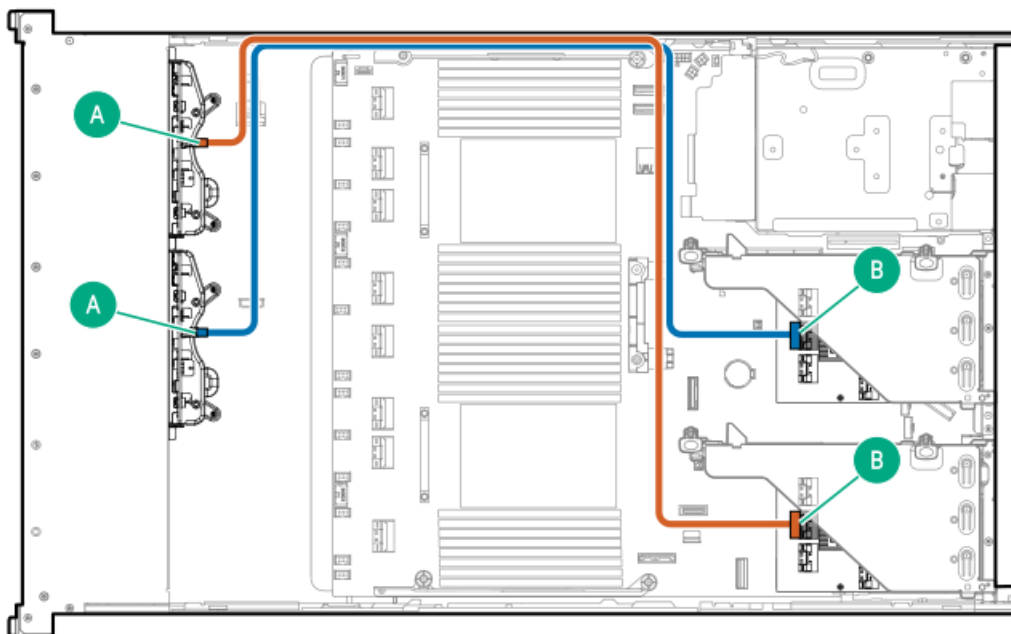
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51556-001	オレンジ色	8 SFF (2.5型) ボックス1	システムボード

8 SFF (2.5型) ボックス1～3 : プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー



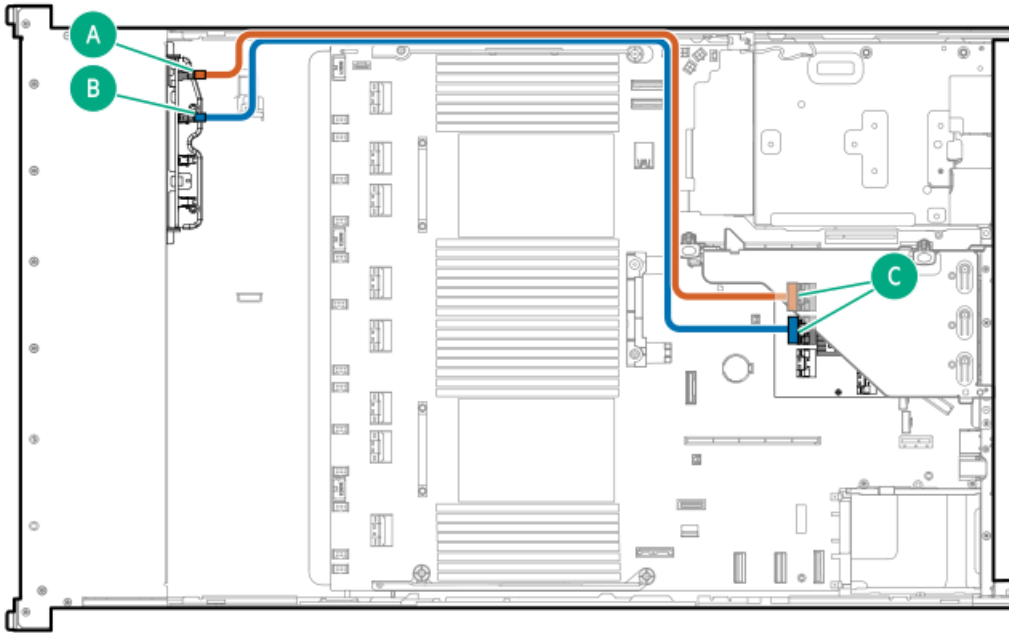
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22904-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス1および2 : プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー



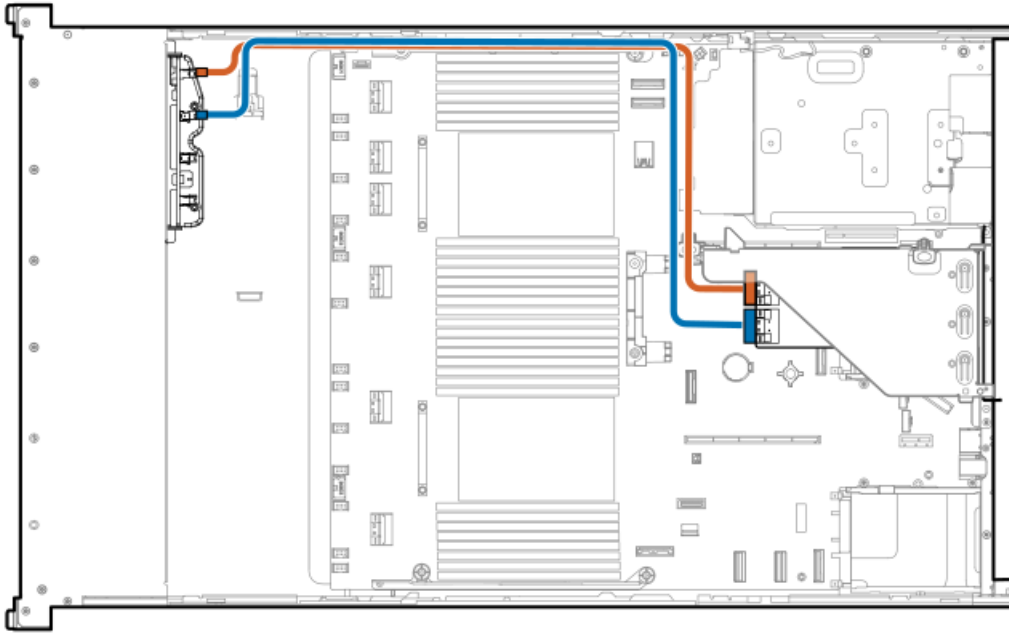
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ボックス1のドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	青色	ボックス2のドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

8 SFF（2.5型）ボックス1：セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

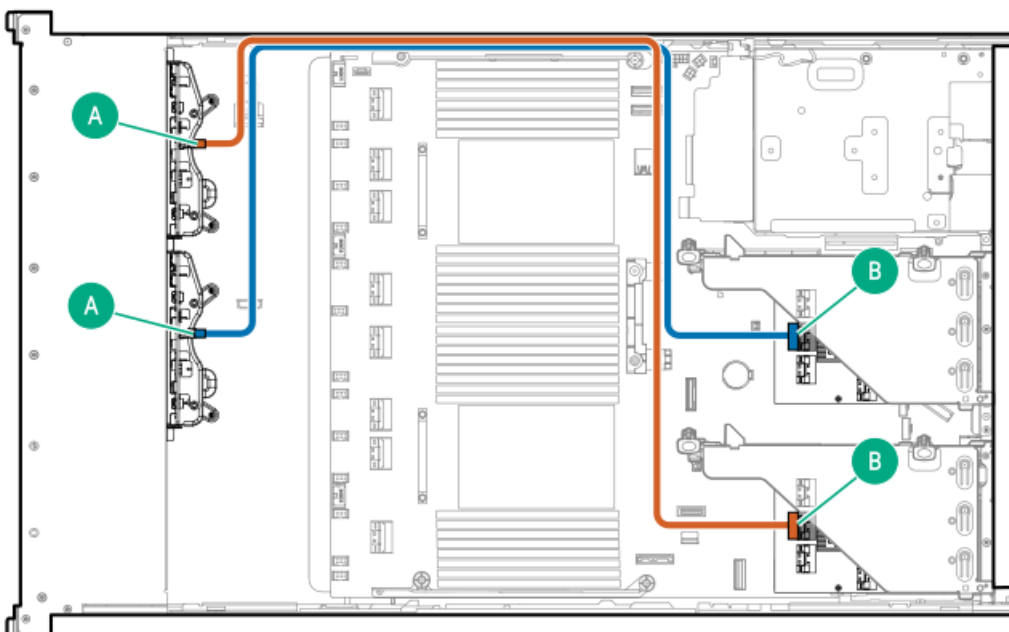
8 SFF（2.5型）ボックス1：セカンダリリタイマー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリリタイマー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリリタイマー

8 SFF (2.5型) ボックス2のケーブル接続

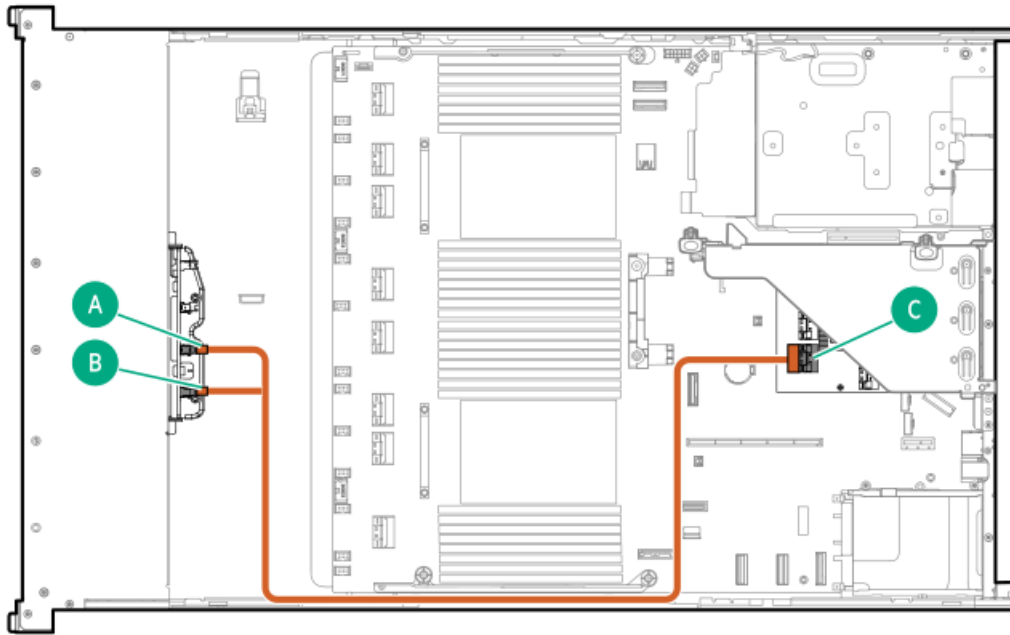
8 SFF (2.5型) ボックス1および2 : プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001 ¹	オレンジ色	ボックス1のドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	青色	ボックス2のドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

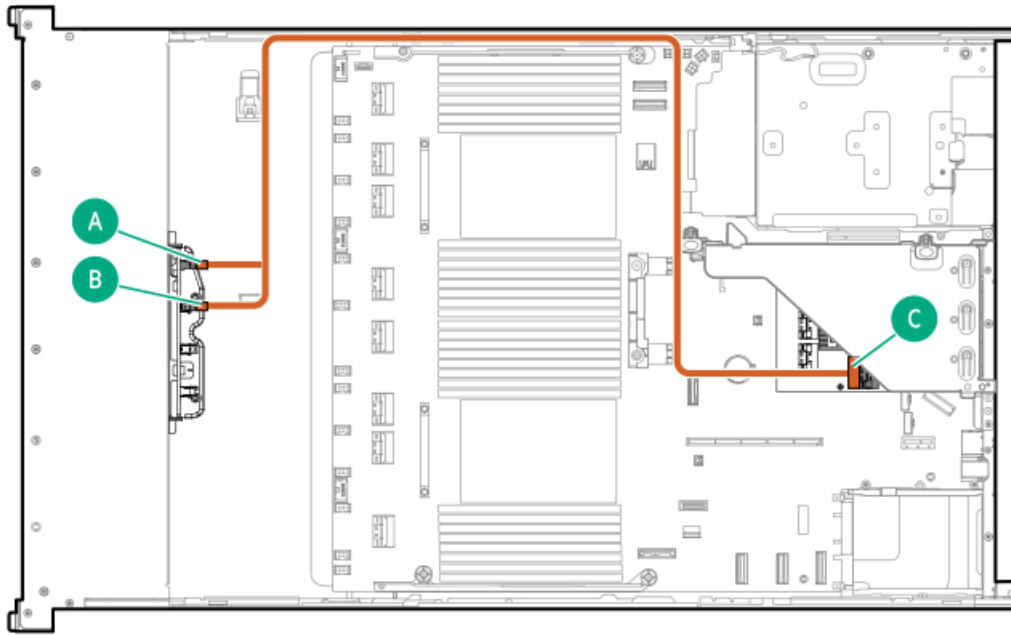
8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48832-B21

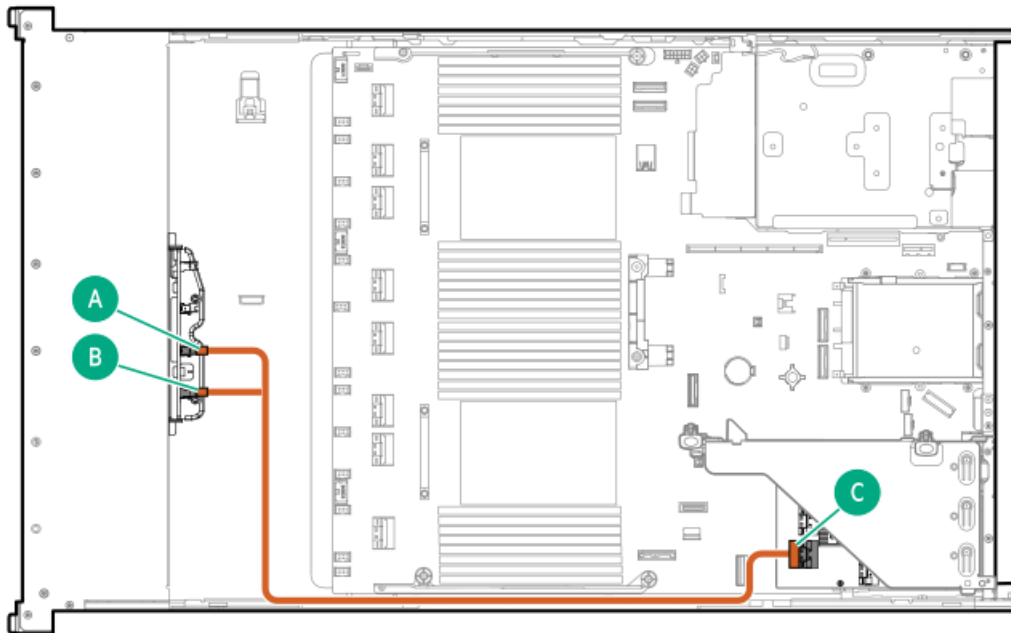
8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48832-B21

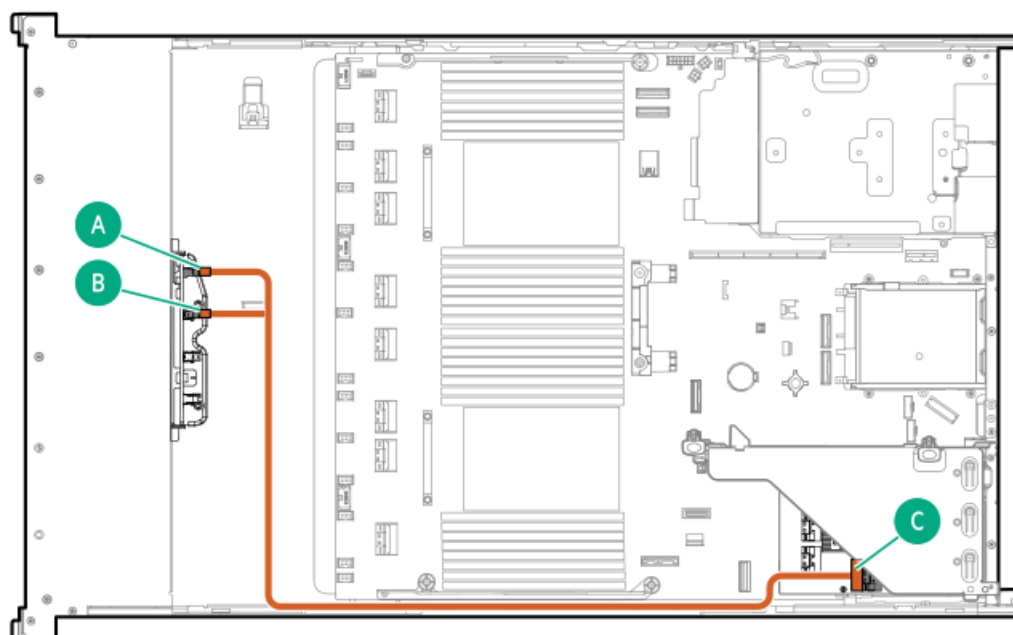
8 SFF (2.5型) ボックス2 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48832-B21

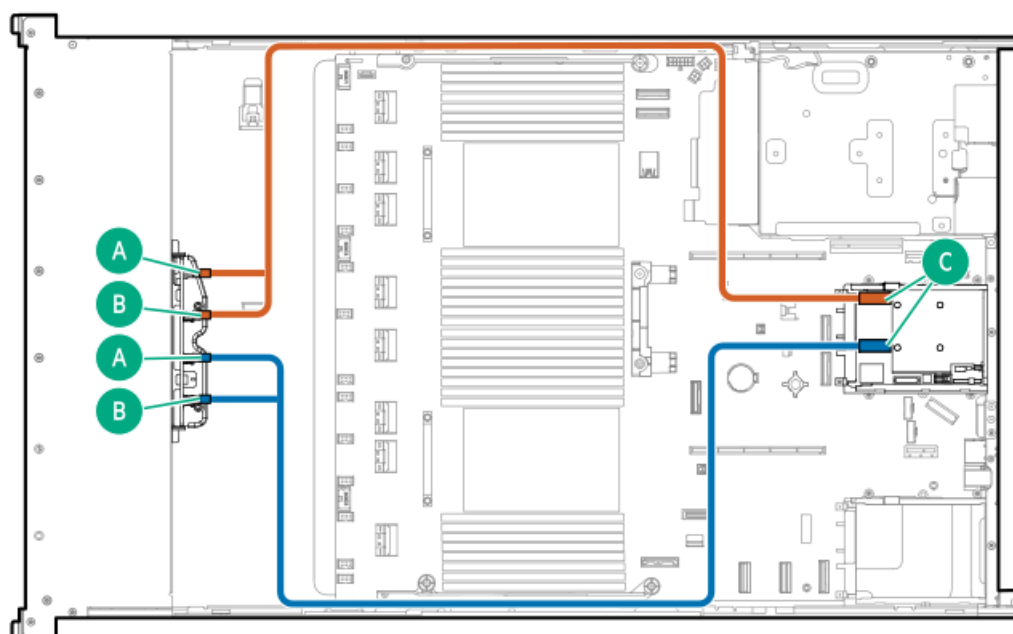
8 SFF (2.5型) ボックス2 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51547-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48832-B21

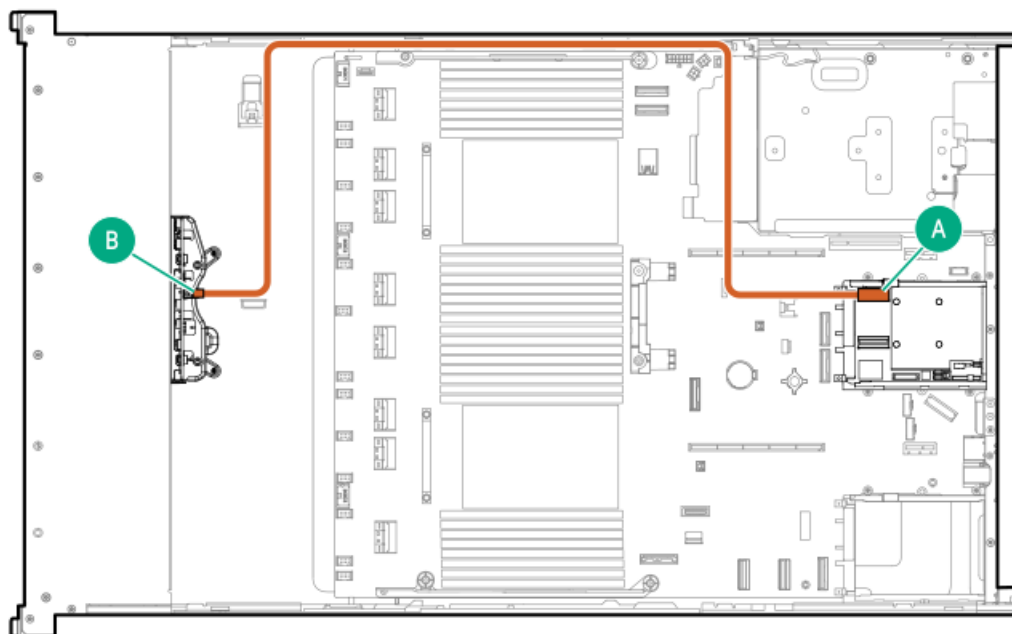
8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48829-B21

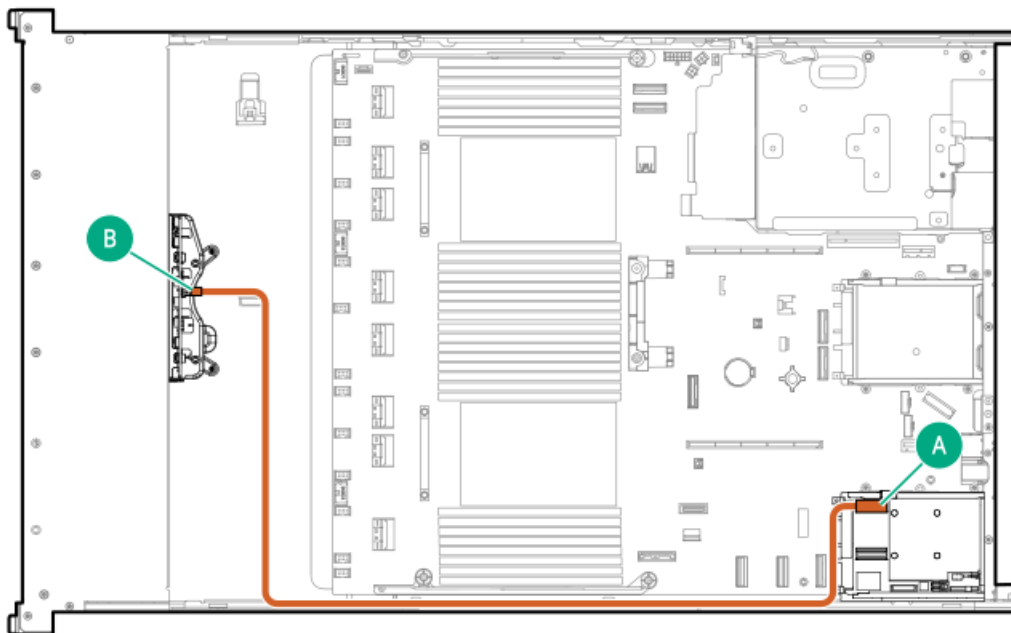
8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48813-B21

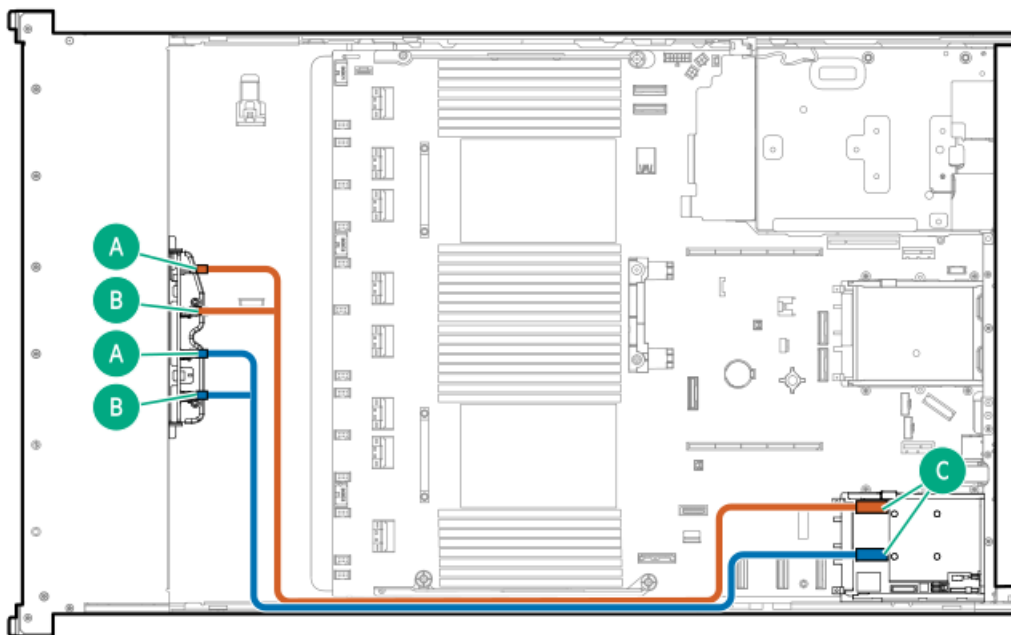
8 SFF (2.5型) ボックス2 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプのコントローラー

¹ オプションキット : P48813-B21

8 SFF (2.5型) ボックス2からOCP 1



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプのコントローラー

¹ オプションキット : P48829-B21

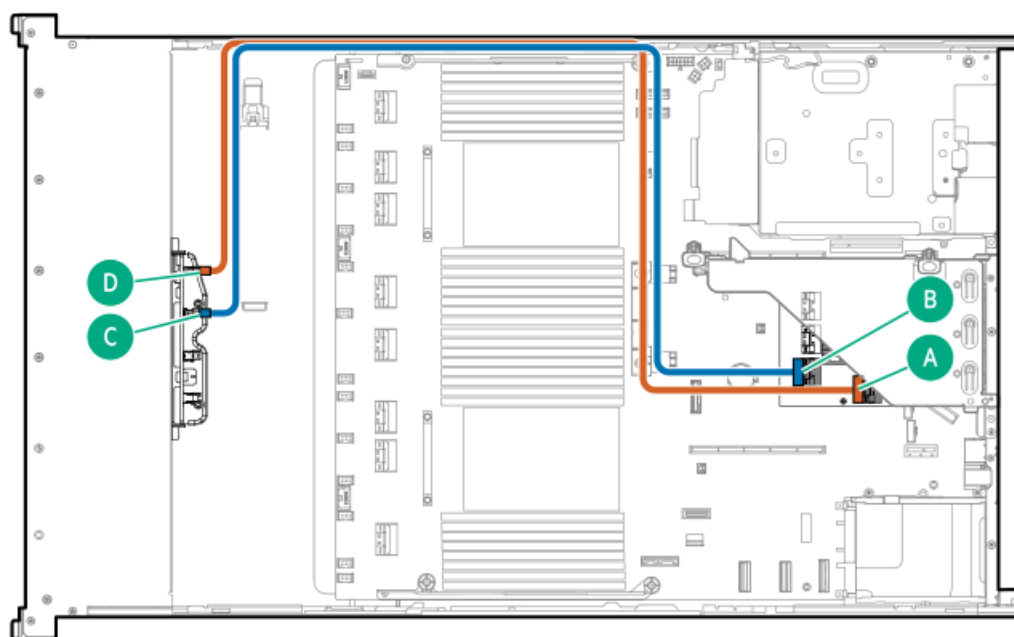
8 SFF (2.5型) ボックス2 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48813-B21

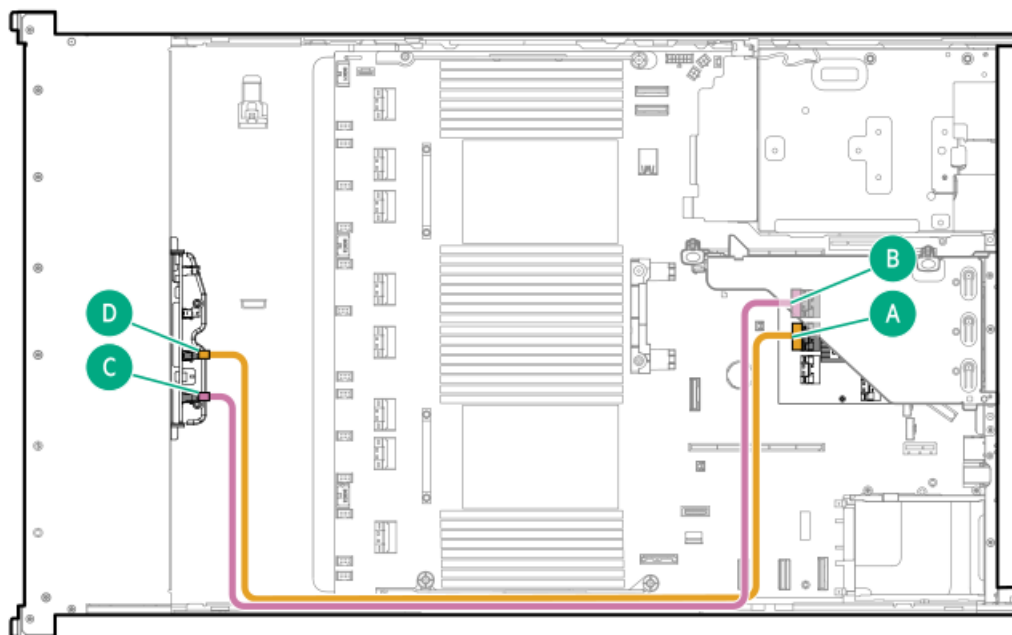
8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51550-001 ¹	黄色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

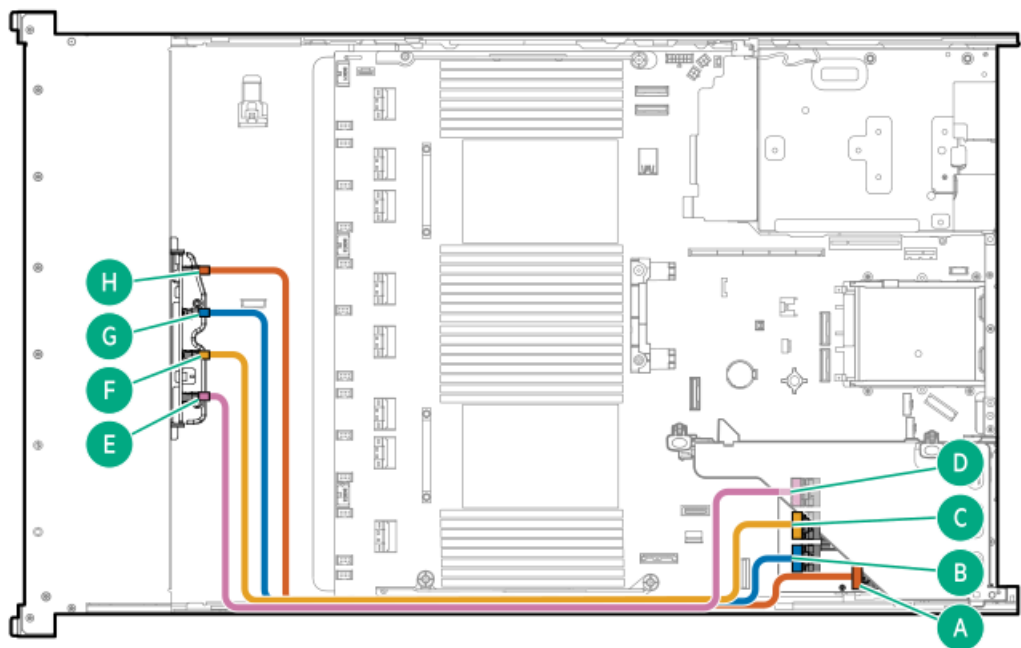
¹ オプションキット : P48831-B21

8 SFF (2.5型) ボックス2 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51551-001 ¹	黄色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

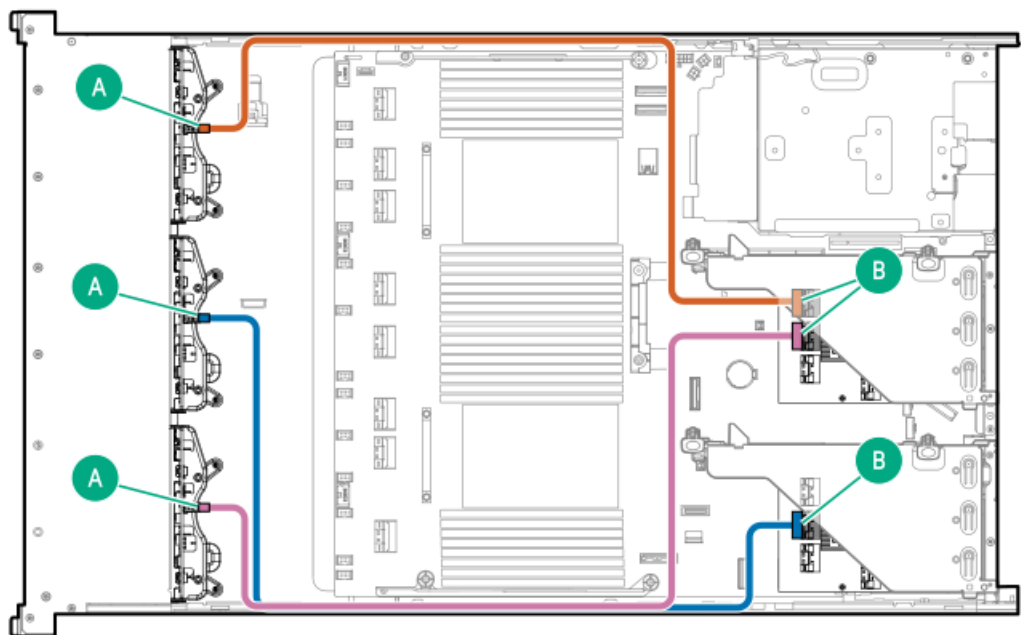
¹ オプションキット : P48831-B21



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51552-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	黄色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48831-B21

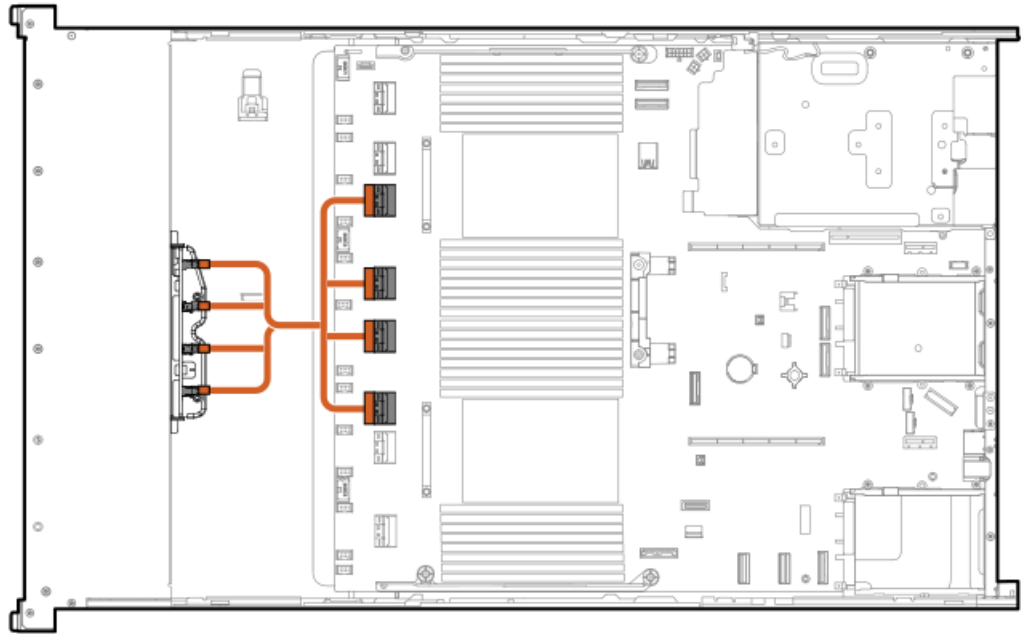
8 SFF (2.5型) ボックス1~3 : プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22904-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

8 SFF (2.5型) NVMeボックス2とシステムボードのケーブル接続

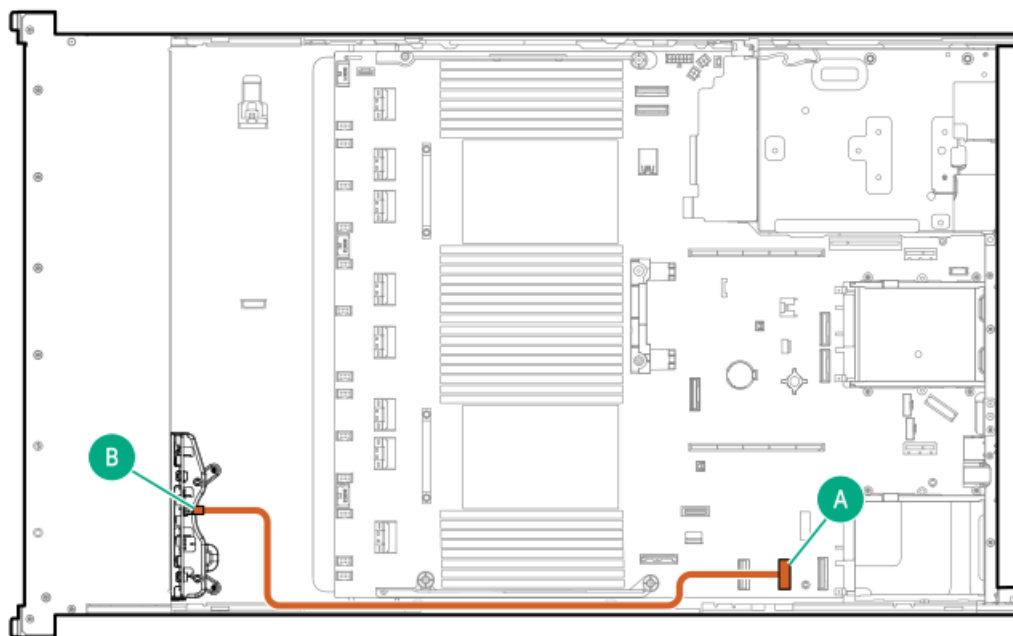


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P53286-001 ¹	オレンジ色	ボックス2、ポート1~4	システムボードのポート3~6

¹ オプションキット : P48825-B21

8 SFF (2.5型) ボックス3のケーブル接続

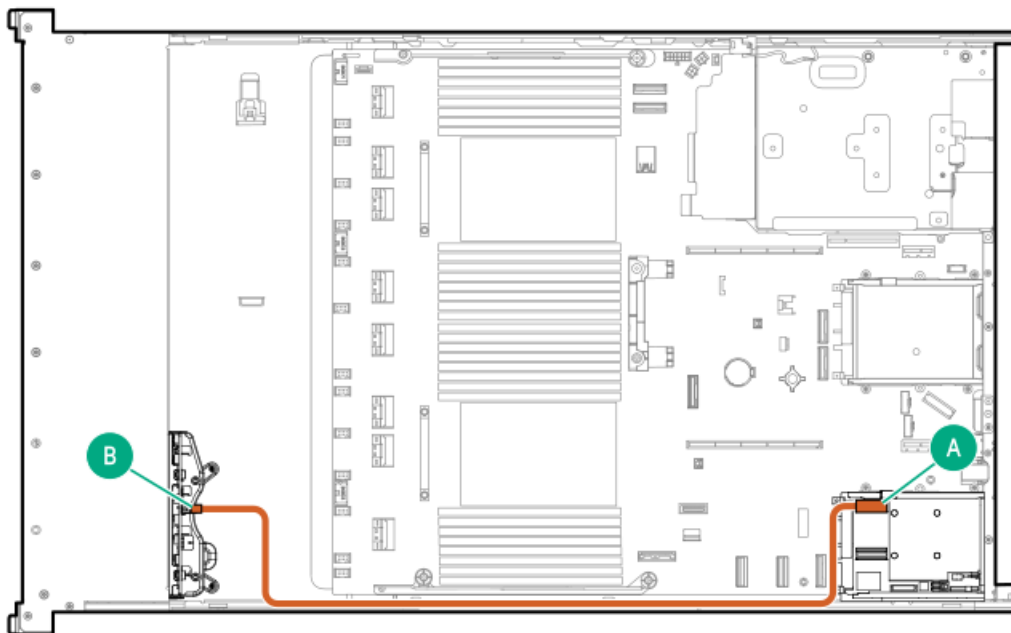
8 SFF (2.5型) ボックス3 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48813-B21

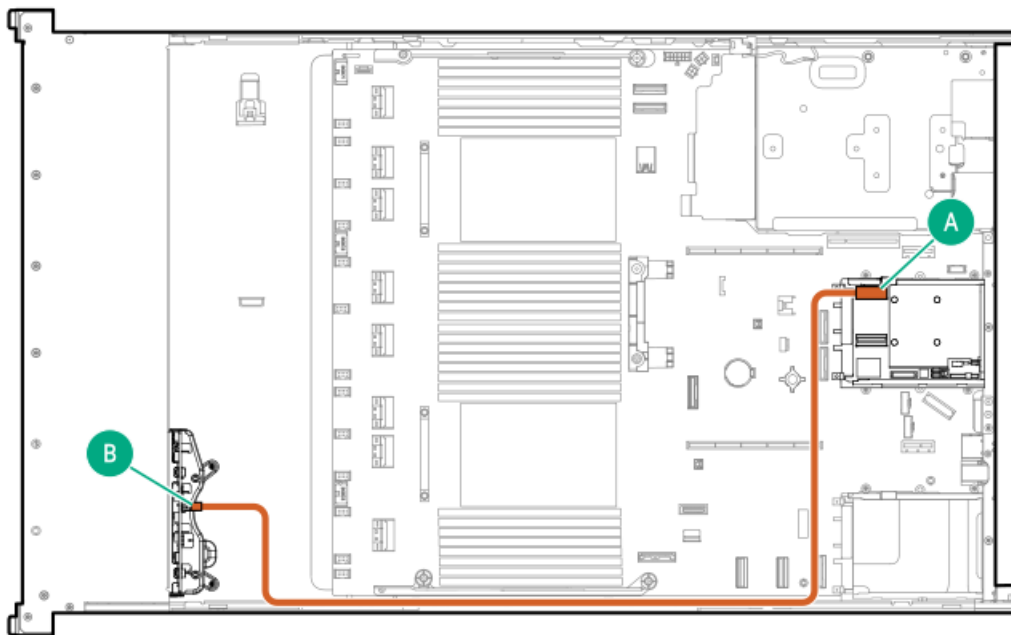
8 SFF (2.5型) ボックス3 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

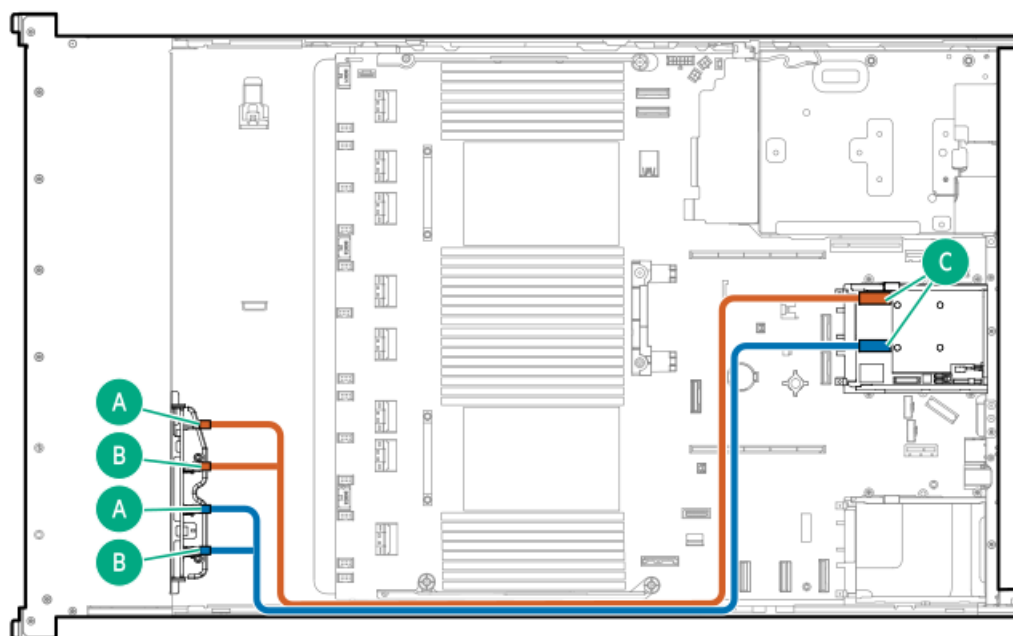
¹ オプションキット : P48813-B21

8 SFF (2.5型) ボックス3 : セカンダリタイプoコントローラー



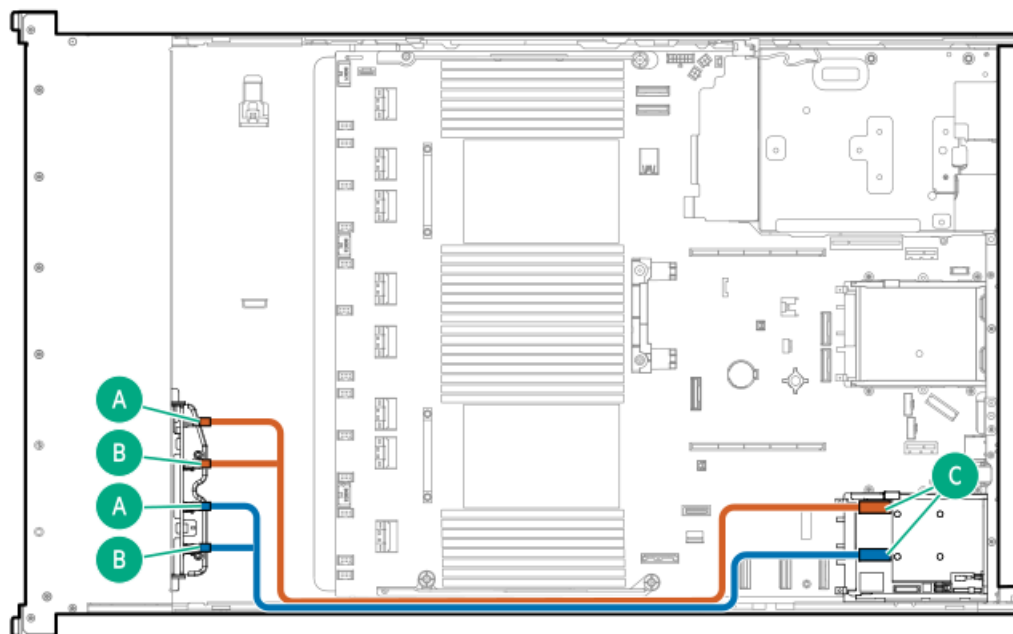
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

8 SFF (2.5型) ボックス3 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

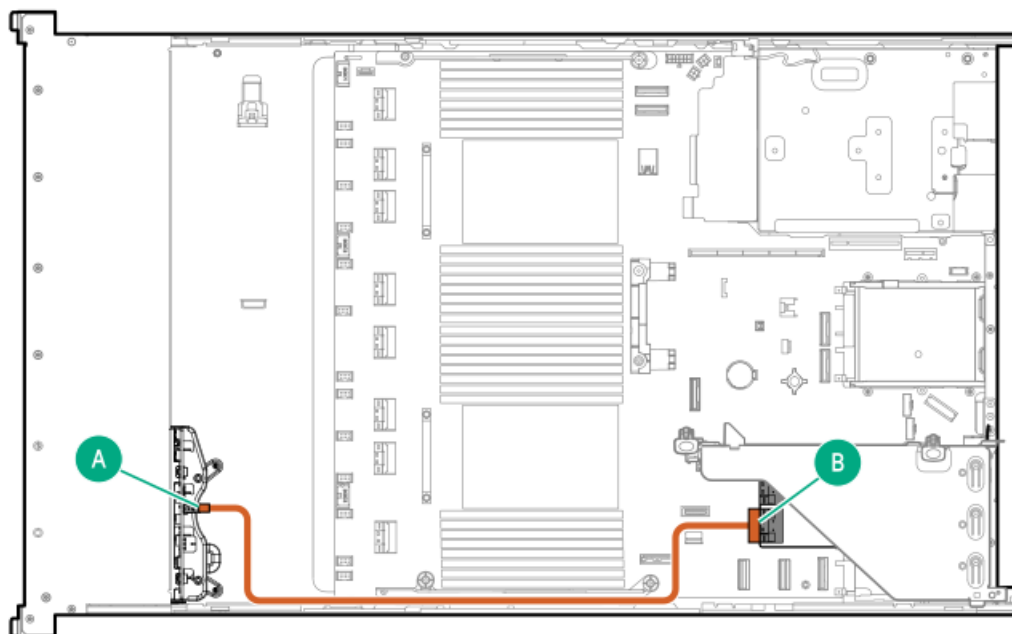
8 SFF (2.5型) ボックス3 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51546-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48829-B21

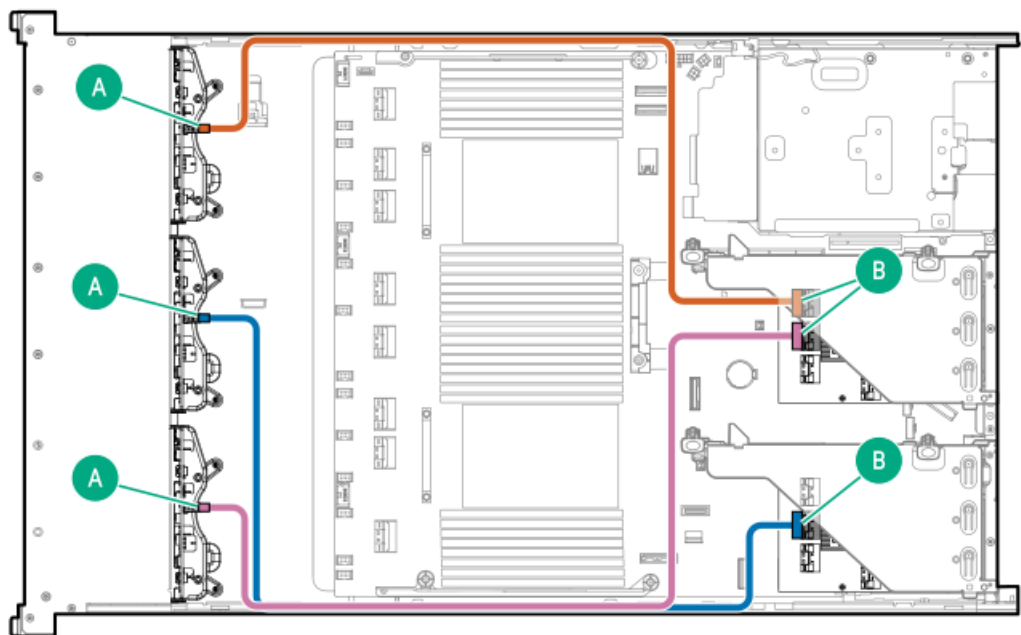
8 SFF (2.5型) ボックス3 : プライマリリタイマー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22904-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリリタイマー

¹ オプションキット : P54874-B21

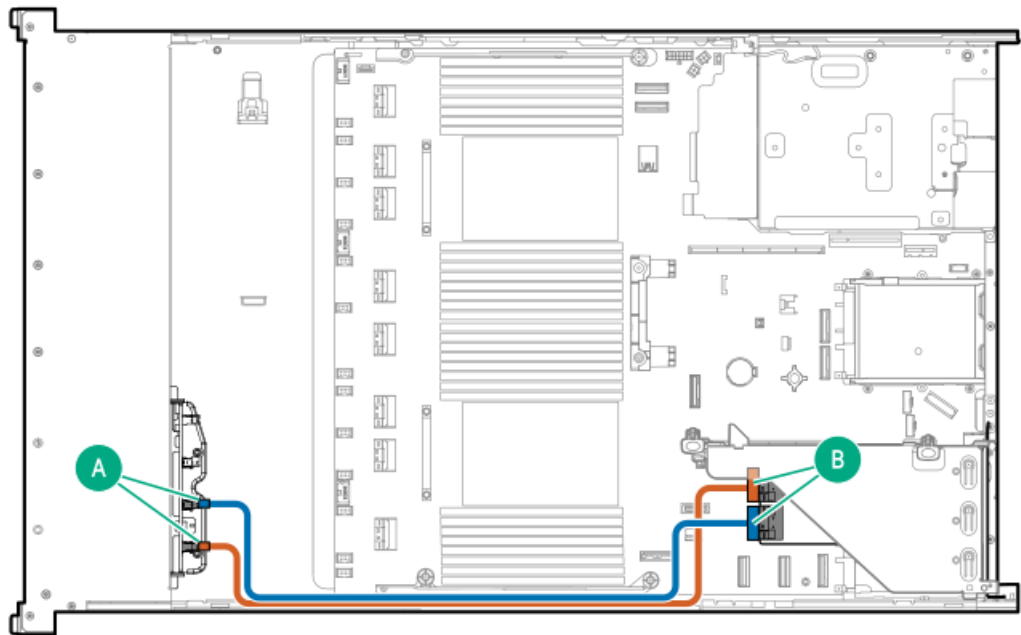
8 SFF (2.5型) ボックス1~3 : プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22904-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

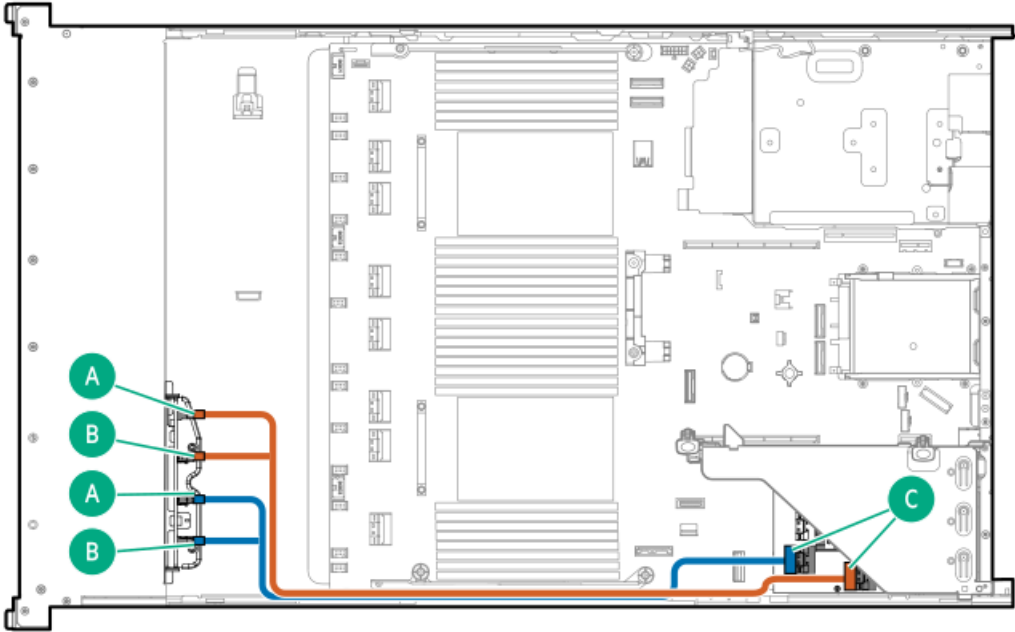
8 SFF (2.5型) ボックス3 : プライマリリタイマー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22904-001 ¹	オレンジ色と青色	ドライブバックプレーン	プライマリリタイマー

¹ オプションキット : P54874-B21

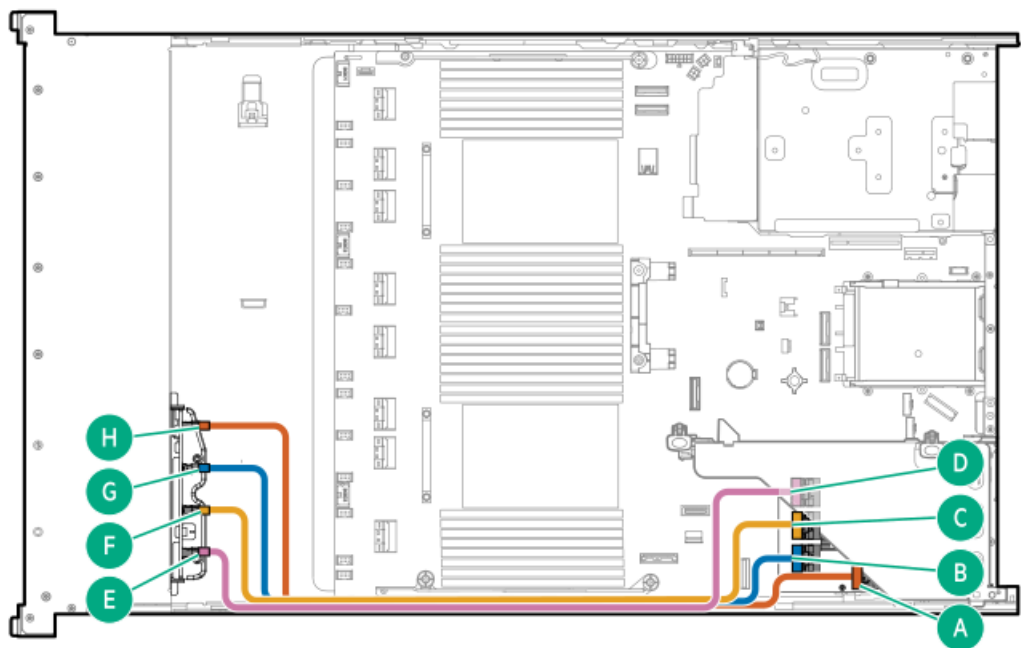
8 SFF（2.5型）ボックス3：プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14330-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48832-B21

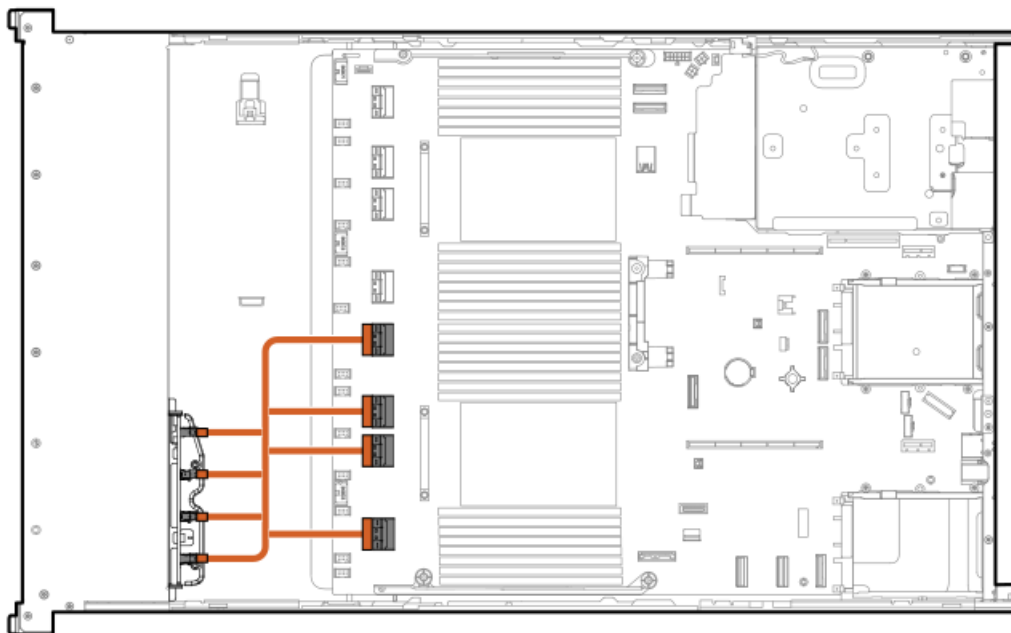
8 SFF（2.5型）ボックス3：プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51553-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	青色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	黄色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー
	ピンク色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48831-B21

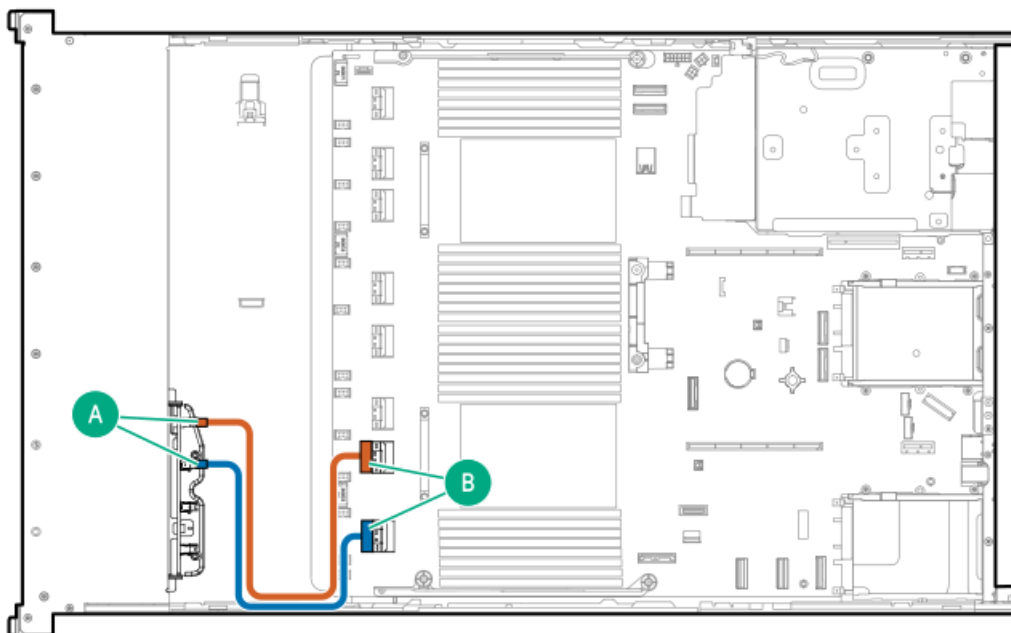
8 SFF (2.5型) ボックス3 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P53287-001 ¹	オレンジ色	ボックス3、ポート1~4	システムボードのポート1~4

¹ オプションキット : P48825-B21

8 SFF (2.5型) ボックス3 : システムボード

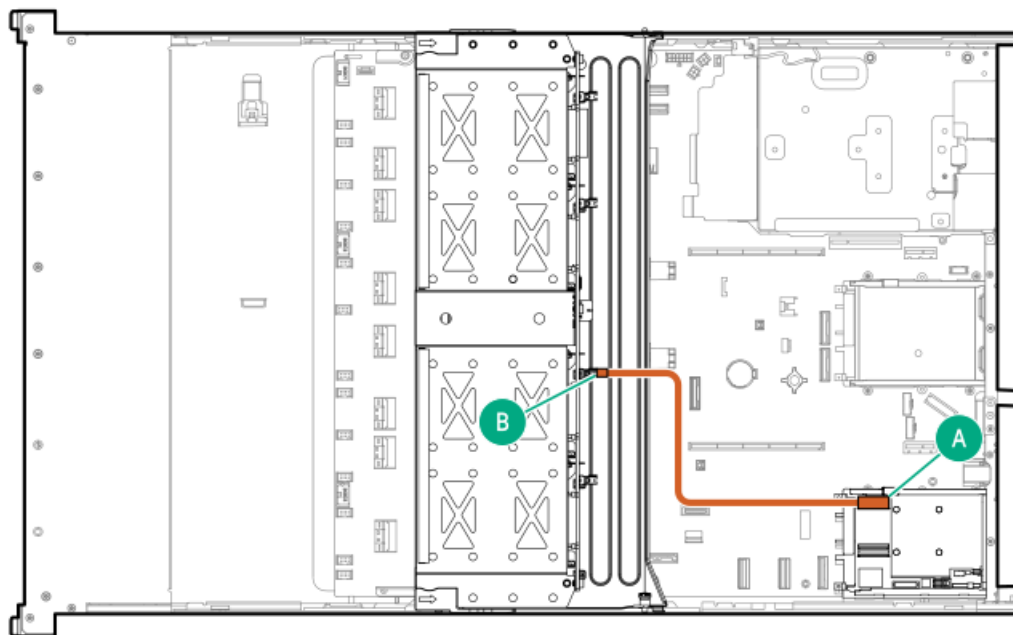


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51543-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン のポート1および2	システムボードのポート1 および2

¹ オプションキット : P48825-B21

ミッドプレーン8 SFF (2.5型) のケーブル接続

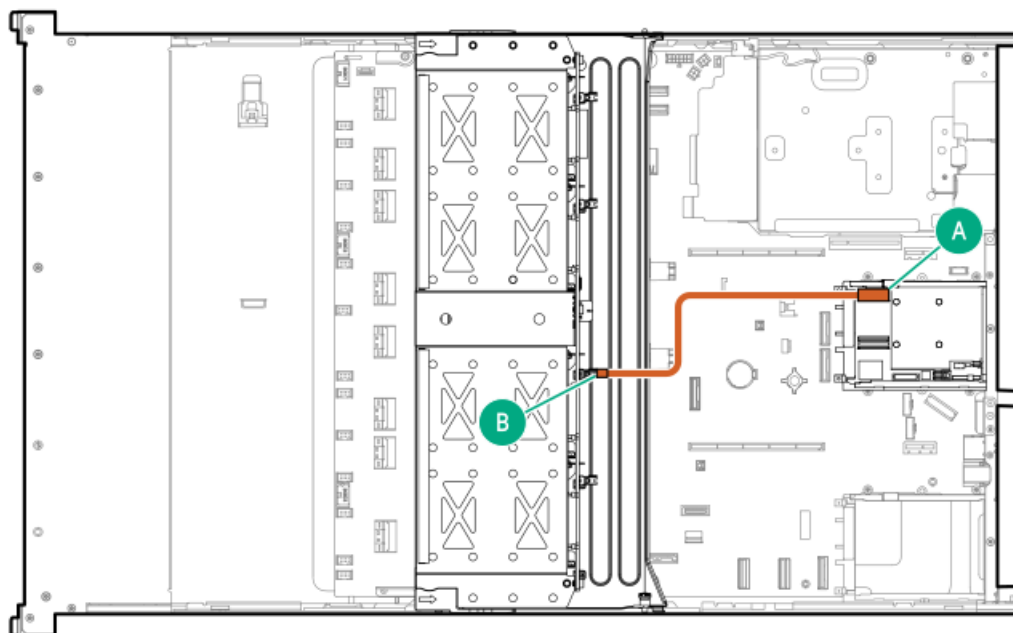
8 SFF (2.5型) ボックス7: プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48815-B21

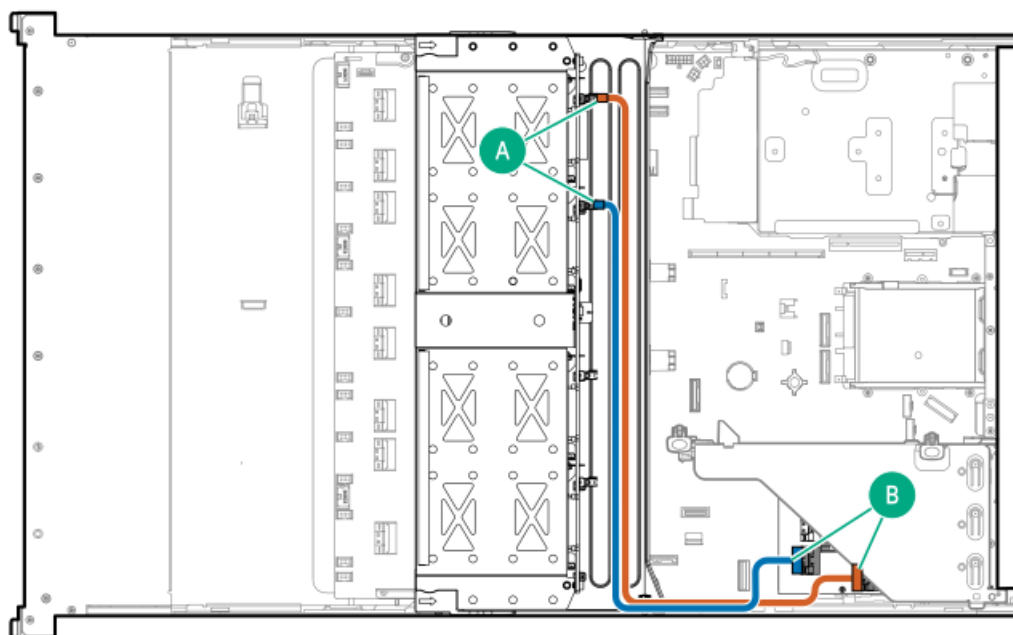
8 SFF (2.5型) ボックス7: セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

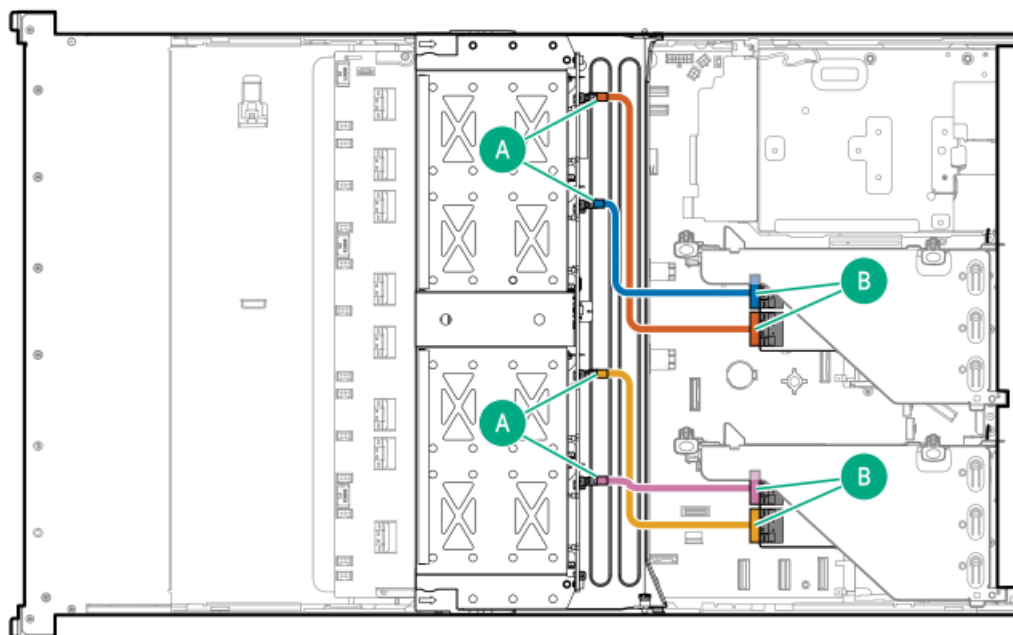
¹ オプションキット : P48815-B21

8 SFF (2.5型) ボックス7 : プライマリタイプpコントローラー



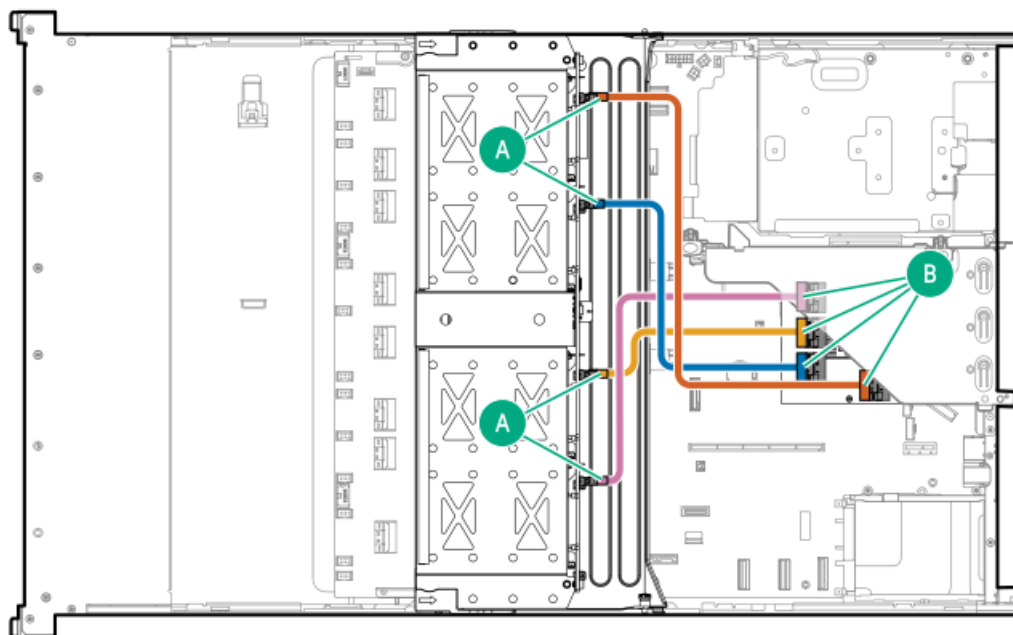
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

8 SFF (2.5型) ミッドプレーンドライブのケーブル接続 : タイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリおよびセカンダリタイプpコントローラー

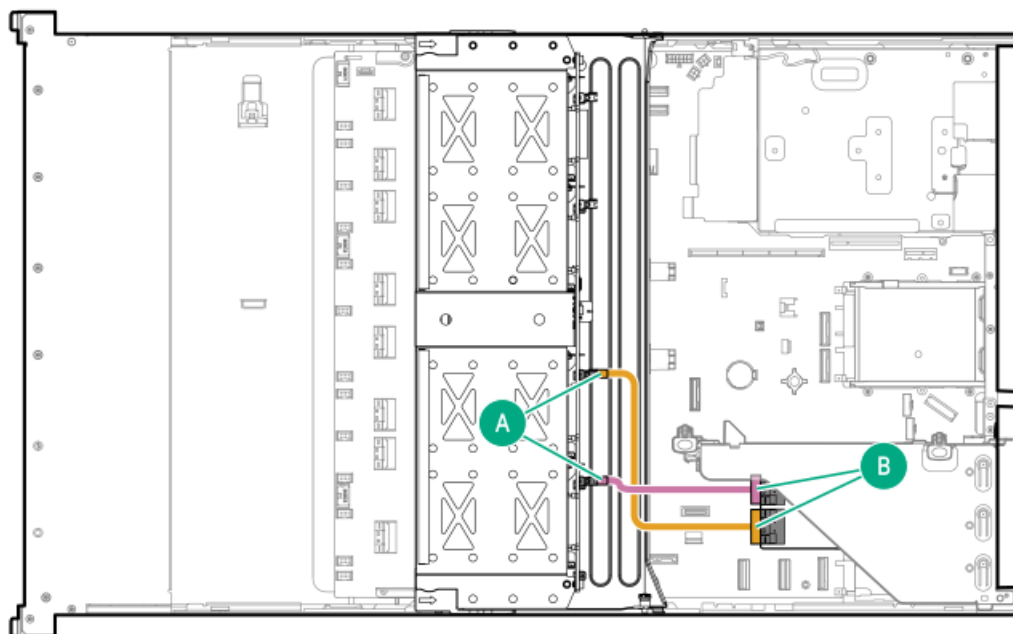
8 SFF (2.5型) ミッドプレーンドライブのケーブル接続 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48810-B21

8 SFF (2.5型) ミッドプレーンドライブのケーブル接続 : プライマリタイプpコントローラー

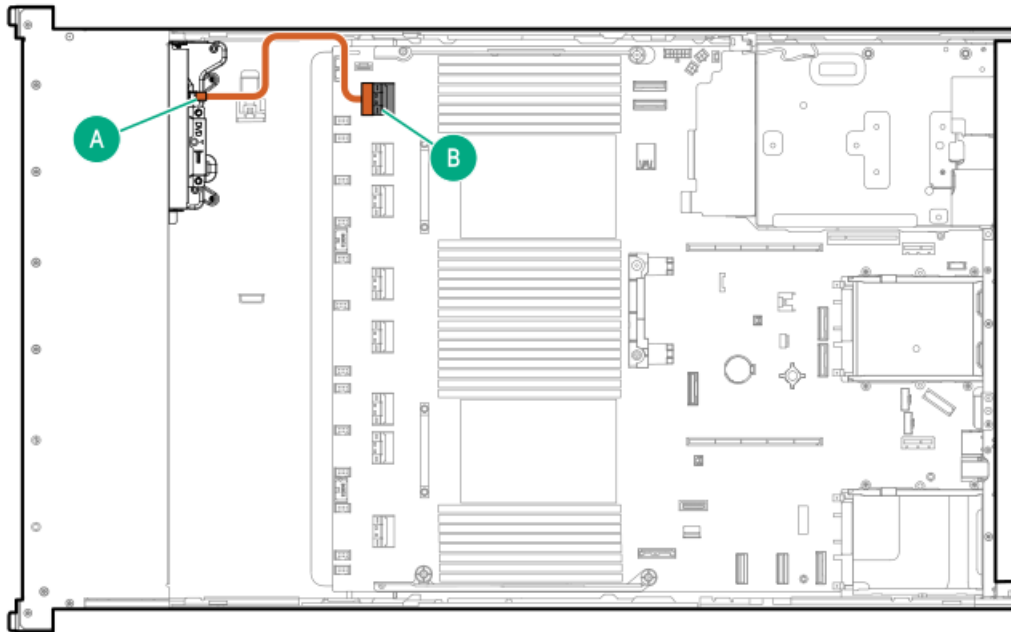


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48810-B21

フロント2 SFF (2.5型) のケーブル接続

2 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51555-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P52153-B21

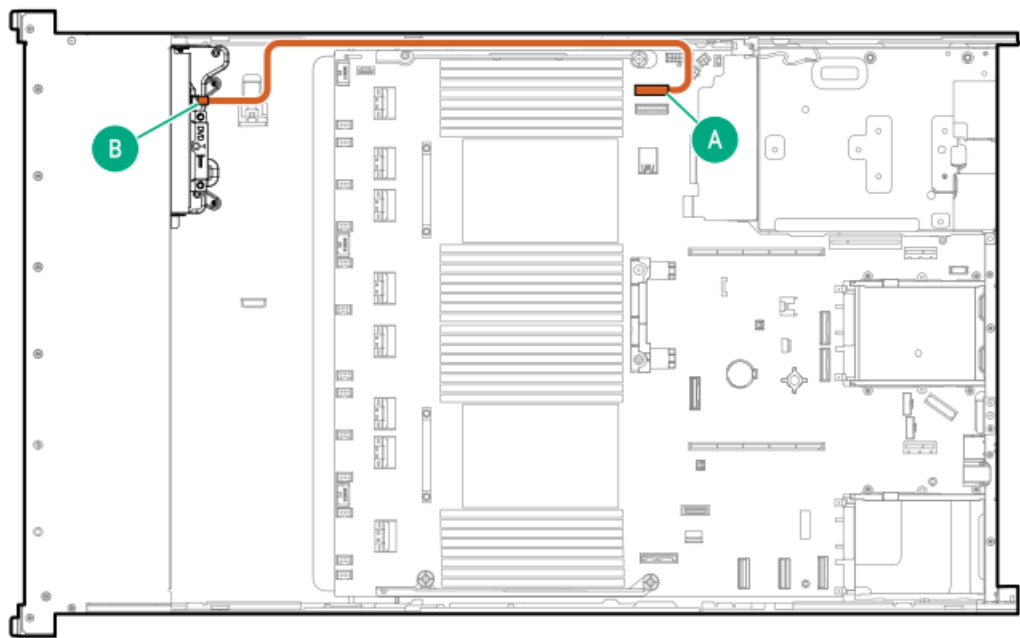
2 SFF (2.5型) ボックス1 : システムボードへのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51555-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P52153-B21

2 SFF (2.5型) ボックス1：システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51556-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット：P52153-B21

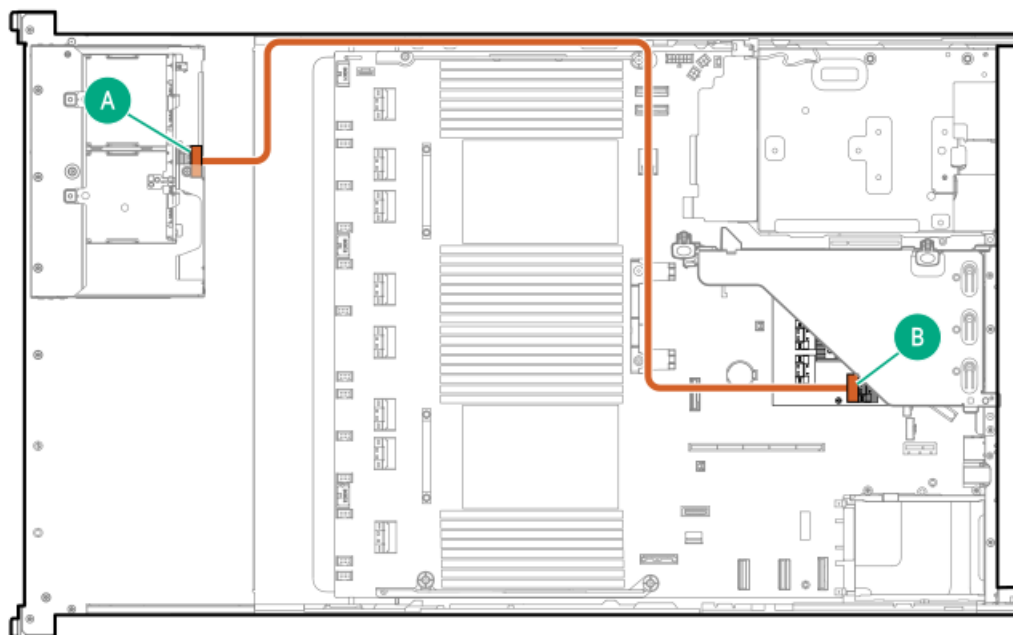
2 SFF (2.5型) ボックス1：システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51556-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

1 オプションキット : P52153-B21

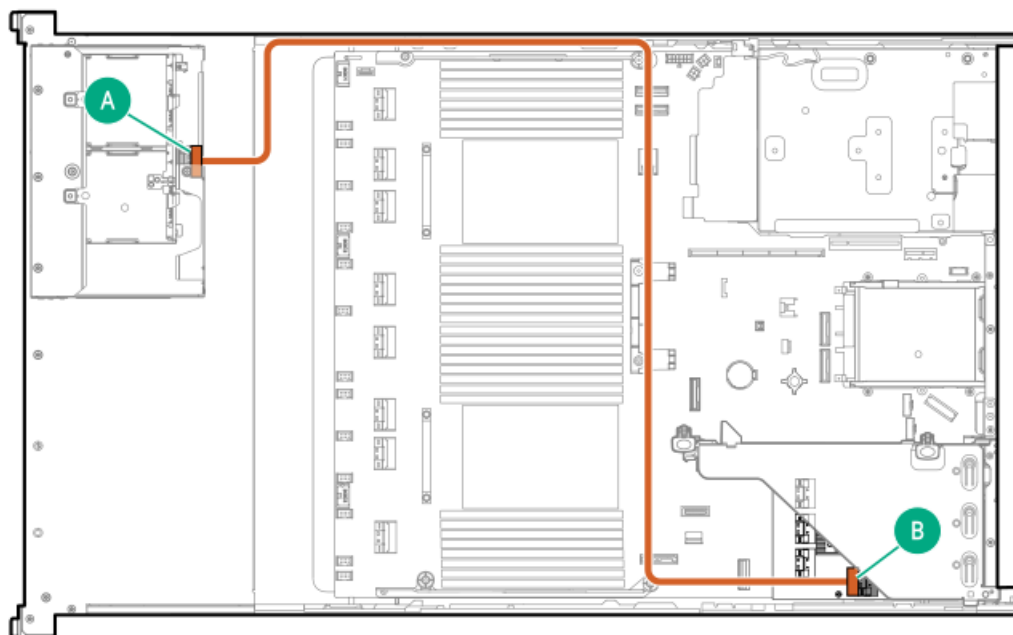
2 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P54874-B21

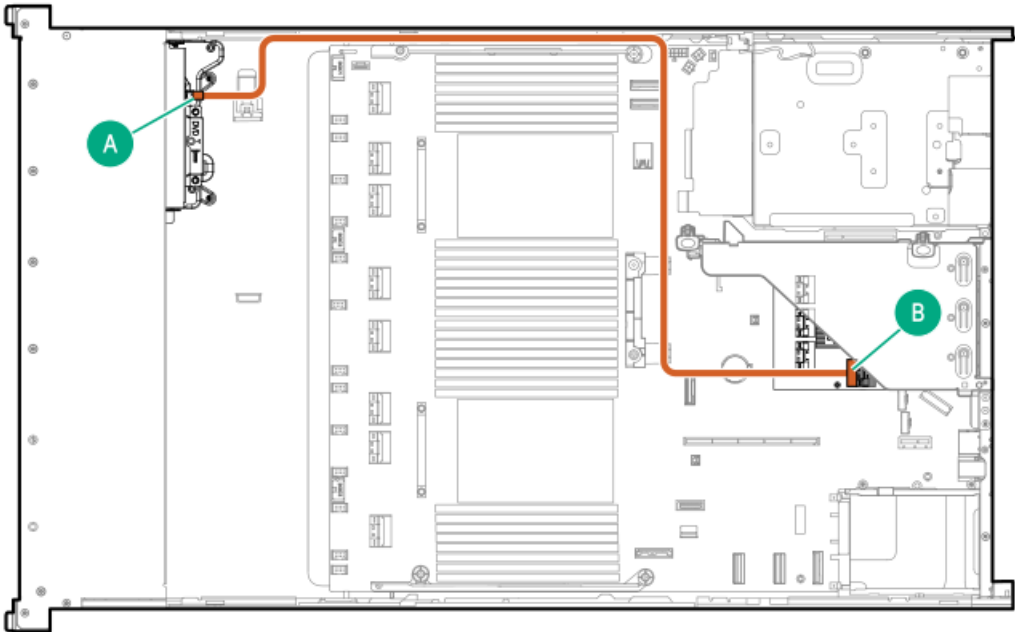
2 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

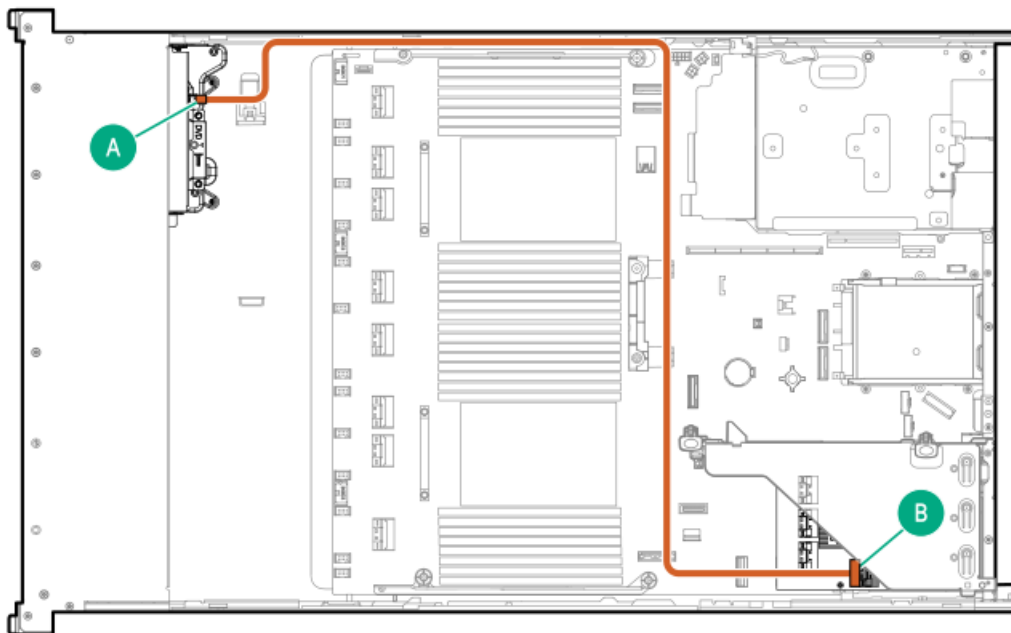
2 SFF（2.5型）ボックス1：セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

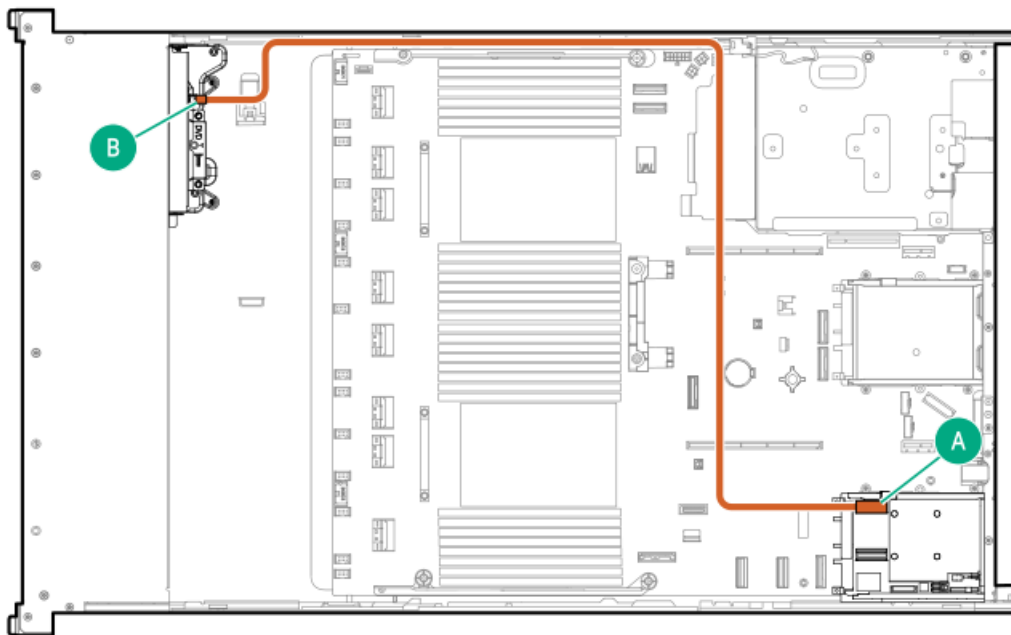
2 SFF（2.5型）ボックス1：プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22905-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P54874-B21

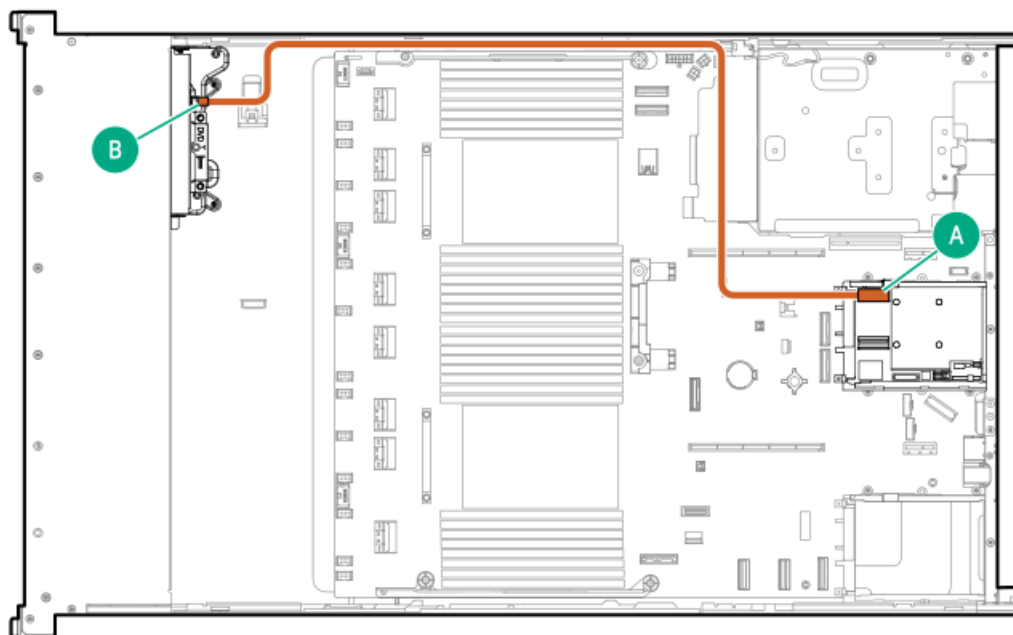
2 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

1 オプションキット : P48813-B21

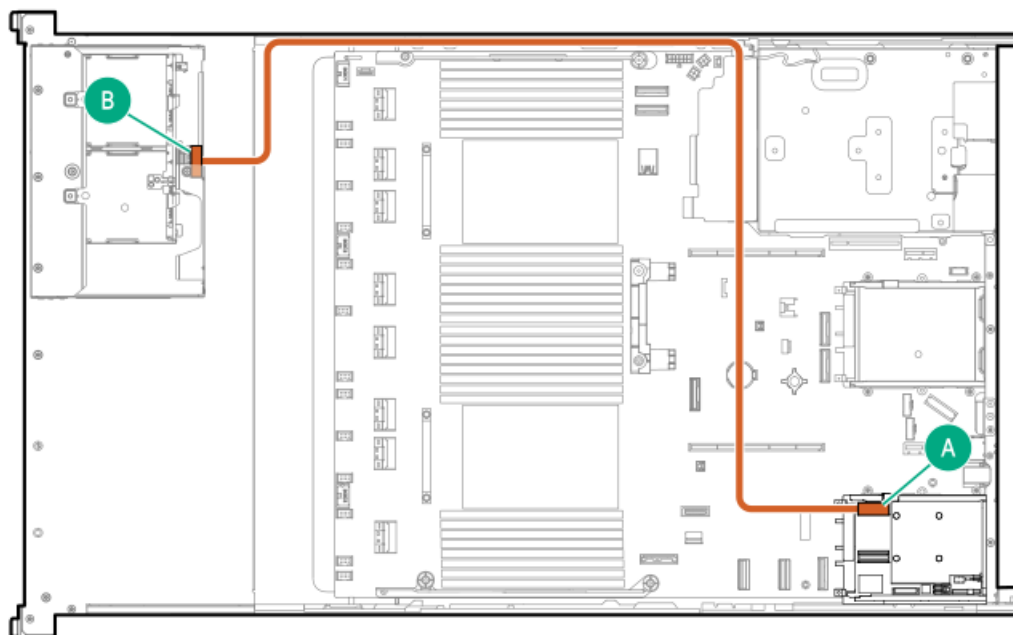
2 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

1 オプションキット : P48813-B21

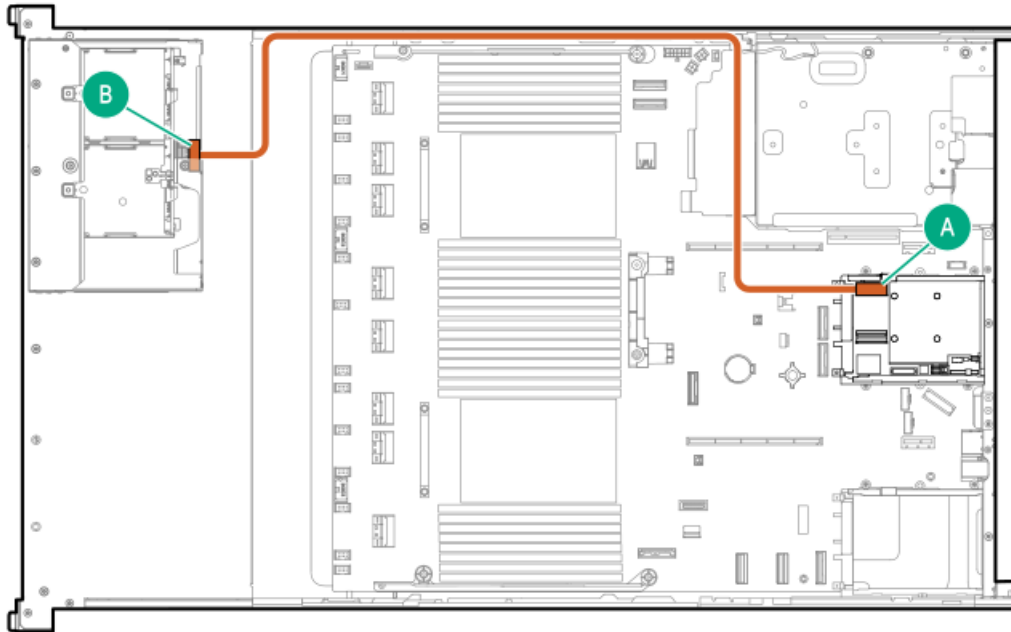
2 SFF (2.5型) ボックス1 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48813-B21

2 SFF (2.5型) ボックス1 : セカンダリタイプoコントローラー

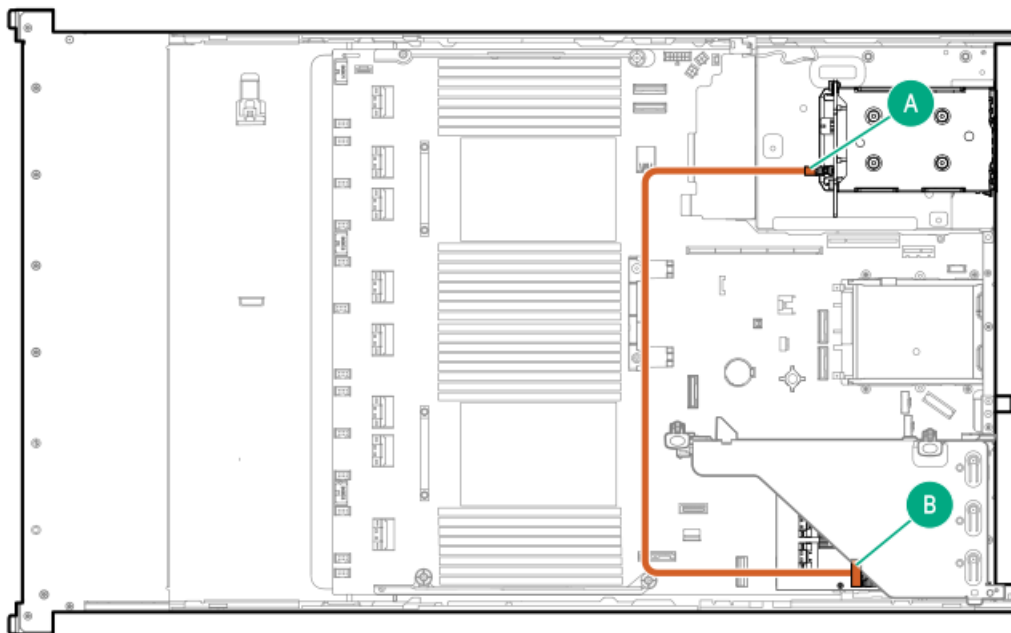


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51545-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48813-B21

リア2 SFF (2.5型) のケーブル接続

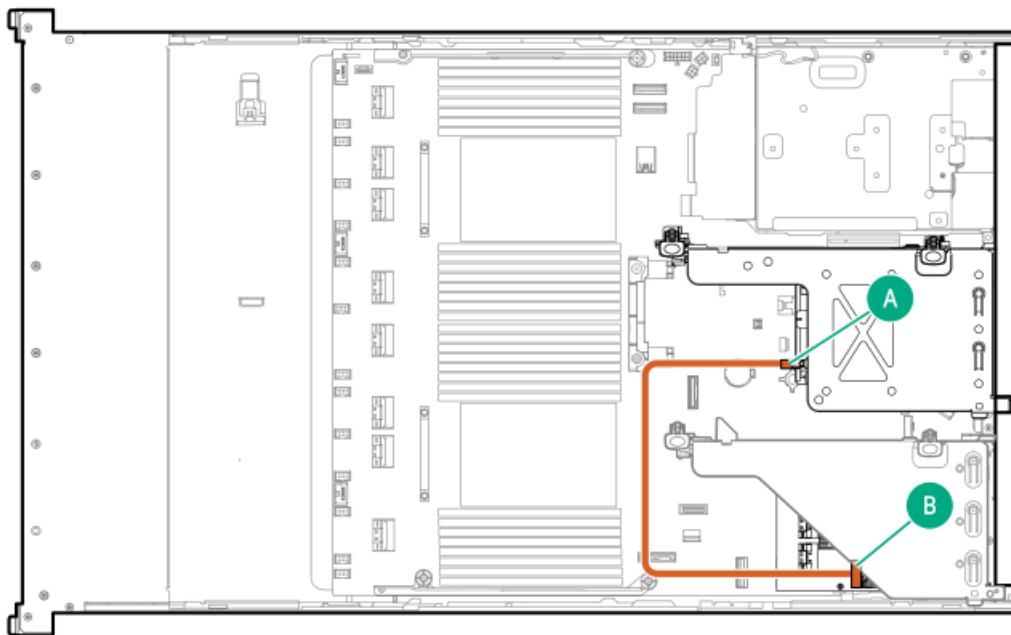
2 SFF (2.5型) ボックス6 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48816-B21

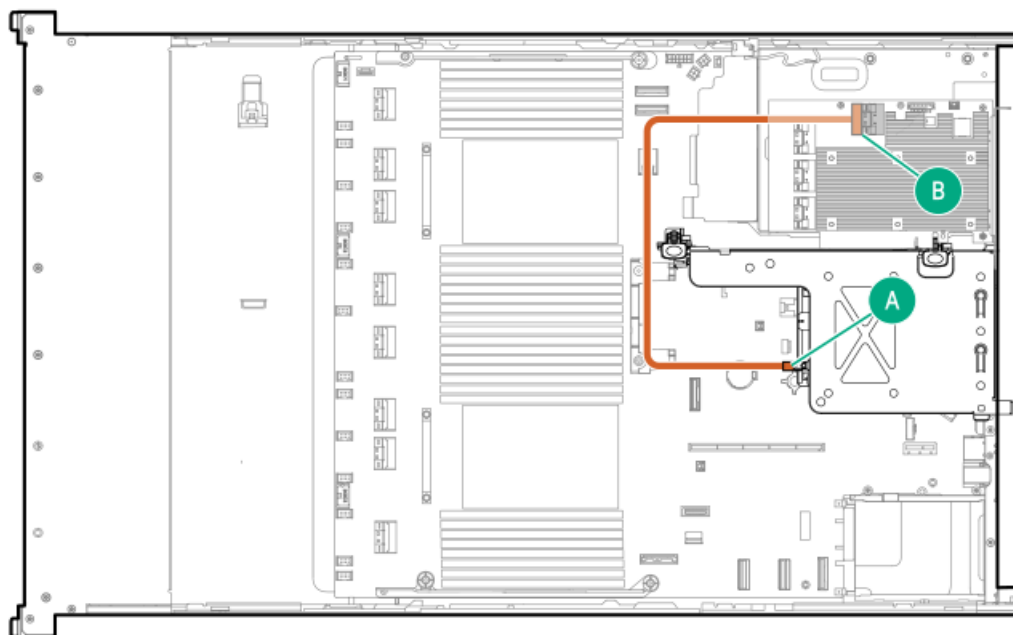
2 SFF (2.5型) ボックス5 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48816-B21

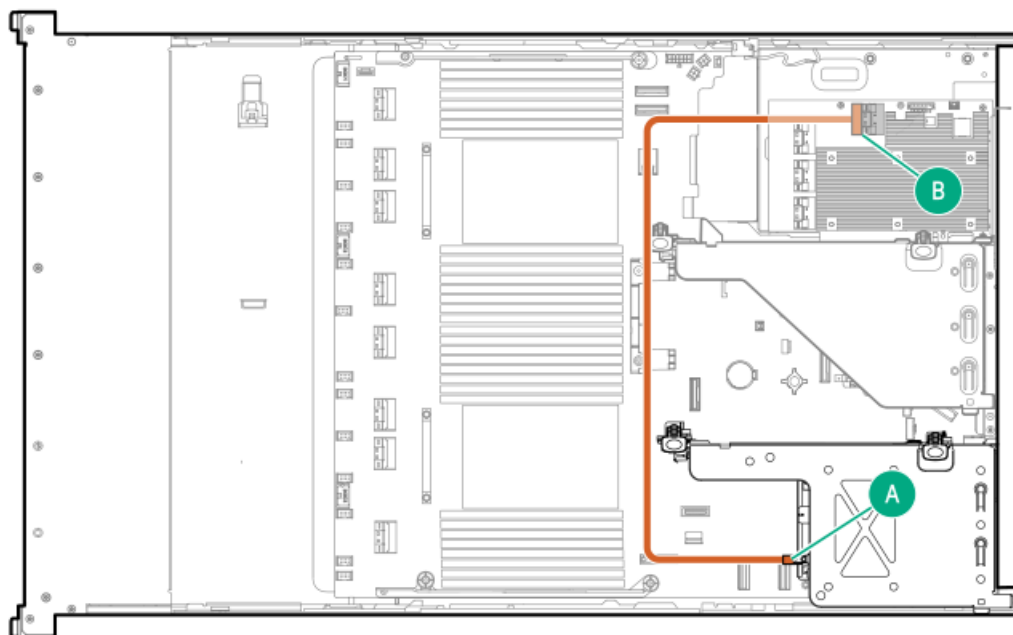
2 SFF (2.5型) ボックス5 : ターシャリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48816-B21

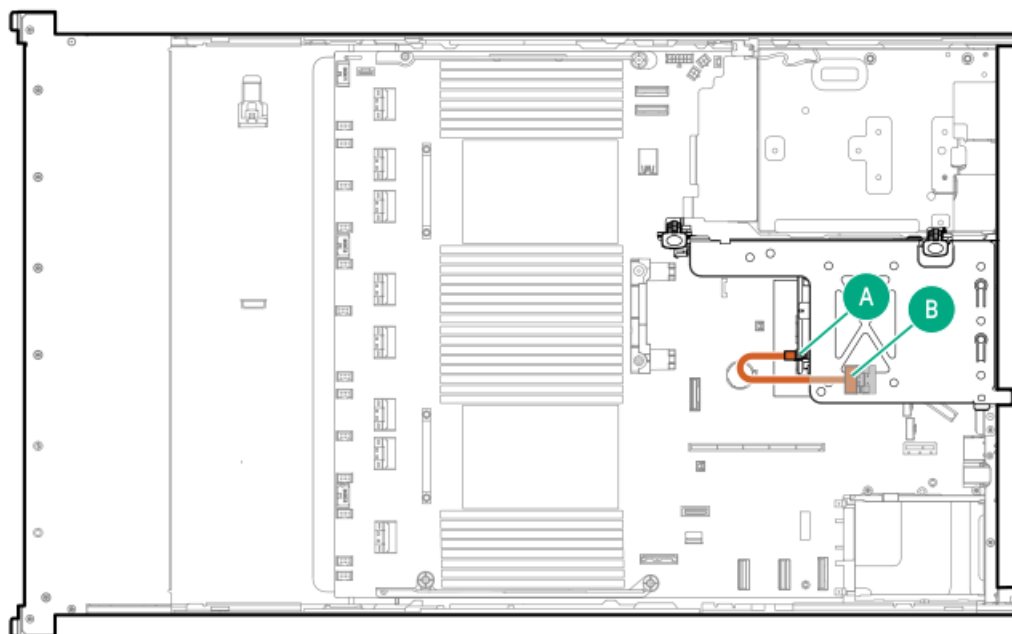
2 SFF (2.5型) ボックス4 : ターシャリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P22903-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48816-B21

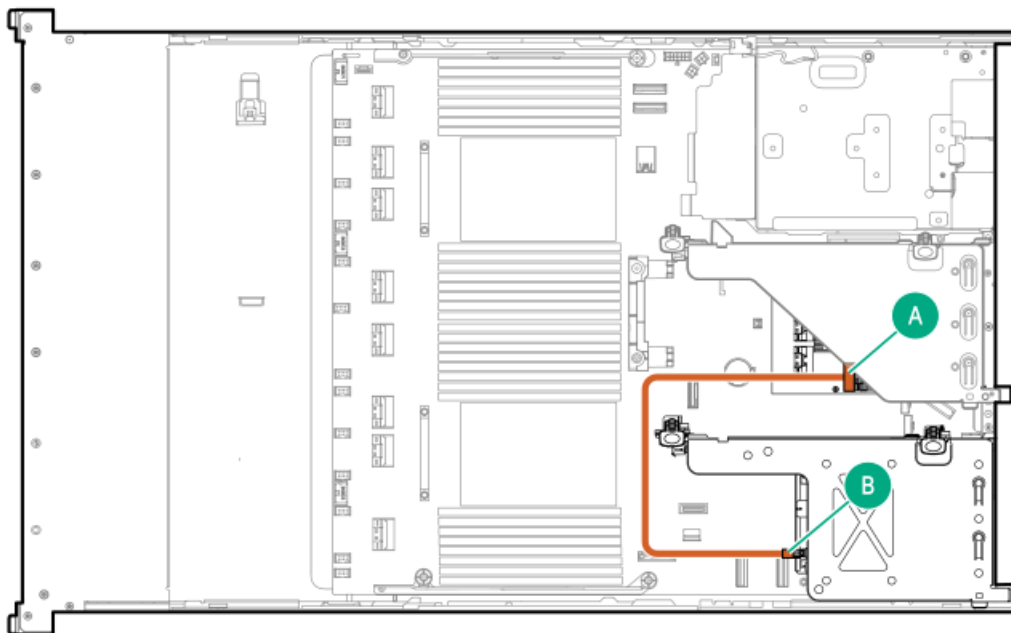
セカンダリ2 SFF (2.5型) ライザーケージ : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48816-B21

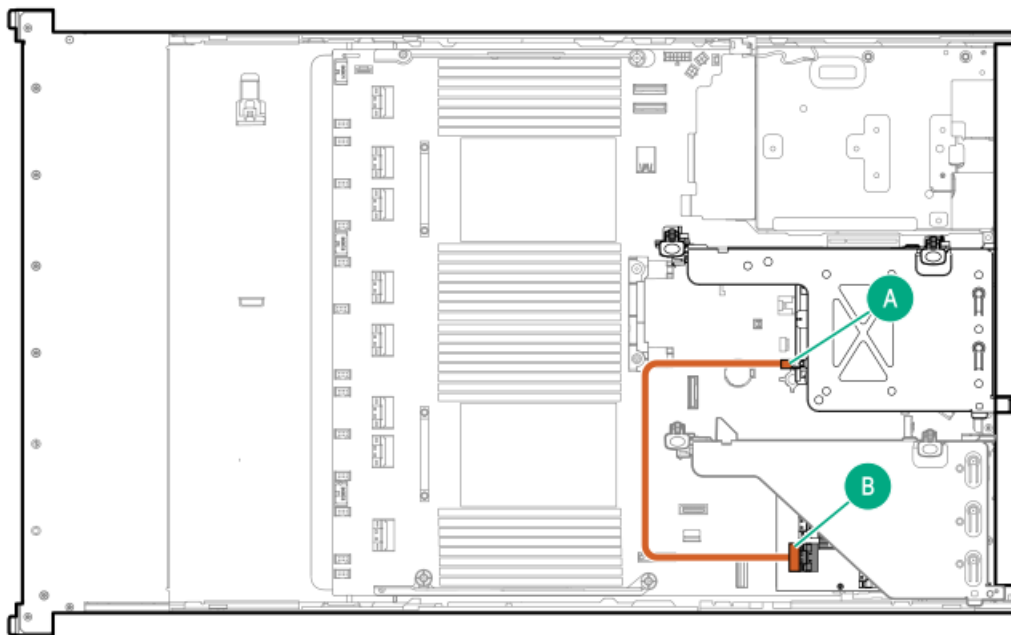
プライマリ2 SFF (2.5型) ライザーケージ : セカンダリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48816-B21

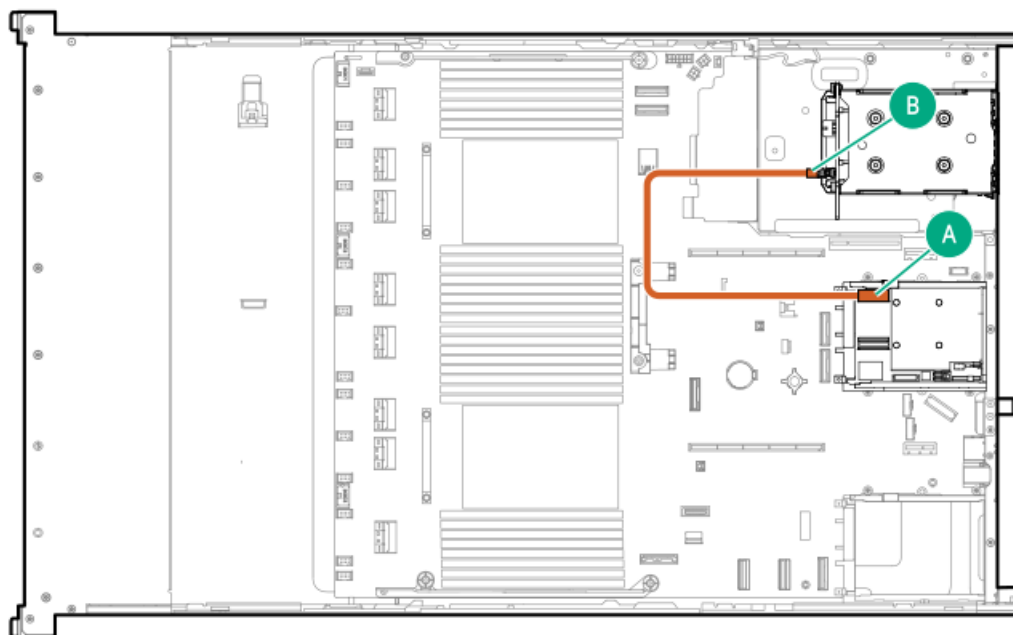
セカンダリ2 SFF (2.5型) ライザーケージ : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14329-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48816-B21

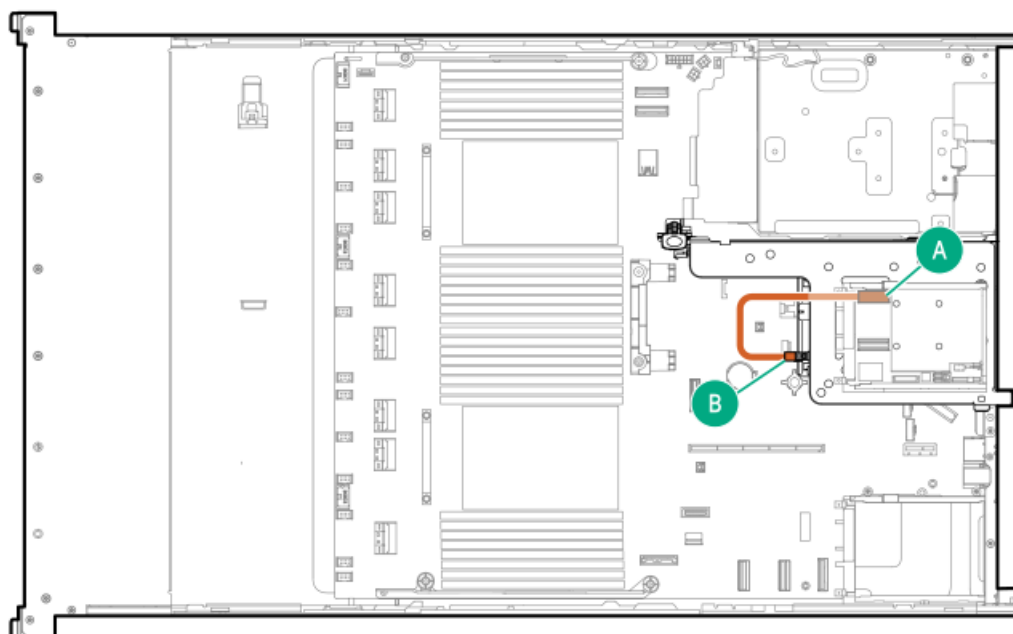
2 SFF (2.5型) ボックス6 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	タイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48811-B21

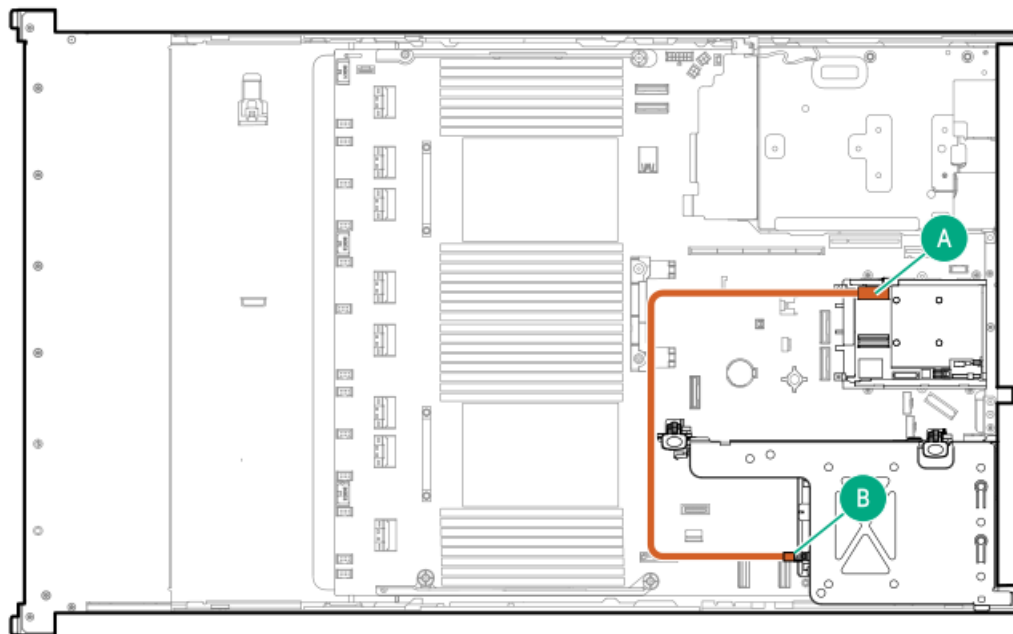
2 SFF (2.5型) ボックス5 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	タイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48811-B21

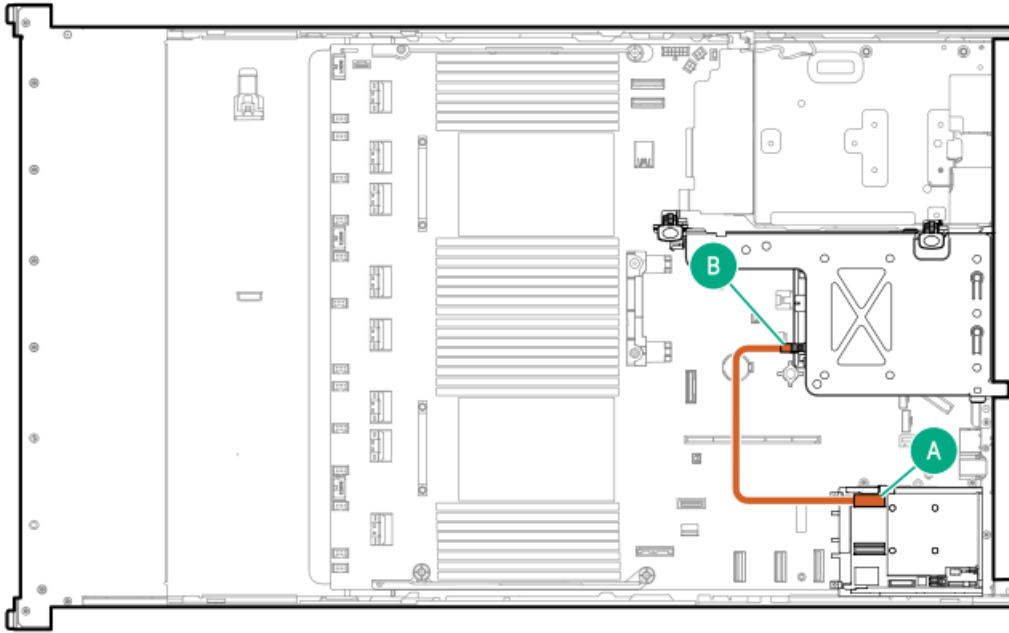
2 SFF (2.5型) ボックス4 : セカンダリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	タイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48811-B21

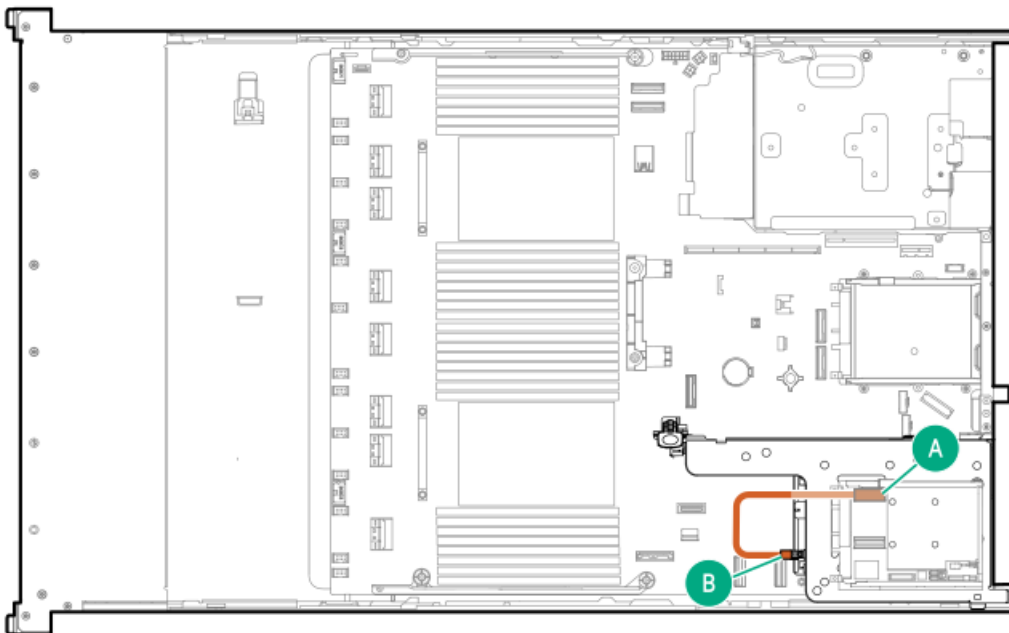
2 SFF (2.5型) ボックス5 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	タイプoコントローラー

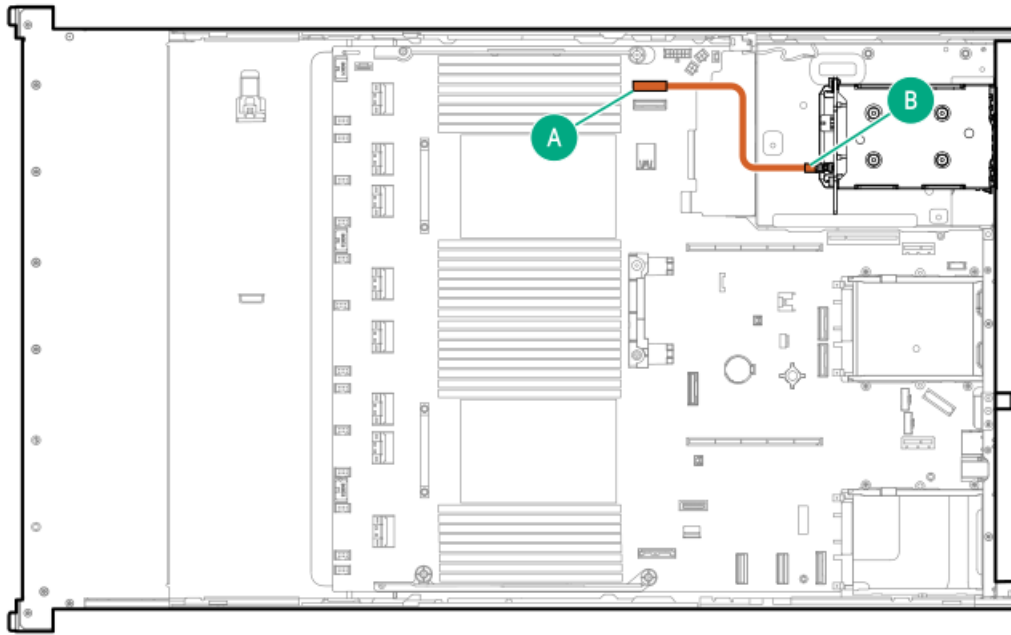
¹ オプションキット : P48811-B21

2 SFF (2.5型) ボックス4 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51554-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P48811-B21



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51557-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48811-B21

LFF (3.5型) のケーブル接続

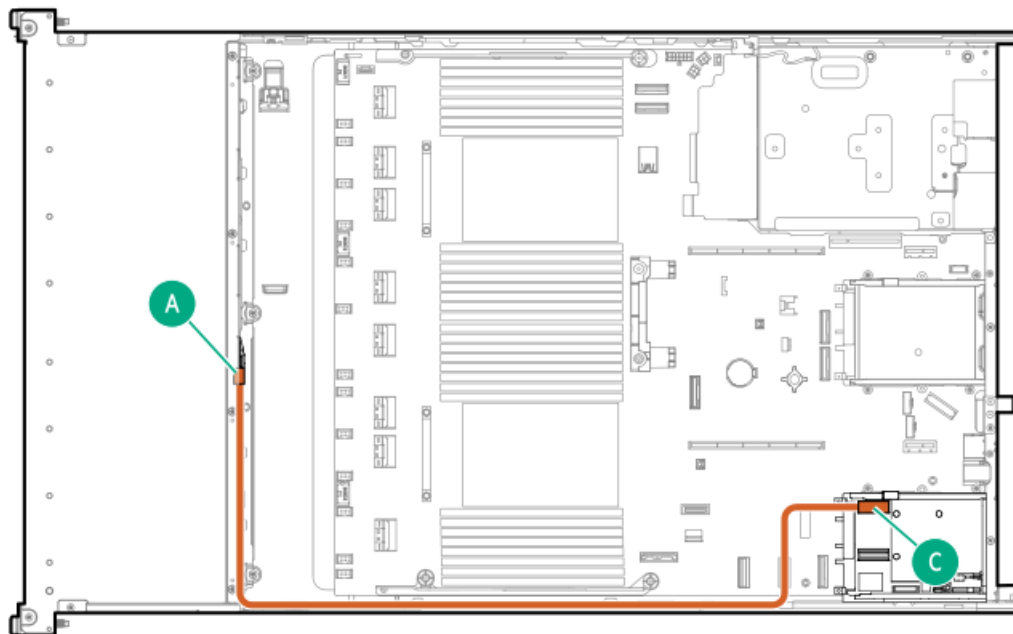
LFF (3.5型) ボックス2または3 : システムボード



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51559-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P56995-B21

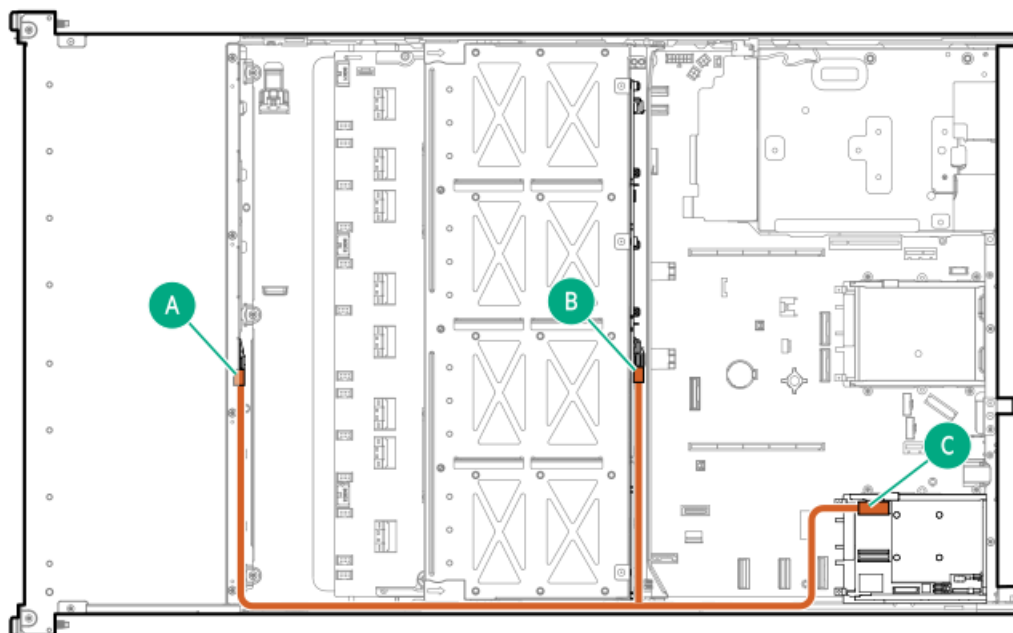
LFF (3.5型) ボックス2または3 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51559-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス2または3	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P56995-B21

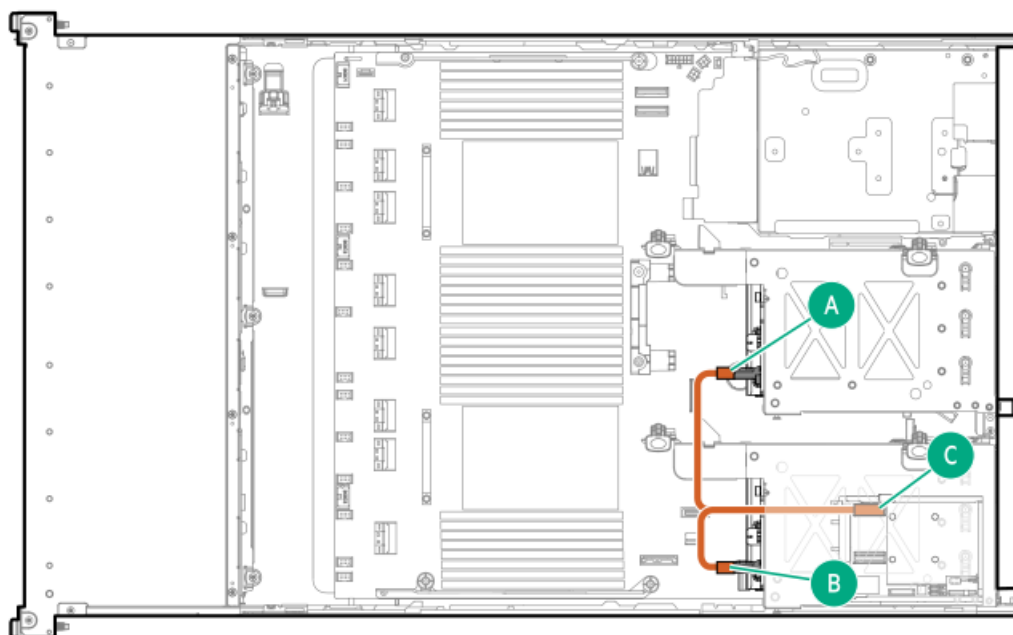
LFF (3.5型) ボックス1および7 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51560-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス1および7	プライマリタイプoコントローラー

¹ オプションキット : P56995-B21

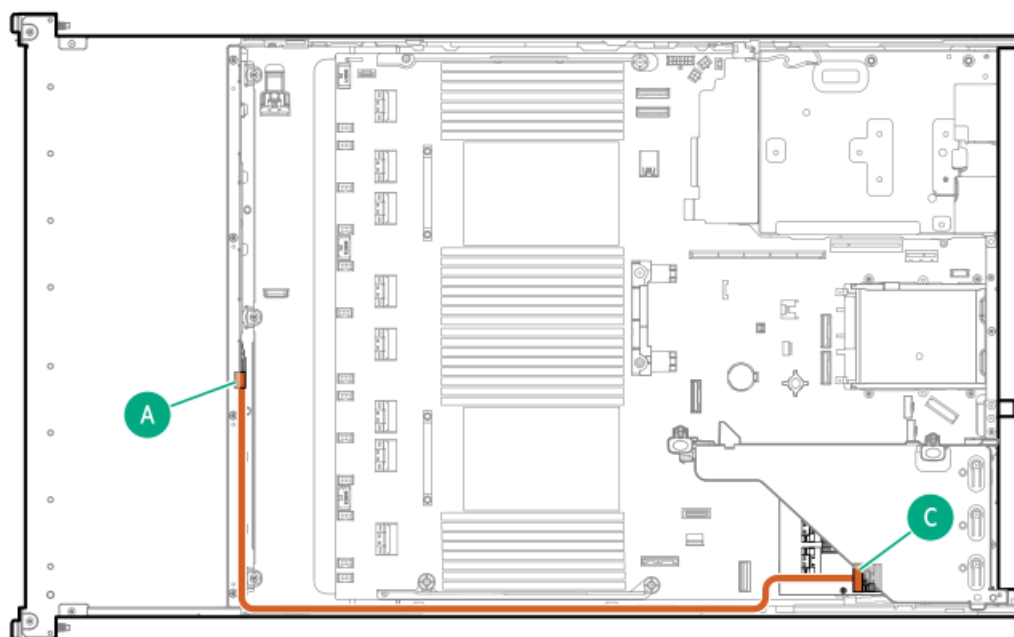
LFF (3.5型) ボックス4および5 : プライマリタイプoコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51561-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス4および5	プライマリタイプoコントローラー

1 オプションキット : P48823-B21

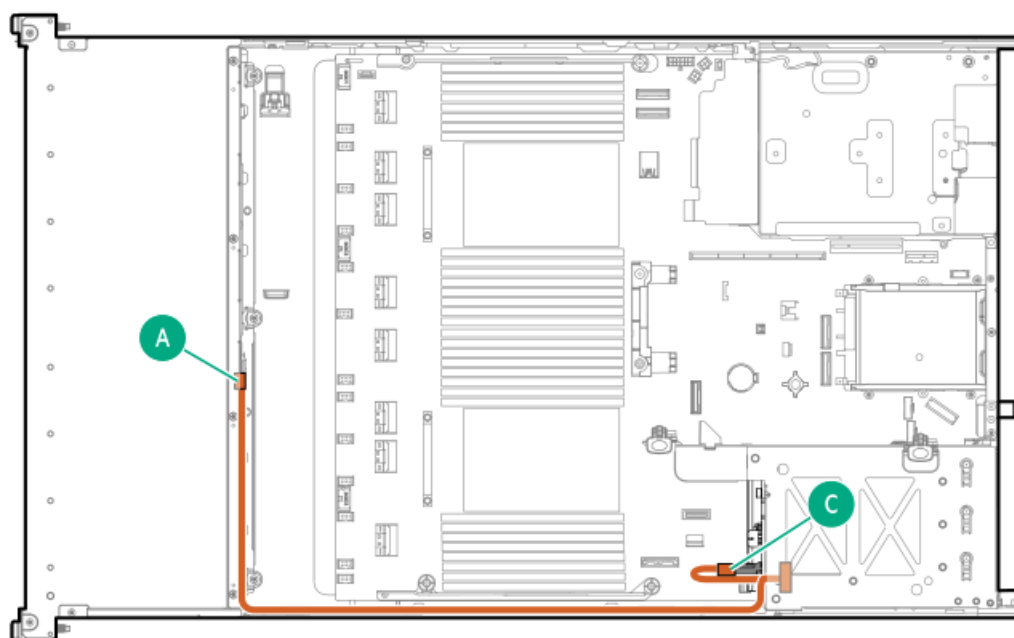
LFF (3.5型) ボックス2および3 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P58791-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス2および3	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P56995-B21

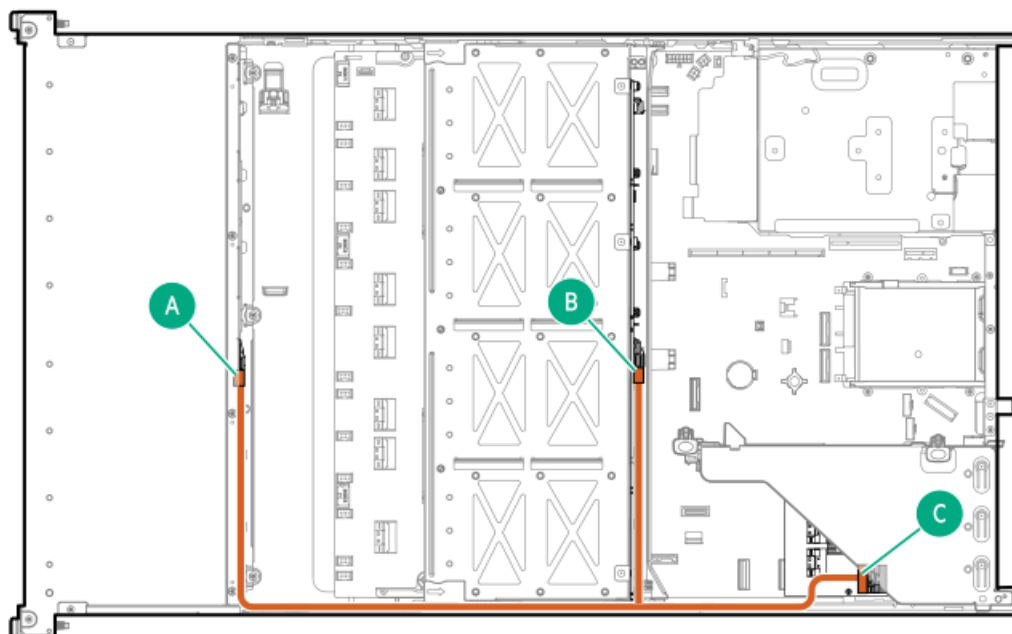
LFF (3.5型) ボックス1および4 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46047-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス1および4	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48823-B21

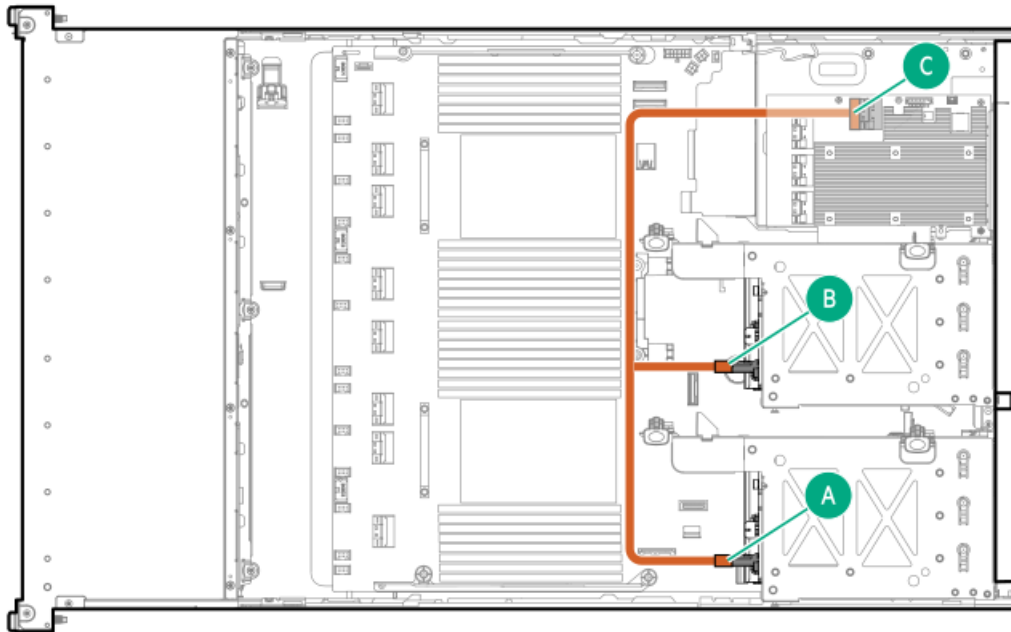
LFF (3.5型) ボックス1とボックス7 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51563-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ボックス1とボックス7	プライマリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P56995-B21

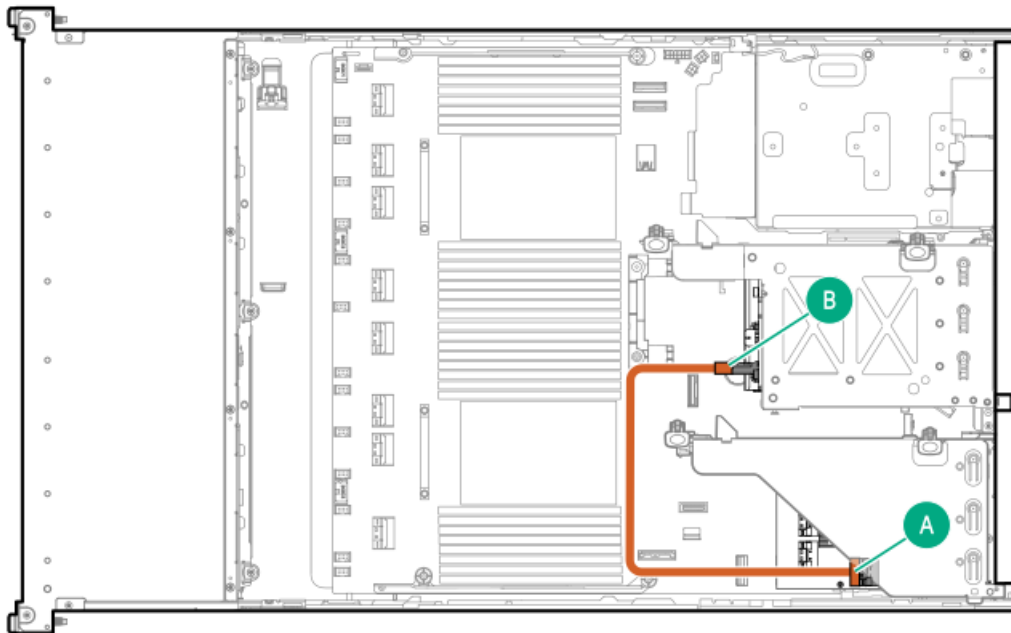
2 LFF (3.5型) ボックス4および5 : ターシャリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51558-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	ターシャリタイプpコントローラー

¹ オプションキット : P48823-B21

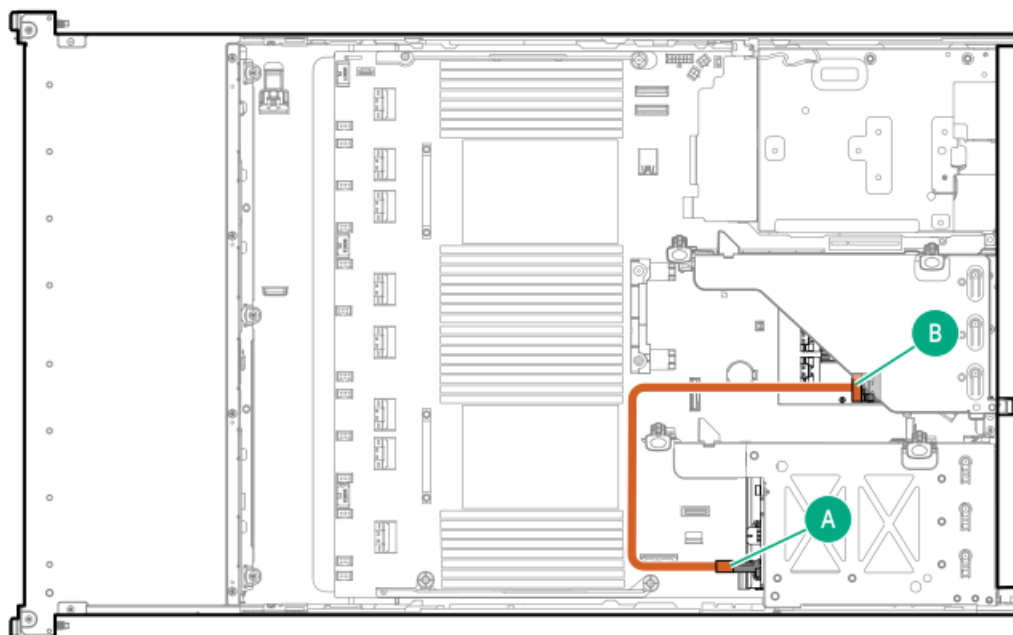
2 LFF (3.5型) ボックス5 : プライマリタイプpコントローラー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51558-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	プライマリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48823-B21

2 LFF (3.5型) ボックス4 : セカンダリタイプpコントローラー

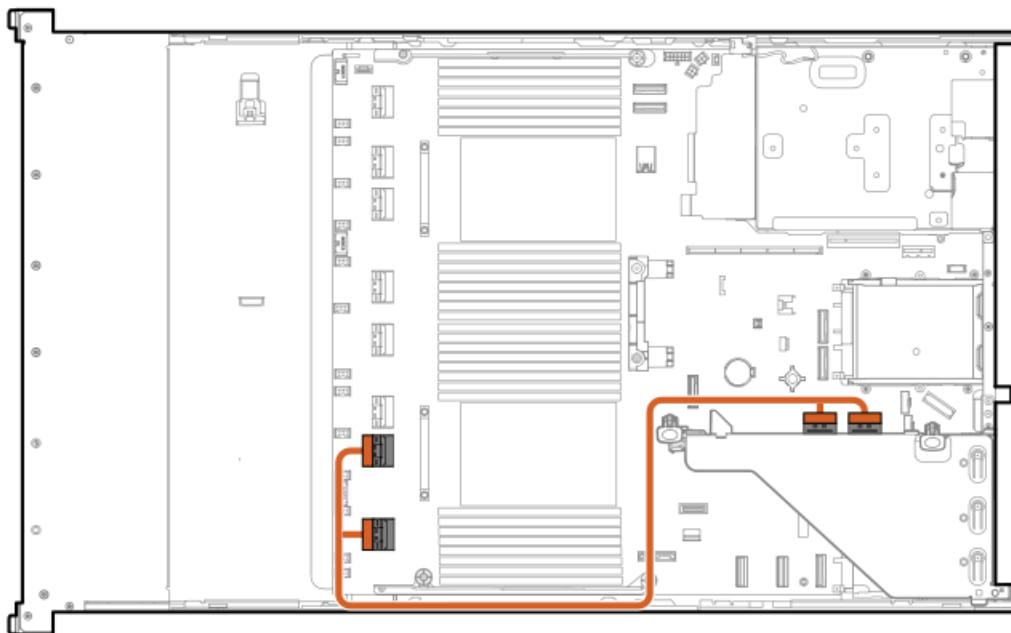


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51558-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	セカンダリタイプpコントローラー

1 オプションキット : P48823-B21

ライザー有効化のケーブル接続

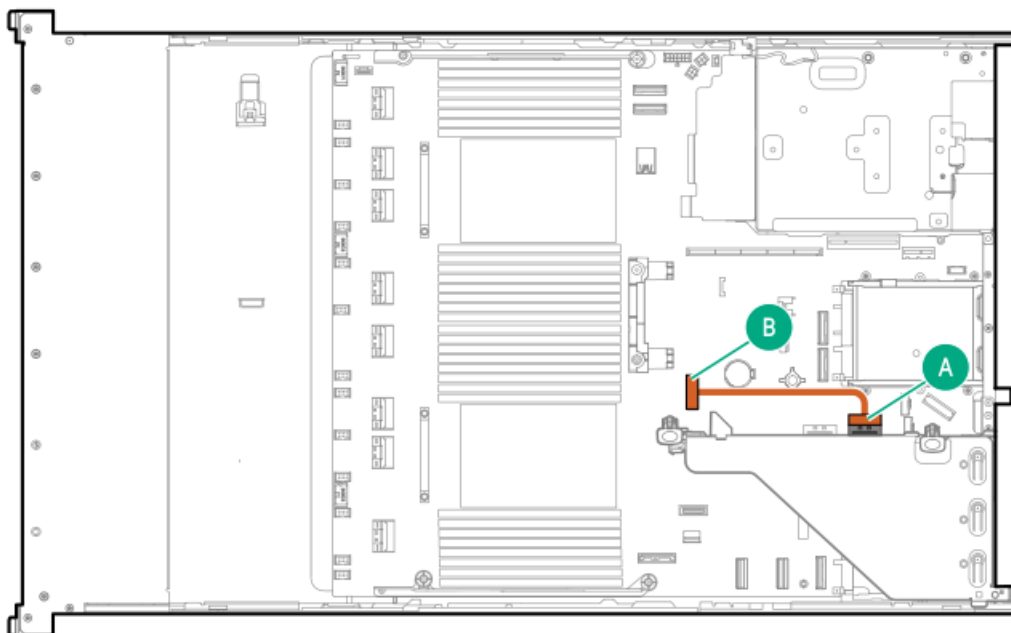
プライマリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46031-001 ¹	オレンジ色	プライマリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P56073-B21

プライマリライザー

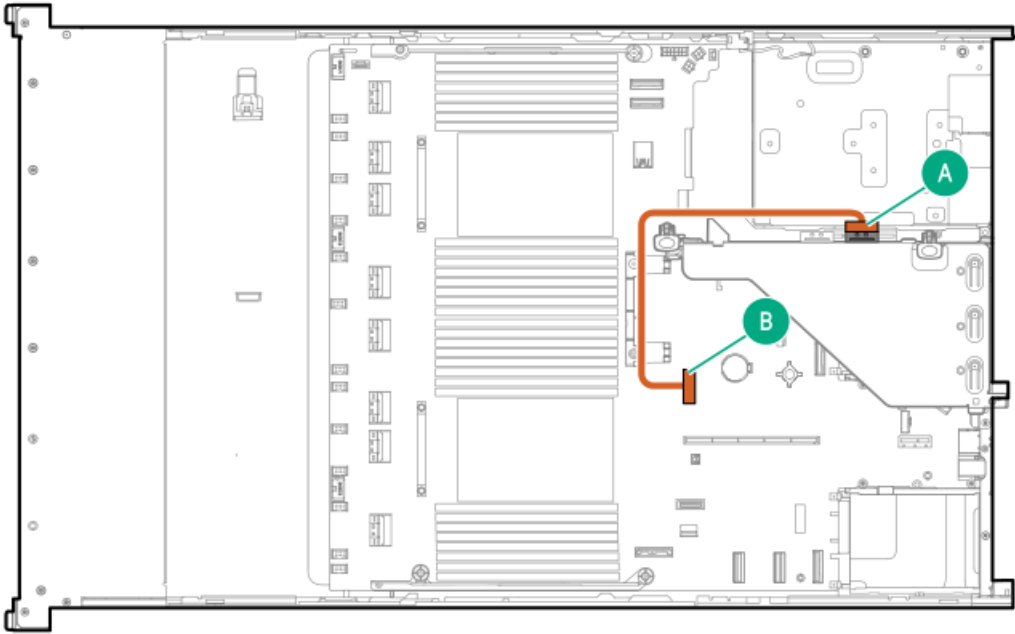


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46034-001 ¹	オレンジ色	ライザーボード	システムボード

オプションキット : P56073-B21

¹

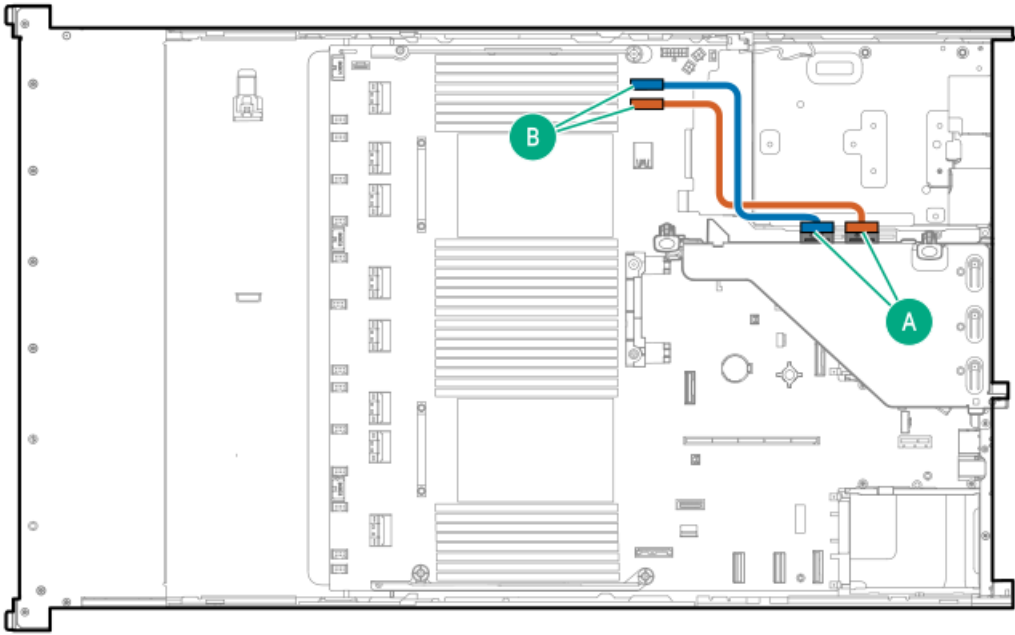
セカンダリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46034-001 ¹	オレンジ色	ライザーボード	システムボード

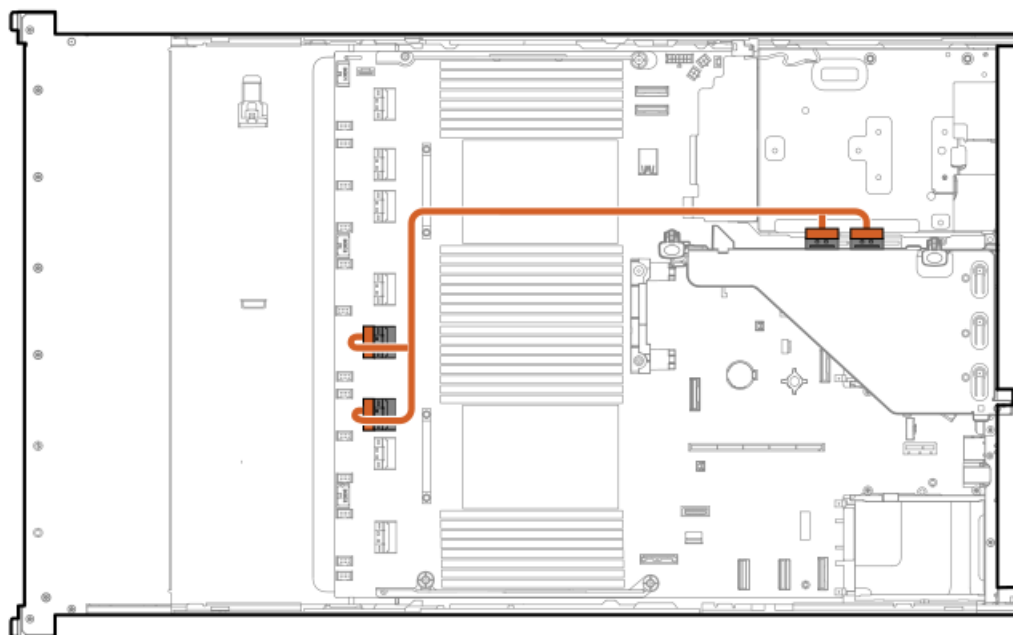
¹ オプションキット : P56074-B21

セカンダリライザー



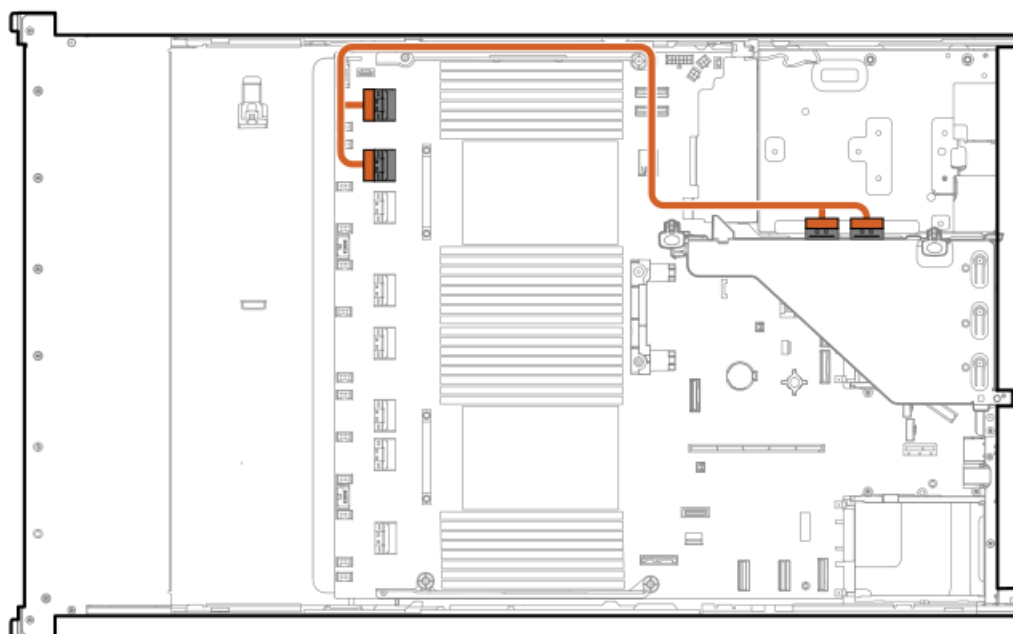
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46034-001 ¹	オレンジ色	ライザーボード	システムボード

ターシャリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51571-001 ¹	オレンジ色	ライザーボード	システムボード

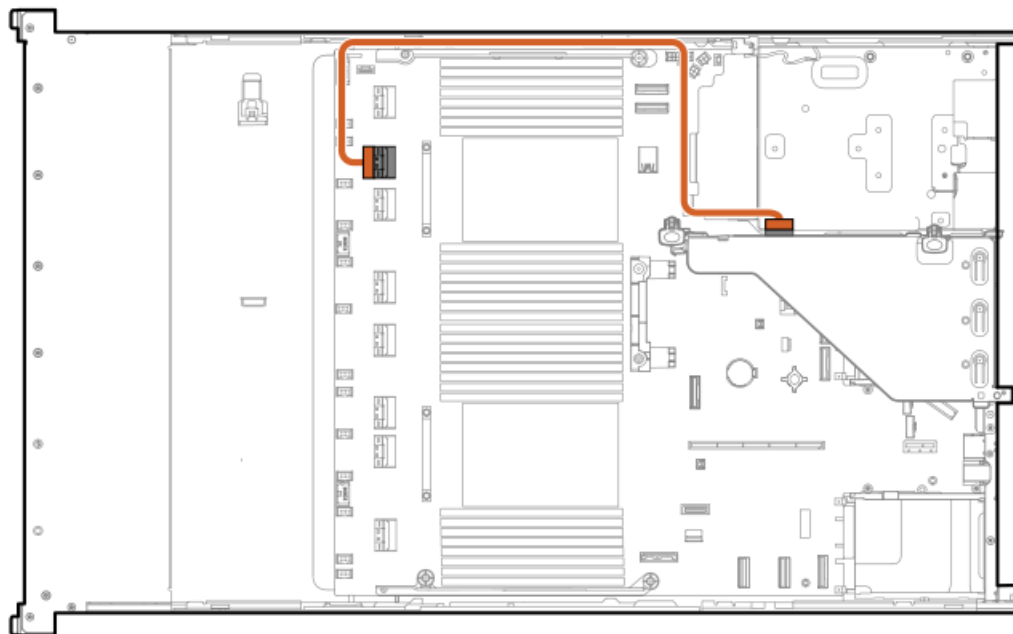
セカンダリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46032-001 ¹	オレンジ色	セカンダリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P56074-B21

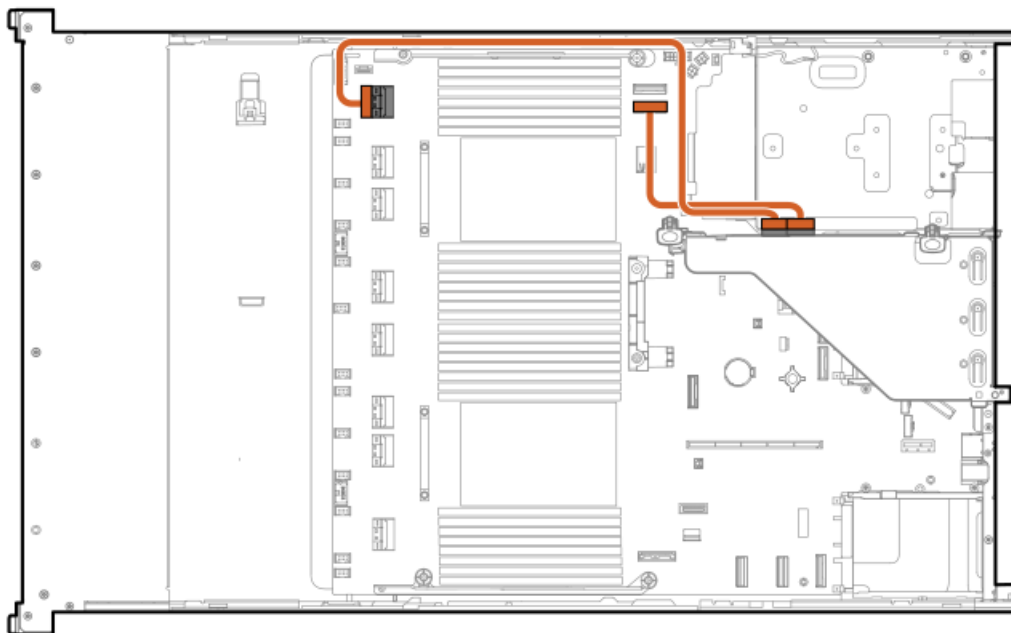
ターシャリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46028-001 ¹	オレンジ色	セカンダリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P48804-B21

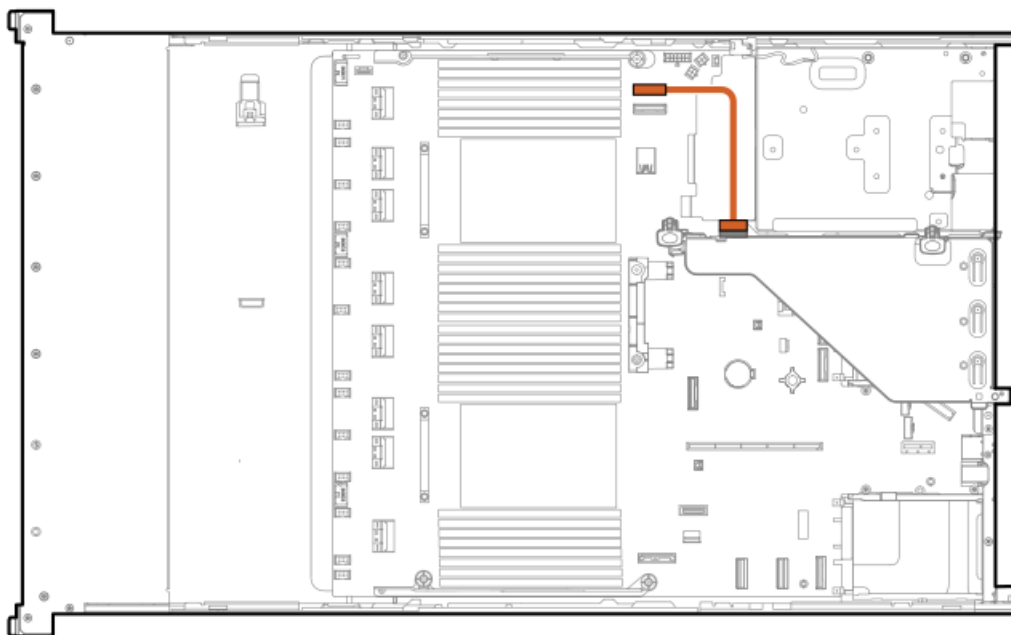
ターシャリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46026-001 ¹	オレンジ色	ターシャリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P48804-B21

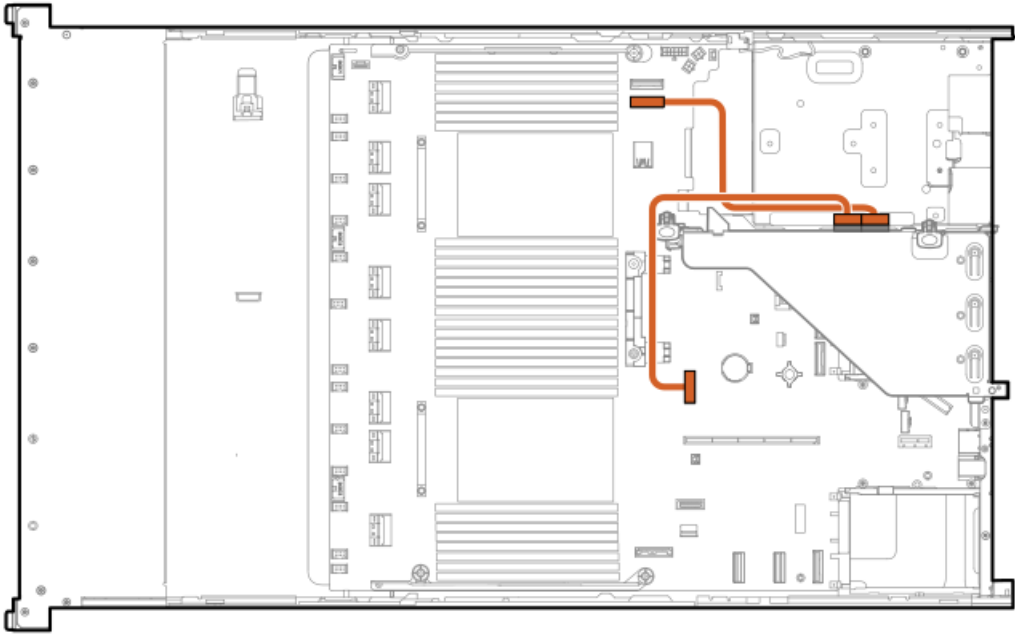
ターシャリライザー



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46029-001 ¹	オレンジ色	ターシャリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P48804-B21

ターシャリライザー

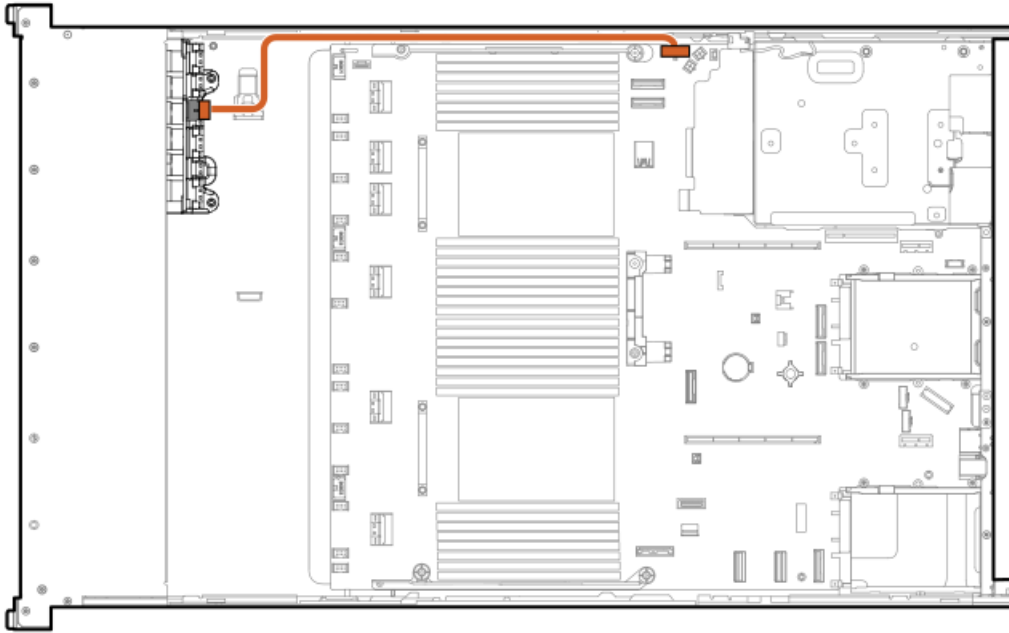


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46030-001 ¹	オレンジ色	ターシャリライザー	システムボード

¹ オプションキット : P48804-B21

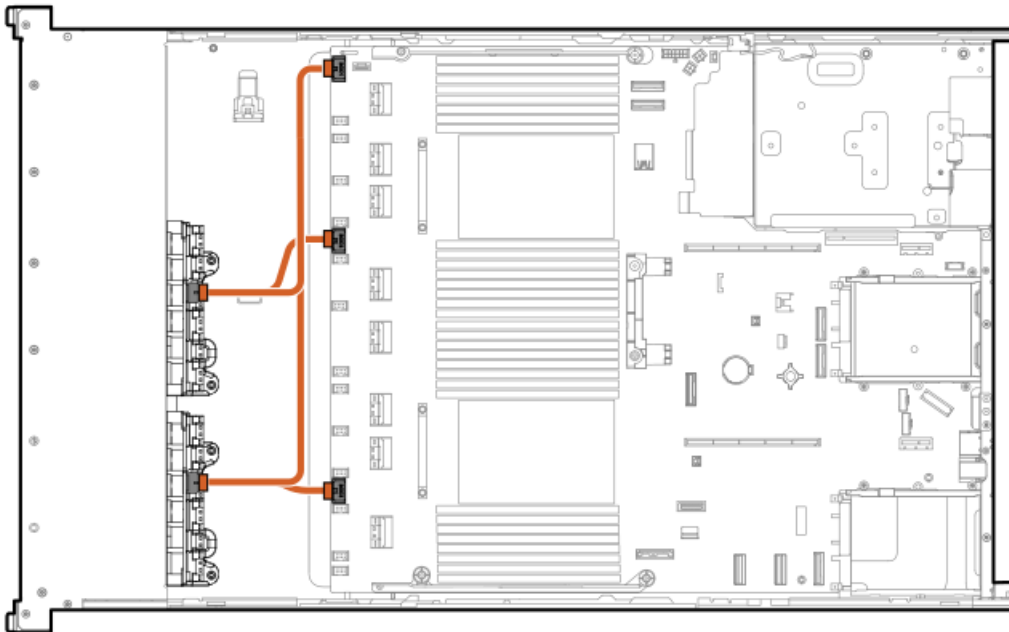
電源ケーブルの接続

EDSFFボックス1



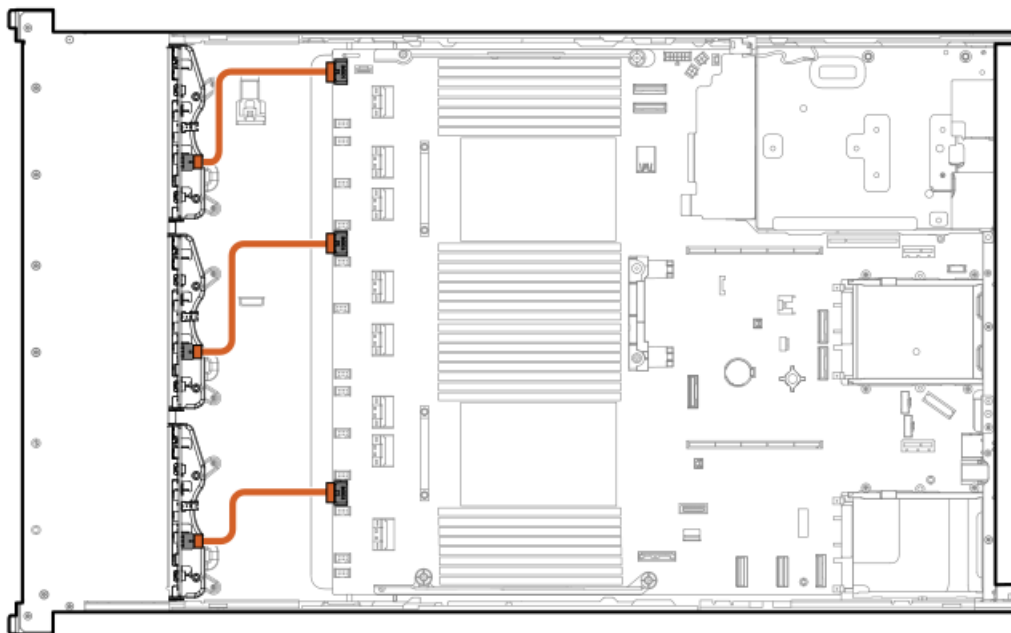
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51577-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

EDSFFボックス2および3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P46048-001	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

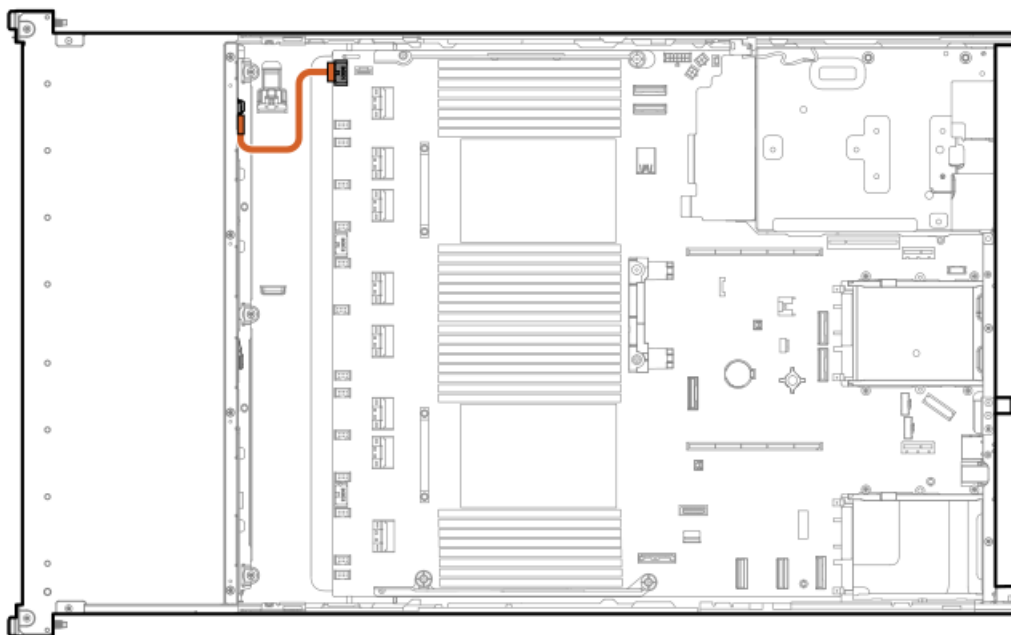
8 SFF (2.5型) ボックス1~3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869825-001 ¹	オレンジ色	8 SFF (2.5型) バックプレーン	システムボード

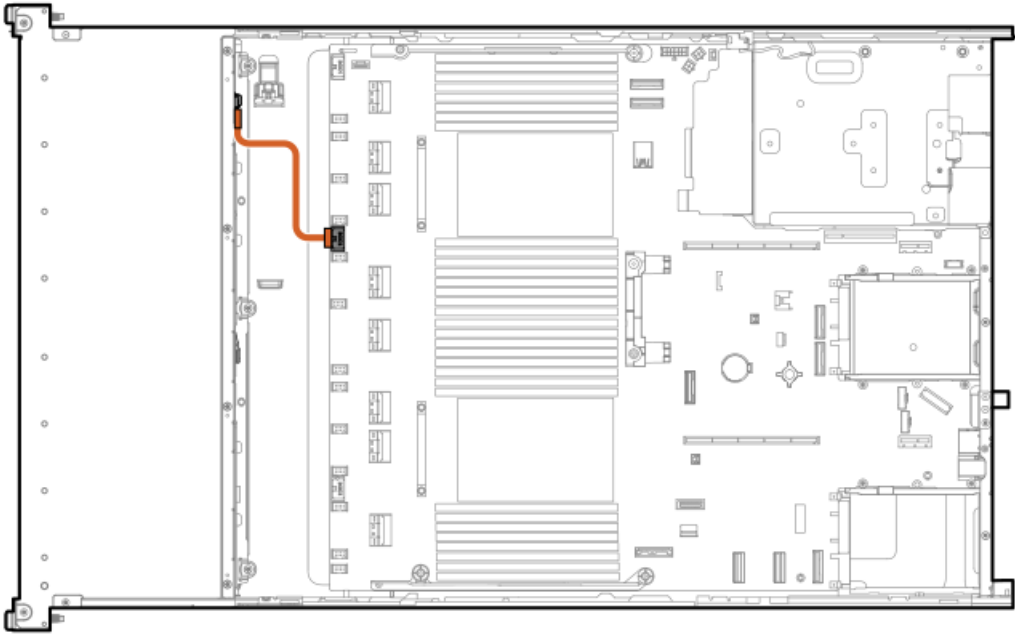
¹ オプションキット : P50727-B21

4 LFF (3.5型) ボックス1



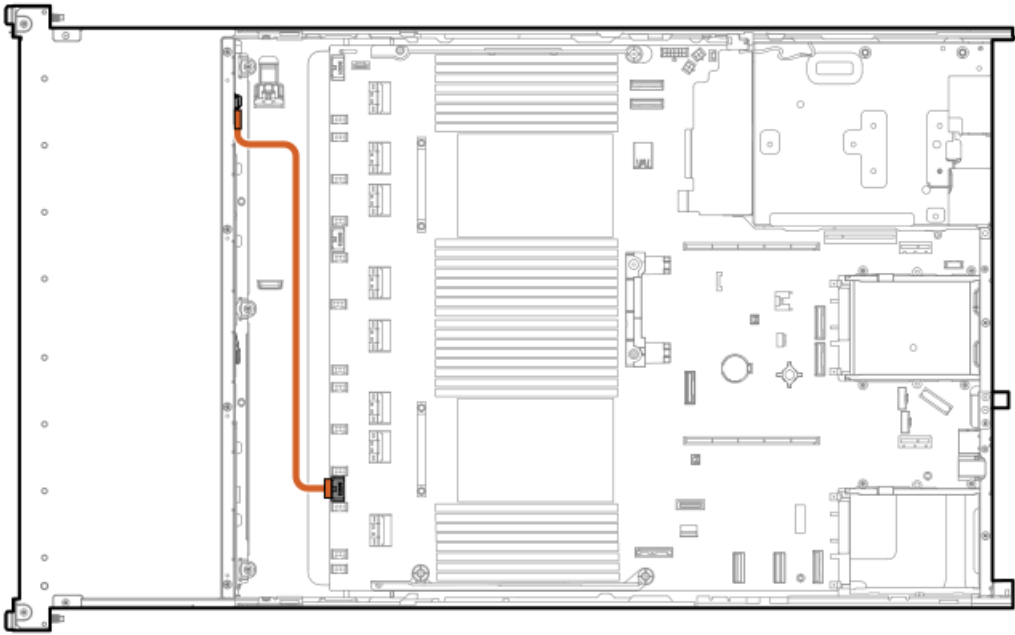
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14341-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプレーンボックス1	システムボード

4 LFF (3.5型) ボックス2



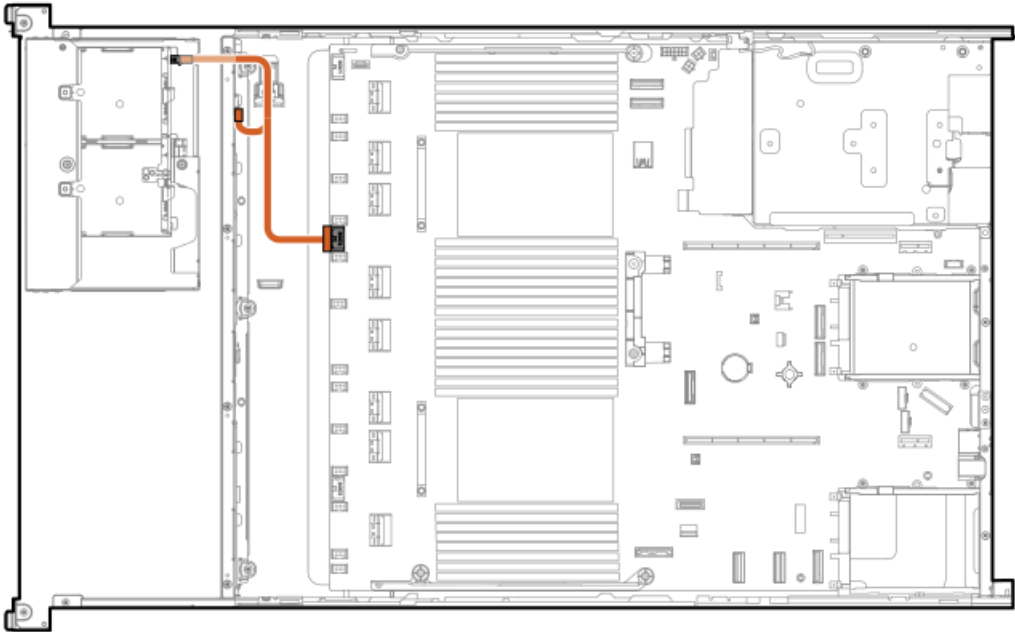
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14342-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプレーンボックス2	システムボード

4 LFF (3.5型) ボックス3



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14342-001	オレンジ色	4 LFF (3.5型) バックプレーンボックス3	システムボード

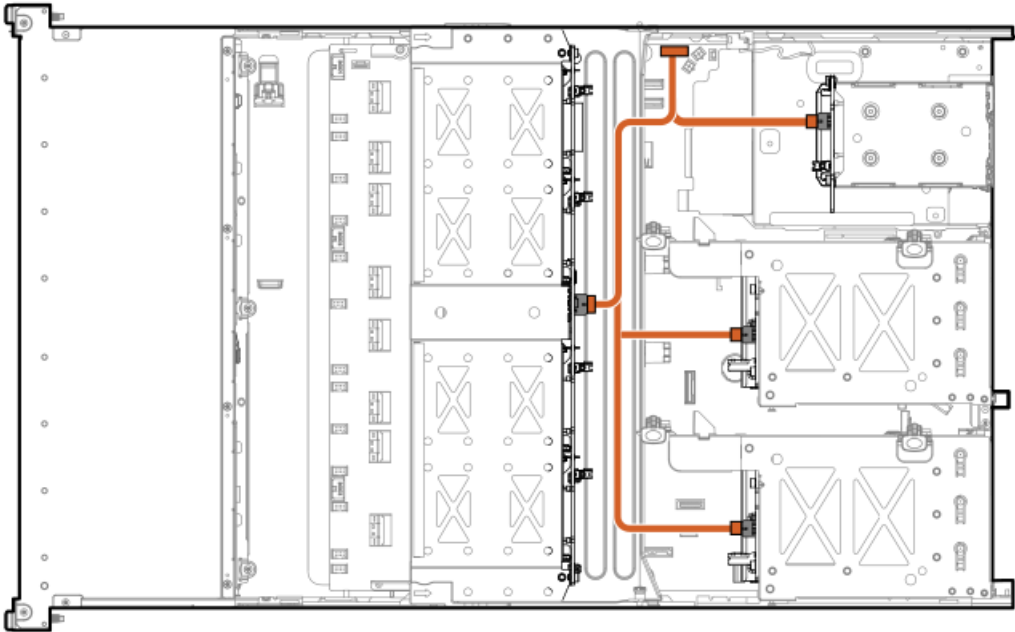
2 SFF (2.5型) サイドバイサイド



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14343-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48812-B21

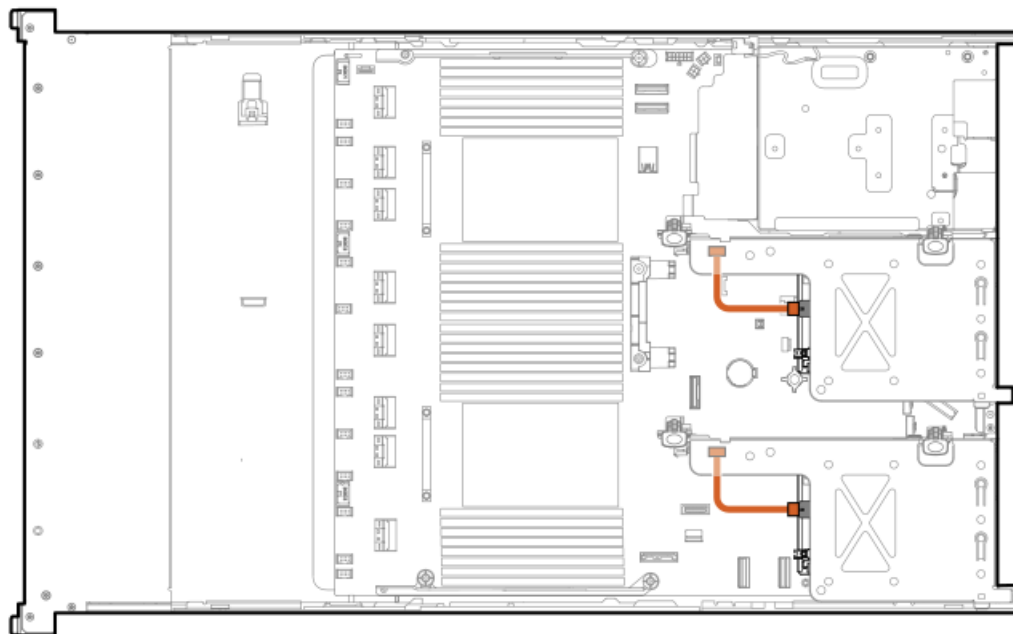
8 SFF (2.5型) ミッドプレーン+2 LFF (3.5型) ライザーケージ+スタックしたリア2 SFF (2.5型) の電源



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51575-001 ¹	オレンジ色	ドライブバックプレーン	システムボード

¹ オプションキット : P48823-B21

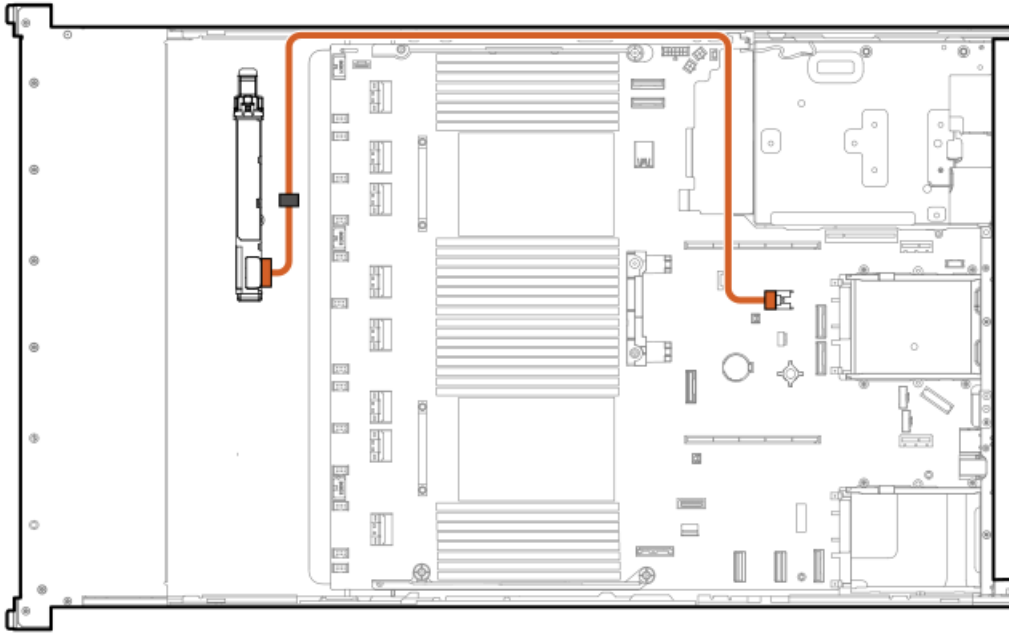
2 SFF (2.5型) ボックス4および5



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51574-001 ¹	オレンジ色	2 SFF (2.5型) バックプレーン	ライザー電源コネクタ

¹ オプションキット : P48810-B21

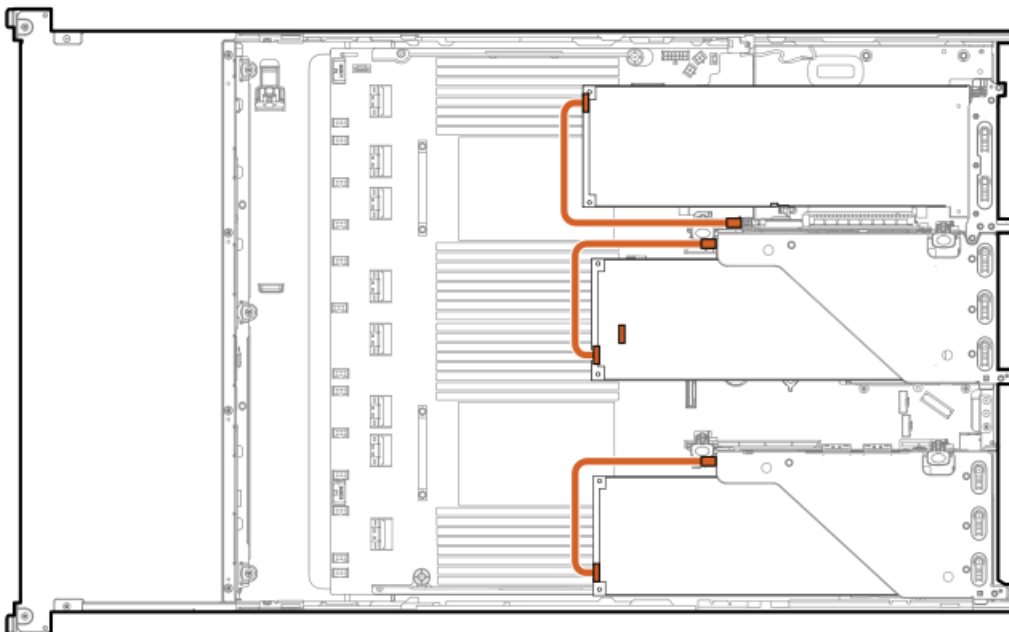
スマートバッテリーのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45618-001	オレンジ色	スマートバッテリー	システムボード

GPUのケーブル接続

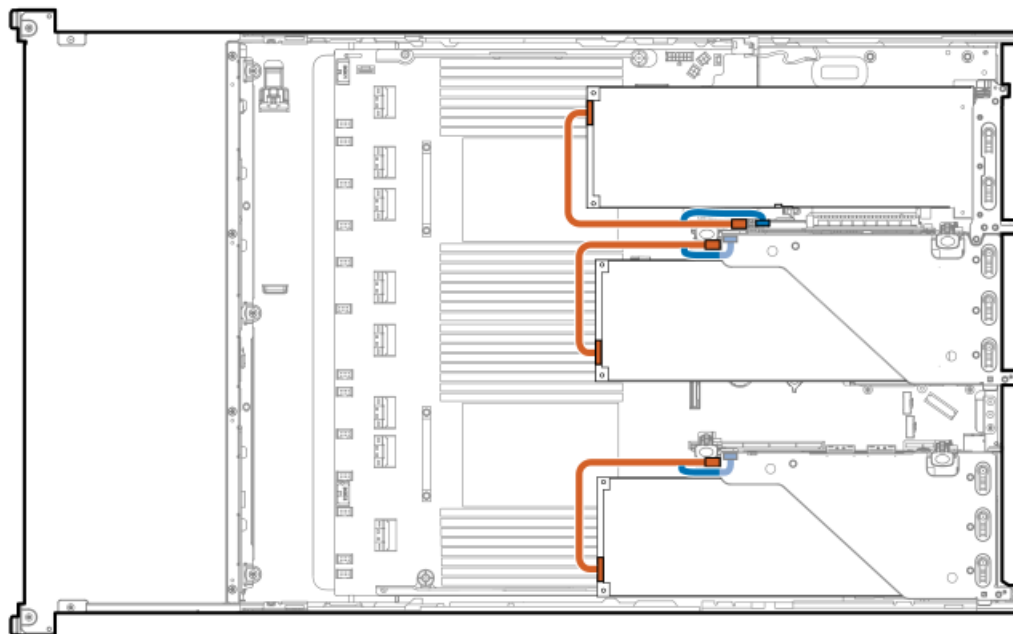
GPU電源のケーブル接続



ケーブルの部品番号色	接続元	接続先
869820-001 ¹	オレンジ色 GPU	ライザー

¹ オプションキット : P39102-B21

GPU電源とサイドバンドのケーブル接続

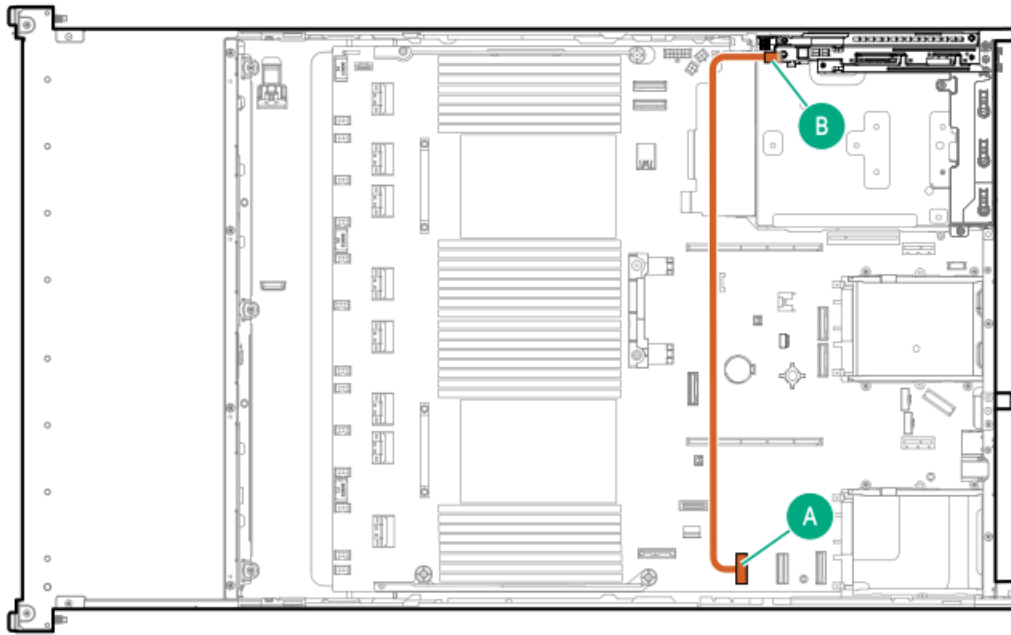


ケーブルの部品番号色	接続元	接続先
P58422-001 ¹	オレンジ色 GPU	ライザー

¹ オプションキット : P56072-B21

NS204i-uブートデバイスのケーブル接続

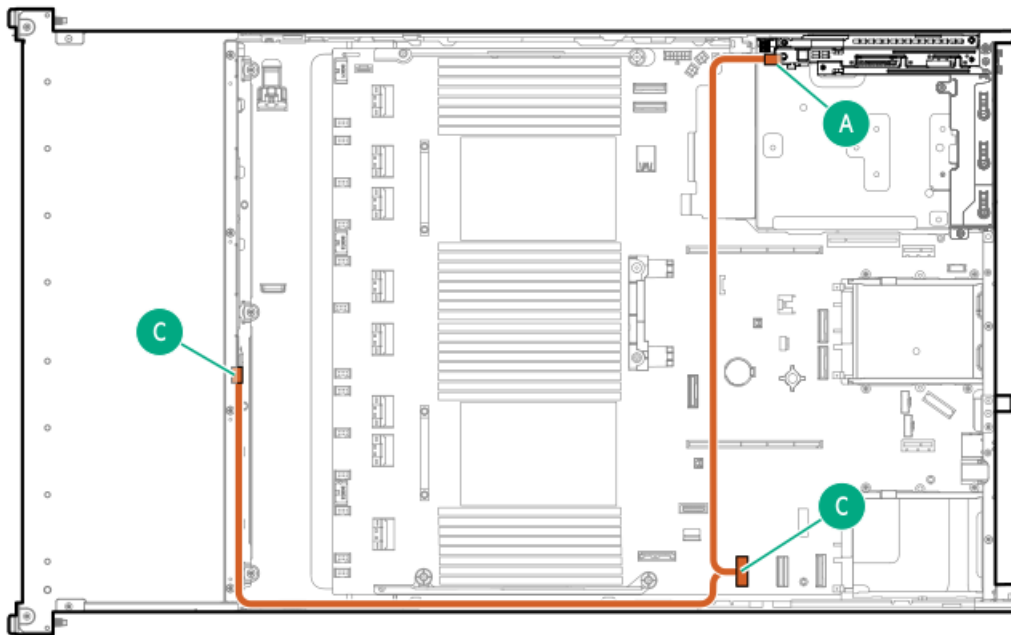
SFF (2.5型) シャーシのデータ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51579-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット : P52152-B21

LFF (3.5型) シャーシのデータ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P51578-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス およびボックス1*	システムボード

¹ オプションキット : P52152-B21

*これはYケーブルです。OCPコントローラーに接続する12 LFF（3.5型）構成の場合、ボックス2および3はケーブルP51559-001を使用します。ボックス1は、ケーブルP51560-001を使用してコントローラーに接続します。片方の端は未接続のままになります。

SFF（2.5型）/LFF（3.5型）の電源

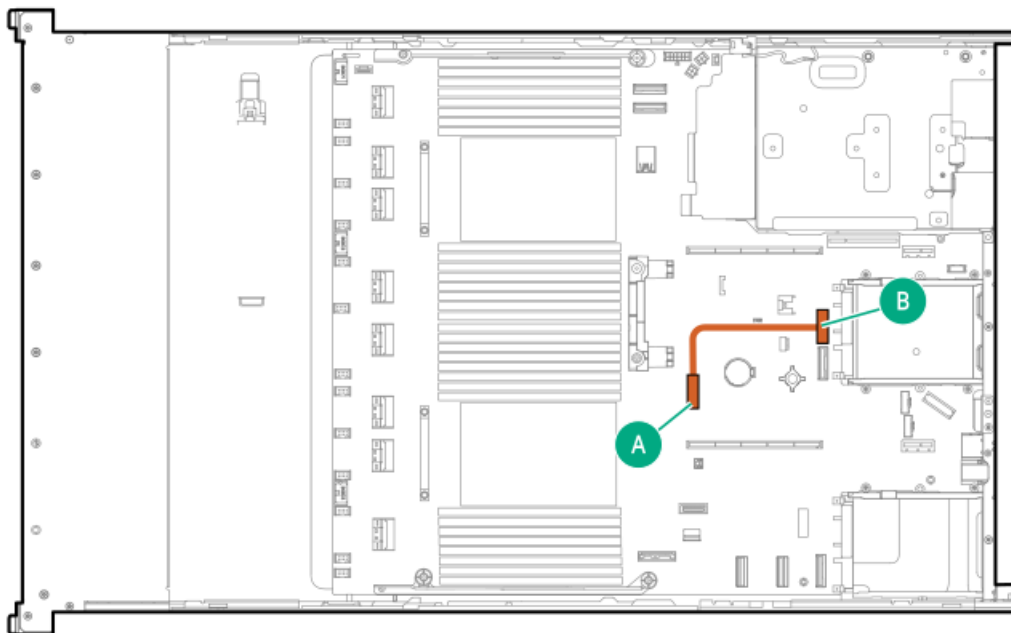


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P54089-001 ¹	オレンジ色	NS204i-uブートデバイス	システムボード

¹ オプションキット：P52152-B21

OCP帯域幅の有効化

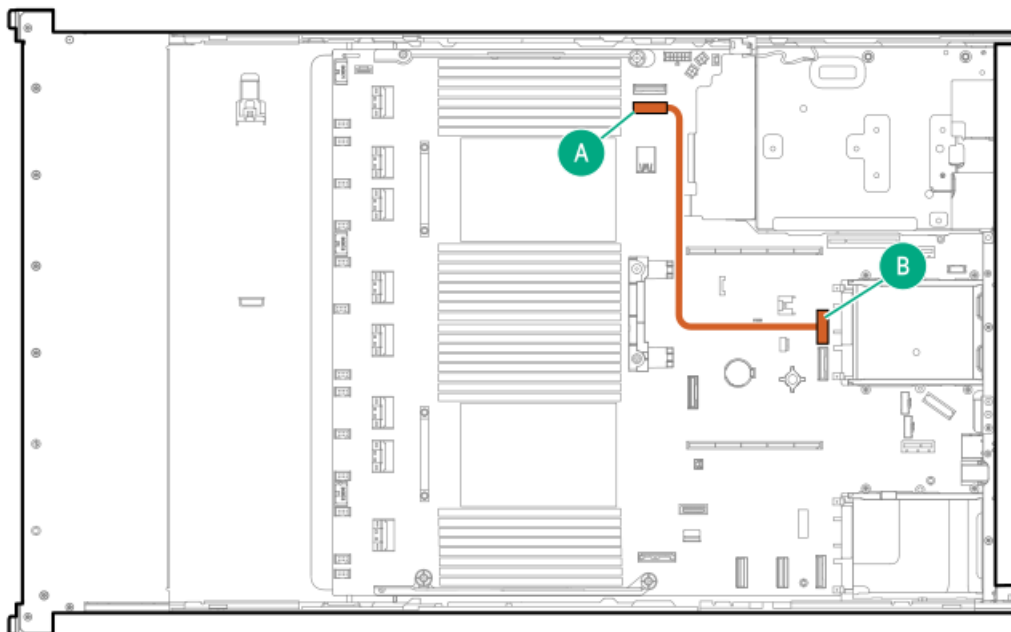
CPU1からOCP2 x8への有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43735-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット15ポート1	ソケット1 MCIOポート 1

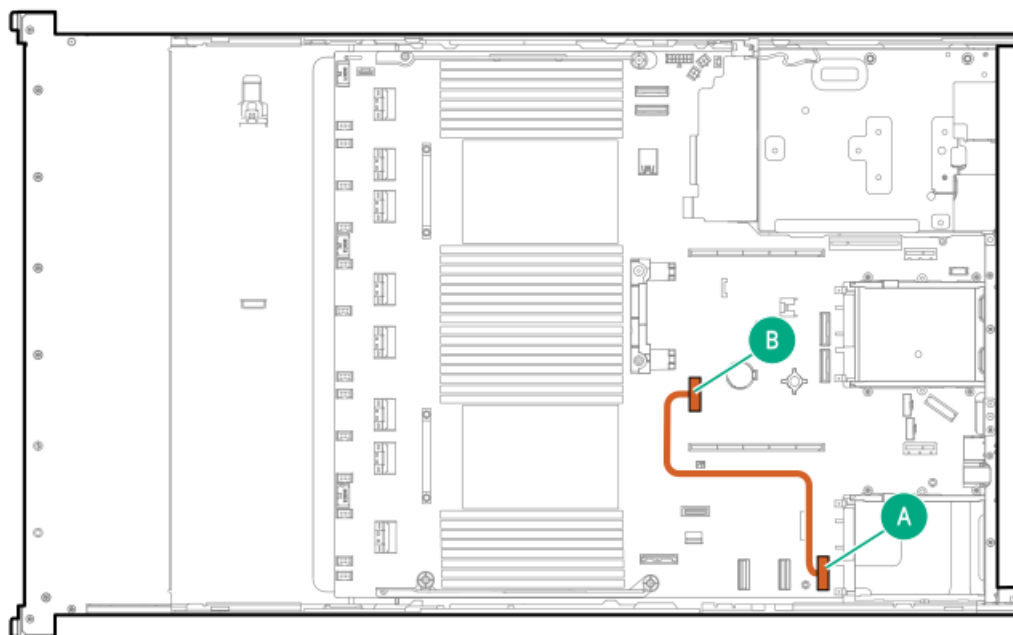
¹ オプションキット : P51911-B21

CPU2からOCP2 x8への有効化



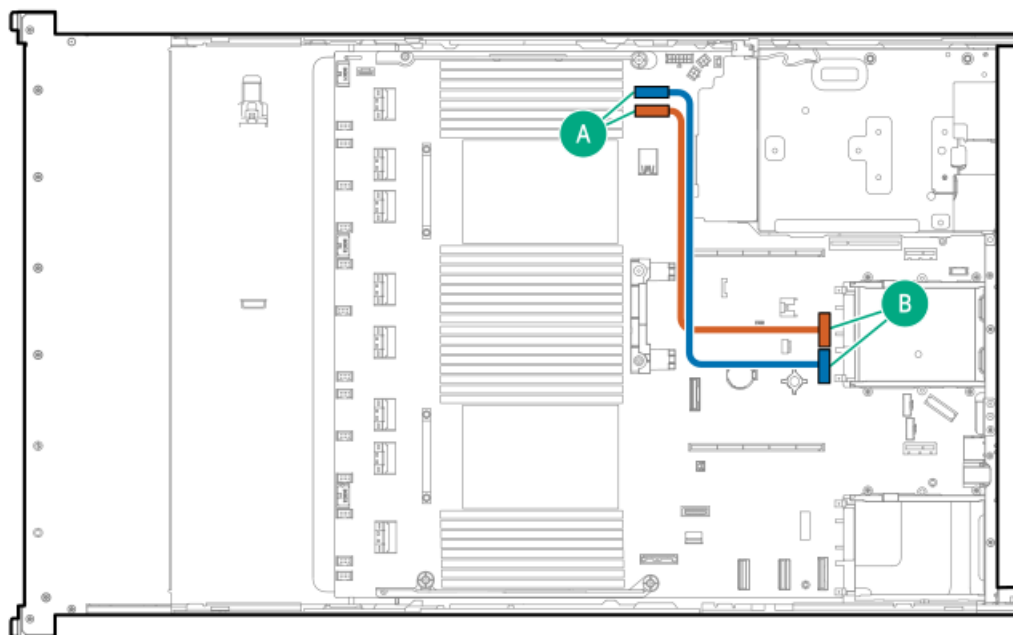
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001 ¹	オレンジ色	OCPスロット15ポート1	ソケット2 MCIOポート 1

0CP1 x16の有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43736-001 ¹	オレンジ色	0CPスロット14ポート2	ソケット1 MCIOポート 1

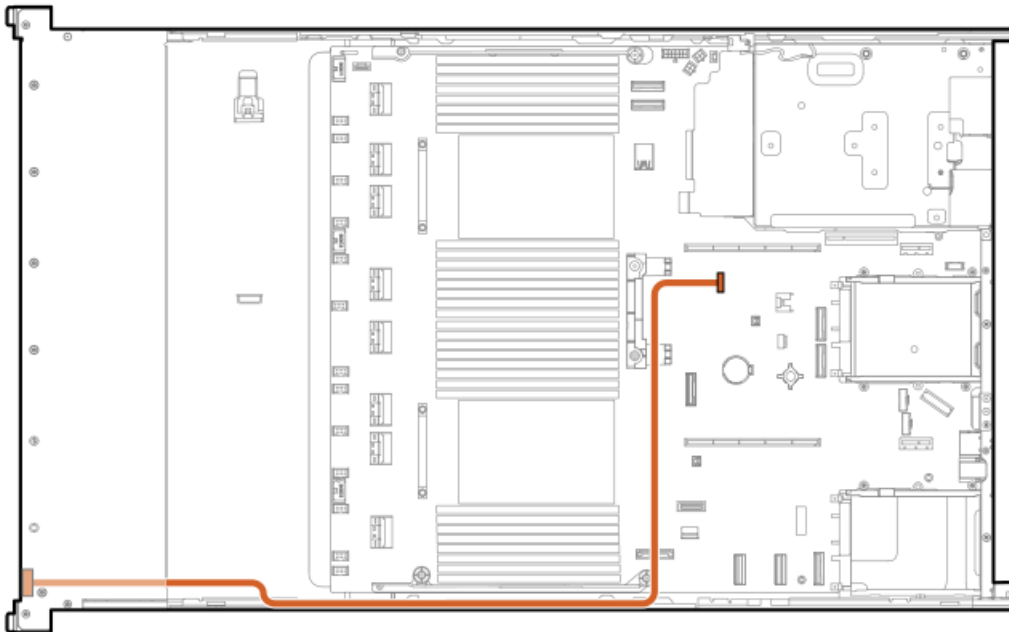
0CP2 x16の有効化



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43734-001	オレンジ色	OCPスロット15ポート1	ソケット2 MCIOポート 1
P43734-001 ¹	青色	OCPスロット15ポート2	ソケット2 MCIOポート 2

¹ オプションキット : P48830-B21

Systems Insight Displayのケーブル接続

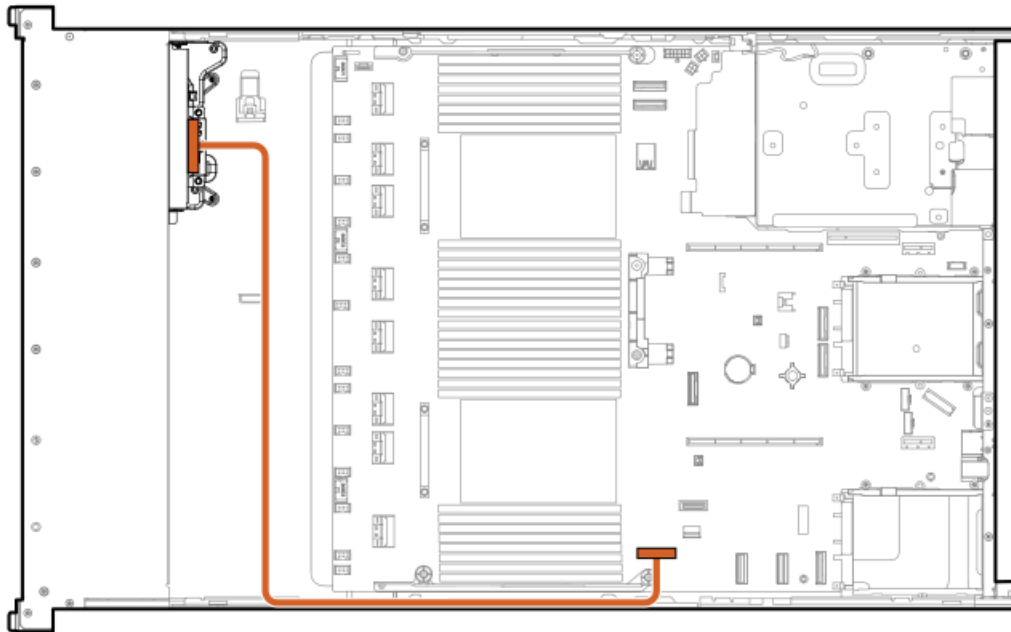


ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P48971-001 ¹	オレンジ色	Systems Insight Display	システムボード

¹ オプションキット : P48819-B21

I/Oのケーブル接続

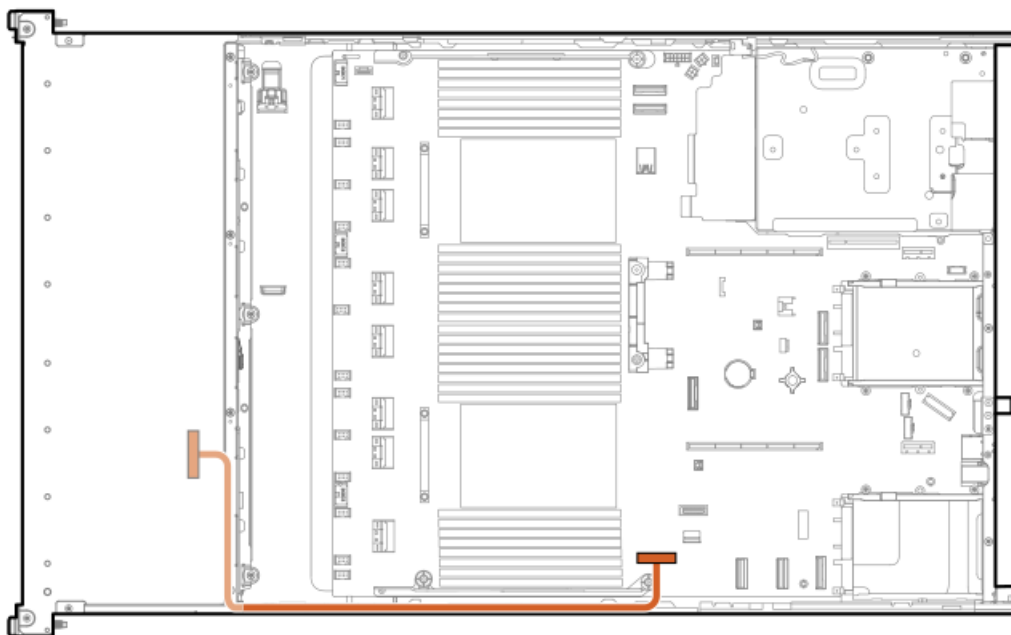
SFF (2.5型) オプティカルディスクドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
756914-001 ¹	オレンジ色	SFF (2.5型) ODD	システムボード

¹ オプションキット : 726536-B21

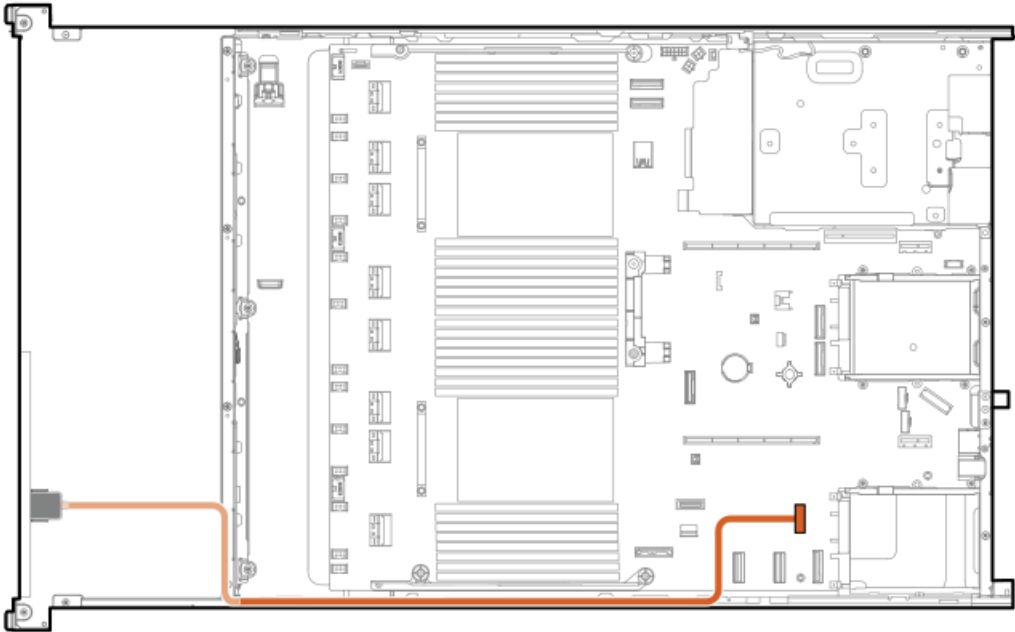
LFF (3.5型) オプティカルディスクドライブ



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
756914-001 ¹	オレンジ色	LFF (3.5型) ODD	システムボード

¹ オプションキット : 726537-B21

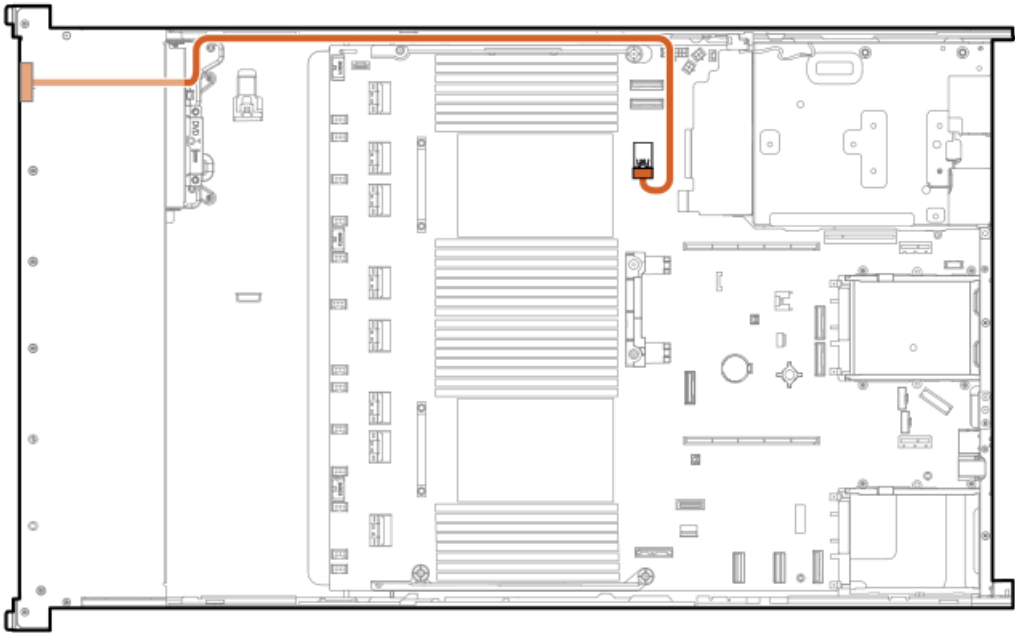
LFF (3.5型) DisplayPort



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
869808-001 ¹	オレンジ色	前面DisplayPort	システムボード

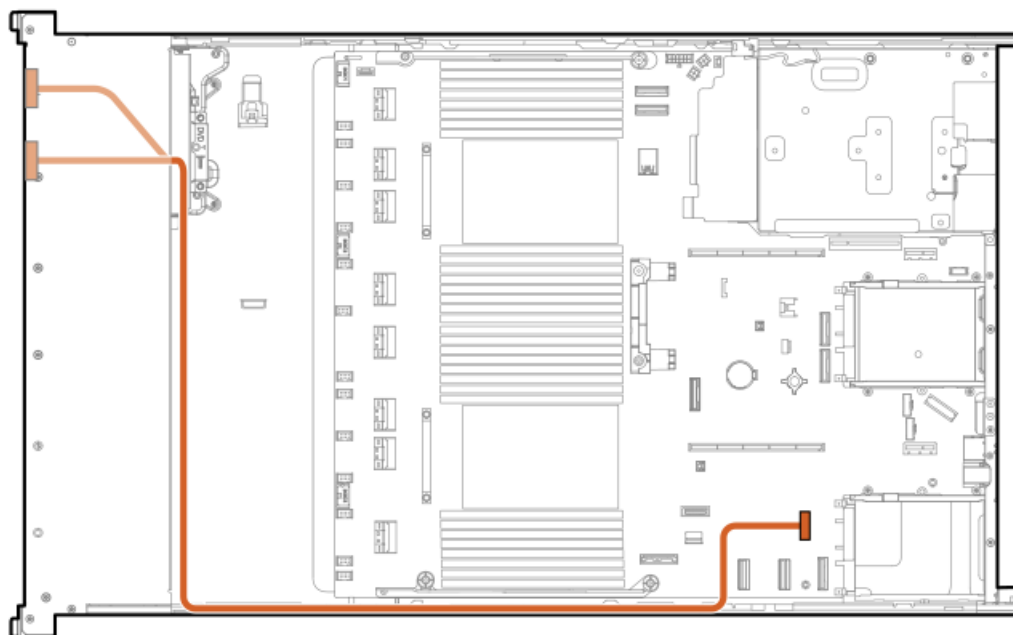
¹ オプションキット : P52150-B21

SFF (2.5型) UMB USBのケーブル接続



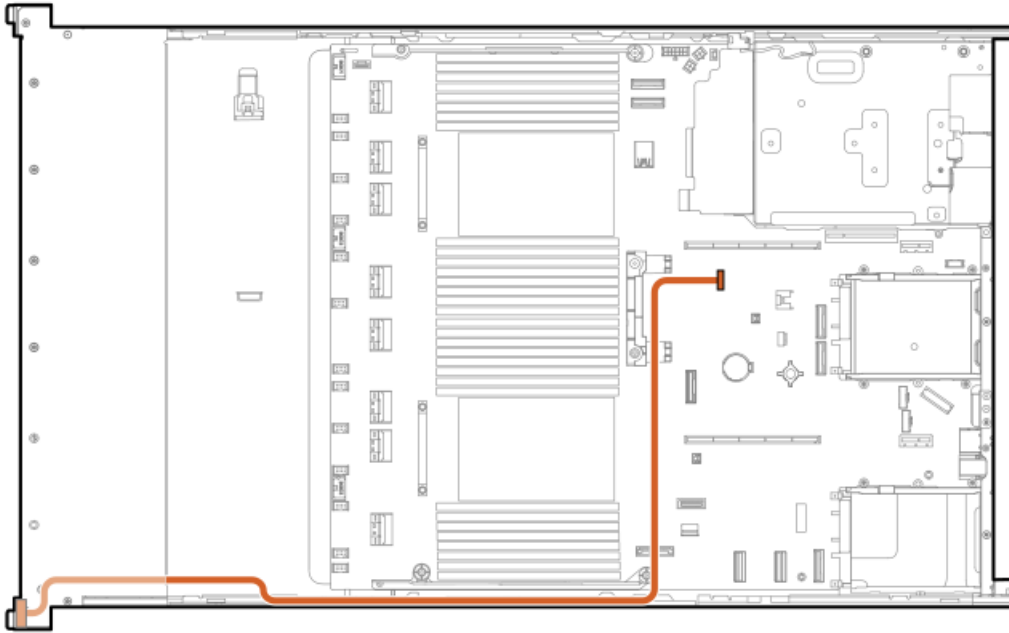
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P50731-001 ¹	オレンジ色	前面USBポート	システムボード

SFF (2.5型) UMB DisplayPort/USBのケーブル接続



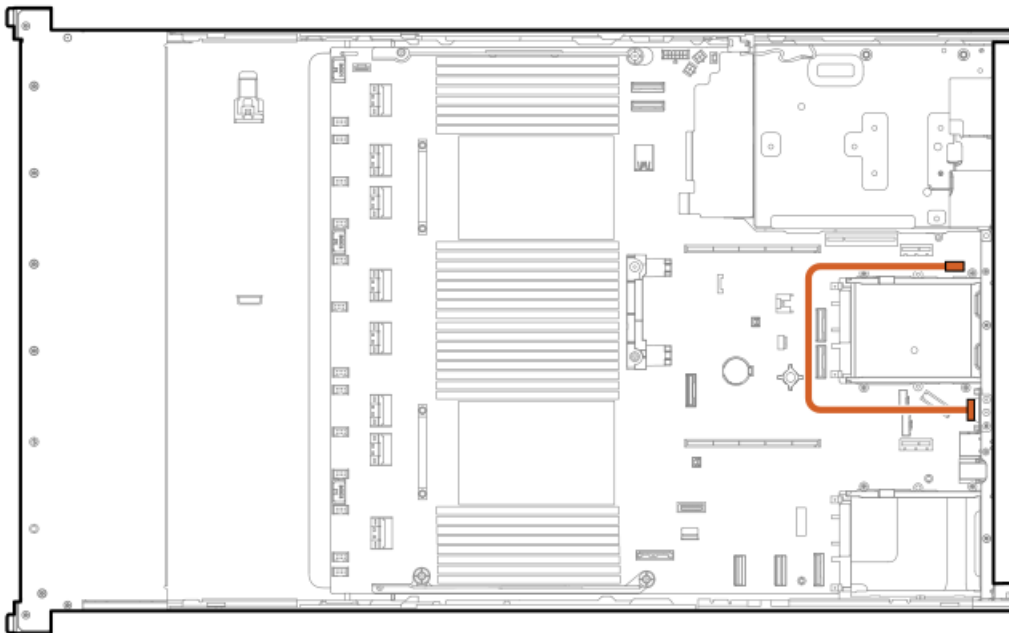
ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P14314-001 ¹	オレンジ色	ユニバーサルメディアベ イ	システムボード

フロント電源スイッチのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P43727-001	オレンジ色	フロント電源スイッチ	システムボード

シリアルポートのケーブル接続



ケーブルの部品番号	色	接続元	接続先
P45623-001 ¹	オレンジ色	シリアルポート	システムボード

¹ オプションキット : P48824-B21

構成関連情報

次の関連情報を使用して、サーバーの構成と管理に関するドキュメントを見つけます。

- 一部のユーティリティが、使用しているサーバーに適用しない場合があります。この章に記載されている製品とサーバーの互換性については、製品のQuickSpecs (<https://www.hpe.com/info/dl380gen11-docs>) を参照してください。
- HPEファクトリーエクスプレスから注文された製品は、この章の一部またはすべての構成で既に構成されている可能性があります。追加の設定が必要かどうかを判断するには、HPEファクトリーエクスプレスの注文を確認してください。
- 最新の変更、機能強化、およびバグ修正については、最新の製品リリースノートを参照してください。

サブトピック

- [ファームウェアまたはシステムROMのアップデート](#)
- [サーバーの構成](#)
- [ストレージコントローラーの構成](#)
- [HPE NS204i ブートデバイスの管理](#)
- [オペレーティングシステムの展開](#)
- [セキュリティの構成](#)
- [サーバーの最適化](#)
- [サーバー管理](#)
- [Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理](#)

ファームウェアまたはシステムROMのアップデート

目的	使用
Service Packのダウンロード	- Service Pack for ProLiant (SPP) http://www.hpe.com/jp/servers/spp_dl - HPE SynergyソフトウェアリリースおよびHPE Synergy Service Pack (SSP) https://www.hpe.com/info/synergy-sw-release-information
Service Packを1台のサーバーに展開する	Smart Update Manager (SUM) https://www.hpe.com/info/sum-docs
Service Packを複数のサーバーに展開する	HPE OneView https://www.hpe.com/support/oneview-docs
- 分散されたサーバーインフラストラクチャーのサーバーまたはサーバーグループファームウェアのポリシーベースの管理を可能にする - 構成されたファームウェアベースラインへのサーバーの準拠を監視する - 自動iLOファームウェアアップデートを受け取る - ベースラインアップデートアラートを受け取る	HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs

サーバーの構成

構成する対象

使用

単一サーバー (GUI)

- Intelligent Provisioning
<https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs>
- iLOリモートコンソールまたはWebインターフェイス
<https://www.hpe.com/support/ilo6>
- UEFIシステムユーティリティ
<https://www.hpe.com/info/UEFI-manuals>
- HPE GreenLake for Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/info/com-docs>

単一サーバー (スクリプト)

- RESTful インターフェイスツール
<https://www.hpe.com/support/restfulinterface/docs>
- Python iLO Redfishライブラリ (python-ilorest-library)
<https://github.com/HewlettPackard/python-ilorest-library>
- Scripting Tools for Windows PowerShell
<https://www.hpe.com/info/powershell/docs>
- iLO RESTful API
<https://hewlettpackard.github.io/ilo-rest-api-docs/>
- HPE GreenLake for Compute Ops Management API
<https://developer.greenlake.hpe.com/>

複数サーバー (UIまたはスクリプトのいずれか)

- HPE OneView¹
<https://www.hpe.com/support/oneview-docs>
- HPE GreenLake for Compute Ops Management
<https://www.hpe.com/info/com-docs>
 - **サーバーの設定**：ファームウェアベースラインなどのサーバー固有のパラメーターを定義し、それらをサーバーグループに適用します。
 - **サーバーグループ**：関連のサーバー設定でカスタム定義セットにサーバーを編成して、グループ固有のポリシーを適用して、グループ内のサーバー全体で一貫した構成を作成します。

¹ HPE OneViewを実行しているサーバーの場合、特定の設定の削除または変更には、iLOなどの別のツールを使用しないでください。HPE OneViewとiLOを使用して、同じサーバーを管理する方法については、iLOユーザーガイド (<https://www.hpe.com/support/ilo6>) を参照してください。

ストレージコントローラーの構成

コントローラータイプ	ドキュメント
SRコントローラー	–
Gen11	HPE SR Gen11コントローラーユーザーガイド https://hpe.com/support/SR-Gen11-UG
Gen10	HPE SmartアレイSR Gen10コントローラーユーザーガイド https://www.hpe.com/support/SR-Gen10-UG
MRコントローラー	–
Gen11	HPE MR Gen11コントローラーユーザーガイド https://hpe.com/support/MR-Gen11-UG
世代間MRガイド	• HPE MR Storage Administrator User Guide https://www.hpe.com/support/MRSA • HPE MR StorCLI User Guide https://www.hpe.com/support/StorCLI
ソフトウェアRAID	Intel VROC for HPE Gen11 User Guide https://hpe.com/support/VROC-Gen11-UG

HPE NS204i ブートデバイスの管理

HPE NS204i ブートデバイスのサポートされている機能とメンテナンス情報について詳しくは、HPE NS204i ブートデバイスユーザーガイドを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/NS204-UG>

オペレーティングシステムの展開

サポートされているオペレーティングシステムのリストについては、次のHPEサーバーサポート&認定マトリックスを参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Servers-Certification-Matrices>

目的	参照
サーバーがSANから起動するように構成する	HPE Boot from SAN Configuration Guide https://www.hpe.com/info/boot-from-san-config-guide
サーバーがPXEサーバーから起動するように構成する	HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用UEFIシステムユーティリティユーザーガイド https://www.hpe.com/support/UEFIGen11-UG-en
iLO仮想メディアを使用してOSを展開する	iLOユーザーガイド https://www.hpe.com/support/ilo6
Intelligent Provisioningを使用してOSを展開する	Intelligent Provisioningユーザーガイド https://www.hpe.com/info/intelligentprovisioning/docs

セキュリティの構成

目的	参照
サーバーセキュリティのベストプラクティスを実装する。	- HPE コンピュートセキュリティリファレンスガイド https://www.hpe.com/support/gen10-security-ref-ja - HPE iLO 6セキュリティテクノロジーの概要 https://www.hpe.com/support/ilo6-security-en
サーバー構成ロック機能が有効にされているHPE Trusted Supply Chainサーバーおよびその他のサーバーのサーバー構成ロック機能を構成して使用する。	Server Configuration Lock User Guide for HPE ProLiant servers and HPE Synergy https://www.hpe.com/info/server-config-lock-UG-en

サーバーの最適化

目的	参照
管理およびチューニング機能を通じてサーバーのパフォーマンスを最適化します。	HPEサーバーパフォーマンス管理およびチューニングガイド https://www.hpe.com/support/gen10-intelligent-system-tuning-ja
誤った設定を解決するための推奨事項を入手します。	HPE InfoSight for Servers User Guide https://www.hpe.com/support/InfoSight-for-Servers-UG-en

サーバー管理

監視する対象	参照
単一サーバー	HPE iLO https://www.hpe.com/support/ilo-docs
複数サーバー	HPE OneView https://www.hpe.com/support/oneview-docs
単一または複数サーバー	HPE GreenLake for Compute Ops Management https://www.hpe.com/info/com-docs

Linuxベースのハイパフォーマンスコンピューティングクラスターの管理

目的	使用
クラスターのプロビジョニング、管理、および監視を行います。	HPE Performance Cluster Manager https://www.hpe.com/support/hpcm_manuals
アプリケーションを最適化します。	HPE Performance Analysis Tools https://www.hpe.com/info/perftools
オンノードとオフノードの両方で、ポイントツーポイント通信および集合通信の低レイテンシと高帯域幅を実現するために、ソフトウェアライブラリを最適化します。	HPE Cray Programming Environment User Guide https://www.hpe.com/info/cray-pe-user-guides

トラブルシューティング

サブトピック

NMI機能

トラブルシューティングの資料

NMI機能

システムが従来のデバッグメソッドに応答しない場合、管理者はNMIクラッシュダンプを使用して、クラッシュダンプファイルを作成することができます。

クラッシュダンプのログ解析は、オペレーティングシステム、デバイスドライバー、およびアプリケーションでのハングなど、信頼性に関わる問題を診断するために重要です。クラッシュが起きると多くの場合、システムがフリーズし、管理者はシステムの電源を一度切って入れ直すことしかできません。システムをリセットすると、問題の解析をサポートできる情報が消去されます。ただし、NMIを使って、システムリセットの前にメモリダンプを実行し、その情報を保持できます。

管理者はiLO生成NMI機能を使って、OSに強制的にNMIハンドラーを開始させ、クラッシュダンプログを生成することができます。

トラブルシューティングの資料

トラブルシューティングの資料は、以下のドキュメントのHPE Gen11サーバー製品で使用できます。

- HPE ProLiant Gen11サーバー用のトラブルシューティングガイドは、一般的な問題を解決するための手順を紹介し、障害を特定し識別するための一連の包括的な対策、問題の解決方法、ソフトウェアのメンテナンスについて説明しています。
- HPE ProLiant Gen11サーバーおよびHPE Synergy用のインテグレートドマネジメントログメッセージおよびトラブルシューティングガイドでは、クリティカルおよび警告IMLイベントを解決するためのIMLメッセージおよび関連するトラブルシューティング情報を提供します。

お使いの製品のトラブルシューティングの資料にアクセスするには、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

仕様

サブトピック

- [環境仕様](#)
- [機械仕様](#)
- [電源装置の仕様](#)
- [ホットプラグ対応電源装置に関する計算](#)

環境仕様

仕様	値
温度範囲 ¹	–
動作時	10° C～35° C
非動作時	–30° C～60° C
相対湿度（ただし、結露しないこと）	–
動作時	最小：–12° C露点温度または8%相対湿度 最大：24° C露点温度または90%相対湿度
非動作時	5～95% 38.7° C、最高湿球温度

¹ ここで示す温度の定格はすべて海拔0 mでのものです。海拔3,048 mまでは、高度が304.8 m上昇するごとに1.0° C低くなります。直射日光が当たらないようにしてください。最大変化率は20° C/時です。上限と変化率は、取り付けられているオプションのタイプと数によって制限される可能性があります。

特定の承認済みのハードウェア構成については、サポートされるシステムの吸気温度の範囲が次のように拡大されます。

- 海拔0 mで5～10° Cおよび35～40° C。この温度は、海拔900 mから3048 mまでは、高度が175 m上昇するごとに1.0° C低くなります。
- 海拔0 mで40° C～45° C。この温度は、海拔900 m～3048 mまでは、高度が125 m上昇するごとに1.0° C低くなります。

このシステムの承認済みのハードウェア構成については、[Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト](#)を参照してください。

機械仕様

仕様	値
高さ	8.75 cm (3.44インチ)
奥行き、SFF (2.5型)	72.70 cm (28.62インチ)
奥行き、LFF (3.5型)	73.25 cm (28.84インチ)
幅	44.80 cm (17.64インチ)
重量、SFF (2.5型) 最小	16.00 kg (35.27ポンド)
重量、SFF (2.5型) 最大	33.00 kg (72.75ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最小	18.00kg (39.68ポンド)
重量、LFF (3.5型) 最大	37.00 kg (81.57ポンド)

電源装置の仕様

インストールされたオプションや、サーバーを購入した地域によって、サーバーは以下の電源装置のいずれかで構成されます。

- HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
- HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
- HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

サポートされている電源装置の仕様について詳しくは、Hewlett Packard EnterpriseのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/proliant/powersupply>) にあるQuickSpecsを参照してください。

サブトピック

HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)
HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ (HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply)
HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

HPE 800 W FS Platinum LHパワーサプライ (HPE 800 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply)

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240VAC 240 VDC（中国のみ）
定格入力周波数	50～60 Hz 240 VDC時には該当しません
定格入力電流	9.1 A（100 VAC時） 4.4 A（200 VAC時） 3.6 A（240 VDC時（中国のみ））
最大定格入力電力	899 W（100 VAC時） 867 W（200 VAC時） 864 W（240 VDC時（中国のみ））
BTU/時	3067（100 VAC時） 2958（200 VAC時） 2949（240 VAC時（中国のみ））
電源装置出力	—
安定時定格電力	800 W（100～127 VAC入力時） 800 W（100～240 VAC入力時） 800 W（240 VDC入力時（中国のみ））
ピーク時の最大電力	800 W（100～127 VAC入力時） 800 W（100～240 VAC入力時） 800 W（240 VDC入力時（中国のみ））

HPE 1000 W FS Titaniumパワーサプライ（HPE 1000 W Flex Slot Titanium Hot-plug Power Supply）

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	100～127 VAC 200～240 VAC 240 VDC（中国のみ）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	11.3 A（100 VAC時） 6.1 A（200 VAC時）
最大定格入力電力	1103 W（100 VAC時） 1064 W（200 VAC時）
BTU/時	3764（100 VAC時） 3629（200 VAC時）
電源装置出力	—
安定時定格電力	1000 W（100～127 VAC時） 1000 W（200～240 VAC入力時）
最大ピーク電力	1000 W（100～127 VAC時） 1000 W（200～240 VAC時）

HPE 1600 W FS Platinum LHパワーサプライ（HPE 1600 W Flex Slot Platinum Hot-plug Low Halogen Power Supply）

仕様	値
入力要件	—
定格入力電圧	200～240 VAC 240 VDC（中国のみ）
定格入力周波数	50～60 Hz
定格入力電流	8.7 A（200 VAC時） 7.5 A（230 VAC時）
最大定格入力電力	1734 W（200 VAC時） 1727 W（230 VAC時）
BTU/時	5918（200 VAC時） 5891（230 VAC時）
電源装置出力	—
安定時定格電力	1600 W（200～240 VAC入力時） 1600 W（240 VDC入力時）
ピーク時の最大電力	1ミリ秒2200 W（ターボモード）（200～240 VAC入力時）

ホットプラグ対応電源装置に関する計算

ホットプラグ対応電源装置の仕様、およびサーバーの電気ならびに熱負荷を調べるための計算ツールについては、Hewlett Packard Enterprise Power AdvisorのWebサイト (<https://www.hpe.com/info/poweradvisor/online>) を参照してください。

Webサイト

全般的なWebサイト

Single Point of Connectivity Knowledge (SPOCK) のストレージ互換性マトリックス

<https://www.hpe.com/storage/spock>

ストレージのホワイトペーパーおよび分析レポート

<https://www.hpe.com/storage/whitepapers>

上記以外のWebサイトについては、[サポートと他のリソース](#)を参照してください。

ストレージのWebサイト

サポートと他のリソース

サブトピック

[Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス](#)

[アップデートへのアクセス](#)

[リモートサポート](#)

[保証情報](#)

[規定に関する情報](#)

[ドキュメントに関するご意見、ご指摘](#)

Hewlett Packard Enterpriseサポートへのアクセス

- ライブアシスタンスについては、Contact Hewlett Packard Enterprise WorldwideのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/info/assistance>

- ドキュメントとサポートサービスにアクセスするには、Hewlett Packard EnterpriseサポートセンターのWebサイトにアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

収集される情報

- テクニカルサポートの登録番号（該当する場合）
- 製品名、モデルまたはバージョン、シリアル番号
- オペレーティングシステム名およびバージョン
- ファームウェアバージョン

- エラーメッセージ
- 製品固有のレポートおよびログ
- アドオン製品またはコンポーネント
- 他社製品またはコンポーネント

アップデートへのアクセス

- 一部のソフトウェア製品では、その製品のインターフェイスを介してソフトウェアアップデートにアクセスするためのメカニズムが提供されます。ご使用の製品のドキュメントで、ソフトウェアの推奨されるアップデート方法を確認してください。
- 製品のアップデートをダウンロードするには、以下のいずれかにアクセスします。

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター

<https://www.hpe.com/support/hpesc>

マイHPEソフトウェアセンター

<https://www.hpe.com/software/hpesoftwarecenter>

- eNewslettersおよびアラートをサブスクライブするには、以下にアクセスします。

<https://www.hpe.com/support/e-updates-ja>

- お客様のエンタイトルメントを表示およびアップデートするには、または契約と標準保証をお客様のプロファイルにリンクするには、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンター More Information on Access to Support Materialsページをご覧ください。

<https://www.hpe.com/support/AccessToSupportMaterials>



重要:

Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからアップデートにアクセスするには、製品エンタイトルメントが必要な場合があります。関連するエンタイトルメントでHPEアカウントをセットアップしておく必要があります。

リモートサポート

リモートサポートは、保証またはサポート契約の一部としてサポートされるデバイスでご利用可能です。リモートサポートは、インテリジェントなイベント診断を提供し、ハードウェアイベントをHewlett Packard Enterpriseに安全な方法で自動通知します。これにより、ご使用の製品のサービスレベルに基づいて、迅速かつ正確な解決が行われます。ご使用のデバイスをリモートサポートに登録することを強くおすすめします。

ご使用の製品にリモートサポートの追加詳細情報が含まれる場合は、検索を使用してその情報を確認します。

HPE リモートITサポートサービス接続入門

https://support.hpe.com/hpesc/public/docDisplay?docId=a00041232ja_jp

HPE Tech Care Service

<https://www.hpe.com/jp/techcare>

HPE Complete Care

<https://www.hpe.com/jp/completecure>

保証情報

ご使用の製品の保証に関する情報を確認するには、[標準保証確認ツール](#)を参照してください。

規定に関する情報

安全、環境、および規定に関する情報については、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターからサーバー、ストレージ、電源、ネットワーク、およびラック製品の安全と準拠に関する情報を参照してください。

<https://www.hpe.com/support/Safety-Compliance-EnterpriseProducts>

規定に関する追加情報

Hewlett Packard Enterpriseは、REACH（欧州議会と欧州理事会の規則EC No 1907/2006）のような法的な要求事項に準拠する必要に応じて、弊社製品の含有化学物質に関する情報をお客様に提供することに全力で取り組んでいます。この製品の含有化学物質情報レポートは、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/reach>

RoHS、REACHを含むHewlett Packard Enterprise製品の環境と安全に関する情報と準拠のデータについては、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/ecodata>

企業プログラム、製品のリサイクル、エネルギー効率などのHewlett Packard Enterpriseの環境に関する情報については、次を参照してください。

<https://www.hpe.com/info/environment>

ドキュメントに関するご意見、ご指摘

Hewlett Packard Enterpriseでは、お客様により良いドキュメントを提供するように努めています。ドキュメントを改善するために役立てさせていただきますので、何らかの誤り、提案、コメントなどがございましたら、Hewlett Packard Enterpriseサポートセンターポータル (<https://www.hpe.com/support/hpesc>) のフィードバックボタンとアイコン（開いているドキュメントの下部にある）からお寄せください。このプロセスにより、すべてのドキュメント情報が取得されます。